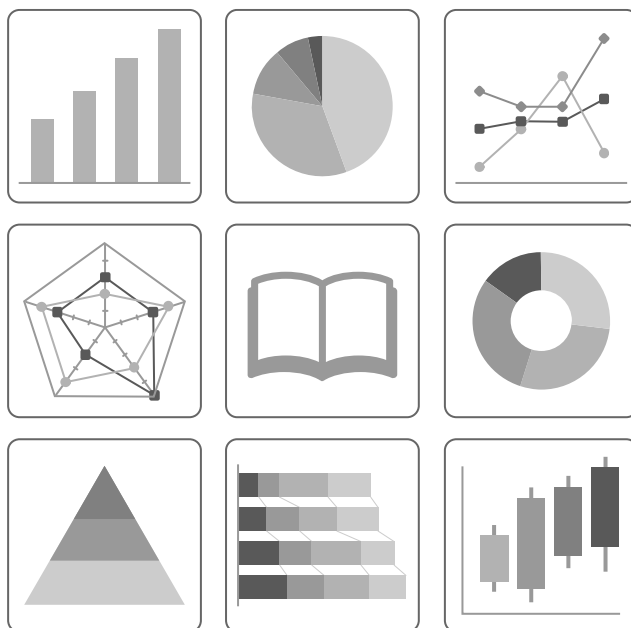


# 第2期松原市教育振興基本計画策定のための 市民意識調査

## 【結果報告書（詳細版）】



令和4年12月

松 原 市



# 目 次

<b>I</b>	<b>調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1	調査の目的 .....	1
2	調査対象 .....	1
3	調査期間 .....	1
4	調査方法 .....	1
5	回収状況 .....	1
6	調査結果の表示方法 .....	1
<b>II</b>	<b>調査結果の概要</b> .....	<b>2</b>
	(1) 学校園教育について.....	2
	(2) 家庭での教育について.....	2
	(3) 地域での教育について.....	3
	(4) 生涯学習・文化などの活動について.....	3
<b>III</b>	<b>調査結果</b> .....	<b>4</b>
	(1) 回答者属性.....	4
	問1 性別 あなたの性別について.....	4
	問2 年齢 あなたの年齢について.....	4
	問3 住んでいる校区（中学校区）について.....	5
	問4 家族構成 あなたの世帯（家族）の構成について.....	5
	問5 子どもの有無あなたのお子さんについて.....	6
	(2) 松原市の学校園教育（就学前教育や学校教育）について.....	7
	問6 学校園教育における現在の取組みについて.....	7
	問7 子どもたちの将来像について.....	32
	問8 学校教育で身につけるべき能力や態度について.....	34
	問9 力を入れるべき教育施策や教育事業について.....	89

(3) 家庭教育・地域教育等について.....	127
問 10 家庭教育・地域教育の現状について.....	127
問 11 家庭の教育力を高めるために必要だと思うことについて.....	133
問 12 「地域の教育力」を高めるために必要な取組みについて.....	136
問 13 新型コロナウイルスの影響について.....	140
問 14 松原市の教育の課題について .....	143
問 15 学校に対して協力してみたいと思うことについて.....	147
(4) 生涯学習・文化などについて.....	150
問 16 あなたの生涯学習・文化活動の現状と今後について.....	150
問 17 学びなおしについて .....	179
問 18 松原市の生涯学習・文化活動の現状について.....	181
問 19 松原市の生涯学習・文化活動の今後について.....	194

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

令和6年度から5カ年を計画期間とする「第2期松原市教育振興基本計画」の策定の基礎資料として、調査を実施するものです。

## 2 調査対象

松原市在住の18歳以上を層化無作為抽出

※層化無作為抽出：母集団を、年代（層化）ごとに分割し、各年代から標本を抽出する方法

## 3 調査期間

令和4年10月19日から令和4年11月10日

## 4 調査方法

郵送・web

## 5 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
1,000通	342通	34.2%

## 6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）

## II 調査結果の概要

### (1) 学校園教育について

本市の就学前教育、学校教育における取組みの評価としては、「学校給食は、栄養バランスがとれ、食物アレルギーに配慮した安心・安全でおいしい給食が提供されている」が最も高く、「就学前・小学校・中学校において子どもの健康管理ができています」「就学前における教育・保育の環境が充実している」が続いています。

また、市が力を入れる必要があると思う（「必要である」と「どちらかといえば必要である」の合計）教育施策や教育事業として、「子どもの学習意欲が高まる授業づくりを工夫する」「悩みがある場合、専門家に気軽に相談できる体制をつくる」「いじめや不登校等の未然防止に関する生徒指導の充実を図る」などが上位に挙げられています。

さらに、身についており、重要性も高い項目としては、「善悪を判断する力」「人間関係を築く力」「他者に対する理解と思いやりや優しさ」などが挙げられています。一方、身についていないが、重要性は高い項目として、「自ら学び、考え、主体的に行動する力」が挙げられています。

新型コロナウイルスの影響下における松原市の子どもたちの教育について不安を感じていることとしては、「子どもたちの健康状態や体力の低下」「子どもたちの学力の低下」「子どもたちの基本的な生活習慣の乱れ」などが挙げられています。

松原市の教育の課題としては、「子どもたちの問題行動やいじめ・不登校」「子どもたちの学力の低下」「子どもたちの道徳心や規範意識などの低下」「子どもたちの基本的な生活習慣の乱れ」などが挙げられています。

これらの点から、子どもたちが主体的に学習に取り組む態度を身につけられる教育内容・方法の充実、児童生徒等の安心・安全を確保するための取組みの充実、いじめの未然防止と早期発見の取組みの徹底等が求められていると考えられます。

### (2) 家庭での教育について

家庭の教育力（家庭で、親が子に対して行う教育）に対する評価としては、機能している（「機能している」と「ある程度は機能している」の合計）を回答した人が、機能していない（「あまり機能していない」と「機能していない」の合計）を回答した人を上回っています。

このような家庭の教育力を更に高めるために必要な取組みとして、「保護者がしつけや教育について相談できる場所をつくる」や「子どもが保護者と一緒に、様々な体験ができる機会を増やす」「保護者が子どもに対する教育の方法や心がまえを学ぶ」「子どもが保護者以外の大人（祖父母、近所の人）とふれあう機会を増やす」などが上位に挙げられています。

これらの点から、親の教育力を高めるための学びの場の確保や相談体制の充実、親と子のふれあいと交流の場づくりが求められていると考えられます。

### (3) 地域での教育について

地域の教育力（地域社会の中で子どもたちが大人や異なる年齢の友人たちとの交流を通じた様々な体験などができる教育機能のこと）に対する評価としては、機能している（「機能している」と「ある程度は機能している」の合計）を回答した人は、機能していない（「あまり機能していない」と「機能していない」の合計）を回答した人を大きく下回っています。本市において、地域の教育力の向上が喫緊の課題であることがうかがえます。

このような地域の教育力を高めるために必要な取組みとして、「子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツをしたりできる機会をつくる」や「治安を良くし、子どもが自由に遊べるようにする」「地域の大人が、地域の子どもの関心を持ち、ほめたり、注意したりする」などが上位に挙げられています。

地域の学校に対して協力してみたいと思うこととして、「通学路における登下校時の見守り活動」「自分が持つ知識・技能を教える」などが挙げられています。一方、「協力したいことはない」と回答した人が最も高くなっています。

これらの点から、異なる年齢の子どもや異なる世代の地域の人々とのかかわりの中で、様々な体験・経験の機会を提供するとともに、子どもの安全を確保しつつ、地域の大人などの力を集結して子どもを育てる環境を整備することが求められていると考えられます。

### (4) 生涯学習・文化などの活動について

生涯学習・文化などの活動に対する今後の活動意向で最も高いものは「趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道、陶芸など）」となっており、「パソコン・インターネットに関すること」「職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）」がつづいています。また、この1年間の生涯学習・文化などの活動で最も参加割合が高かった活動についても、「職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）」が最も多くなっていますが、今後の活動意向に比べて低い状況です。このことから、本市において、生涯学習・文化などの活動についてのニーズはあるものの、実際の活動につながっていない実態があります。

一方、本市の生涯学習・文化などの活動における取組みの評価としては、「図書館のサービスが充実している」が最も多く、「健康づくりを楽しむ機会が充実している」、「公民館活動が充実している」がつづいています。

リカレント教育や社会人の学び直しについては、「環境が整備されれば学習してみたい」と回答した人が最も高くなっています。

また、本市の生涯学習・文化などの活動をより充実させていくために必要な取組みとして、「コンサートや演劇などの機会の充実」が最も多く、「文化・芸術を気軽に学べる教室の開催」「文化・芸術施設や設備の充実」がつづいています。

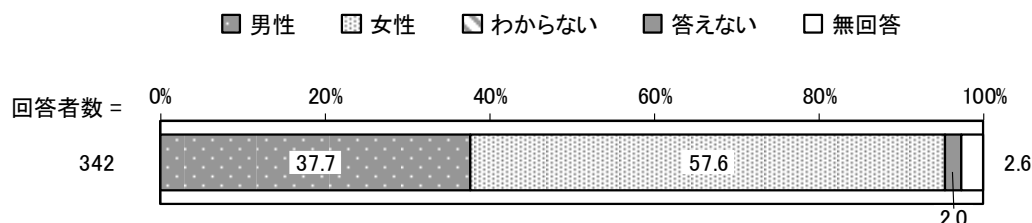
これらの点から、参加への意欲を実際の活動につなげていくためのきっかけづくりや、気軽に参加できる機会づくりや施設等の環境整備が求められていると考えられます。

### Ⅲ 調査結果

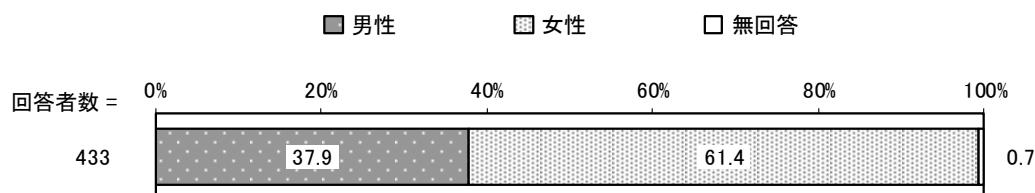
#### (1) 回答者属性

問1 性別 あなたの性別について、当てはまる番号1つに○印をつけてください。

「女性」の割合が57.6%と最も高く、次いで「男性」の割合が37.7%となっています。

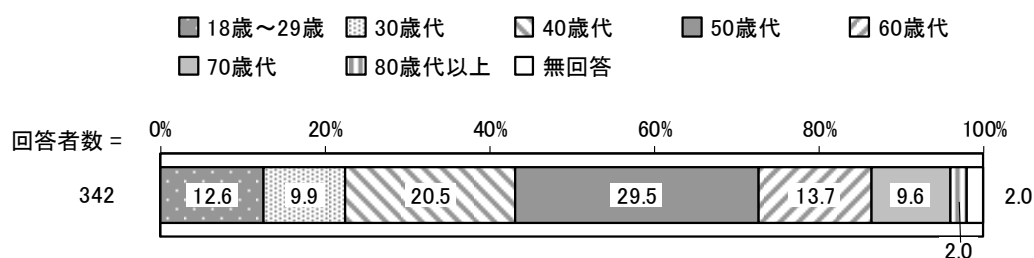


【平成30年度調査】(参考掲載)

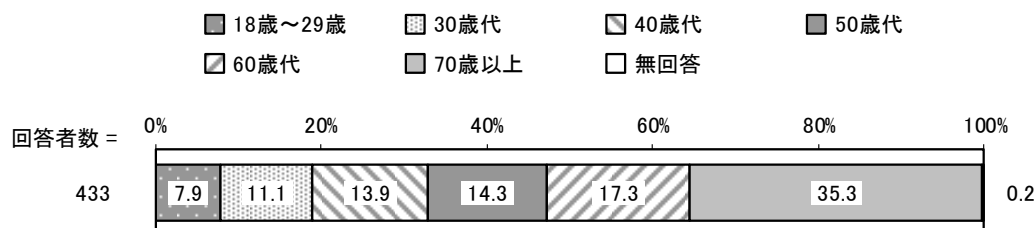


問2 年齢 あなたの年齢について、当てはまる番号1つに○印をつけてください。

「50歳代」の割合が29.5%と最も高く、次いで「40歳代」の割合が20.5%、「60歳代」の割合が13.7%となっています。



【平成30年度調査】(参考掲載)

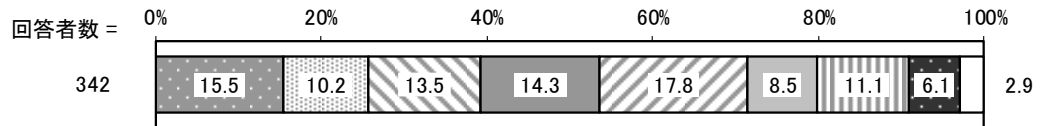




**問3 住んでいる校区（中学校区） あなたのお住まいは、どの中学校区ですか。**  
 （当てはまる番号1つに○印）

「松原第五中学校区（天美小、天美西小）」の割合が17.8%と最も高く、次いで「松原中学校区（松原小、松原西小、河合小）」の割合が15.5%、「松原第四中学校区（松原北小、三宅小、恵我小（別所1丁目、別所3～9丁目）」の割合が14.3%となっています。

- 松原中学校区(松原小、松原西小、河合小)
- 松原第二中学校区(天美南小、天美北小)
- 松原第三中学校区(布忍小、中央小)
- 松原第四中学校区(松原北小、三宅小、恵我小(別所1丁目、別所3～9丁目))
- 松原第五中学校区(天美小、天美西小)
- 松原第六中学校区(松原南小、松原東小)
- 松原第七中学校区(恵我南小、恵我小(上記4以外の地区))
- 校区がわからない
- 無回答

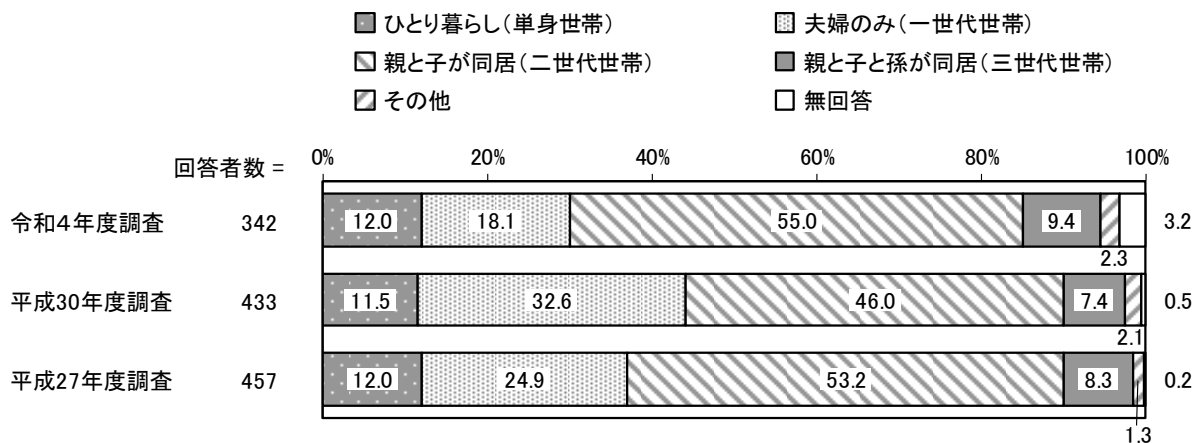


**問4 家族構成 あなたの世界帯（家族）の構成について、当てはまる番号1つに○印をつけてください。**

「親と子が同居（二世帯世帯）」の割合が55.0%と最も高く、次いで「夫婦のみ（一世帯世帯）」の割合が18.1%、「ひとり暮らし（単身世帯）」の割合が12.0%となっています。

**【経年比較】**

前回調査と比較すると、「親と子が同居（二世帯世帯）」の割合が増加しています。一方、「夫婦のみ（一世帯世帯）」の割合が減少しています。

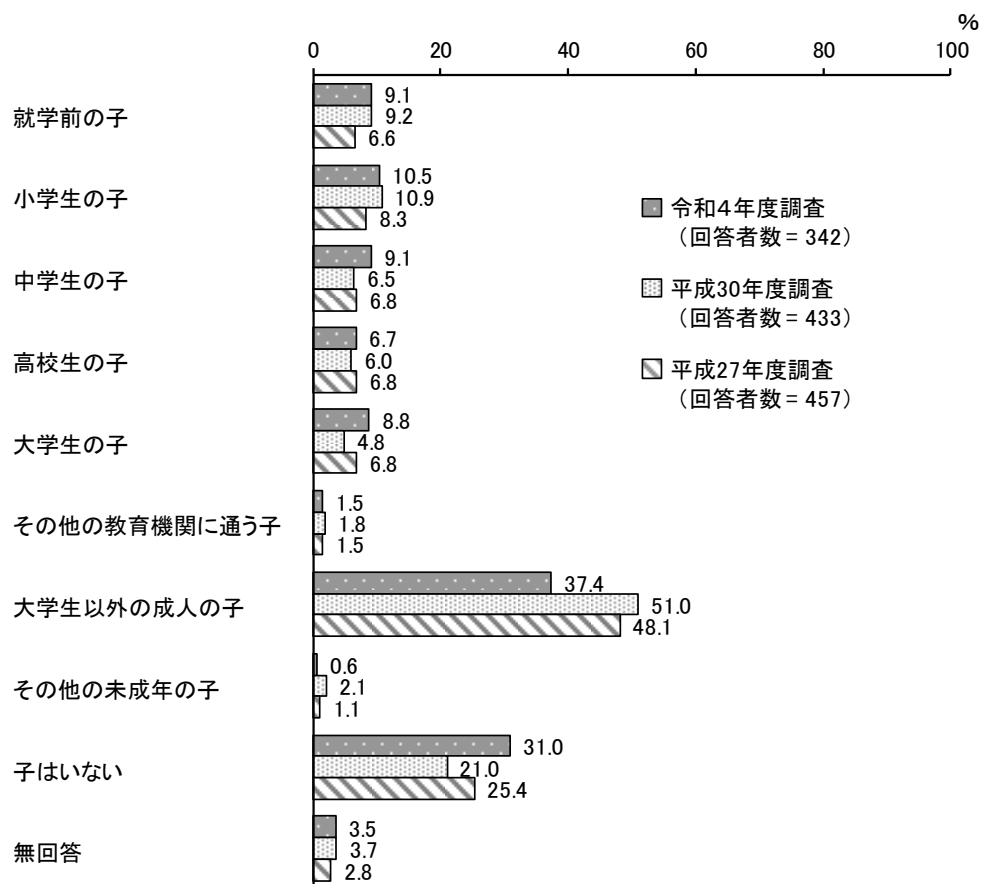


**問5 子どもの有無（自立・独立・別居されている場合も含みます）あなたのお子さんについて、当てはまる番号すべてに○印をつけてください。**

「大学生以外の成人の子」の割合が37.4%と最も高く、次いで「子はいない」の割合が31.0%、「小学生の子」の割合が10.5%となっています。

**【経年比較】**

前回調査と比較すると、「子はいない」の割合が増加しています。一方、「大学生以外の成人の子」の割合が減少しています。



## (2) 松原市の学校園教育（就学前教育や学校教育）について

問6 学校園教育における現在の取組みについて 松原市の就学前教育、学校教育における現在の取組みについて、あなたはどのように感じますか。各項目について、当てはまる番号1つに○印をつけてください。

『(5) 学校給食は、栄養バランスがとれ、食物アレルギーに配慮した安心・安全でおいしい給食が提供されている』『(9) 就学前・小学校・中学校において子どもの健康管理ができています』で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”（以下、“そう思う”という。）の割合が高く、『(4) 小学校・中学校の施設・設備が充実している』『(7) 就学前・小学校・中学校の教育を通して「体力」が育まれている』『(10) 学校園は地域に開かれ、地域ぐるみで子どもの教育が行われている』で「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」をあわせた“そう思わない”（以下、“そう思わない”という。）の割合が高くなっています。

■ そう思う  
 ■ どちらかといえばそう思う  
 ■ どちらかといえばそう思わない  
 ■ そう思わない  
 ■ わからない・知らない  
 □ 無回答

回答者数 = 342

(全般) 松原市の就学前教育・保育、学校教育は充実している

(1) 就学前における教育・保育の環境が充実している

(2) 小学校の教育内容や学校運営の取組みが充実している

(3) 中学校の教育内容や学校運営の取組みが充実している

(4) 小学校・中学校の施設・設備が充実している

(5) 学校給食は、栄養バランスがとれ、食物アレルギーに配慮した安心・安全でおいしい給食が提供されている

(6) 就学前・小学校・中学校の教育を通して「学ぶ力」が育まれている

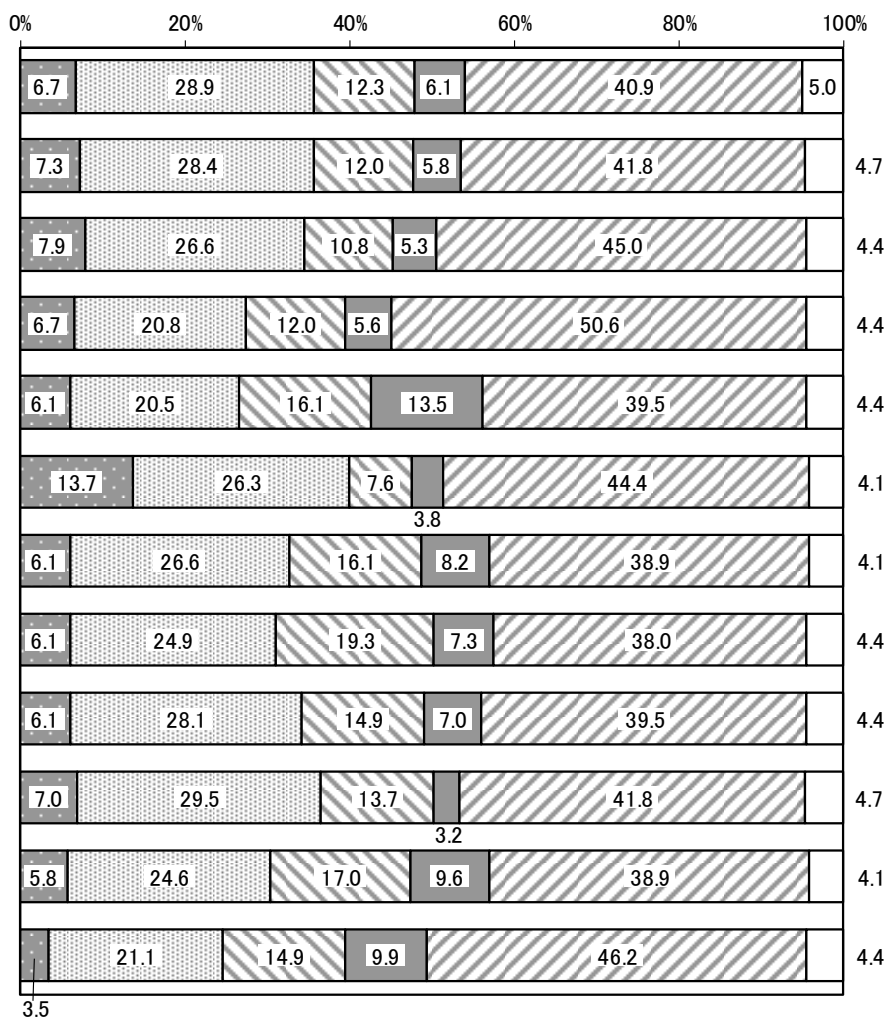
(7) 就学前・小学校・中学校の教育を通して「体力」が育まれている

(8) 就学前・小学校・中学校の教育を通して「豊かな心」が育まれている

(9) 就学前・小学校・中学校において子どもの健康管理ができています

(10) 学校園は地域に開かれ、地域ぐるみで子どもの教育が行われている

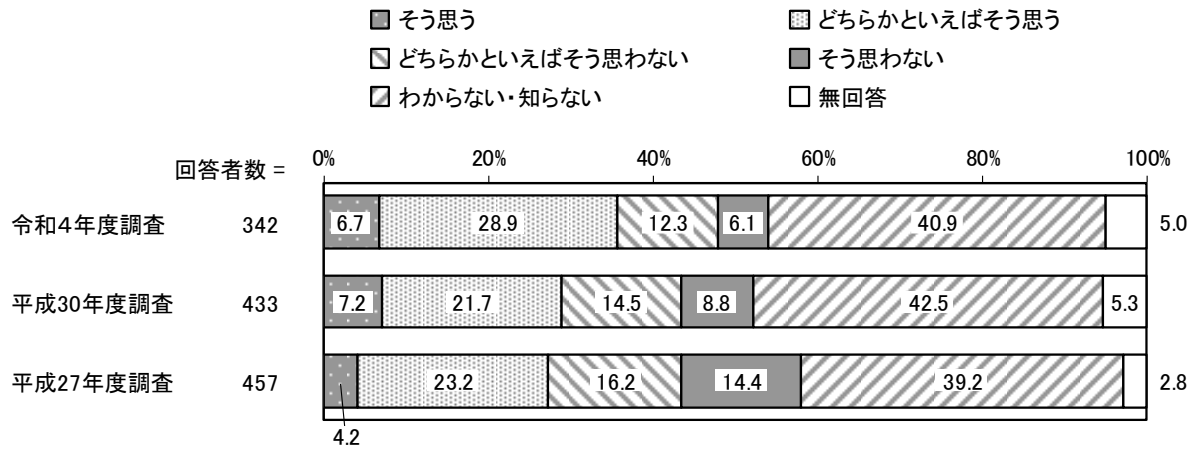
(11) 教育相談や子どもの心のケアが充実している



(全般)松原市の就学前教育・保育、学校教育は充実している

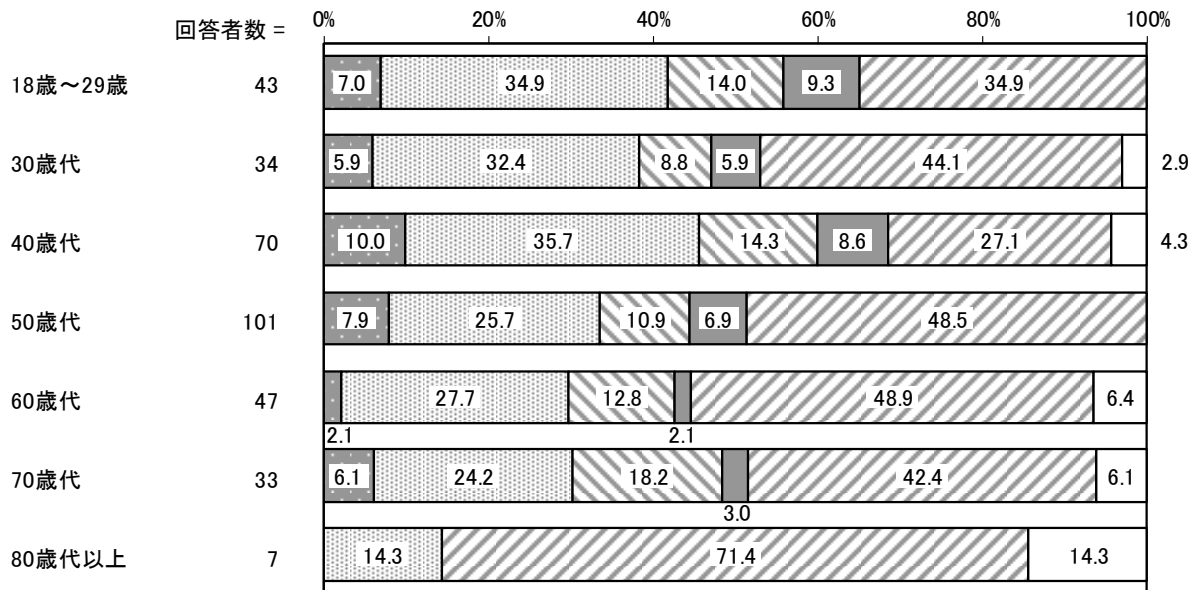
【経年比較】

前回調査と比較すると、“そう思う”の割合が増加しています。



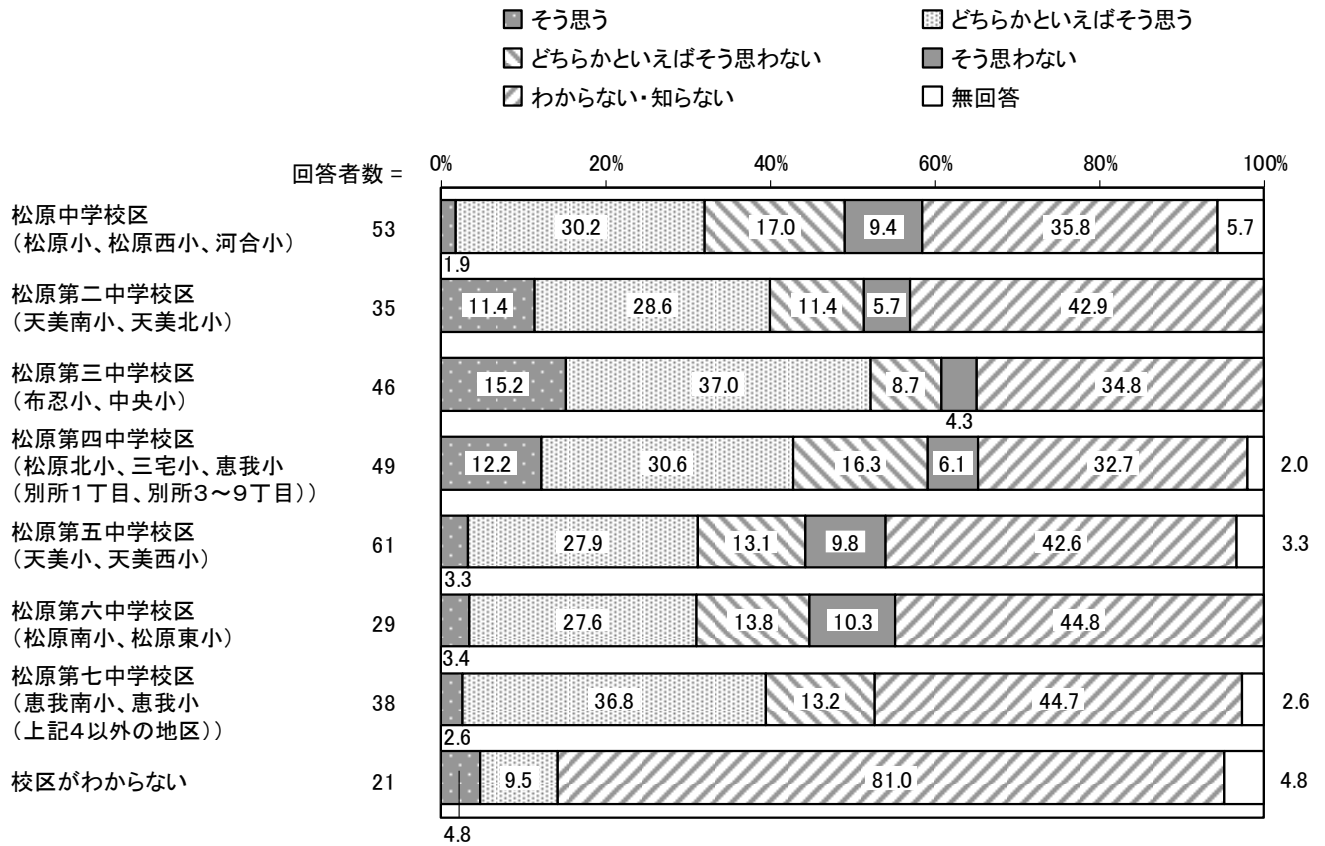
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、40歳代で“そう思う”の割合が高くなっています。



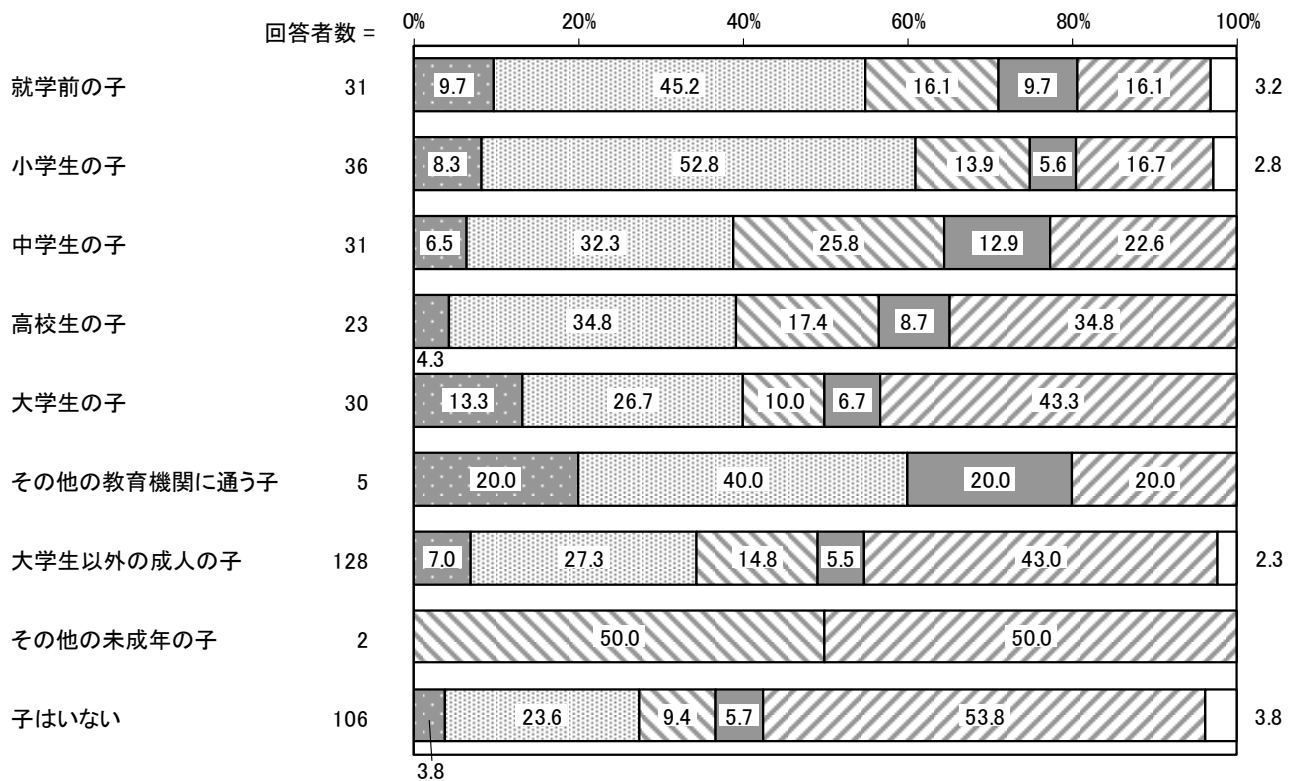
### 【校区別】

校区別でみると、他に比べ、松原第三中学校区（布忍小、中央小）で“そう思う”の割合が高くなっています。



### 【子どもの有無別】

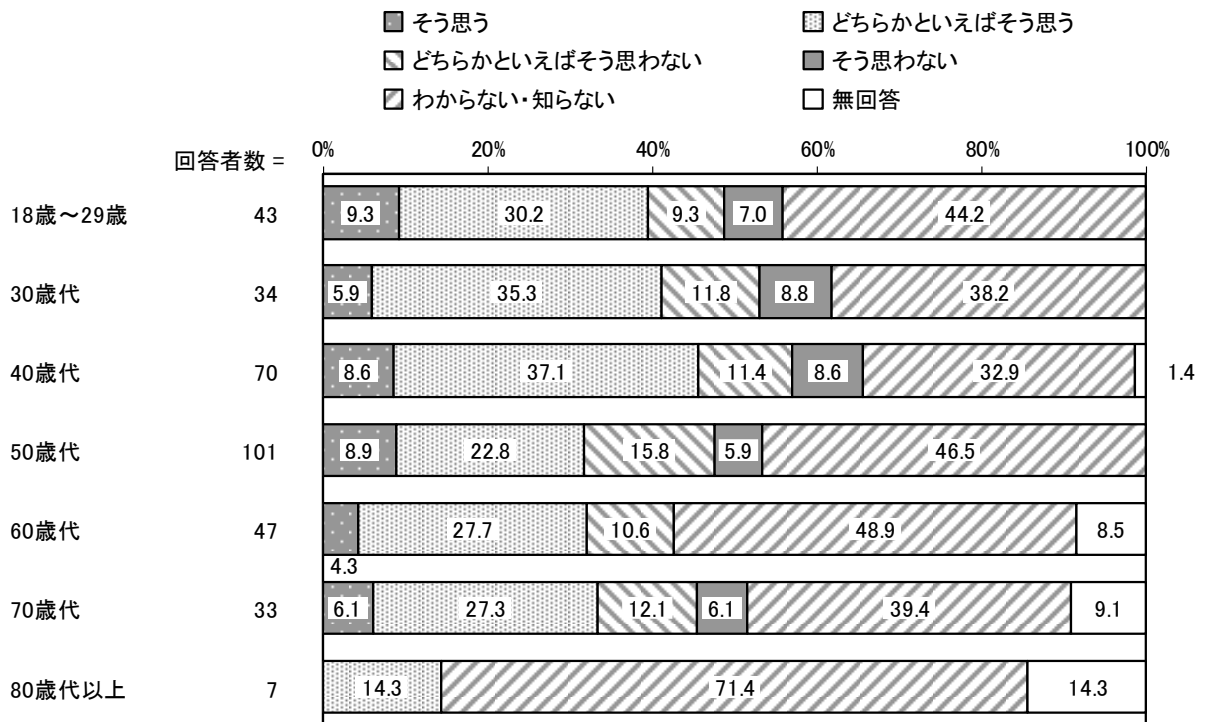
子どもの有無別でみると、他に比べ、小学生の子で“そう思う”の割合が、中学生の子で“そう思わない”の割合が高くなっています。



(1) 就学前における教育・保育の環境が充実している

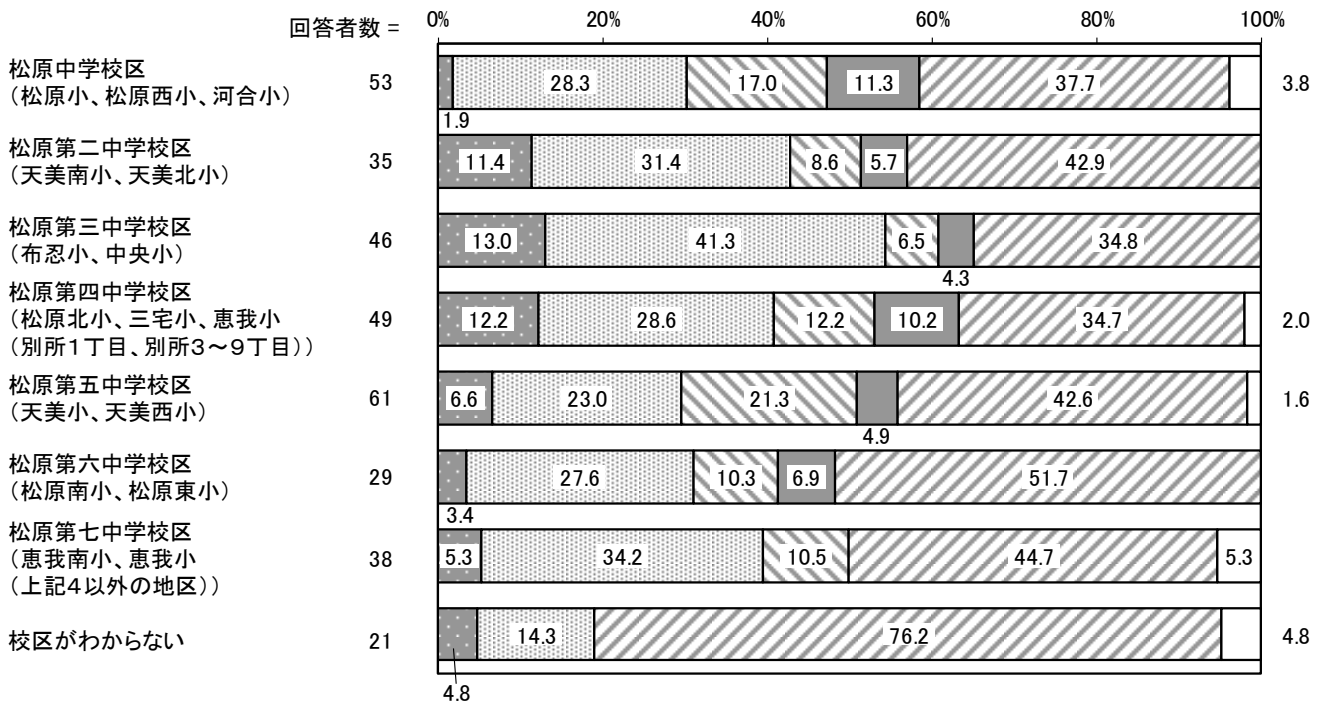
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、40歳代で“そう思う”の割合が高くなっています。



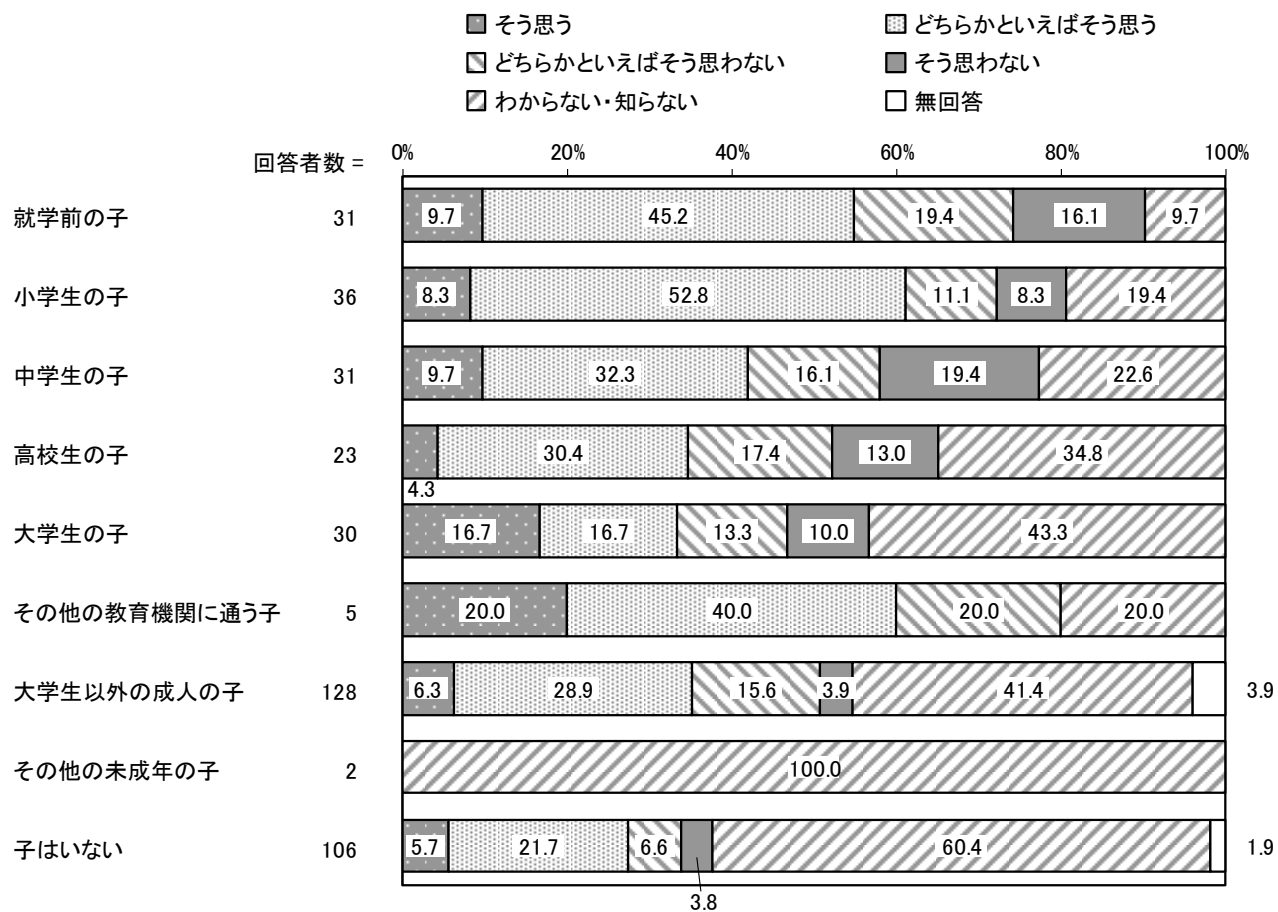
【校区別】

校区別でみると、他に比べ、松原第三中学校区（布忍小、中央小）で“そう思う”の割合が高くなっています。



## 【子どもの有無別】

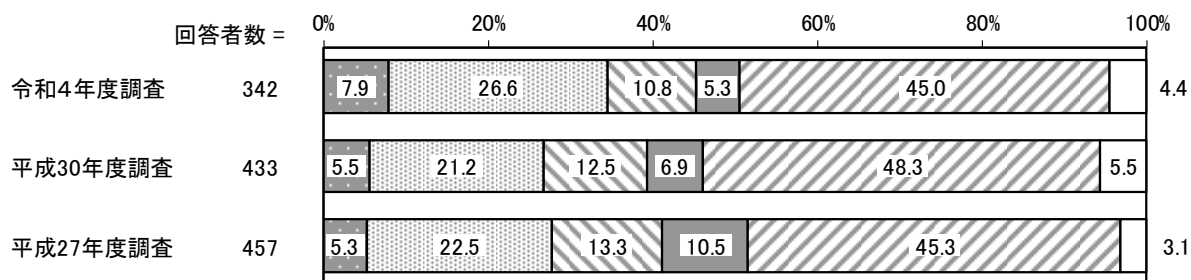
子どもの有無別で見ると、他に比べ、小学生の子で“そう思う”の割合が高くなっています。



## (2) 小学校の教育内容や学校運営の取組みが充実している

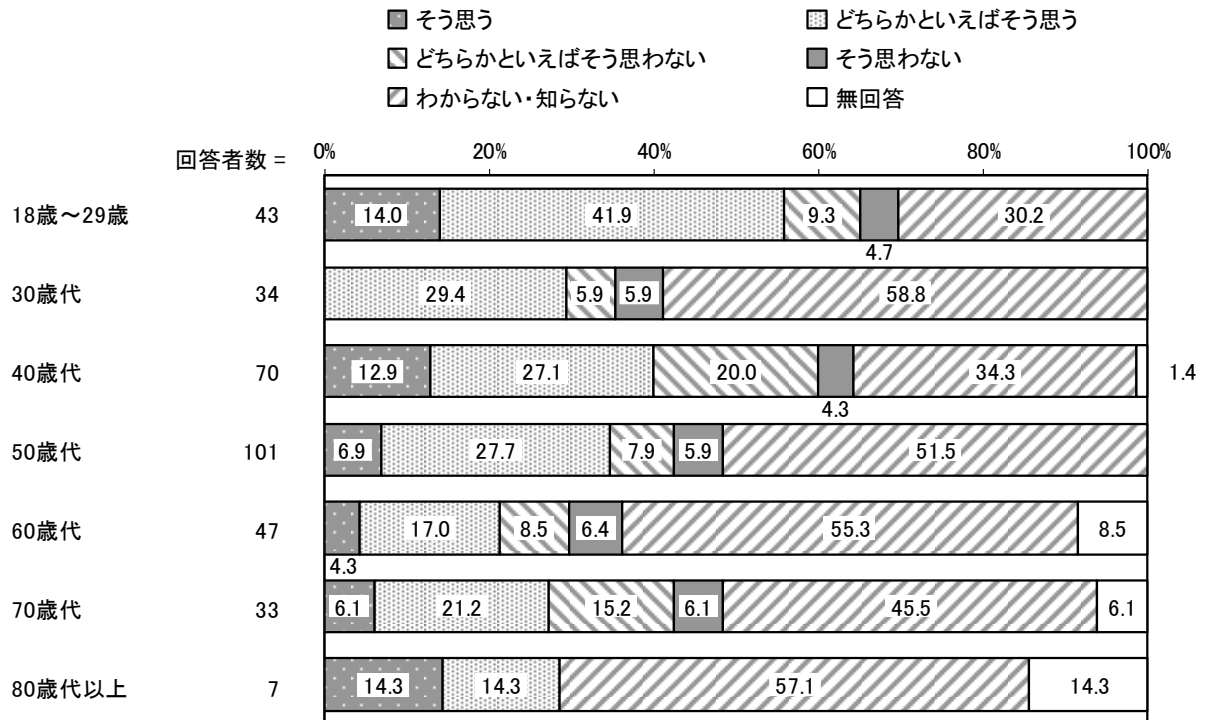
### 【経年比較】

前回調査と比較すると、“そう思う”の割合が増加しています。



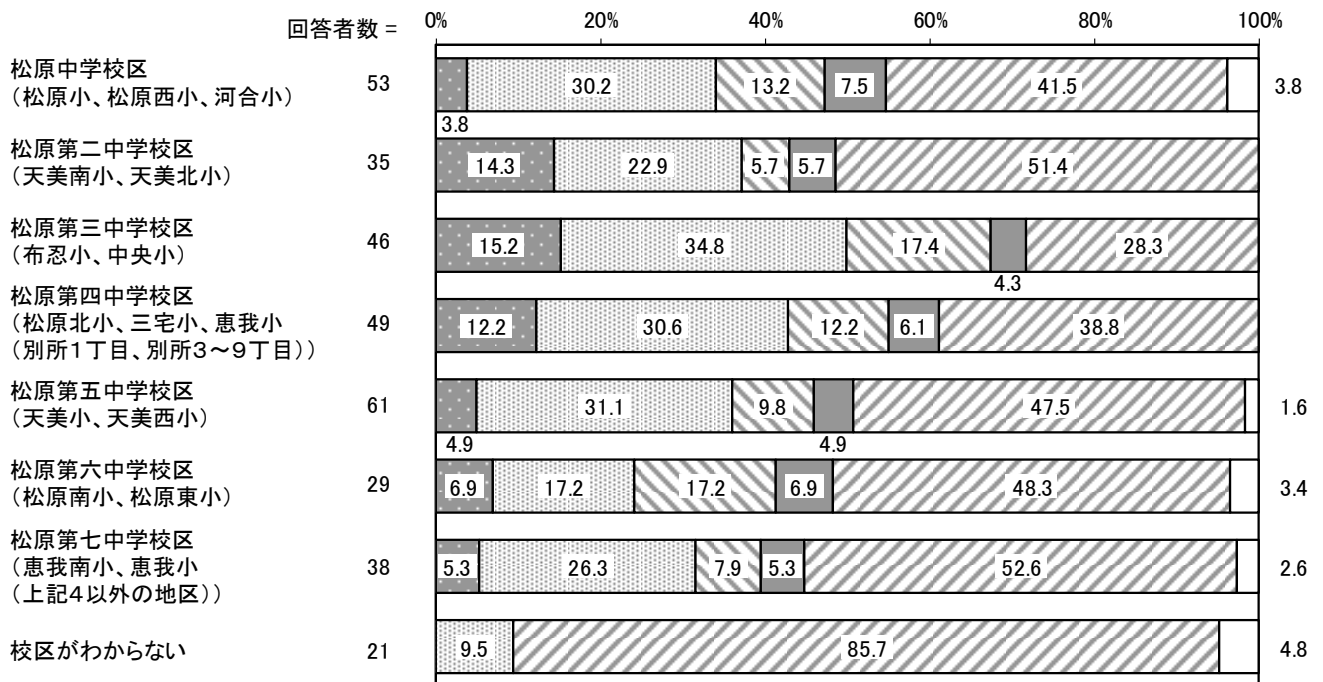
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で“そう思う”の割合が高くなっています。



【校区別】

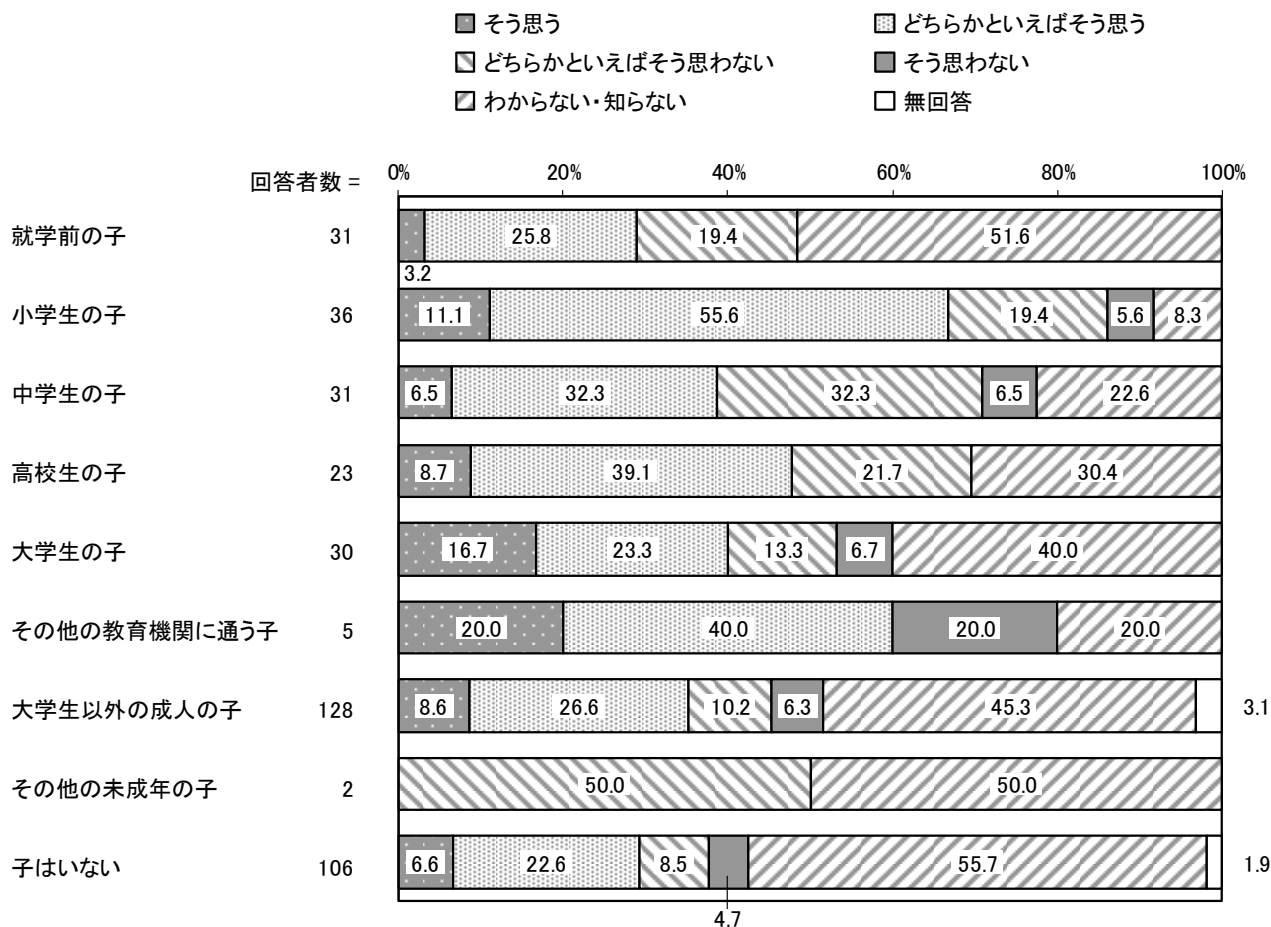
校区別でみると、他に比べ、松原第三中学校区（布忍小、中央小）で“そう思う”の割合が高くなっています。





### 【子どもの有無別】

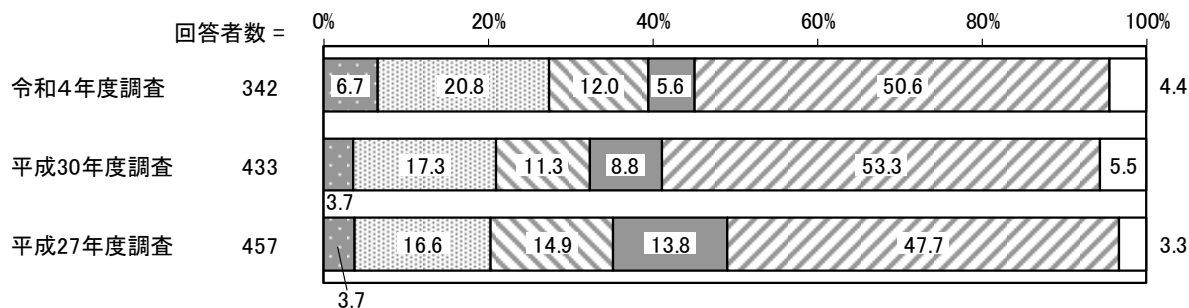
子どもの有無別でみると、他に比べ、小学生の子で“そう思う”の割合が、中学生の子で“そう思わない”の割合が高くなっています。



### (3) 中学校の教育内容や学校運営の取組みが充実している

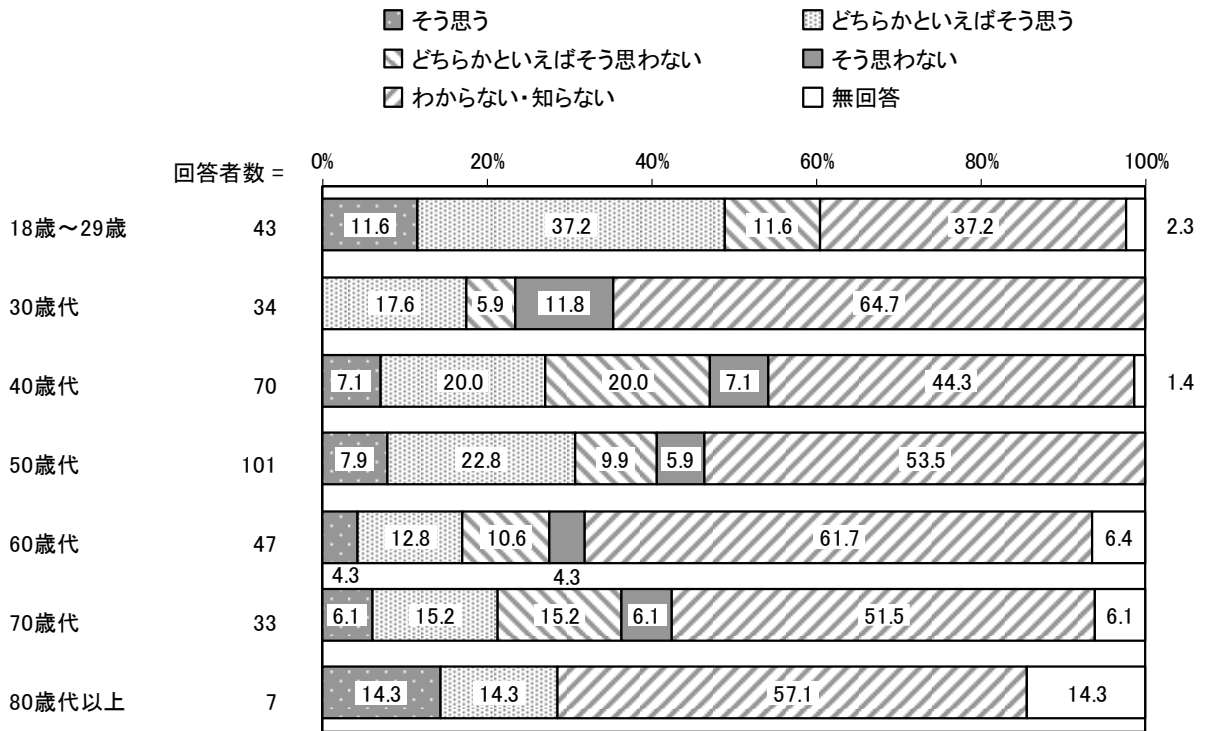
#### 【経年比較】

前回調査と比較すると、“そう思う”の割合が増加しています。



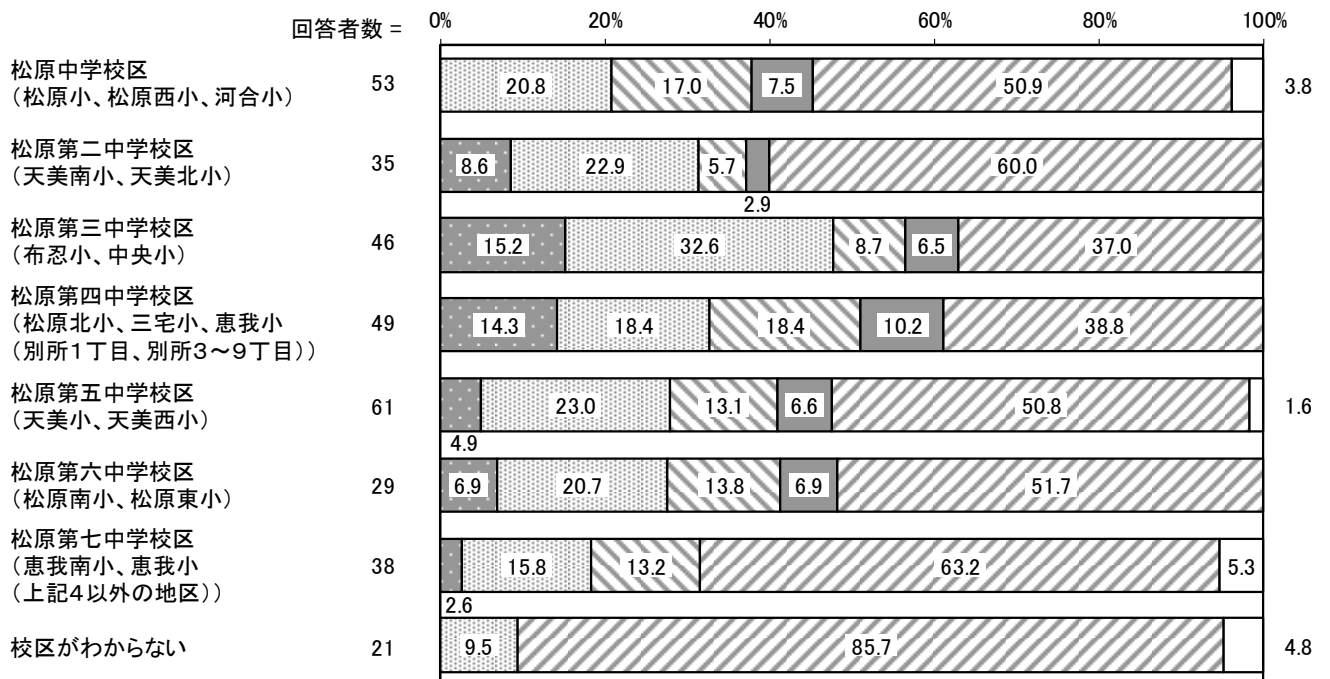
### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で“そう思う”の割合が、40歳代で“そう思わない”の割合が高くなっています。



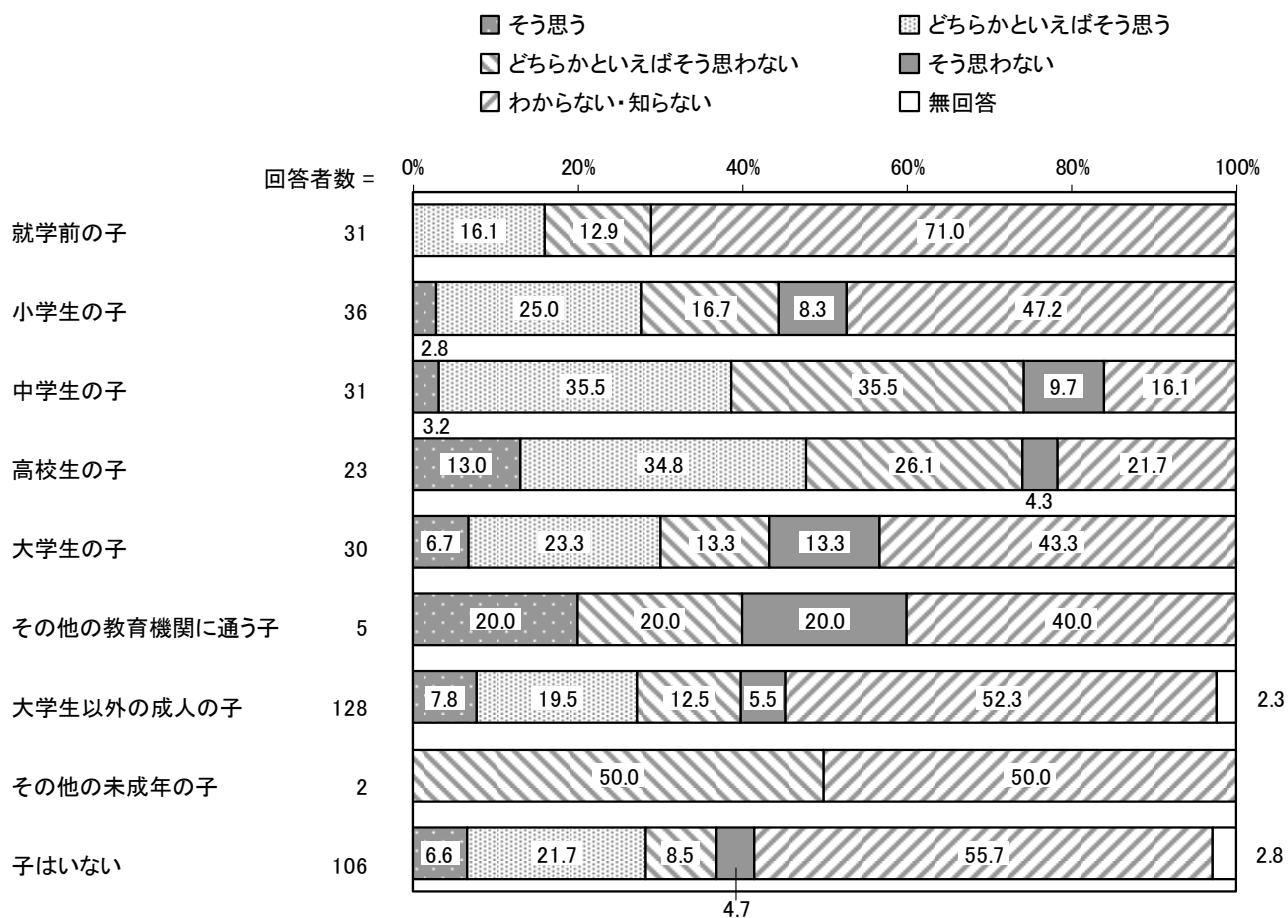
### 【校区别】

校区别でみると、他に比べ、松原第三中学校区（布忍小、中央小）で“そう思う”の割合が高くなっています。



### 【子どもの有無別】

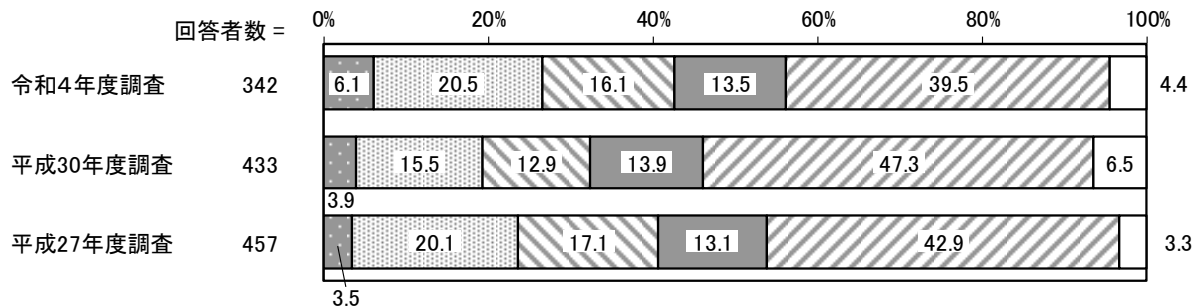
子どもの有無別でみると、他に比べ、高校生の子で“そう思う”の割合が、中学生の子で“そう思わない”の割合が高くなっています。



### (4) 小学校・中学校の施設・設備が充実している

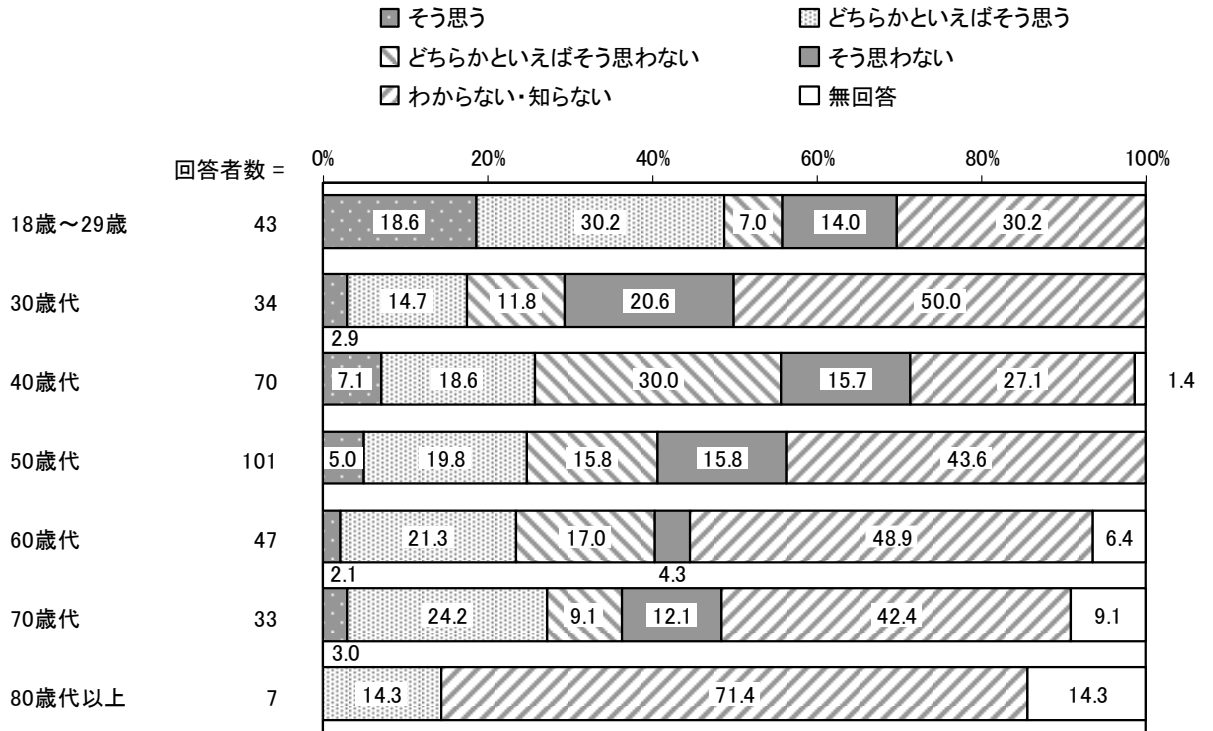
#### 【経年比較】

前回調査と比較すると、“そう思う”の割合が増加しています。



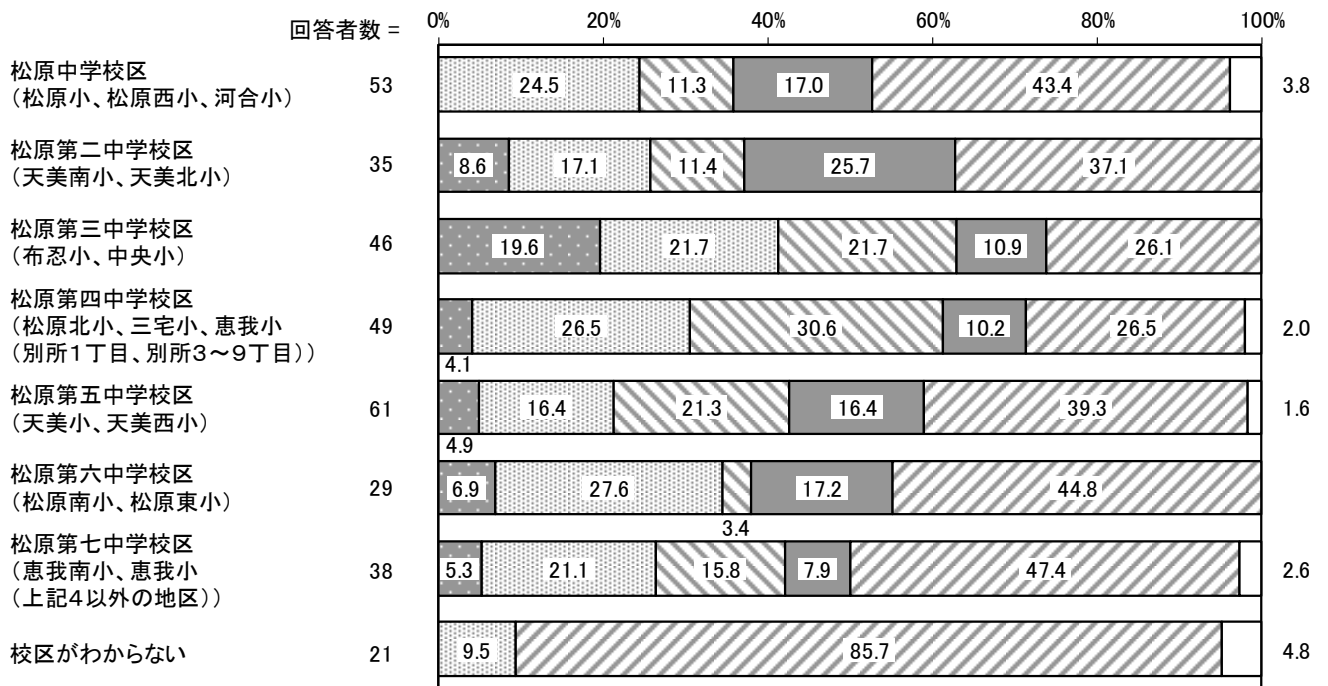
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で“そう思う”の割合が、40歳代で“そう思わない”の割合が高くなっています。



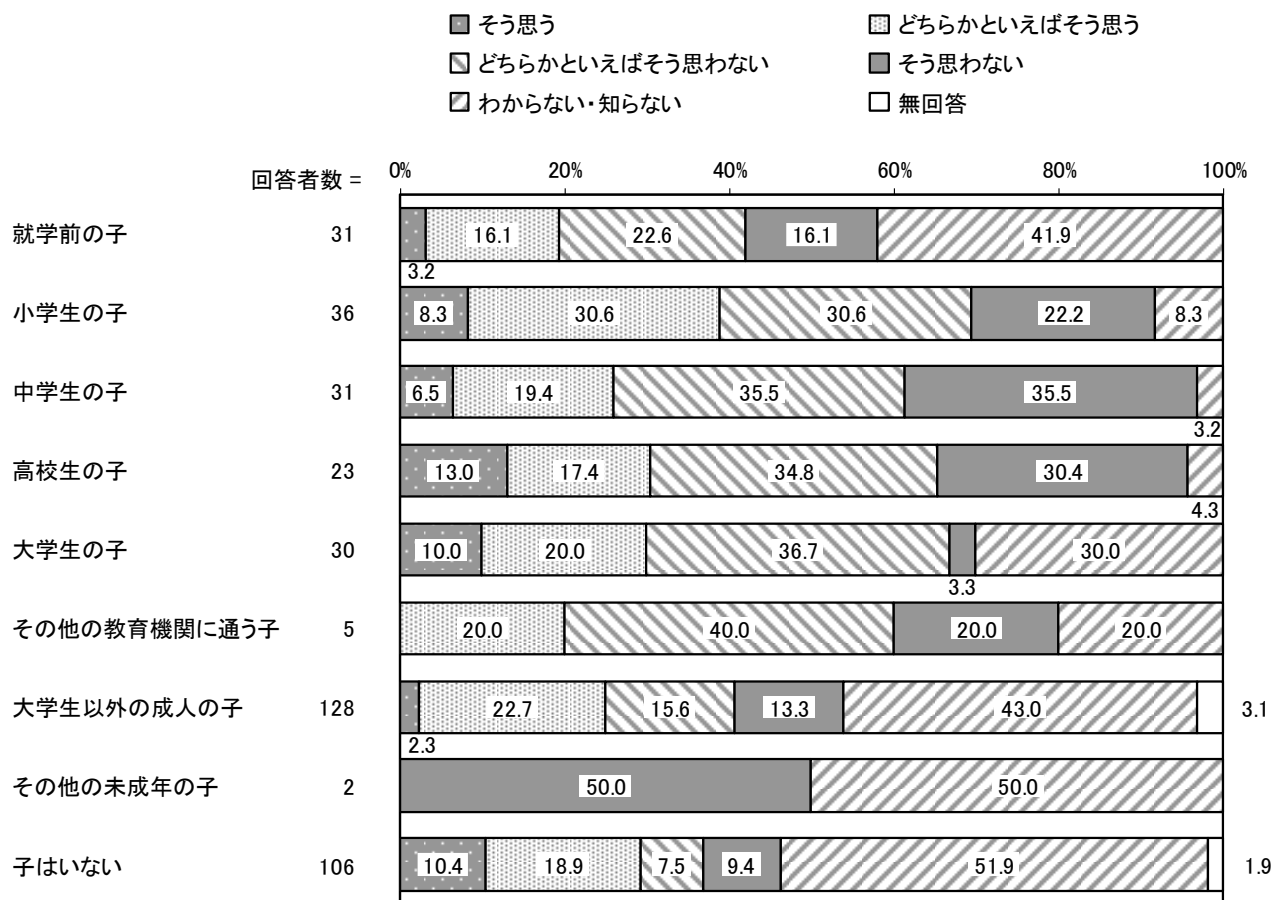
【校区別】

校区別でみると、他に比べ、松原第三中学校区（布忍小、中央小）で“そう思う”の割合が高くなっています。



### 【子どもの有無別】

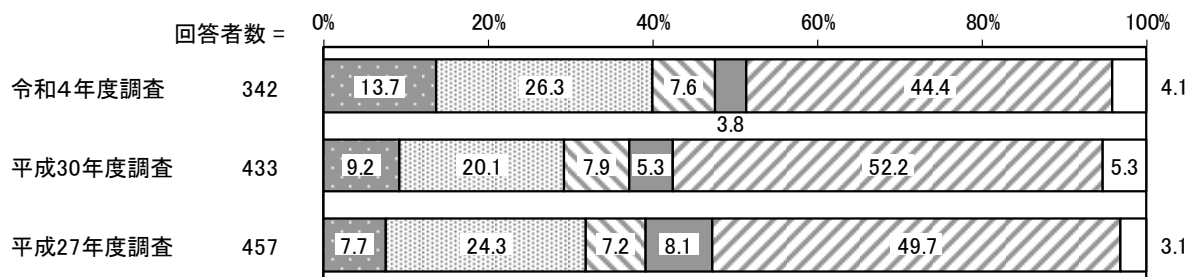
子どもの有無別でみると、他に比べ、小学生の子で“そう思う”の割合が、中学生の子で“そう思わない”の割合が高くなっています。



(5) 学校給食は、栄養バランスがとれ、食物アレルギーに配慮した安心・安全でおいしい給食が提供されている

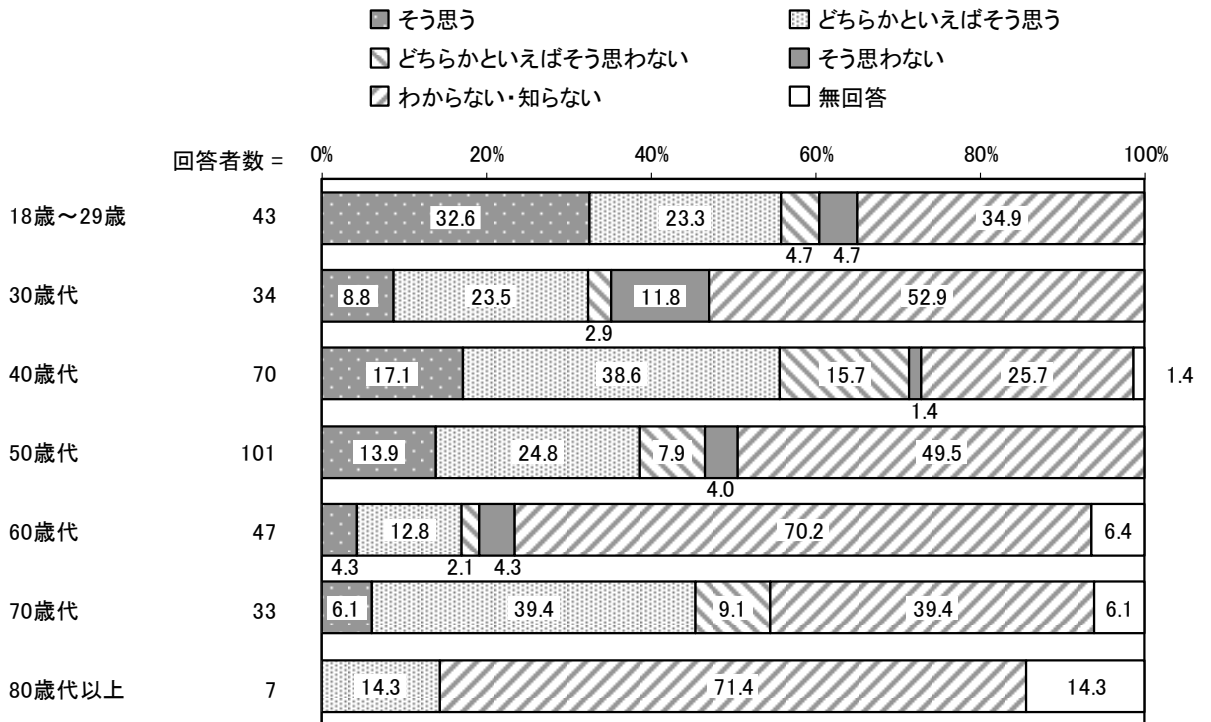
### 【経年比較】

前回調査と比較すると、“そう思う”の割合が増加しています。



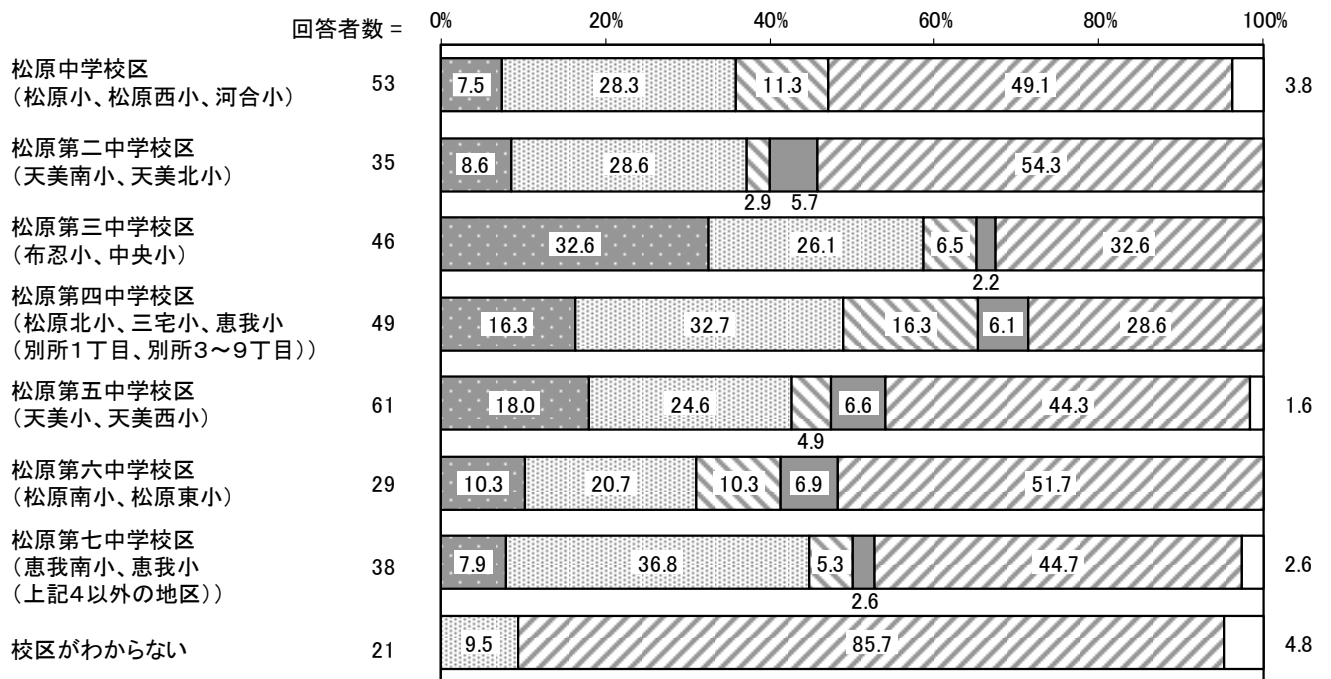
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳、40歳代で“そう思う”の割合が高くなっています。



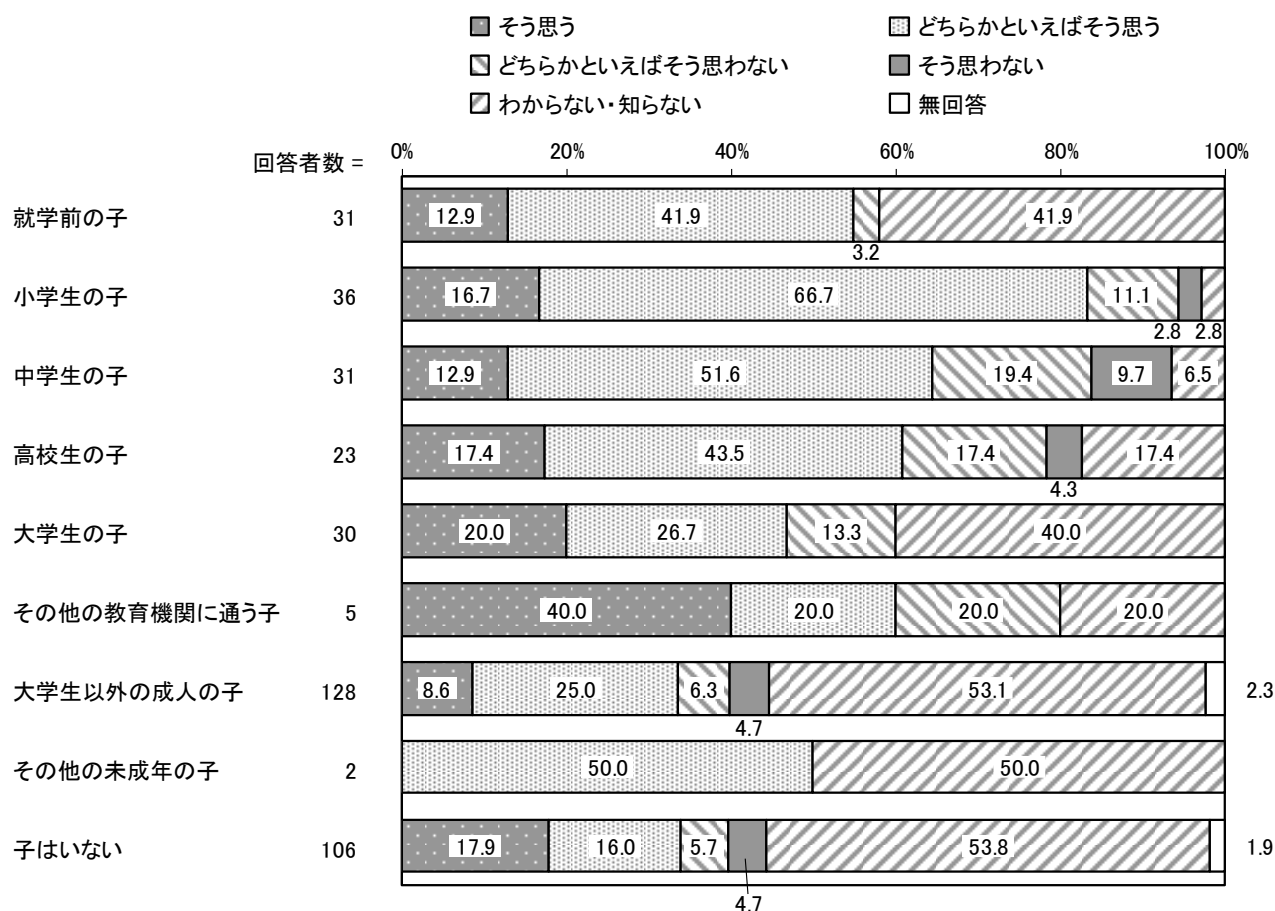
【校区別】

校区別でみると、他に比べ、松原第三中学校区（布忍小、中央小）で“そう思う”の割合が、松原第四中学校区（松原北小、三宅小、恵我小（別所1丁目、別所3～9丁目））で“そう思わない”の割合が高くなっています。



### 【子どもの有無別】

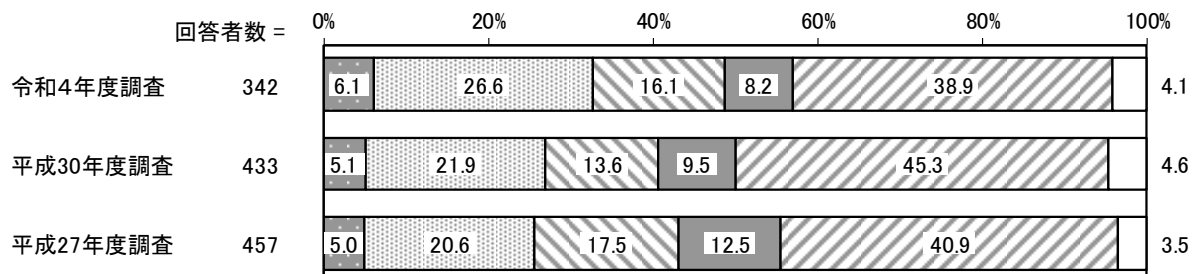
子どもの有無別でみると、他に比べ、小学生の子で“そう思う”の割合が、中学生の子で“そう思わない”の割合が高くなっています。



### (6) 就学前・小学校・中学校の教育を通して「学ぶ力」が育まれている

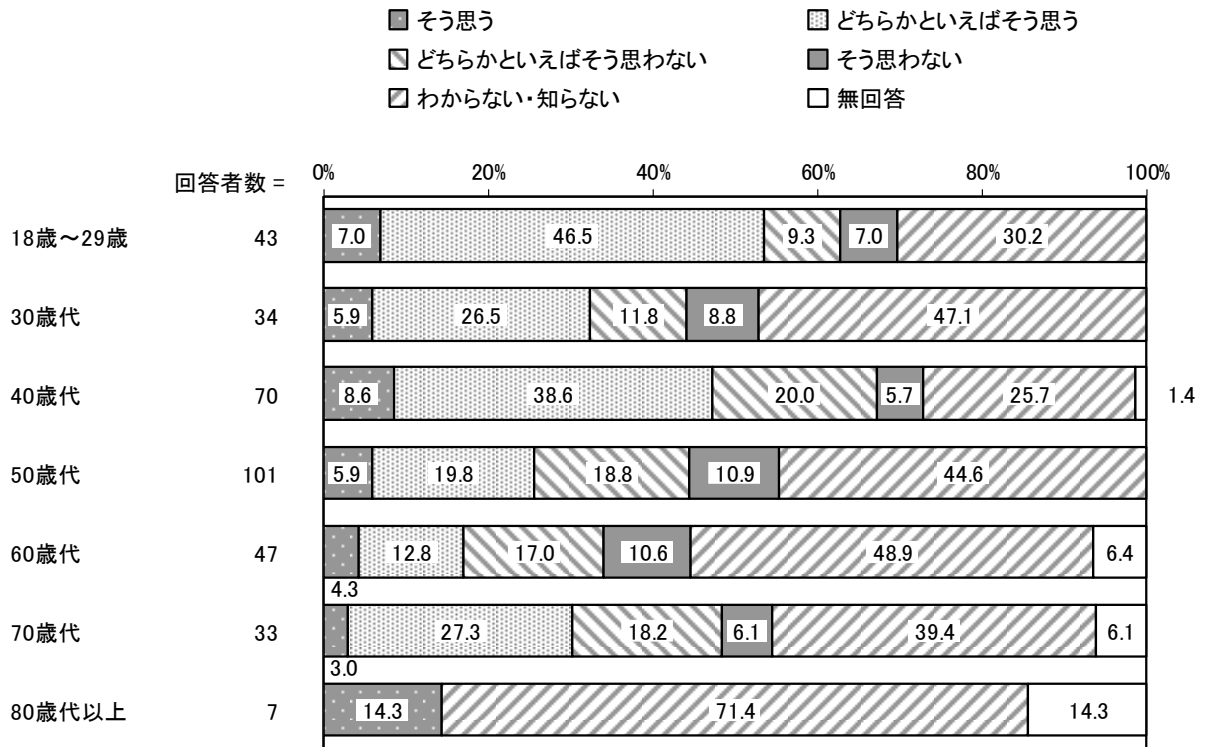
#### 【経年比較】

前回調査と比較すると、“そう思う”の割合が増加しています。



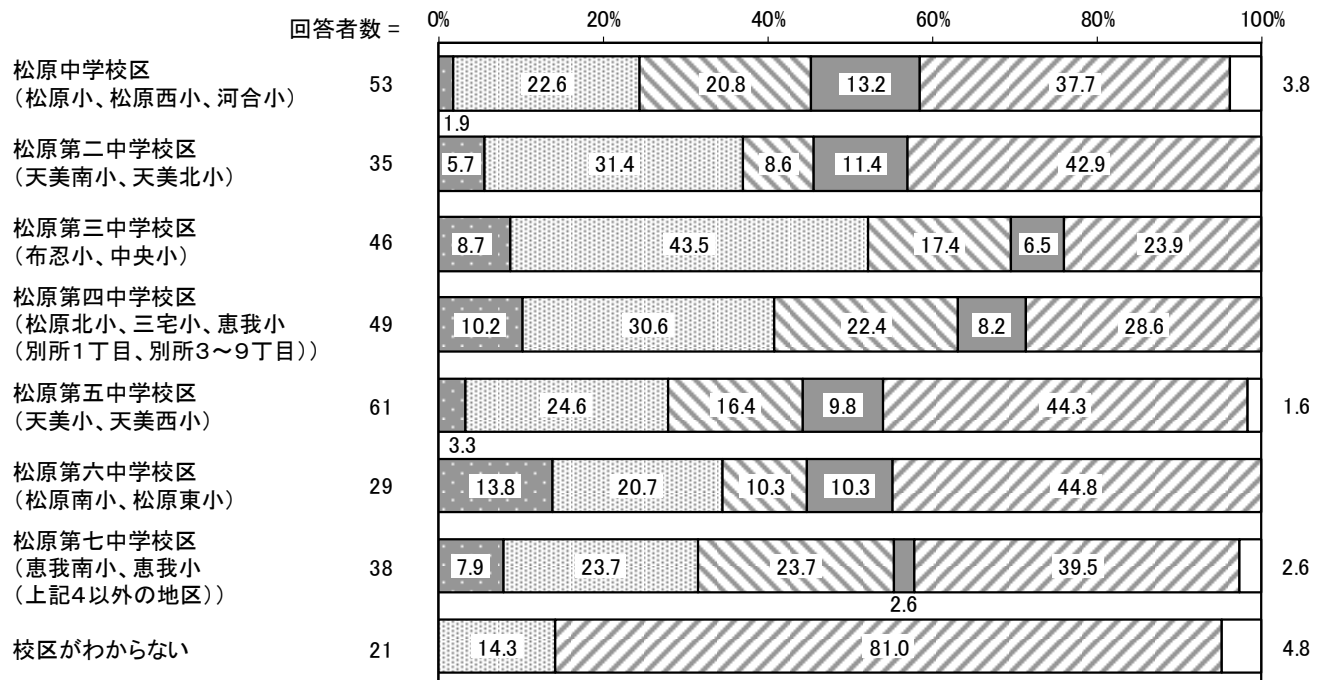
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で“そう思う”の割合が高くなっています。



【校区別】

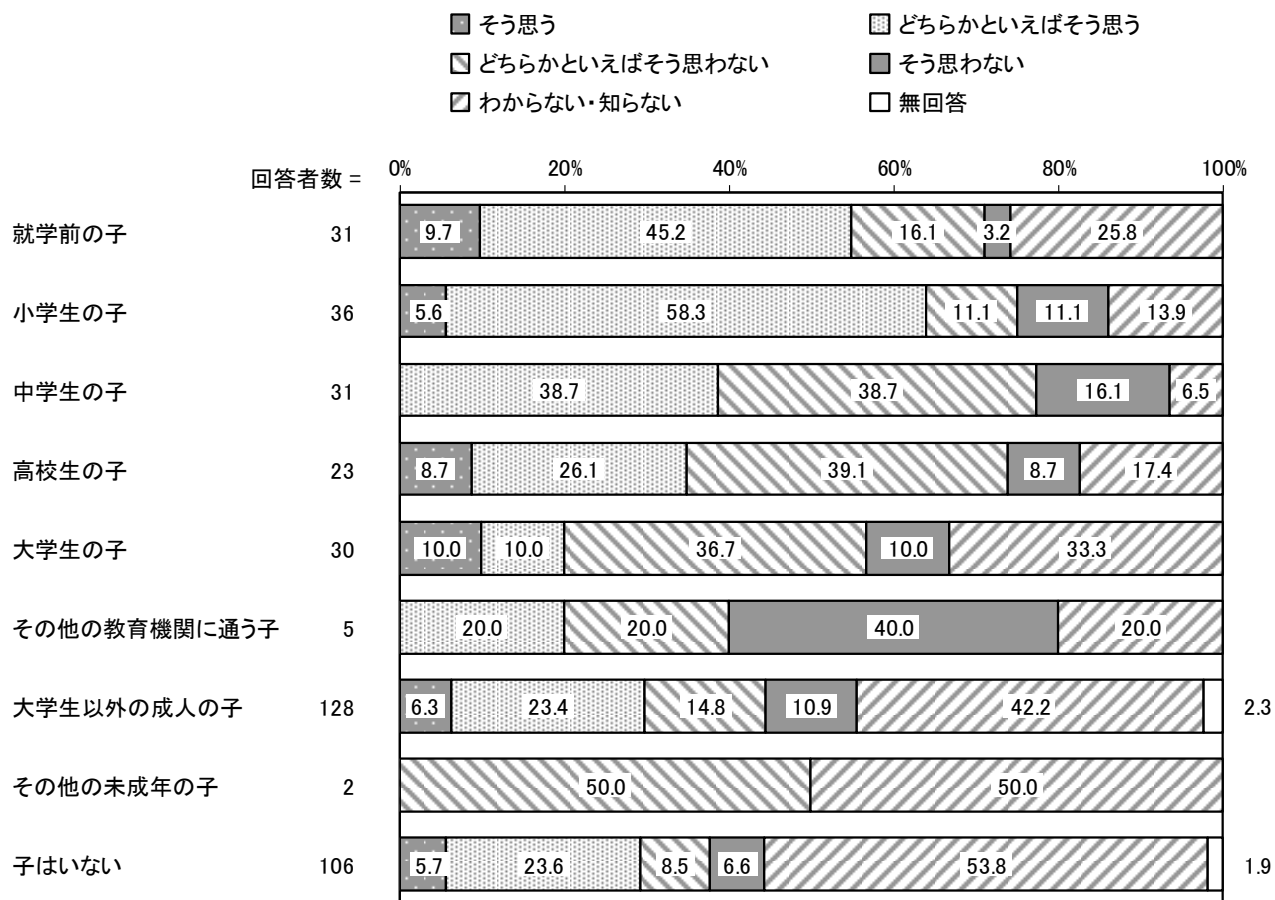
校区別でみると、他に比べ、松原第三中学校区（布忍小、中央小）で“そう思う”の割合が、松原中学校区（松原小、松原西小、河合小）で“そう思わない”の割合が高くなっています。





### 【子どもの有無別】

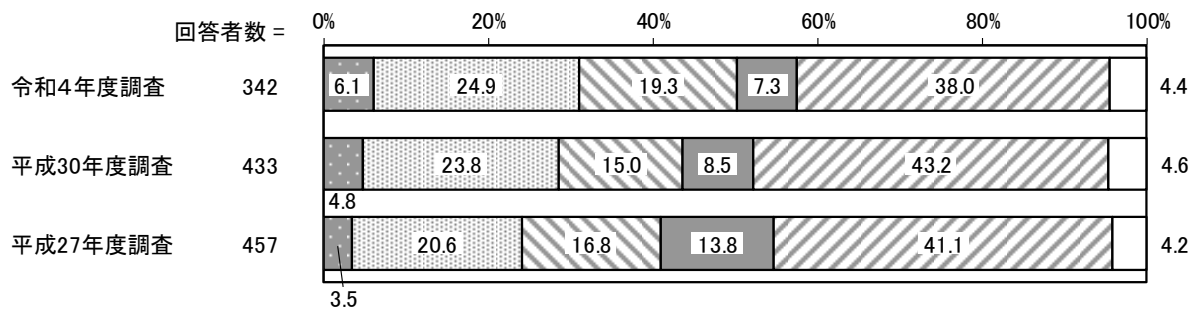
子どもの有無別でみると、他に比べ、小学生の子で“そう思う”の割合が、中学生の子で“そう思わない”の割合が高くなっています。



### (7) 就学前・小学校・中学校の教育を通して「体力」が育まれている

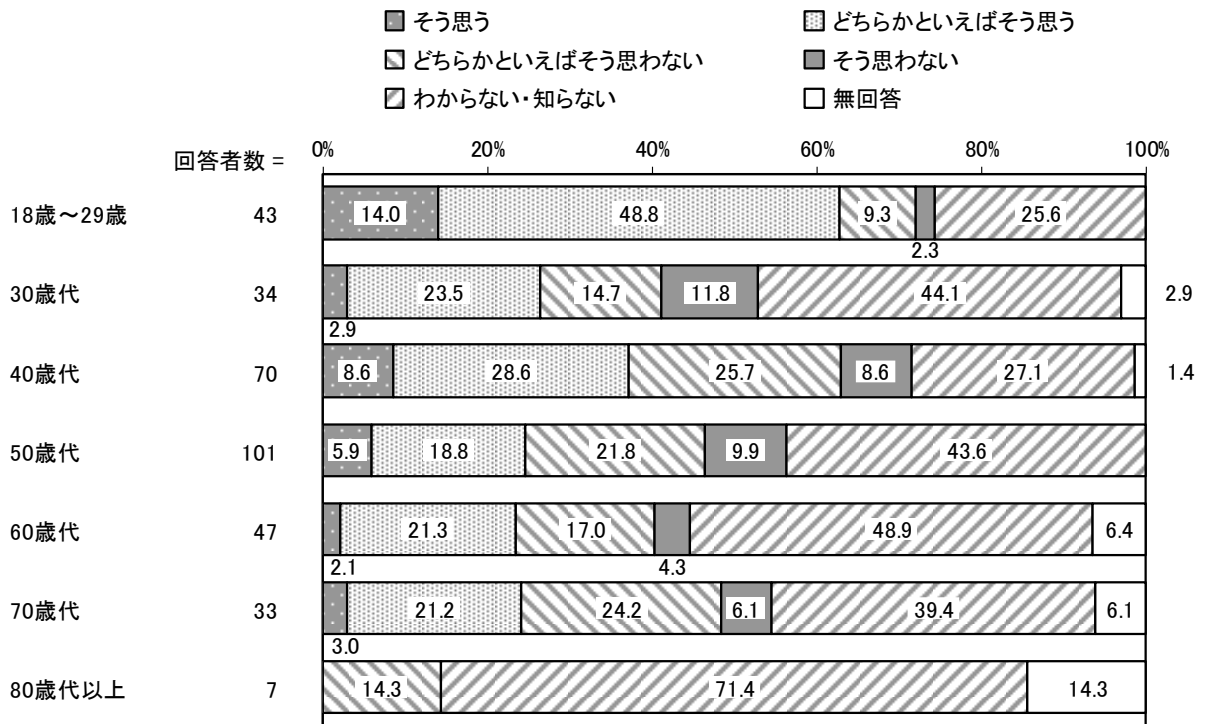
#### 【経年比較】

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



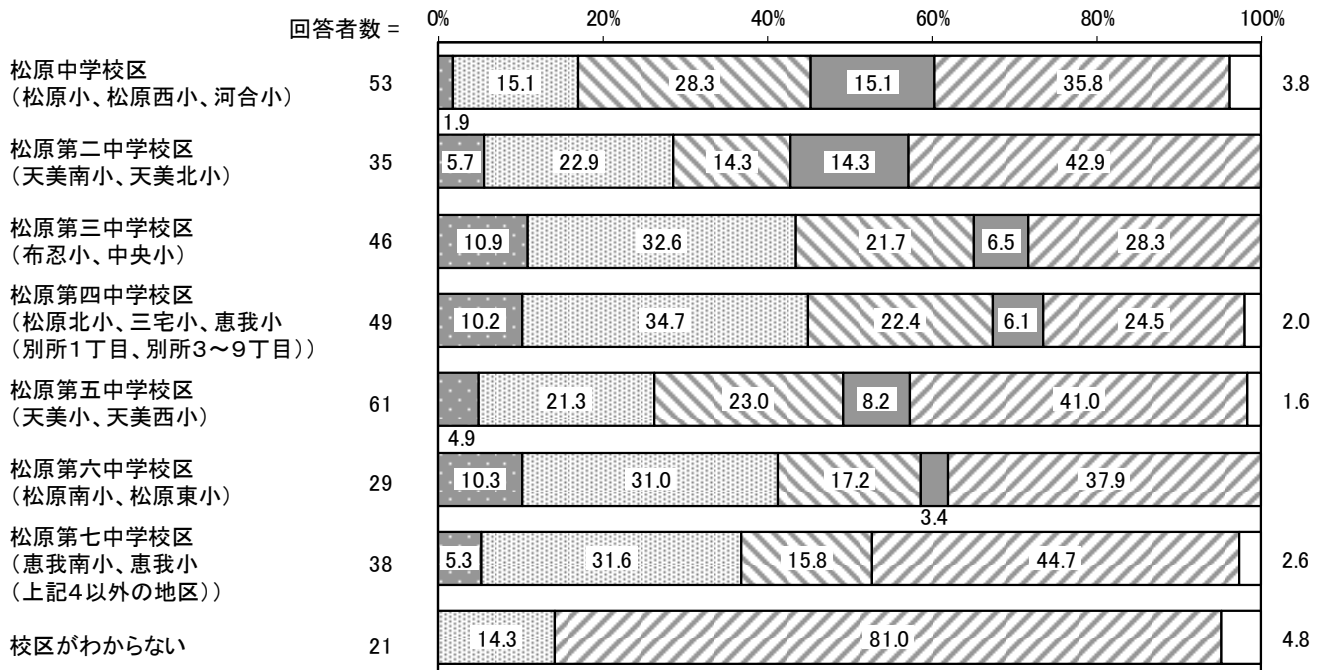
### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で“そう思う”の割合が高くなっています。



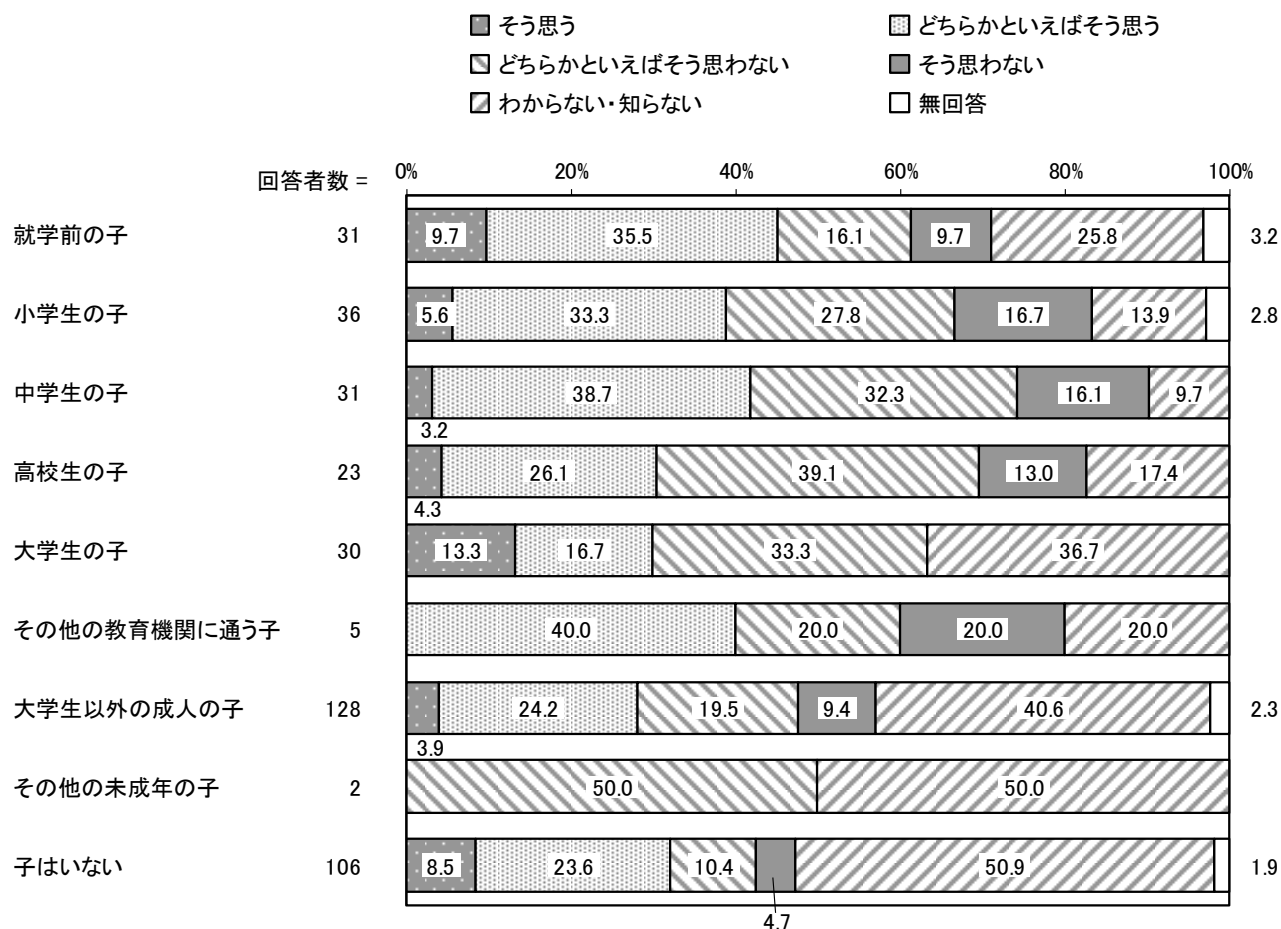
### 【校区別】

校区別でみると、他に比べ、松原中学校区（松原小、松原西小、河合小）で“そう思わない”の割合が高くなっています。



### 【子どもの有無別】

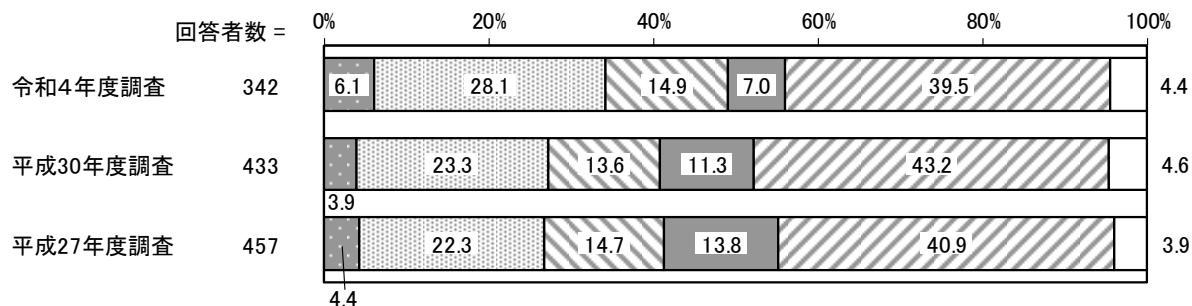
子どもの有無別でみると、他に比べ、高校生の子で“そう思わない”の割合が高くなっています。



### (8) 就学前・小学校・中学校の教育を通して「豊かな心」が育まれている

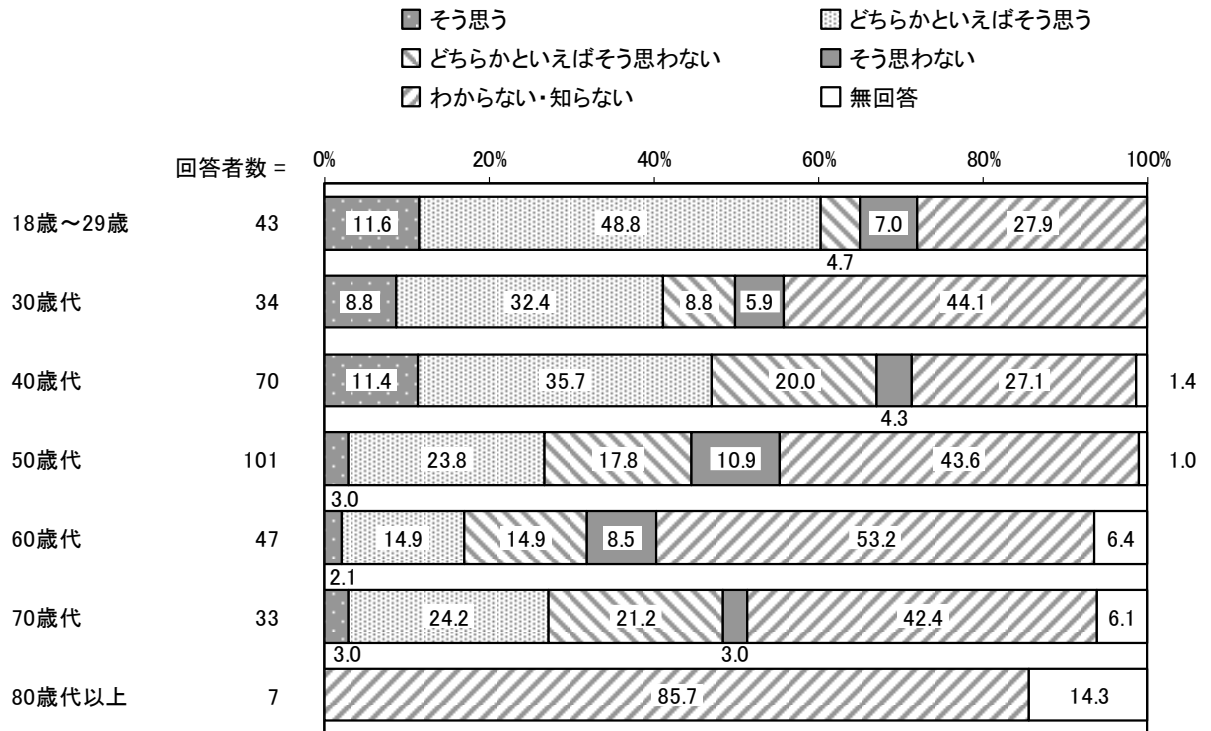
#### 【経年比較】

前回調査と比較すると、“そう思う”の割合が増加しています。



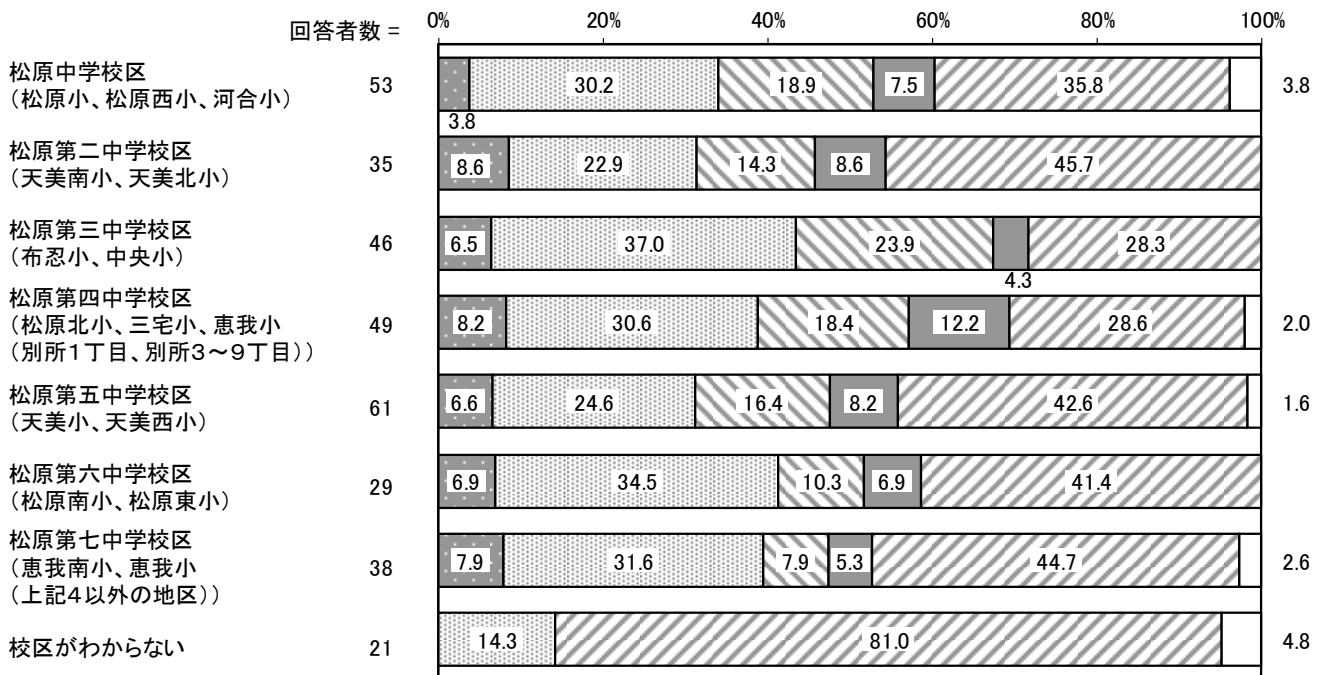
**【年齢別】**

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で“そう思う”の割合が高くなっています。



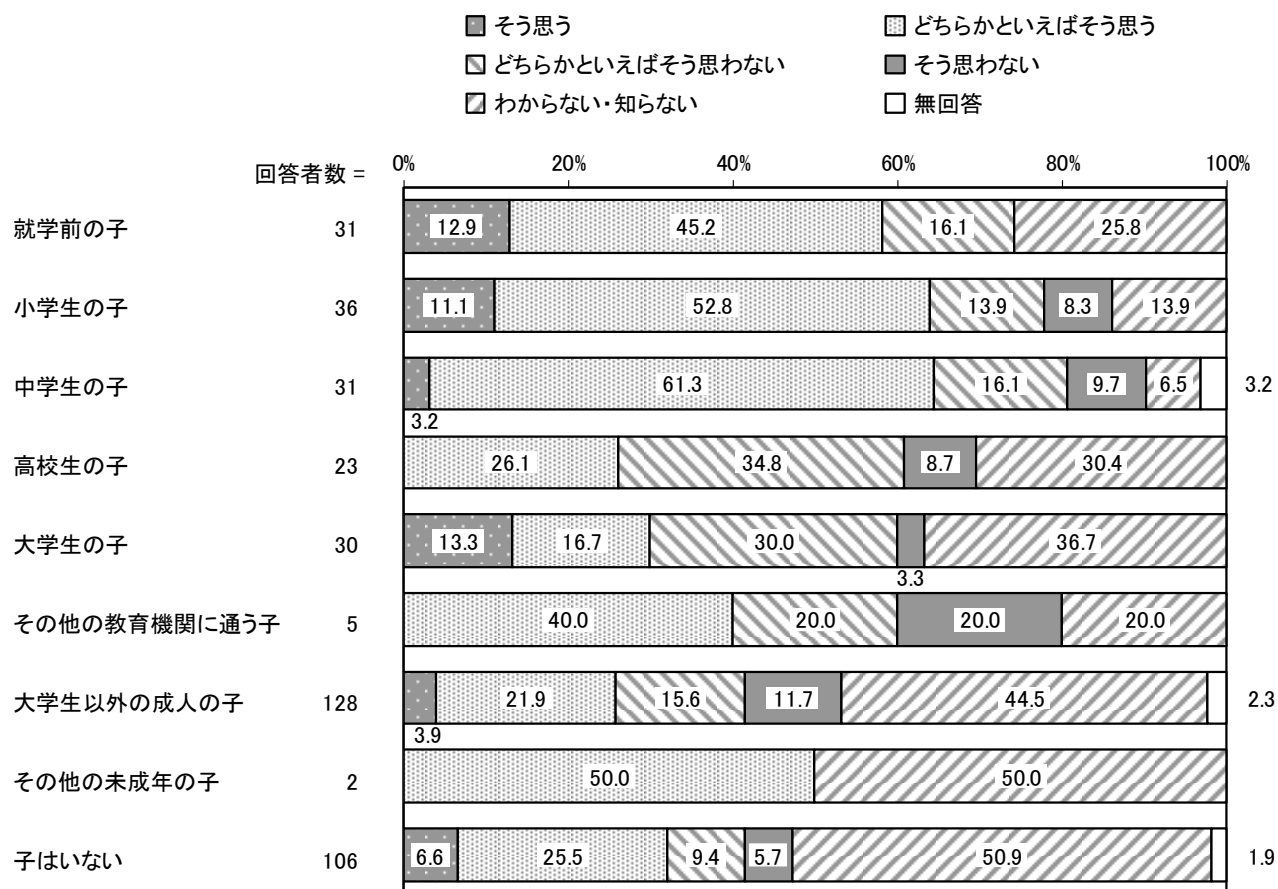
**【校区別】**

校区別でみると、他に比べ、松原第三中学校区（布忍小、中央小）、松原第四中学校区（松原北小、三宅小、恵我小（別所1丁目、別所3～9丁目））、松原第六中学校区（松原南小、松原東小）、松原第七中学校区（恵我南小、恵我小（上記4以外の地区））で“そう思う”の割合が高くなっています。



### 【子どもの有無別】

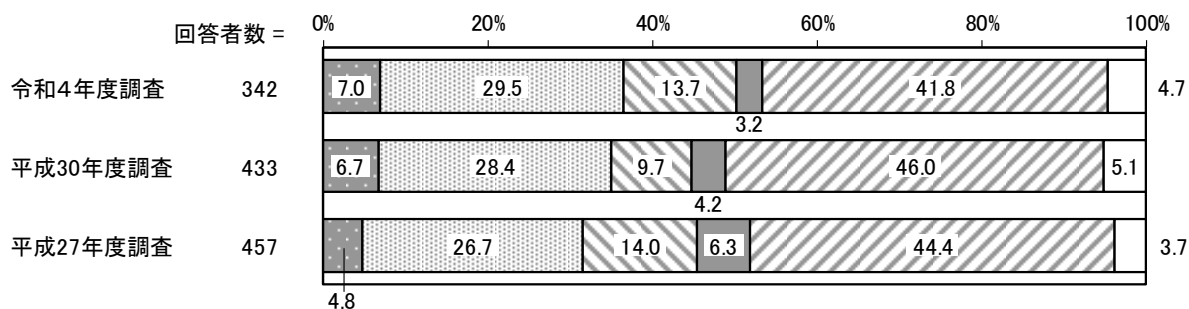
子どもの有無別でみると、他に比べ、高校生の子で“そう思わない”の割合高くなっています。



### (9) 就学前・小学校・中学校において子どもの健康管理ができています

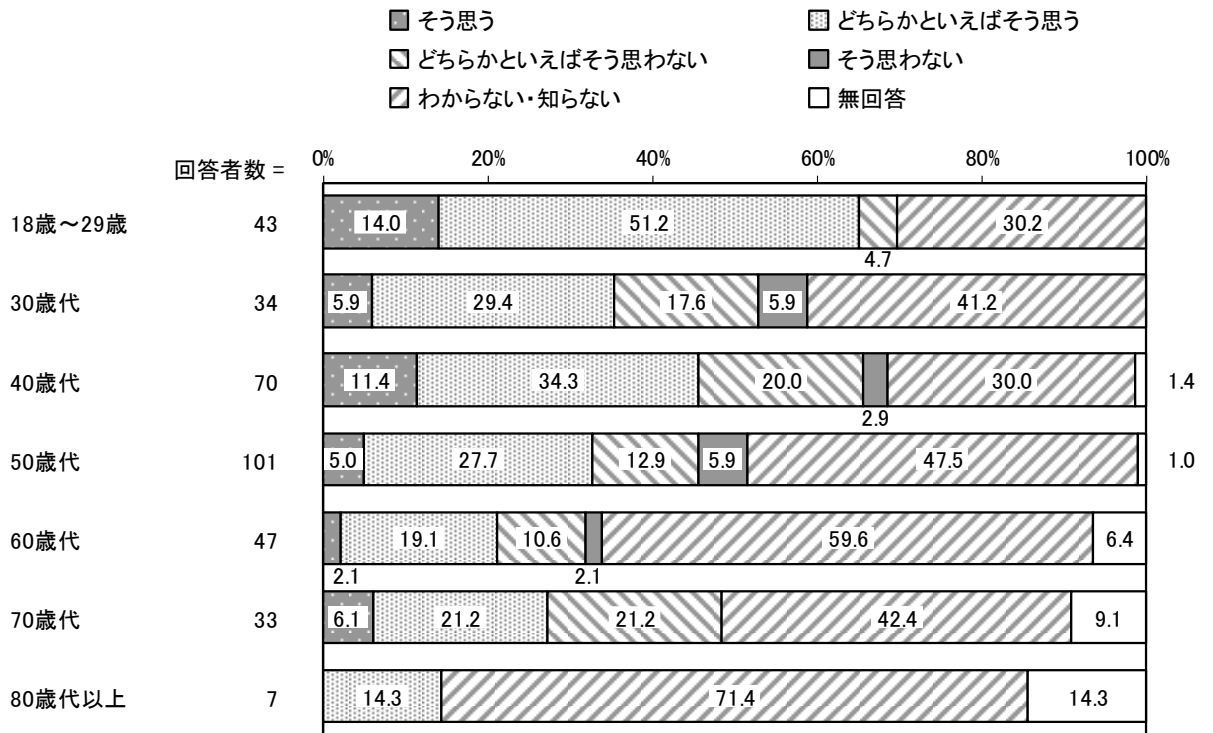
#### 【経年比較】

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



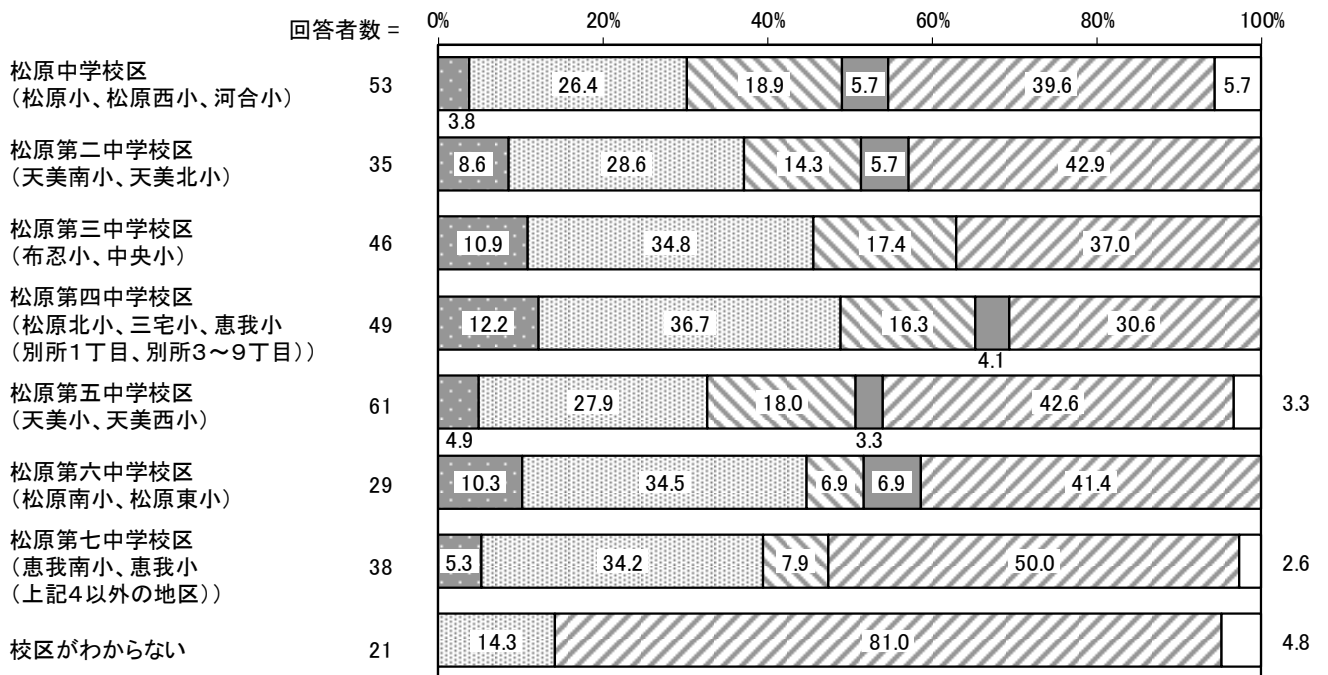
### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で“そう思う”の割合が高くなっています。



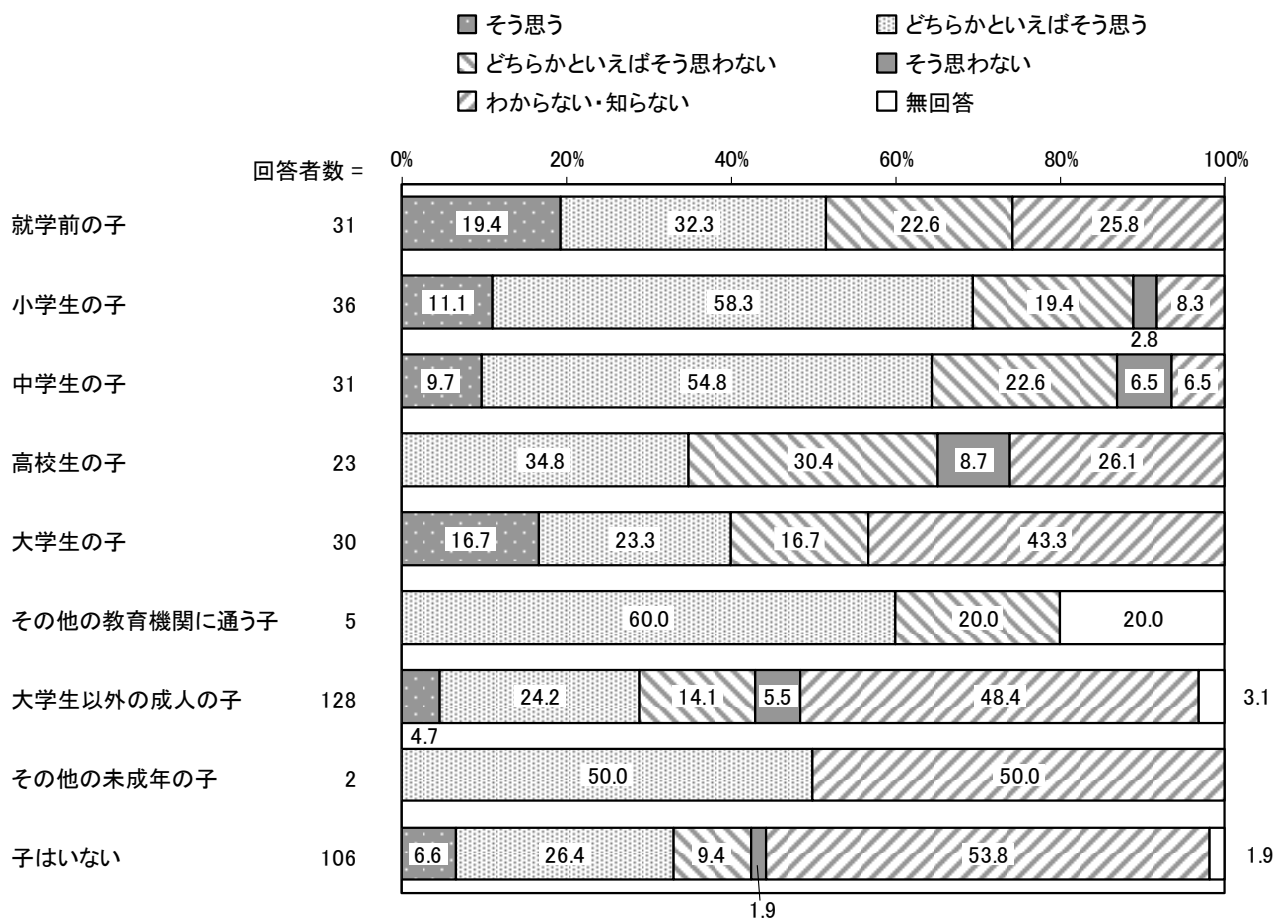
### 【校区別】

校区別でみると、他に比べ、松原第四中学校区（松原北小、三宅小、恵我小（別所1丁目、別所3～9丁目））で“そう思う”の割合が、松原中学校区（松原小、松原西小、河合小）で“そう思わない”の割合が高くなっています。



### 【子どもの有無別】

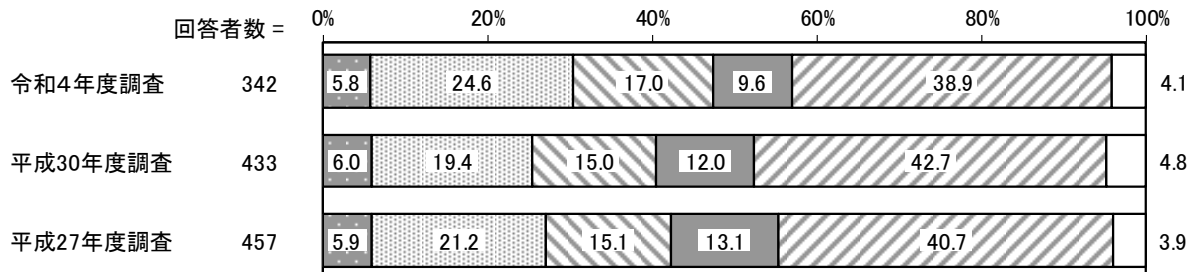
子どもの有無別で見ると、他に比べ、高校生の子で“そう思わない”の割合が、小学生の子で“そう思う”の割合が高くなっています。



(10) 学校園は地域に開かれ、地域ぐるみで子どもの教育が行われている

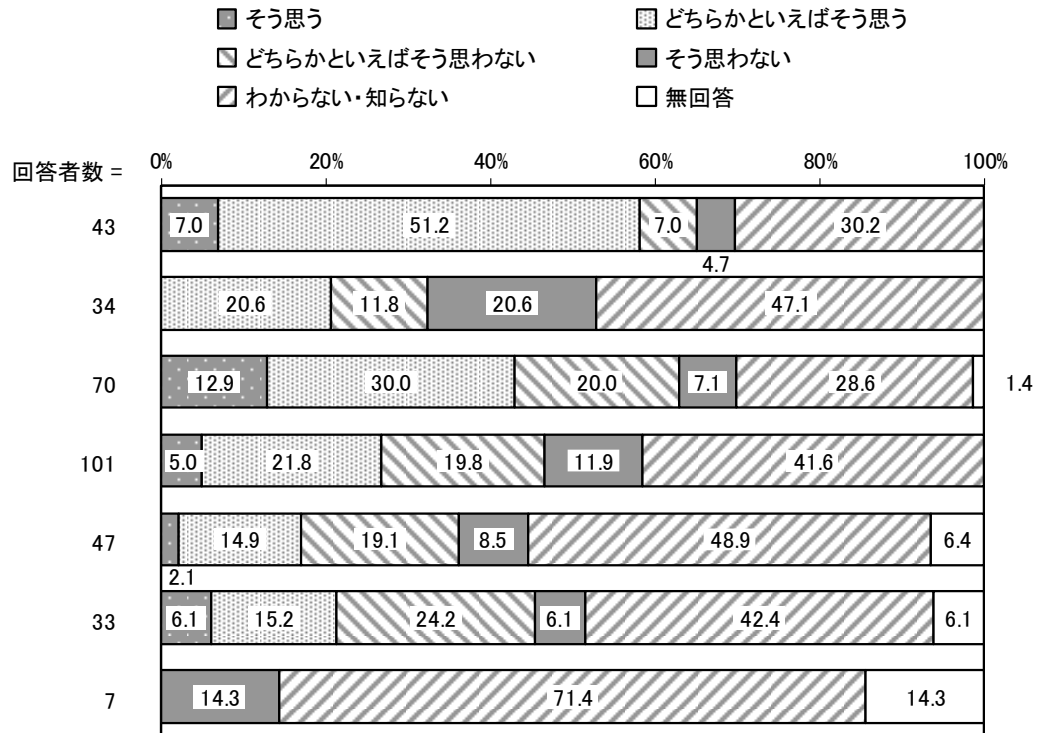
### 【経年比較】

前回調査と比較すると、“そう思う”の割合が増加しています。



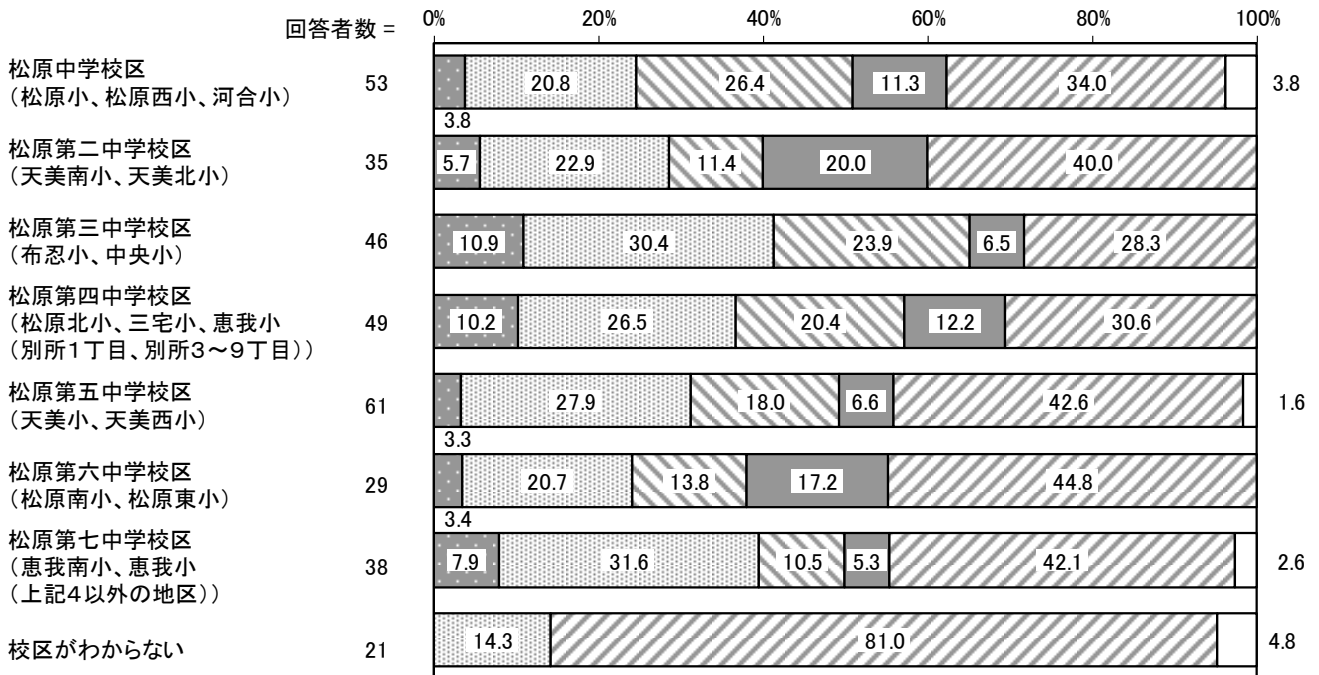
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で“そう思う”の割合が高くなっています。



【校区別】

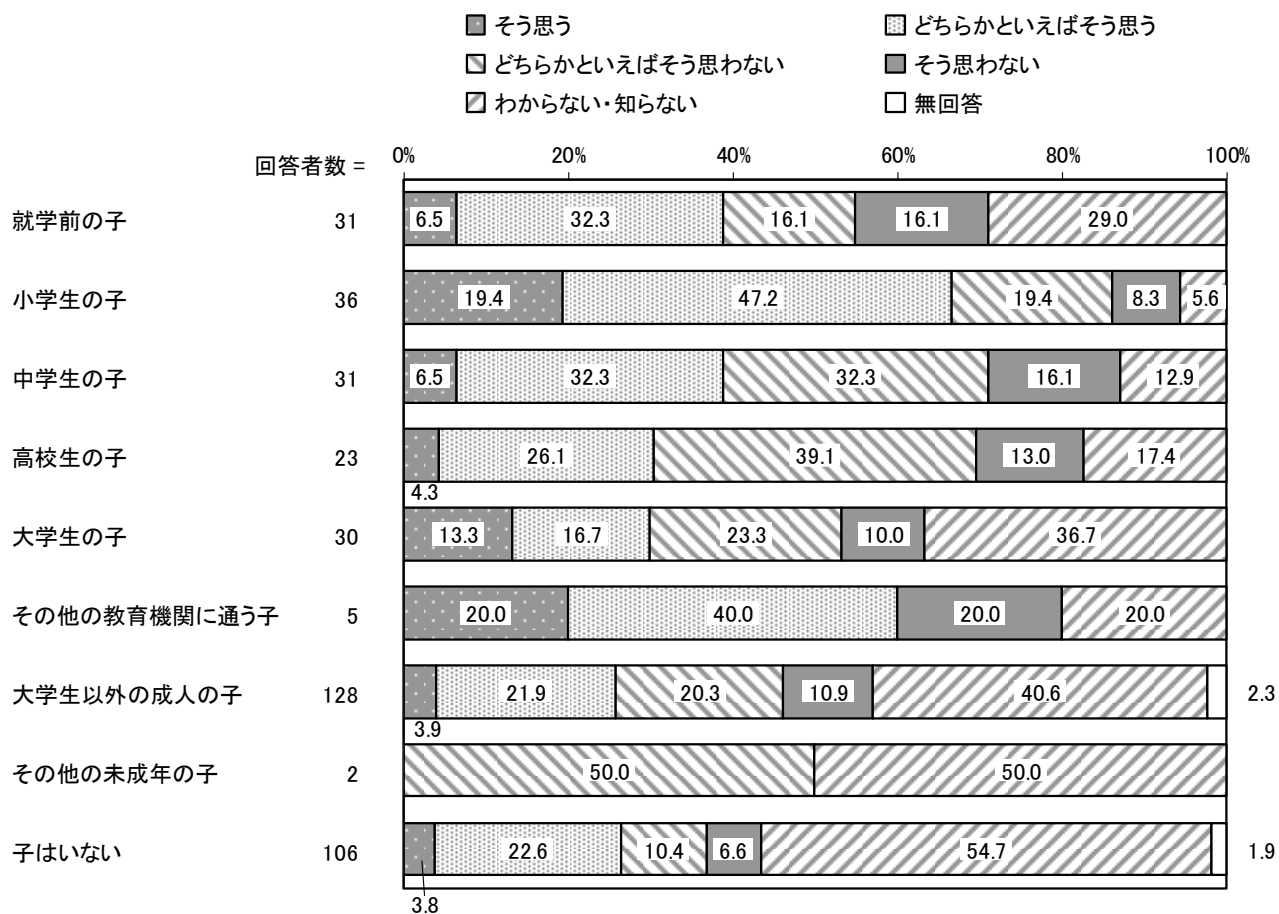
校区別でみると、他に比べ、松原中学校区（松原小、松原西小、河合小）で“そう思わない”の割合が高くなっています。





### 【子どもの有無別】

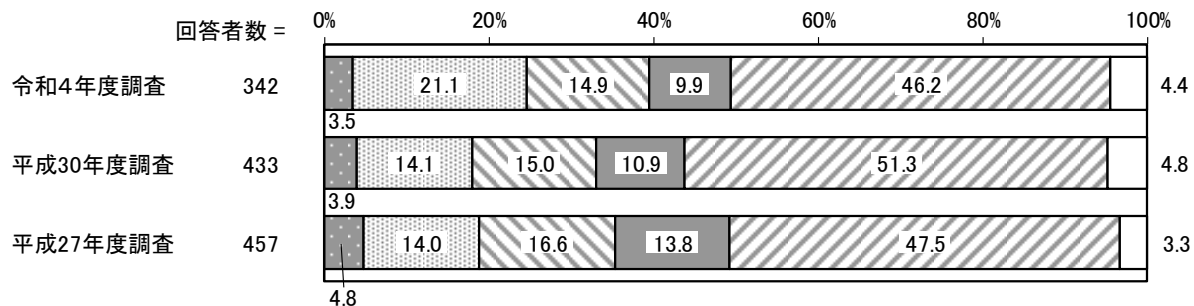
子どもの有無別でみると、他に比べ、小学生の子で“そう思う”の割合が、高校生の子で“そう思わない”の割合が高くなっています。



### (11) 教育相談や子どもの心のケアが充実している

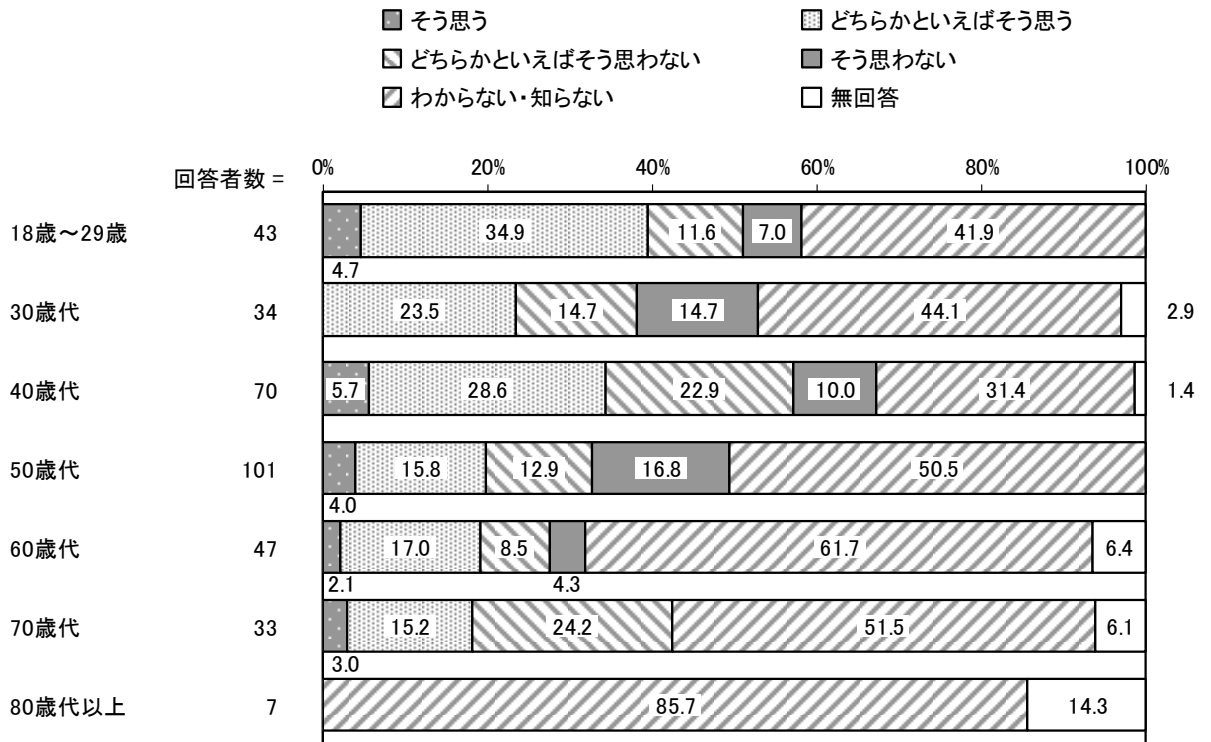
#### 【経年比較】

前回調査と比較すると、“そう思う”の割合が増加しています。



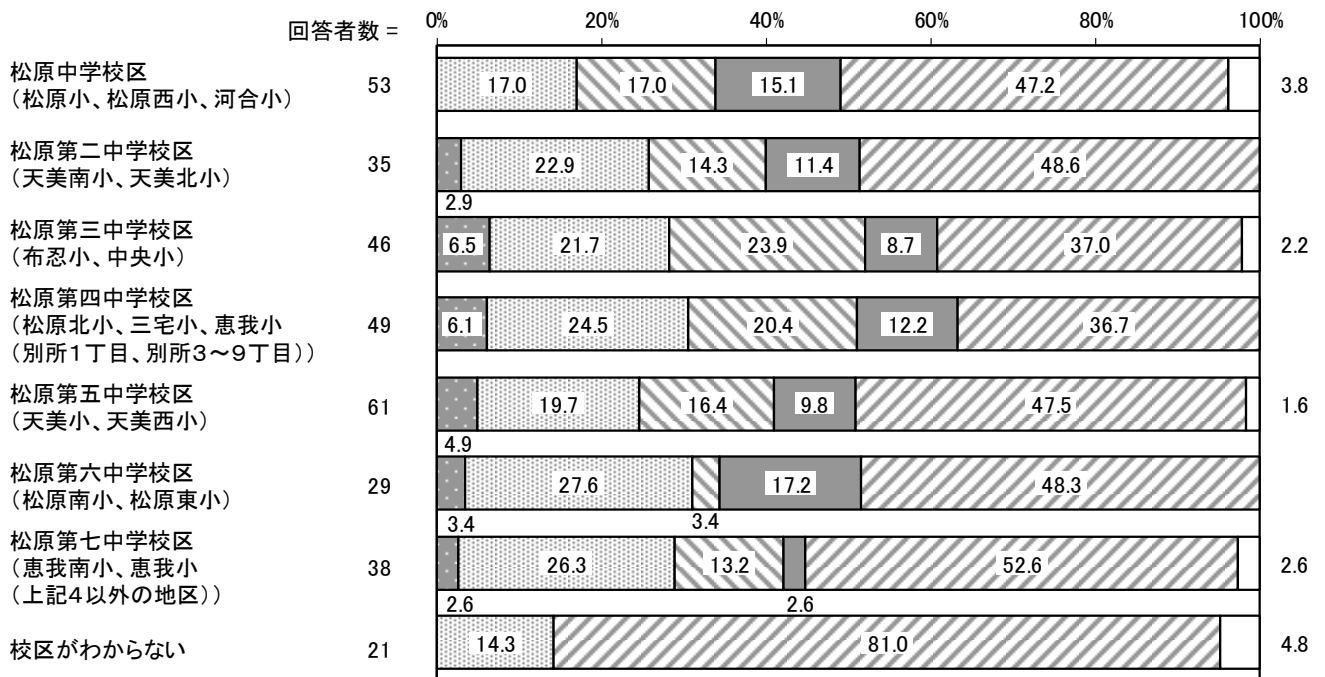
### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で“そう思う”の割合が高くなっています。



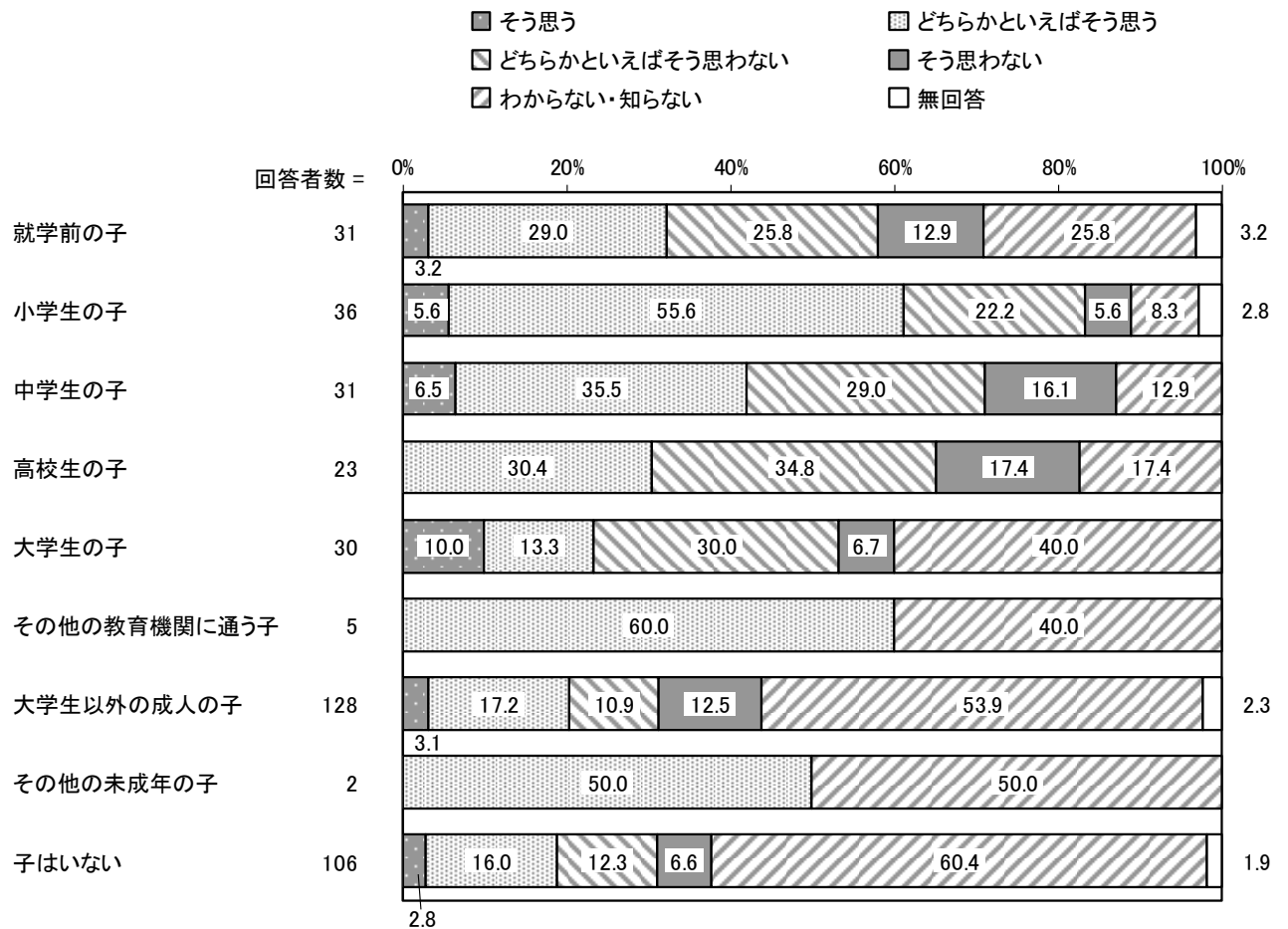
### 【校区別】

校区別でみると、他に比べ、松原中学校区（松原小、松原西小、河合小）、松原第三中学校区（布忍小、中央小）、松原第四中学校区（松原北小、三宅小、恵我小（別所1丁目、別所3～9丁目））で“そう思わない”の割合が高くなっています。



### 【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、他に比べ、小学生の子で“そう思う”の割合が、高校生の子で“そう思わない”の割合が高くなっています。

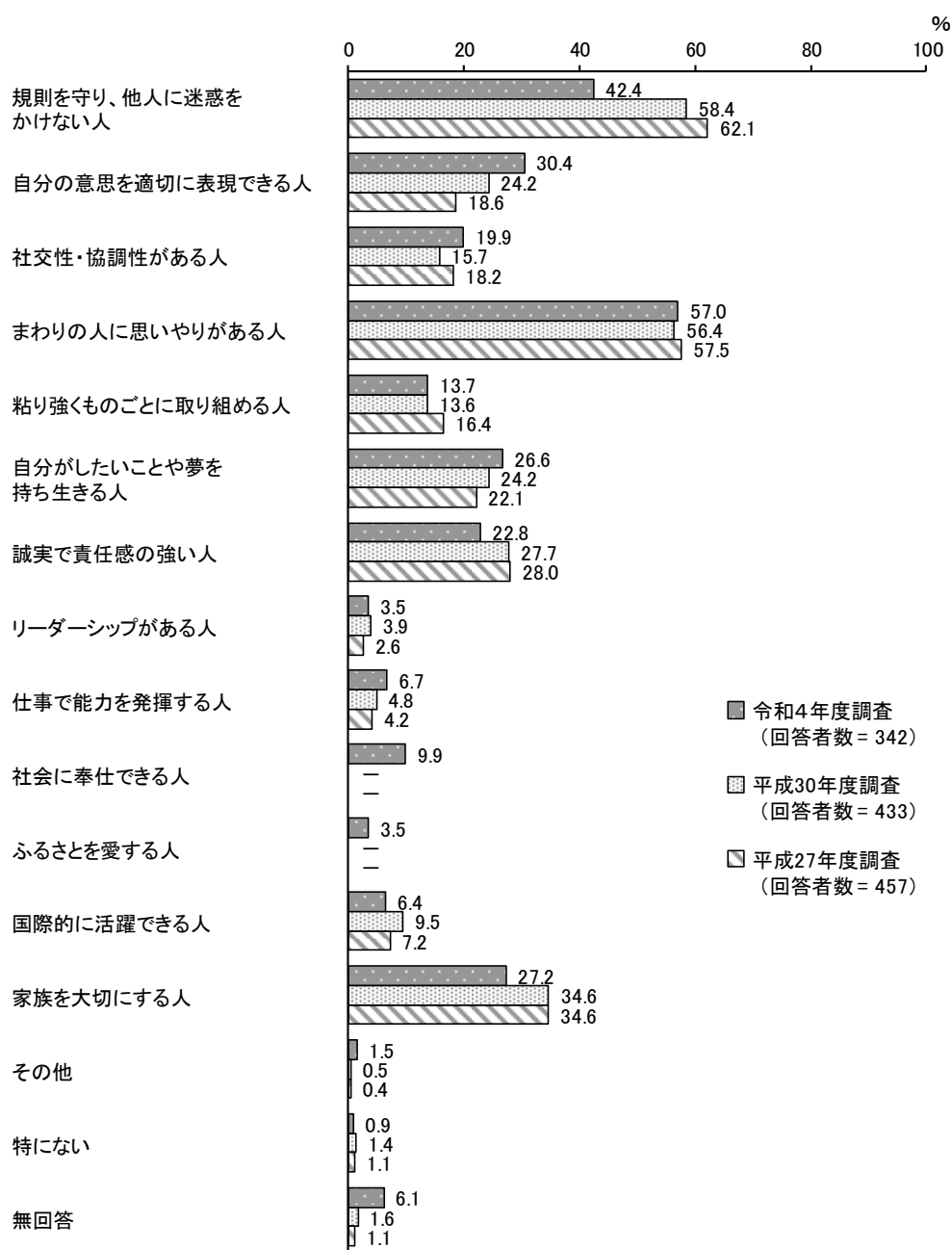


**問7 子どもたちの将来像 あなたは、松原市の子どもたちに、将来どのような人になってもらいたいと思いますか。当てはまる番号に○印をつけてください。  
(主なもの3つまで○印)**

「まわりの人に思いやりがある人」の割合が57.0%と最も高く、次いで「規則を守り、他人に迷惑をかけない人」の割合が42.4%、「自分の意思を適切に表現できる人」の割合が30.4%、「家族を大切にしている人」の割合が27.2%となっています。

**【経年比較】**

前回調査と比較すると、「自分の意思を適切に表現できる人」の割合が増加しています。一方、「規則を守り、他人に迷惑をかけない人」「家族を大切にしている人」の割合が減少しています。



※平成30年度調査、平成27年度調査では「社会に奉仕できる人」「ふるさとを愛する人」の選択肢はありませんでした。

## 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、70歳代で「規則を守り、他人に迷惑をかけない人」「国際的に活躍できる人」の割合が、30歳代で「自分の意思を適切に表現できる人」の割合が高くなっています。また、18歳～29歳で「社交性・協調性がある人」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	規則を守り、他人に迷惑をかけない人	自分の意思を適切に表現できる人	社交性・協調性がある人	まわりの人に思いやりがある人	粘り強くものごとに取り組める人	自分がしたいことや夢を持ち生きる人	誠実で責任感の強い人	リーダーシップがある人	仕事で能力を発揮する人	社会に奉仕できる人	ふるさとを愛する人	国際的に活躍できる人	家族を大切にしている人	その他	特になし	無回答
18歳～29歳	43	34.9	37.2	32.6	65.1	9.3	27.9	23.3	4.7	7.0	2.3	4.7	7.0	30.2	2.3	—	—
30歳代	34	29.4	47.1	23.5	58.8	20.6	29.4	14.7	2.9	5.9	8.8	5.9	5.9	35.3	2.9	2.9	—
40歳代	70	52.9	24.3	18.6	58.6	17.1	25.7	20.0	5.7	8.6	8.6	4.3	7.1	21.4	—	2.9	2.9
50歳代	101	38.6	30.7	21.8	60.4	14.9	32.7	22.8	3.0	9.9	11.9	3.0	5.0	24.8	3.0	—	4.0
60歳代	47	46.8	25.5	10.6	66.0	12.8	14.9	27.7	—	4.3	17.0	2.1	4.3	36.2	—	—	8.5
70歳代	33	60.6	30.3	9.1	36.4	9.1	27.3	33.3	6.1	—	6.1	3.0	12.1	30.3	—	—	9.1
80歳代以上	7	28.6	28.6	42.9	28.6	—	28.6	28.6	—	—	28.6	—	14.3	14.3	—	—	14.3

問8 学校教育で身につけるべき能力や態度 松原市の学校教育の中で、次の(1)～(23)のような能力や態度について、現在の状況はどのように感じていますか。また、身につけることがどれくらい重要だと思いますか。各項目について、『現在の状況』と『重要性』それぞれについて、当てはまる番号1つに○印をつけてください。

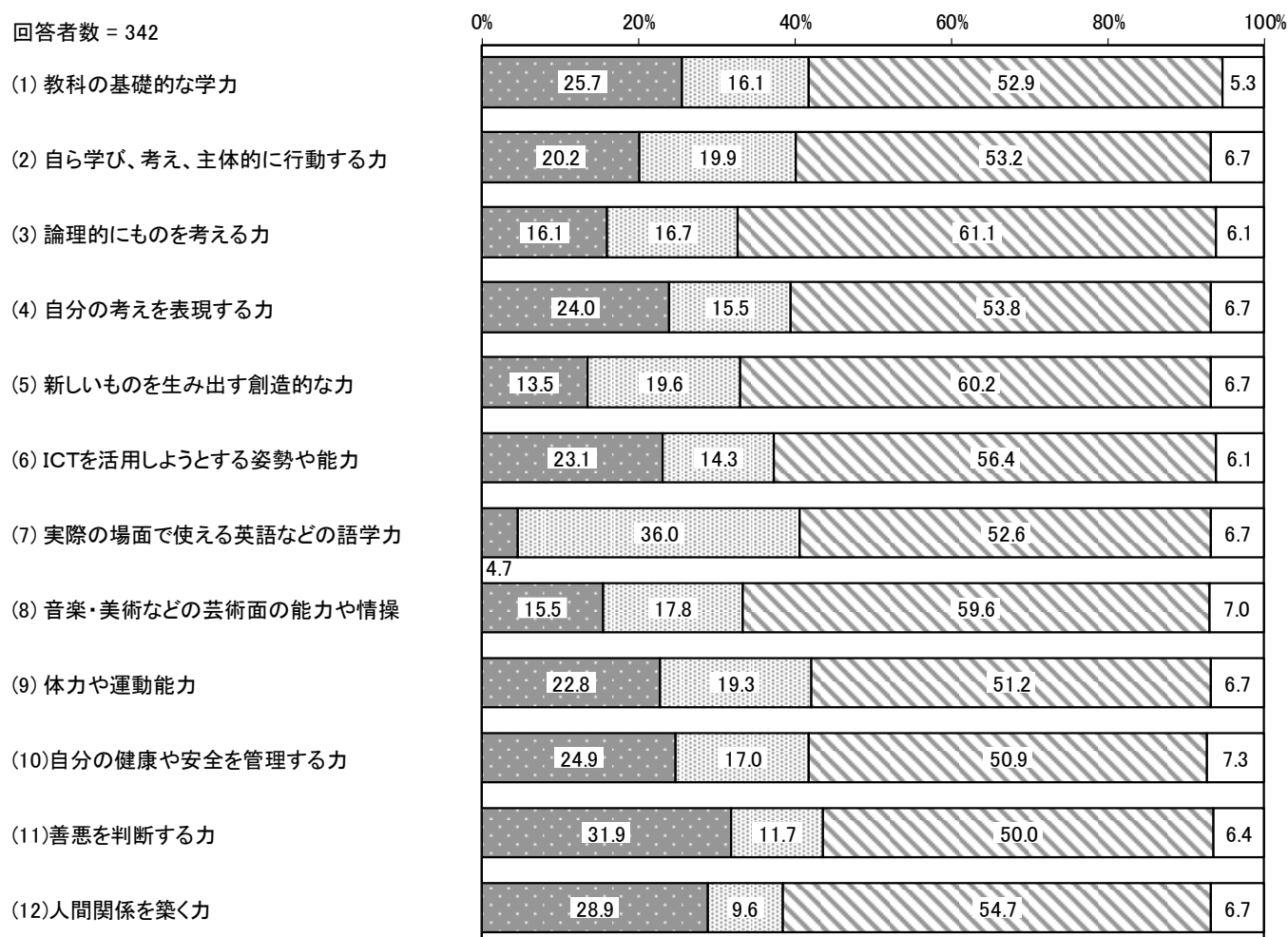
### 現在の状況

「身につけている」の割合が高いのは『(11) 善悪を判断する力』『(19) 他者に対する理解と思いやりや優しさ』『(22) 基本的な生活習慣』『(12) 人間関係を築く力』、「身につけていない」の割合が高いのは『(7) 実際の場面で使える英語などの語学力』『(21) 言葉遣い、礼節、マナー』『(2) 自ら学び、考え、主体的に行動する力』『(5) 新しいものを生み出す創造的な力』となっています。

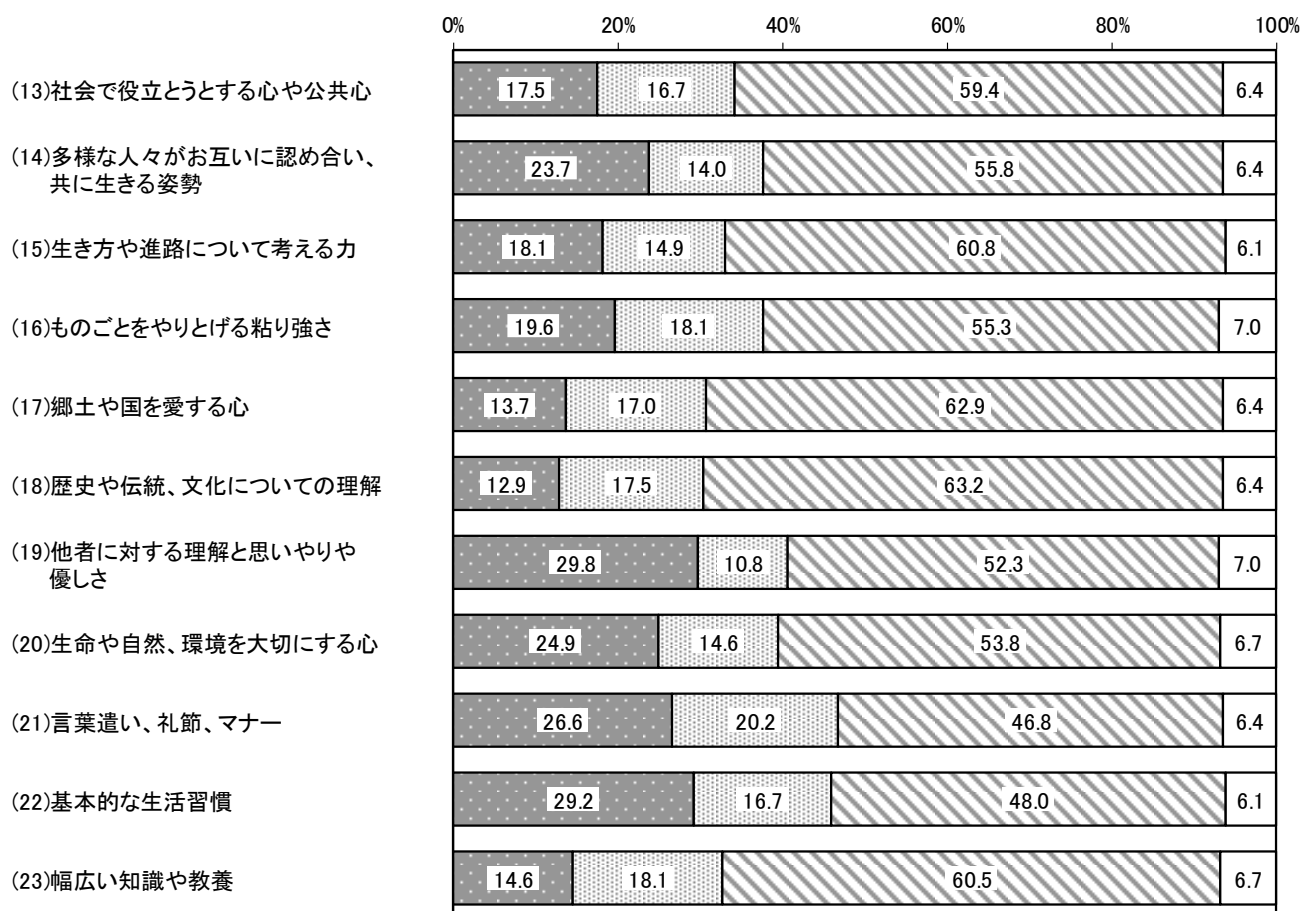
※P84 において、「質問項目について得点化しポートフォリオ分析をおこないました。」

■ 身につけている □ 身につけていない ▨ わからない □ 無回答

回答者数 = 342



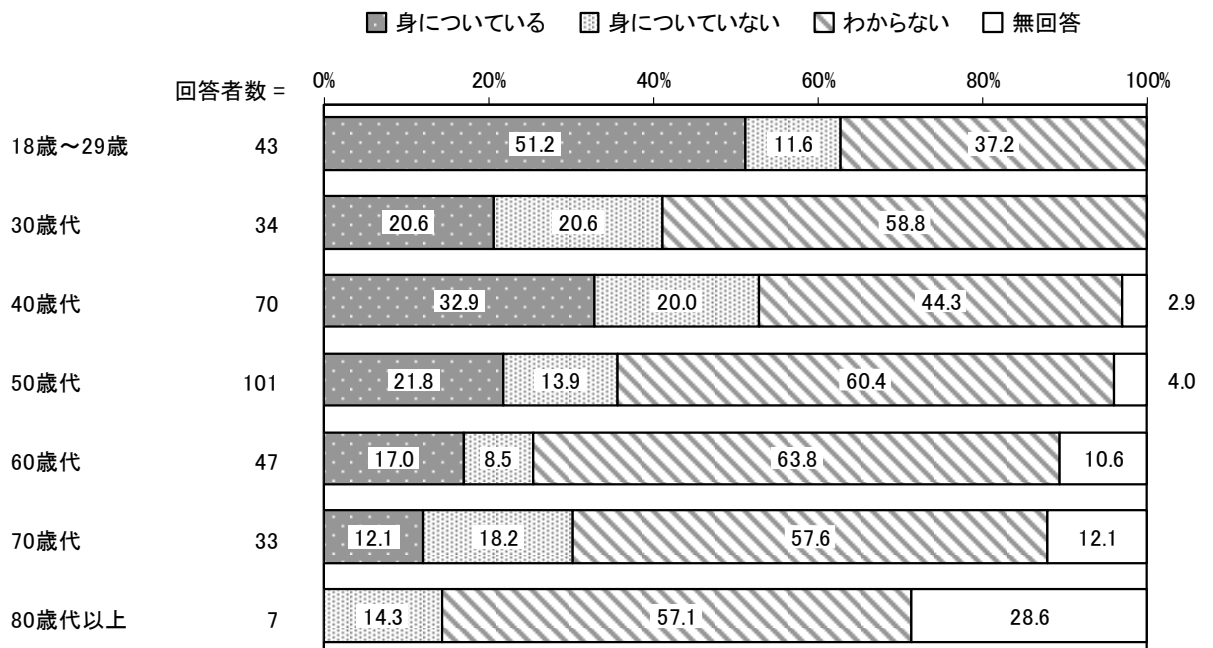
■ 身につけている □ 身につけていない ▨ わからない □ 無回答



(1) 教科の基礎的な学力

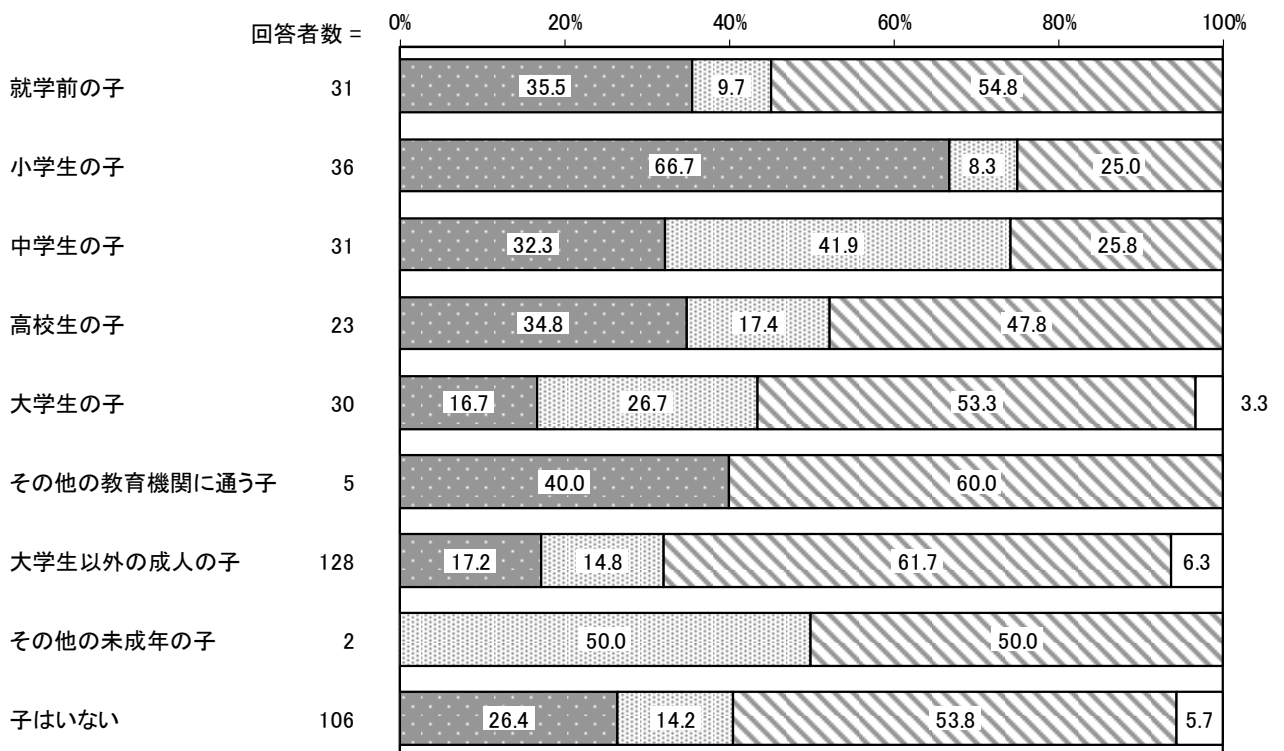
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で「身につけている」の割合が高くなっています。



【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、他に比べ、小学生の子で「身につけている」の割合が、中学生の子で「身につけていない」の割合が高くなっています。また、大学生以外の成人の子で「わからない」の割合が高くなっています。

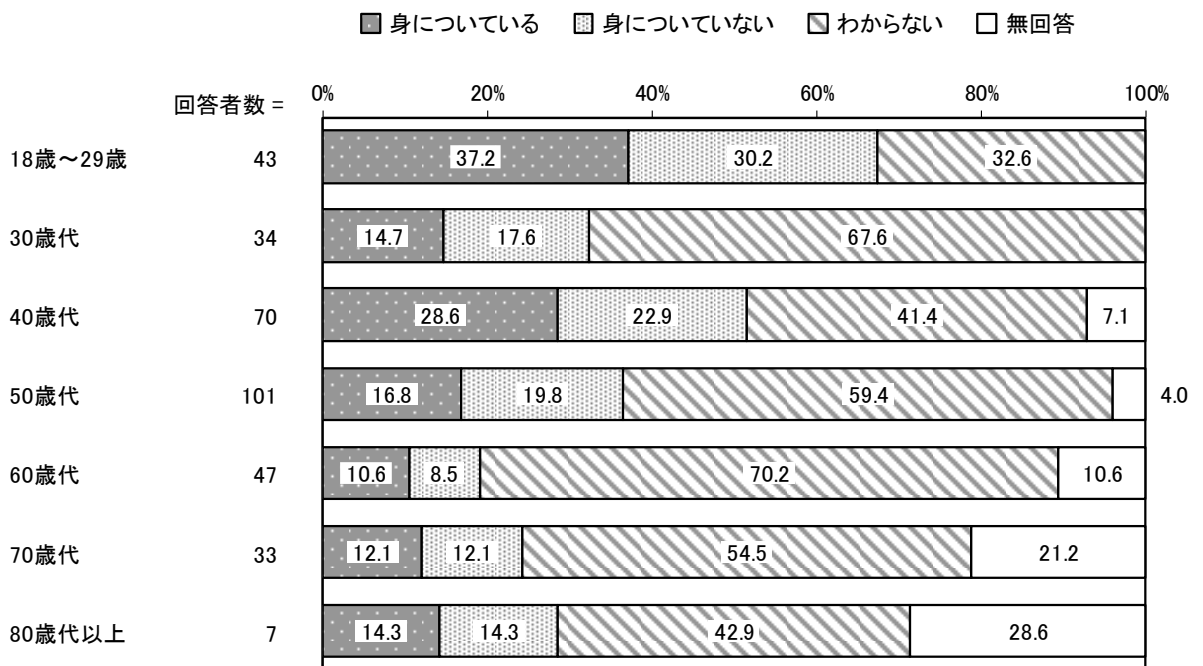




## (2) 自ら学び、考え、主体的に行動する力

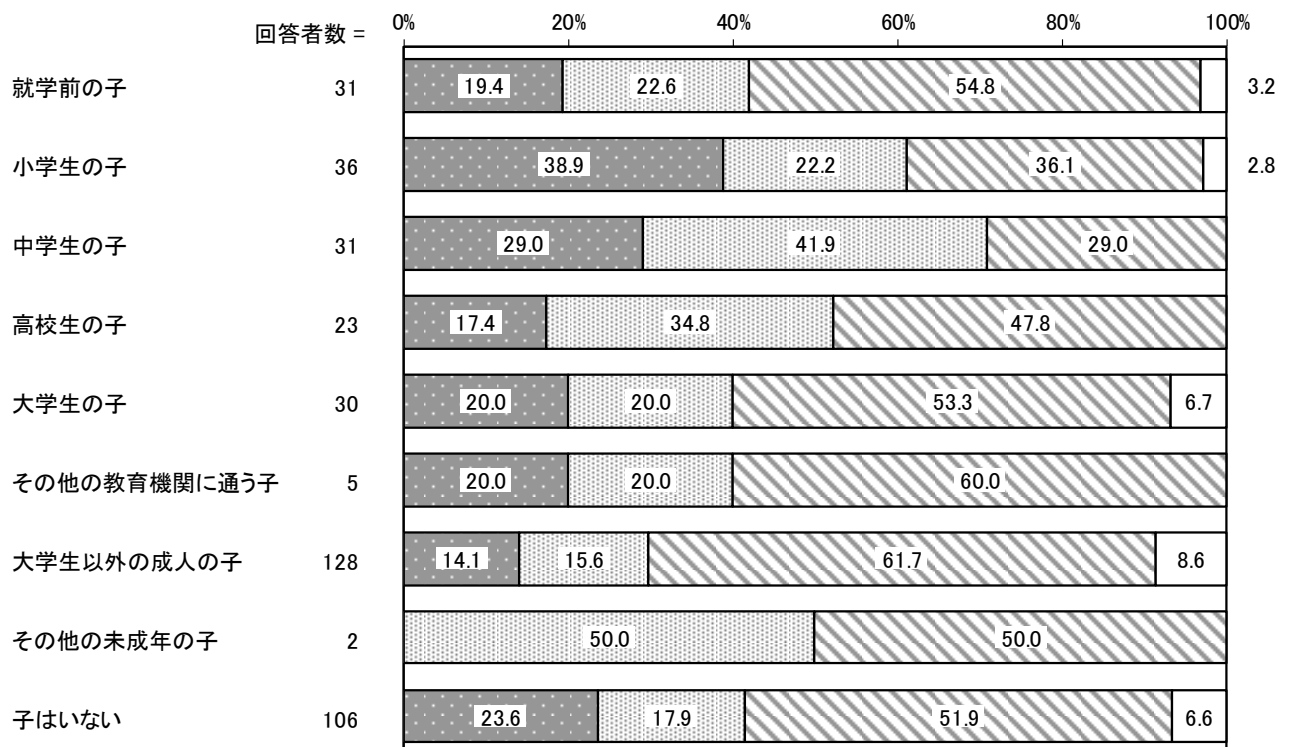
### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で「身につけている」「身につけていない」の割合が高くなっています。



### 【子どもの有無別】

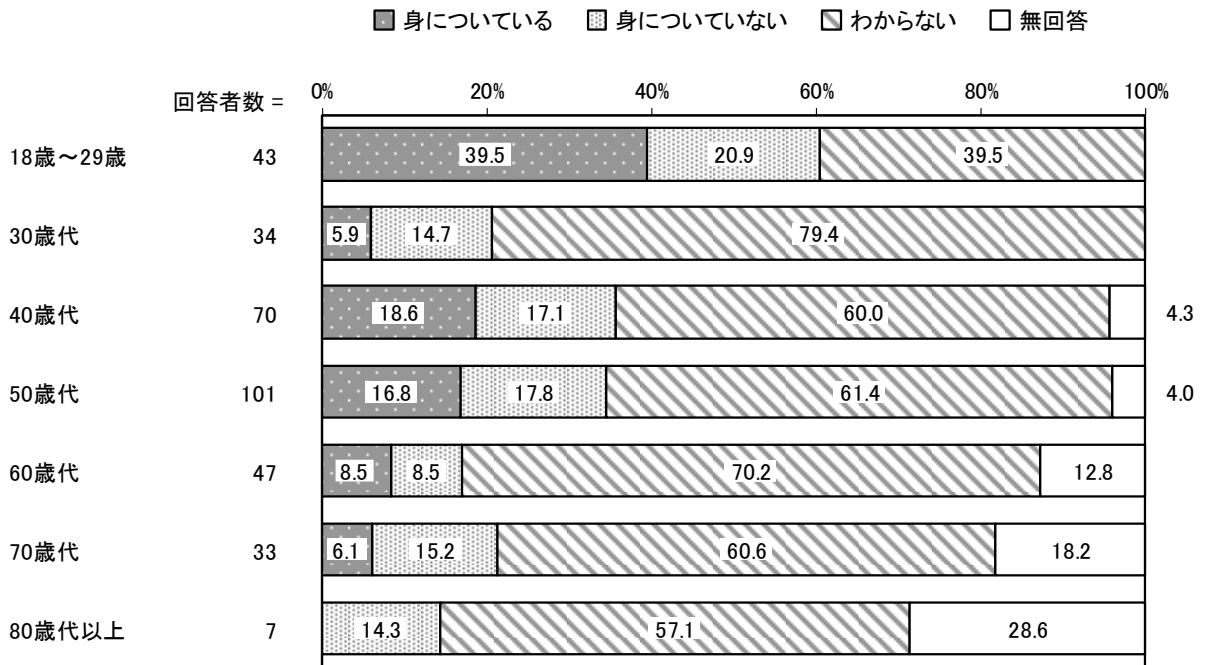
子どもの有無別でみると、他に比べ、小学生の子で「身につけている」の割合が、中学生の子で「身につけていない」の割合が高くなっています。



### (3) 論理的にものを考える力

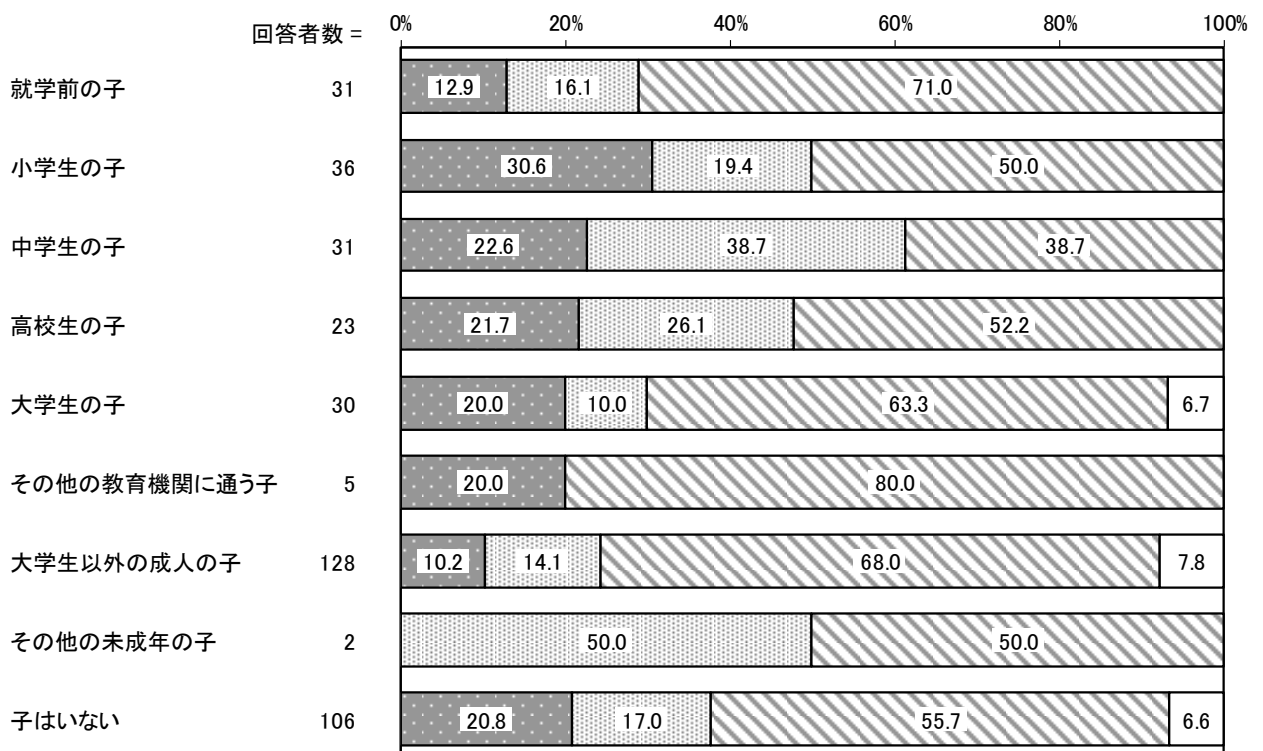
#### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で「身についている」の割合が、30歳代で「わからない」の割合が高くなっています。



#### 【子どもの有無別】

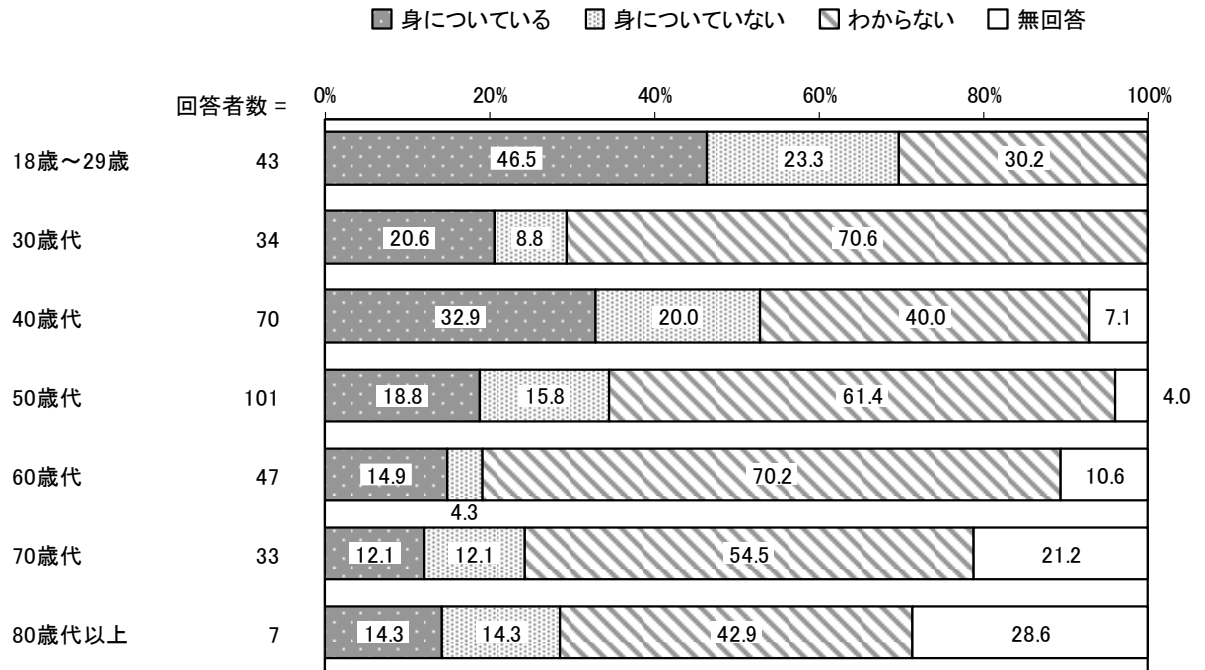
子どもの有無別でみると、他に比べ、小学生の子で「身についている」の割合が、中学生の子で「身についていない」の割合が高くなっています。



#### (4) 自分の考えを表現する力

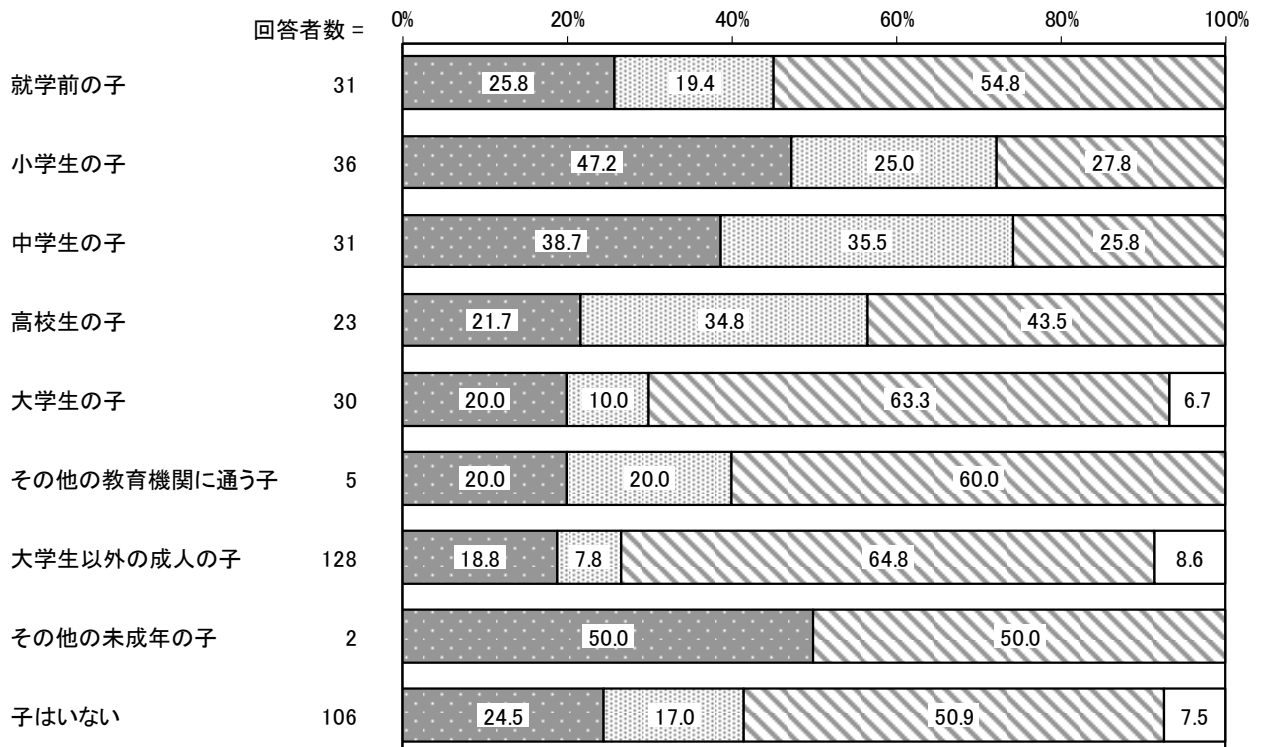
##### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で「身についている」の割合が、30歳代で「わからない」の割合が高くなっています。



##### 【子どもの有無別】

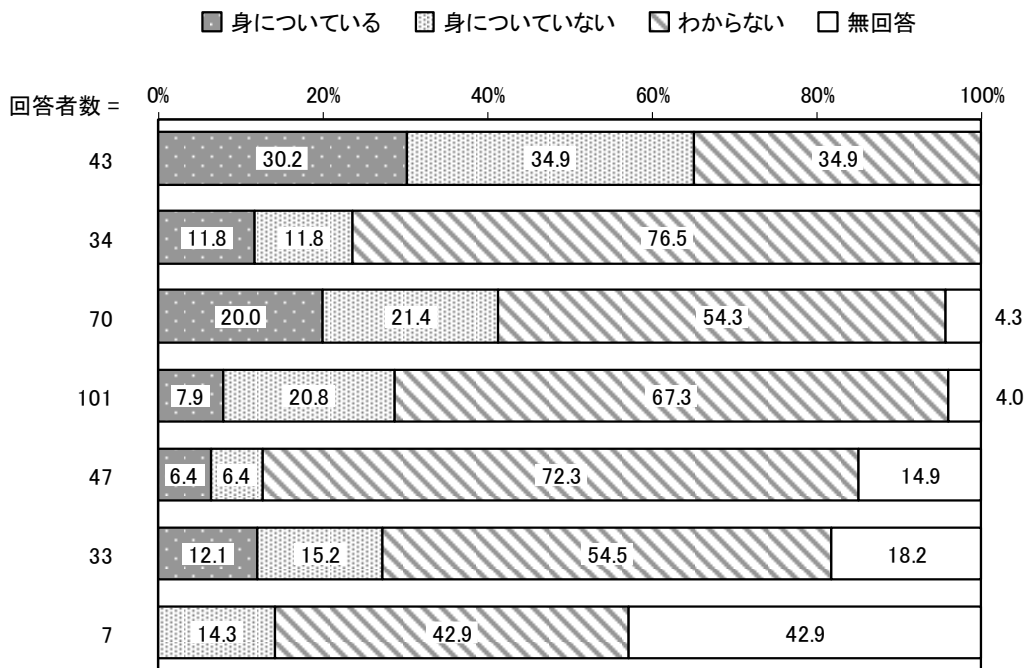
子どもの有無別でみると、他に比べ、小学生の子で「身についている」の割合が、中学生の子、高校生の子で「身についていない」の割合が高くなっています。



(5)新しいものを生み出す創造的な力

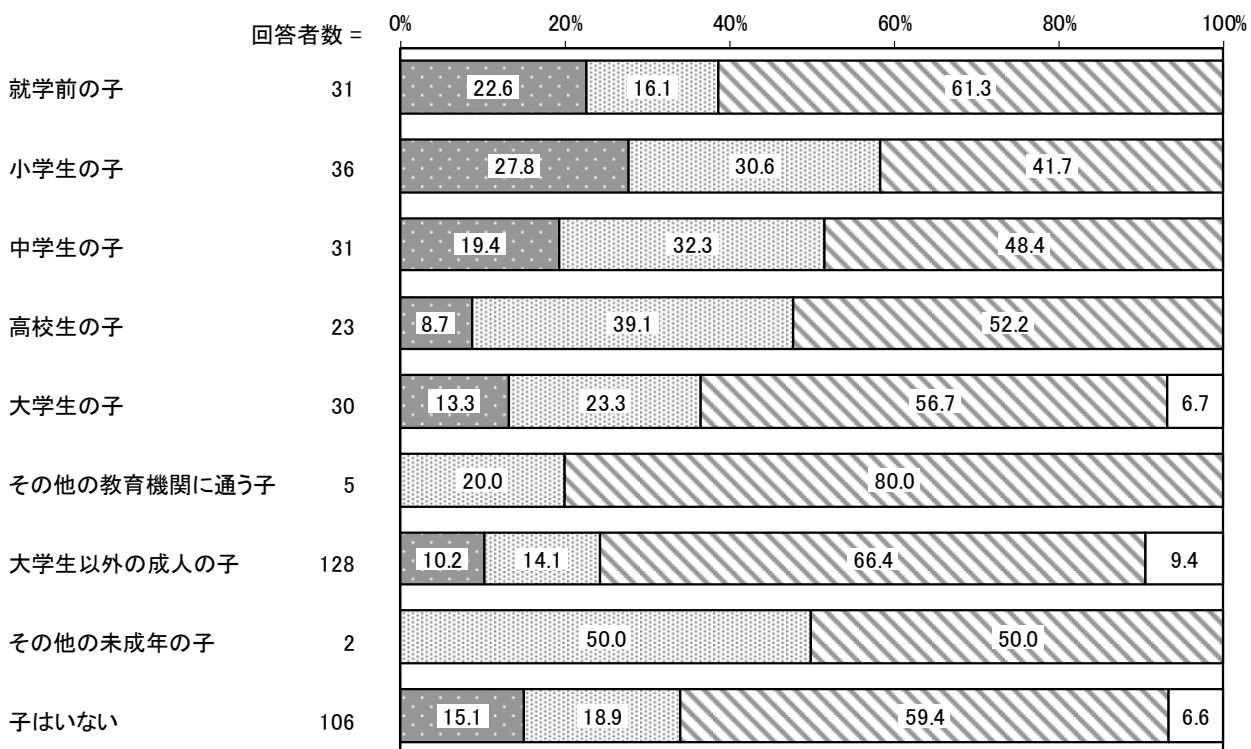
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で「身についている」の割合が、18歳～29歳で、「身についていない」の割合が高くなっています。



【子どもの有無別】

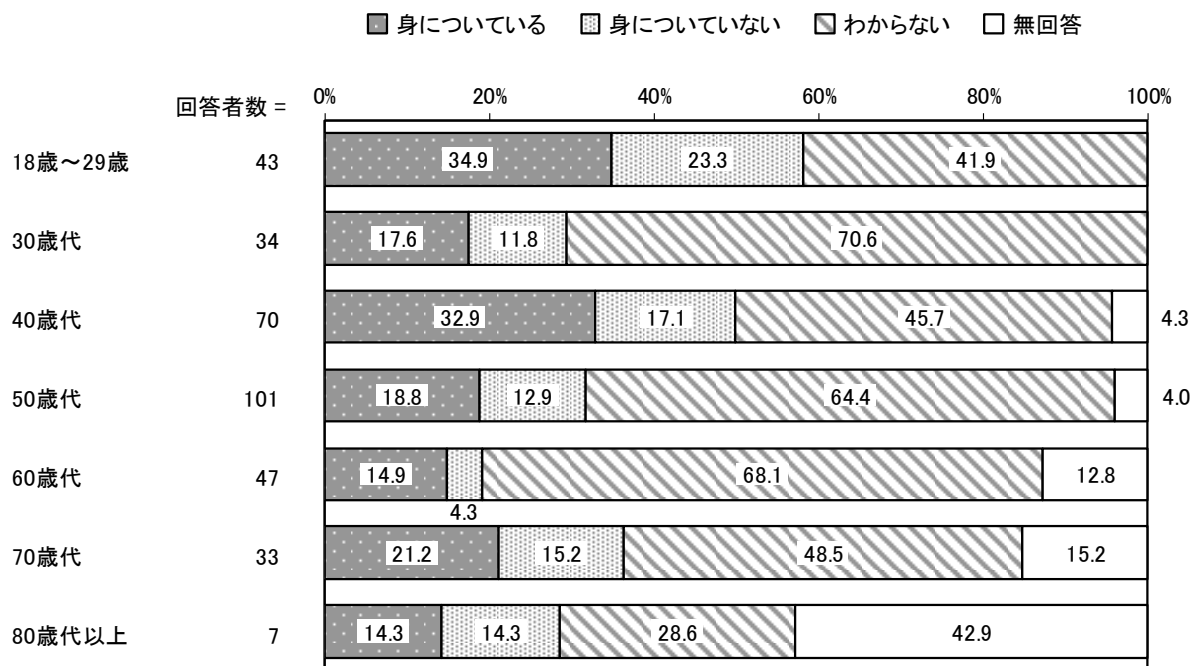
子どもの有無別でみると、他に比べ、小学生の子で「身についている」の割合が、高校生の子で「身についていない」の割合が高くなっています。



(6) ICTを活用しようとする姿勢や能力

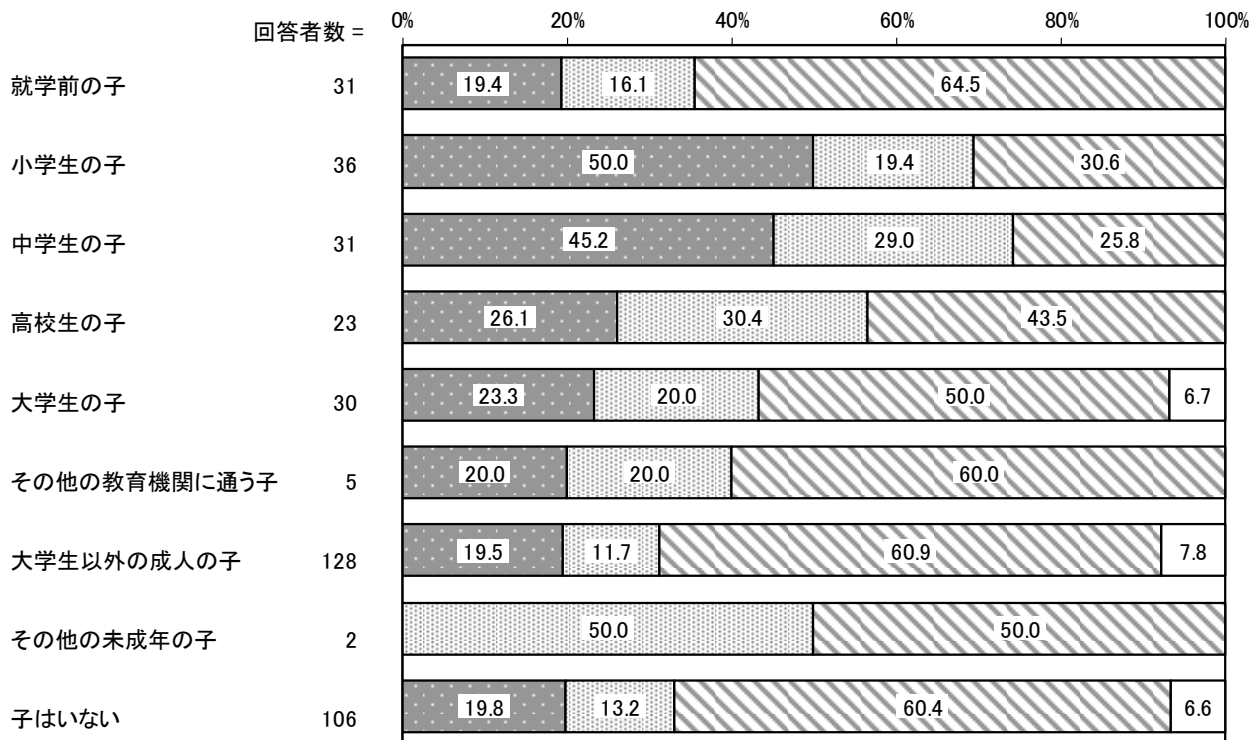
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳、40歳代で「身につけている」の割合が高くなっています。



【子どもの有無別】

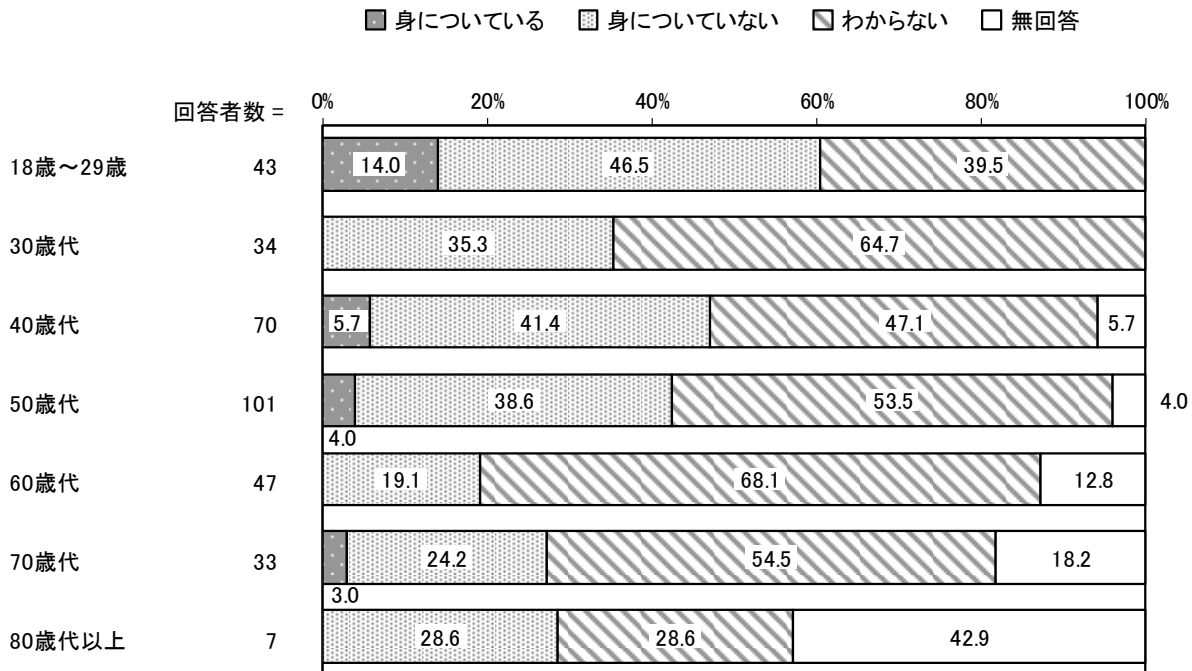
子どもの有無別でみると、他に比べ、小学生の子、中学生の子で「身につけている」の割合が高くなっています。



(7) 実際の場面で使える英語などの語学力

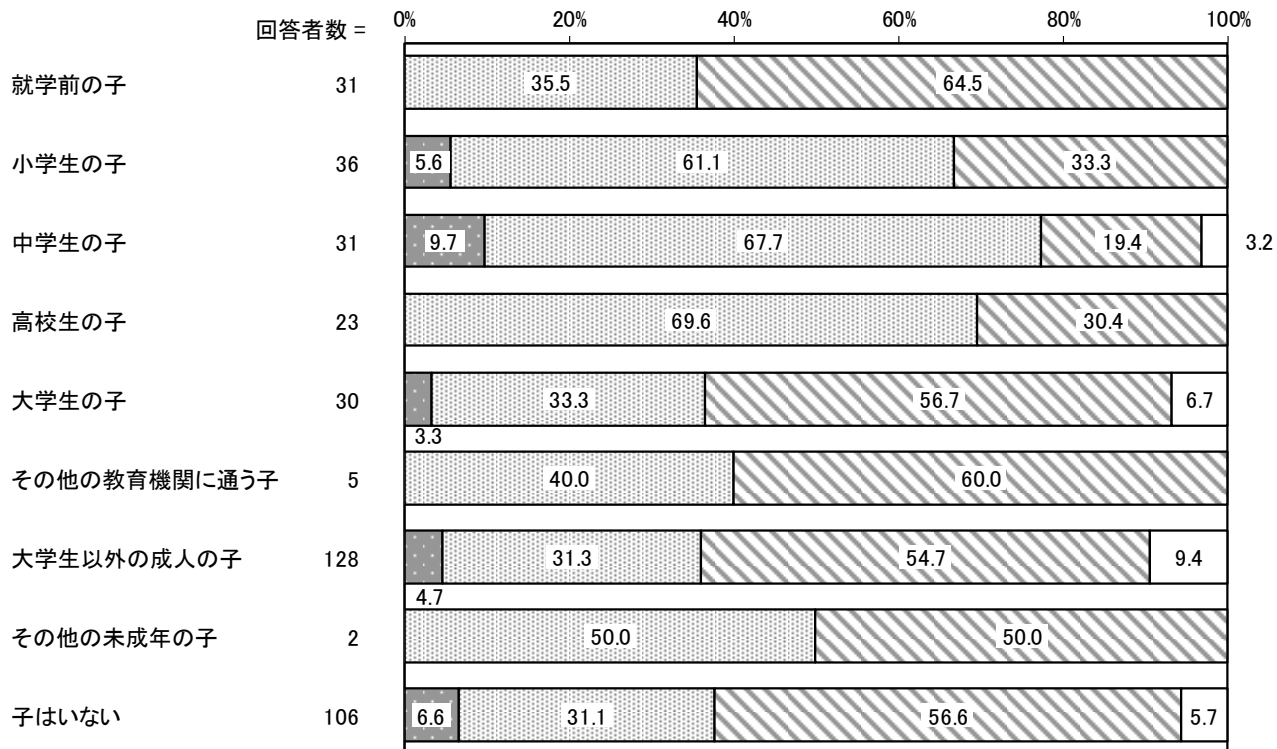
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で「身につけている」「身につけていない」の割合が高くなっています。



【子どもの有無別】

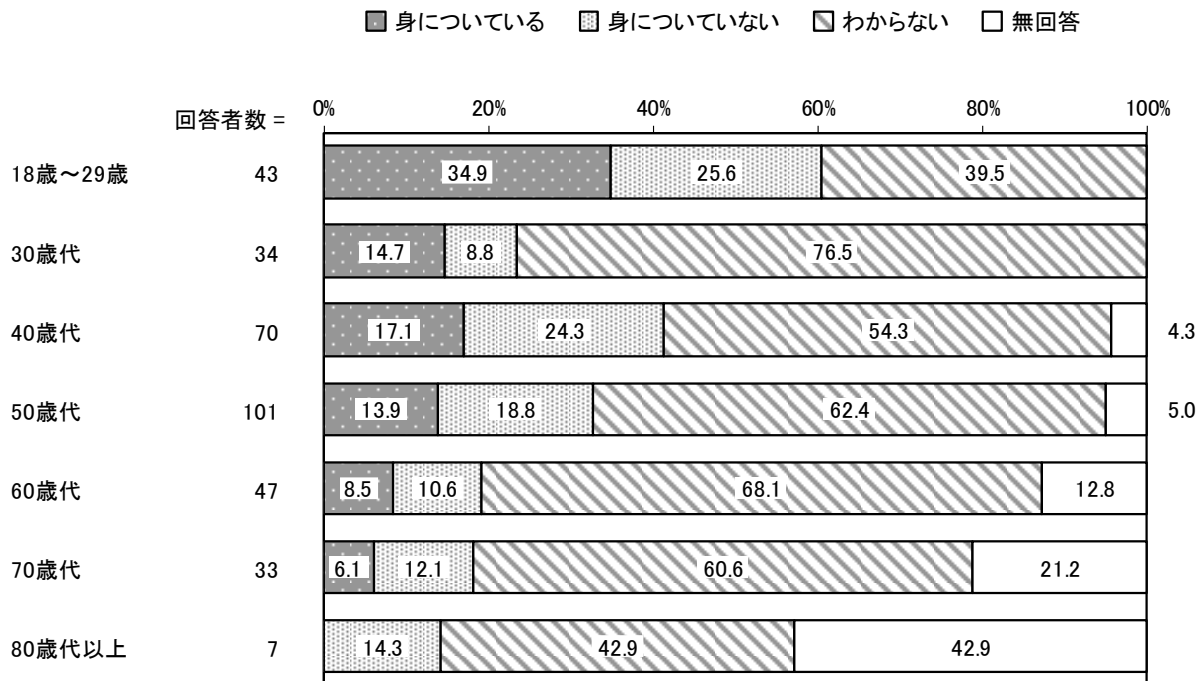
子どもの有無別でみると、他に比べ、中学生の子、高校生の子で「身につけていない」の割合が高くなっています。



(8) 音楽・美術などの芸術面の能力や情操

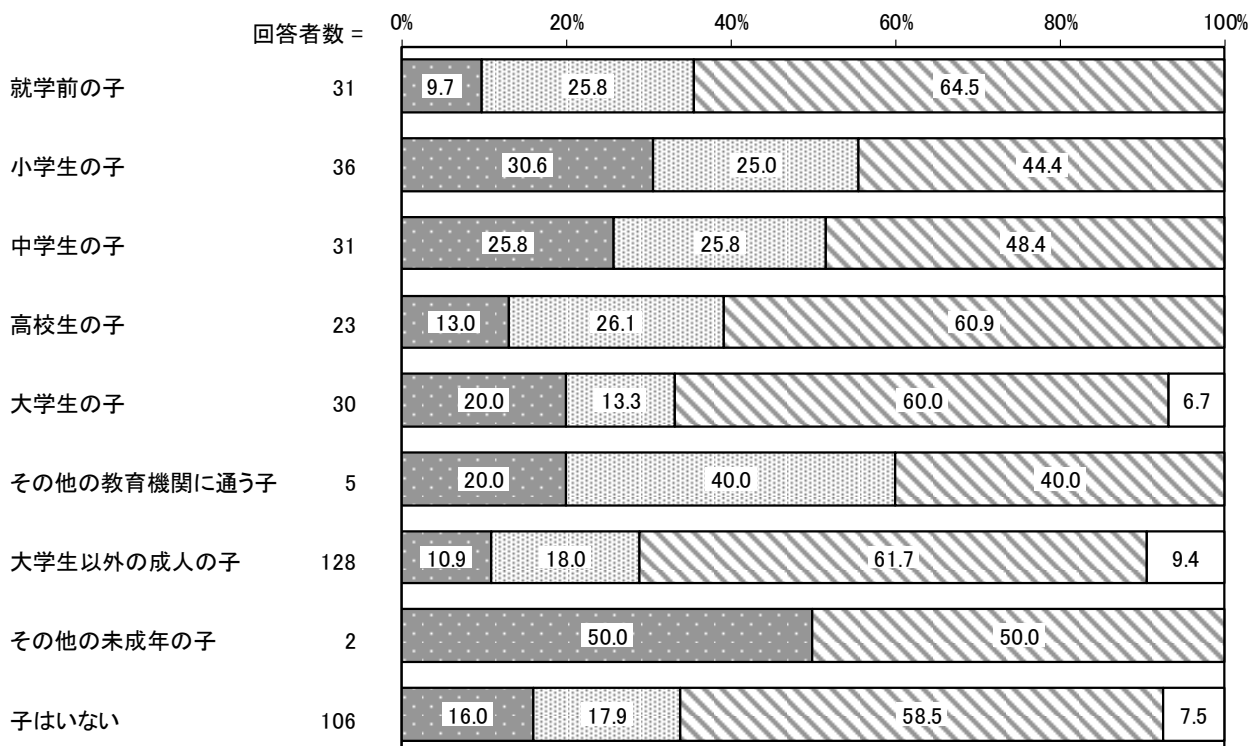
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で「身につけている」の割合が、30歳代で「わからない」の割合が高くなっています。



【子どもの有無別】

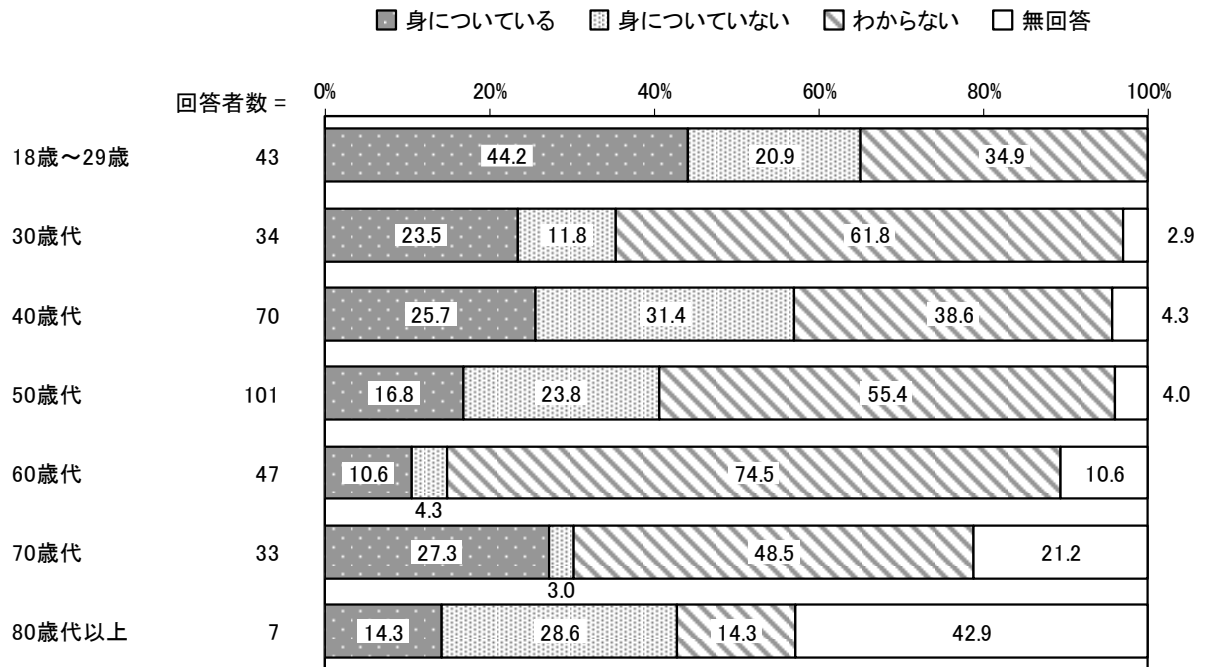
子どもの有無別でみると、他に比べ、小学生の子、中学生の子で「身につけている」の割合が高くなっています。



## (9) 体力や運動能力

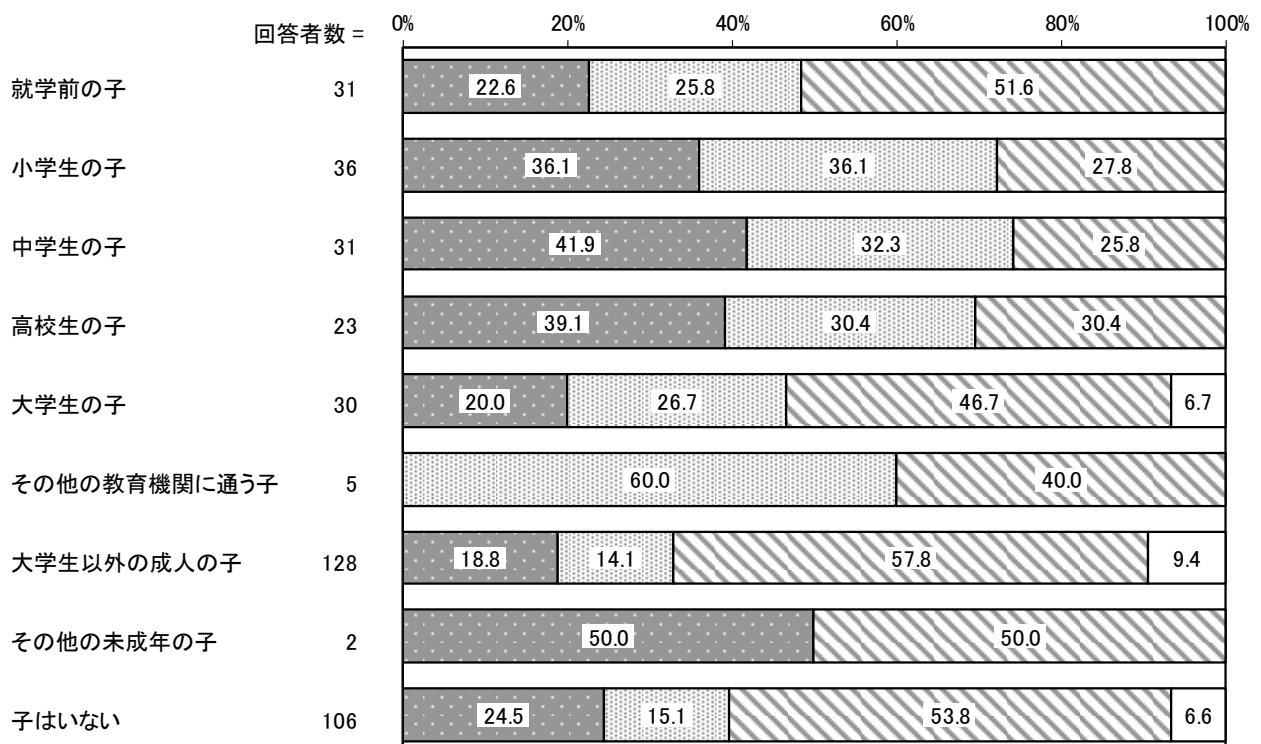
### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で「身についている」の割合が、40歳代で「身についていない」の割合が高くなっています。また、60歳代で「わからない」の割合が高くなっています。



### 【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、他に比べ、中学生の子で「身についている」の割合が、小学生の子で「身についていない」の割合が高くなっています。

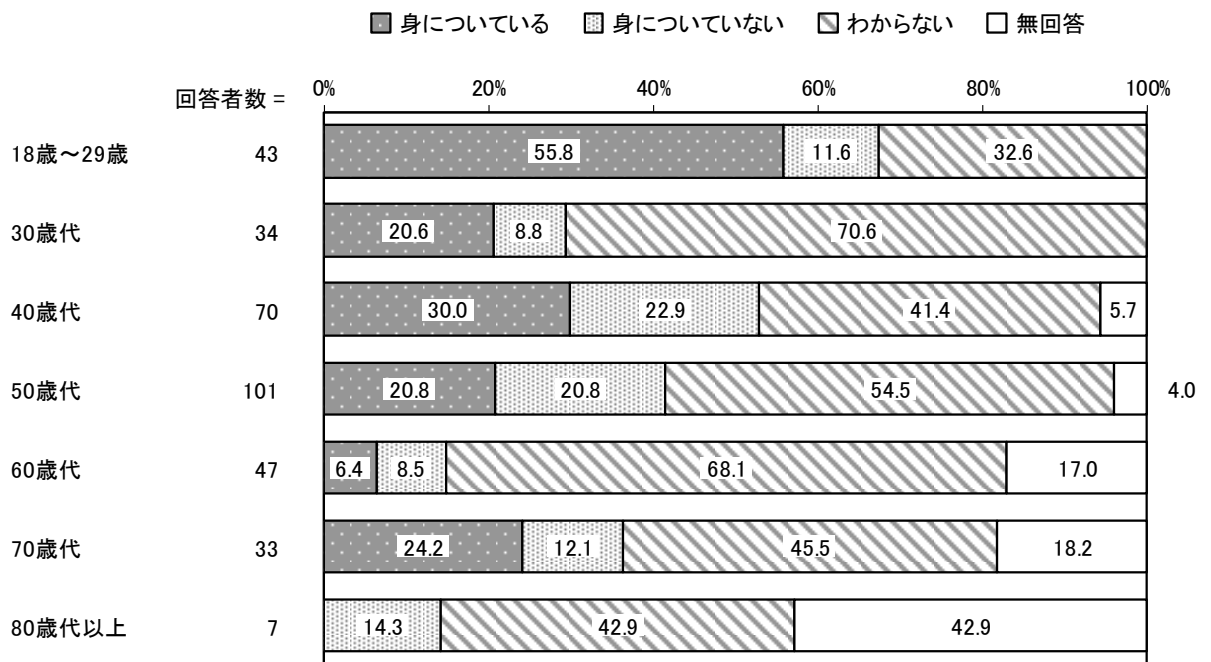




(10) 自分の健康や安全を管理する力

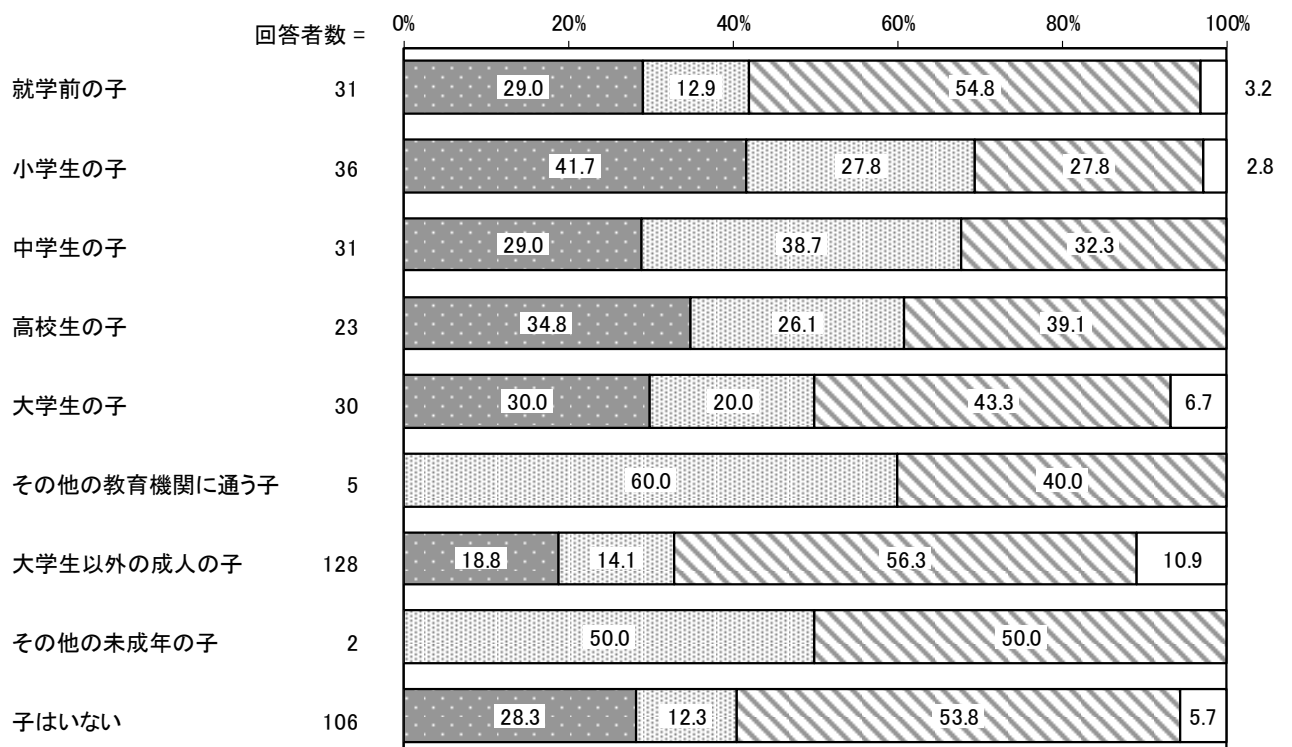
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で「身につけている」の割合が高くなっています。



【子どもの有無別】

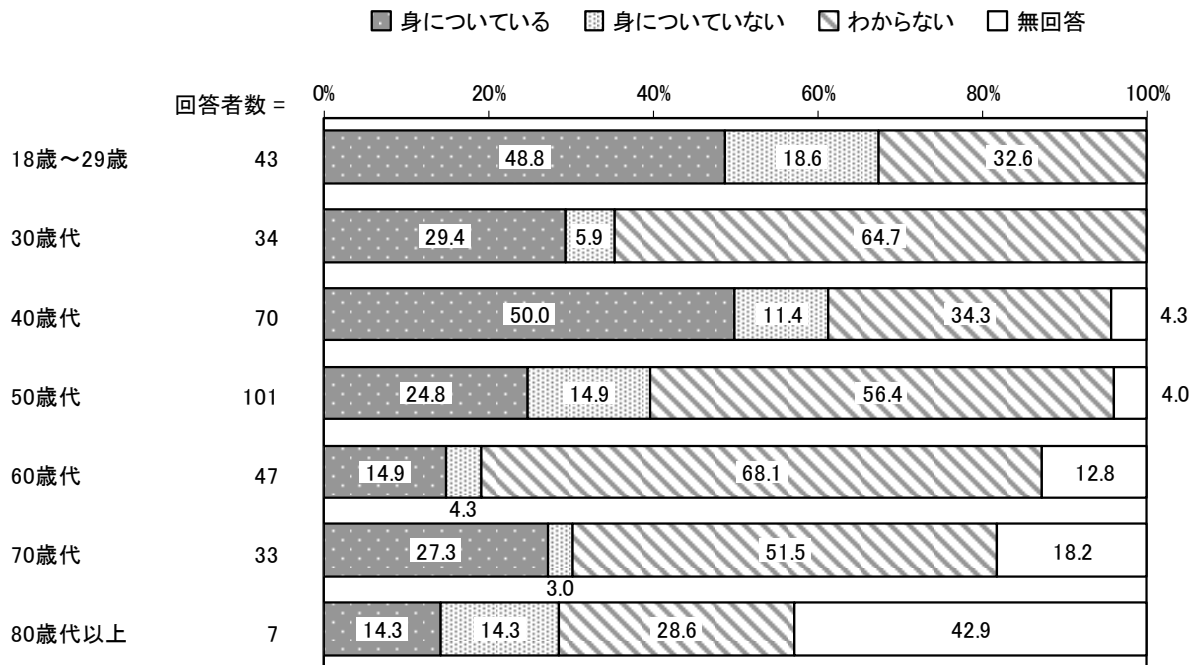
子どもの有無別でみると、他に比べ、小学生の子で「身につけている」の割合が、中学生の子で「身につけていない」の割合が高くなっています。



(11) 善悪を判断する力

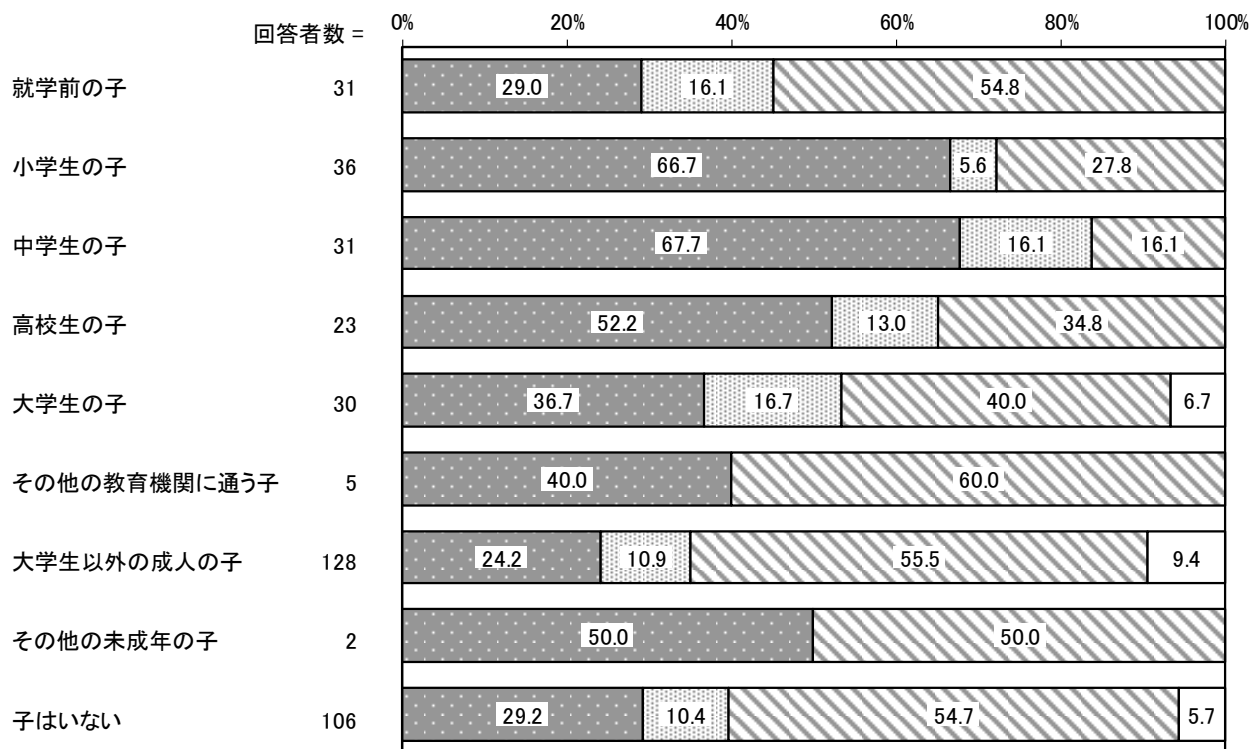
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳、40歳代、で「身についている」の割合が、60歳代で「わからない」の割合が高くなっています。



【子どもの有無別】

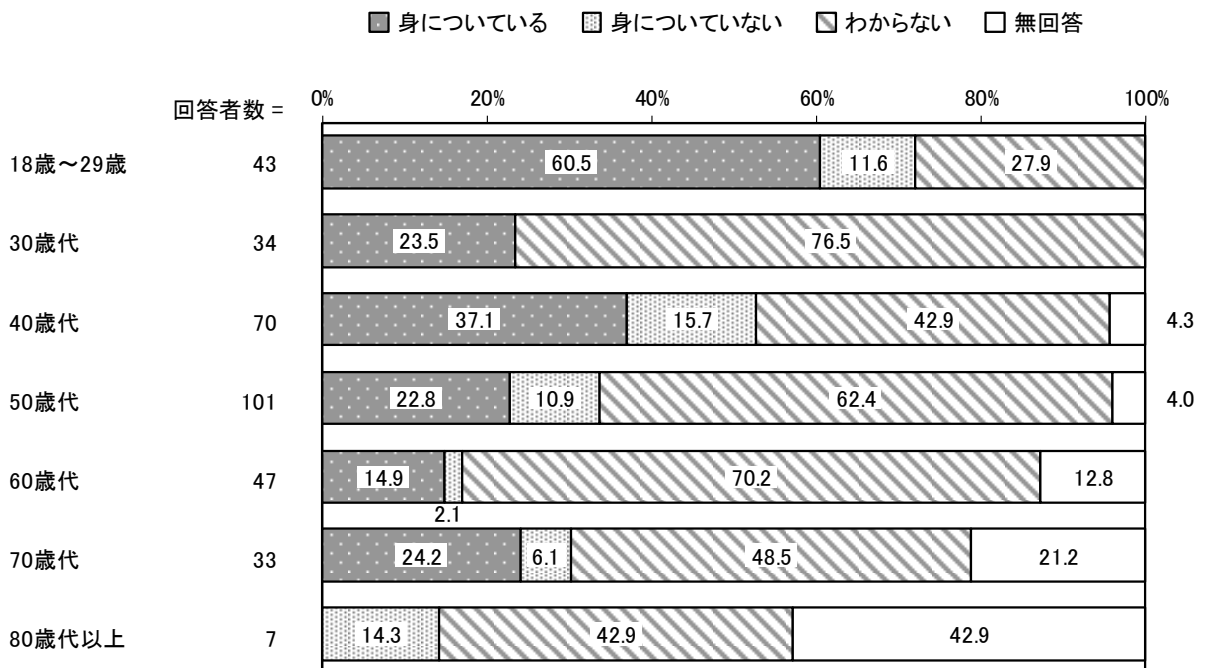
子どもの有無別でみると、他に比べ、小学生の子、中学生の子で「身についている」の割合が高くなっています。



## (12) 人間関係を築く力

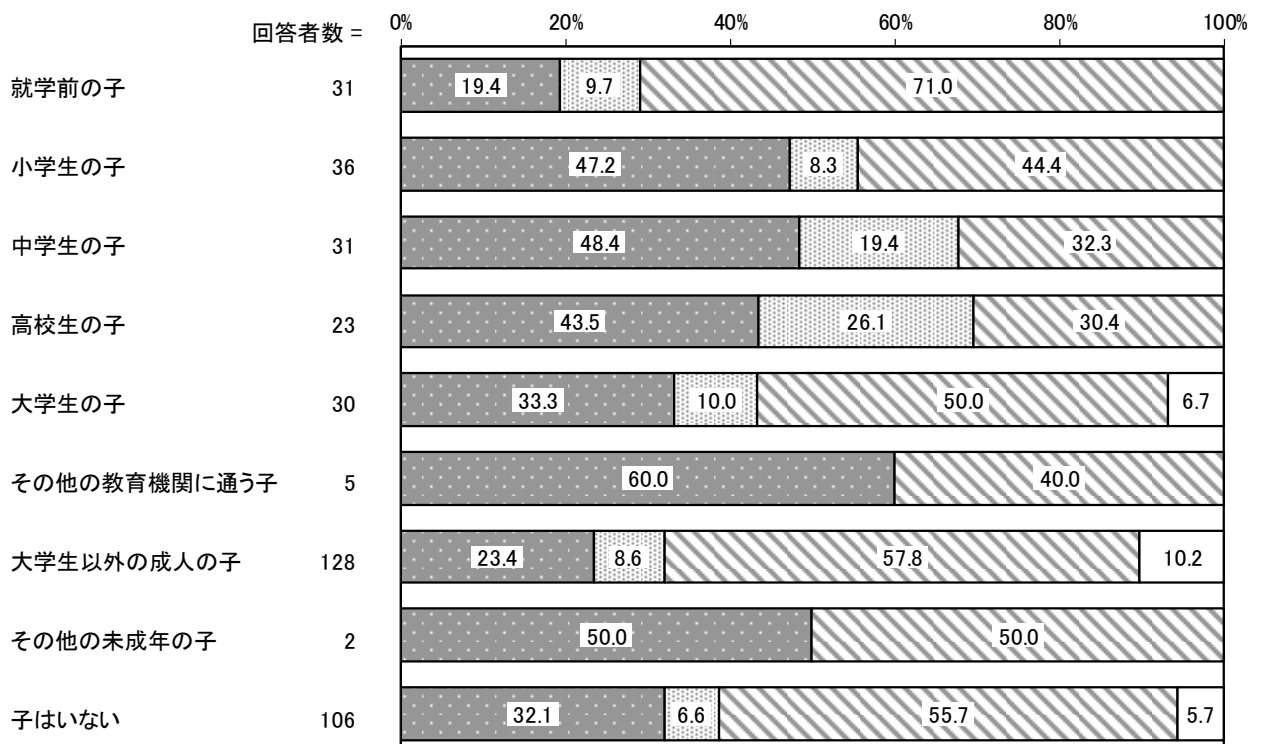
### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で「身につけている」の割合が、30歳代で「わからない」の割合が高くなっています。



### 【子どもの有無別】

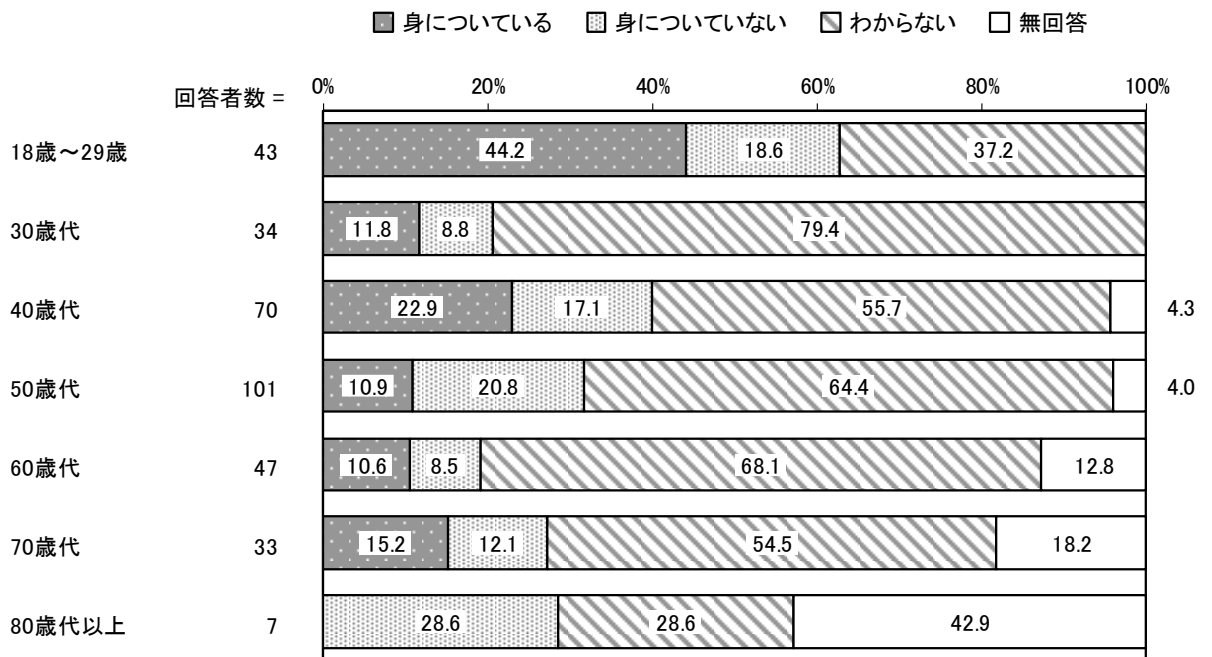
子どもの有無別でみると、他に比べ、高校生の子で「身につけていない」の割合が高くなっています。



(13) 社会で役立とうとする心や公共心

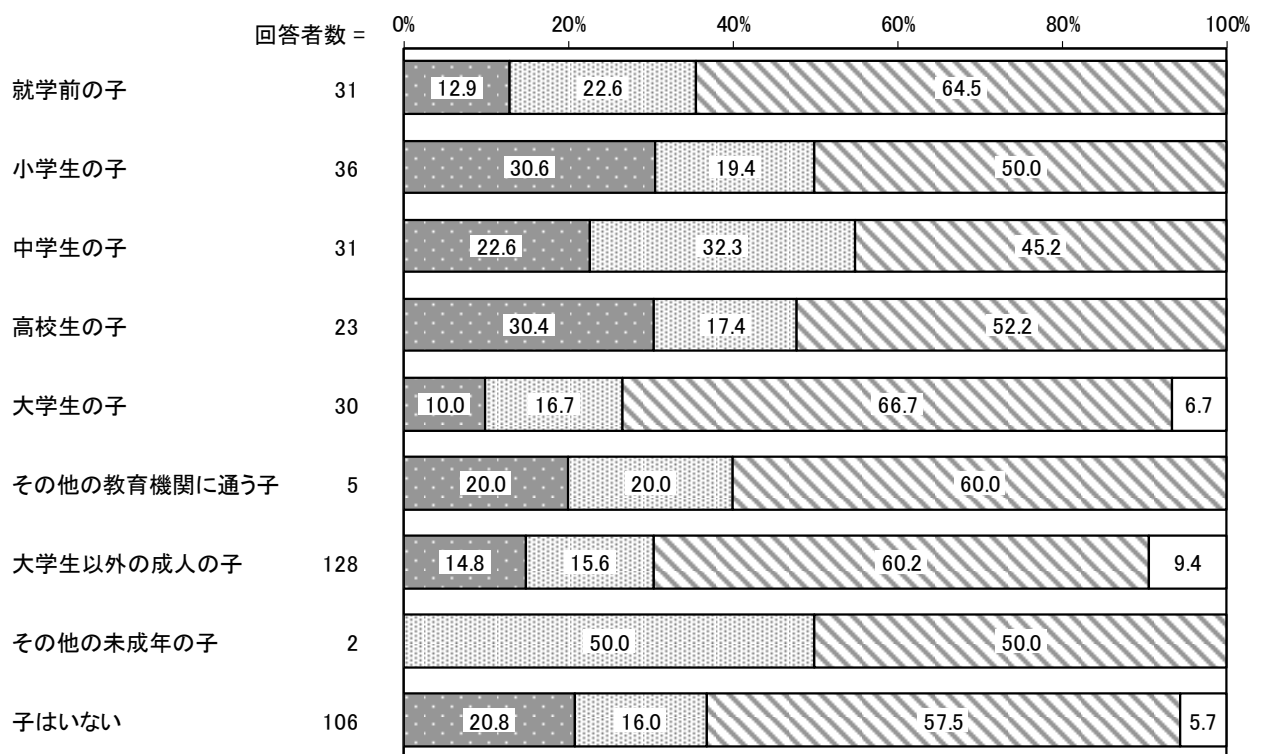
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で「身についている」の割合が高くなっています。



【子どもの有無別】

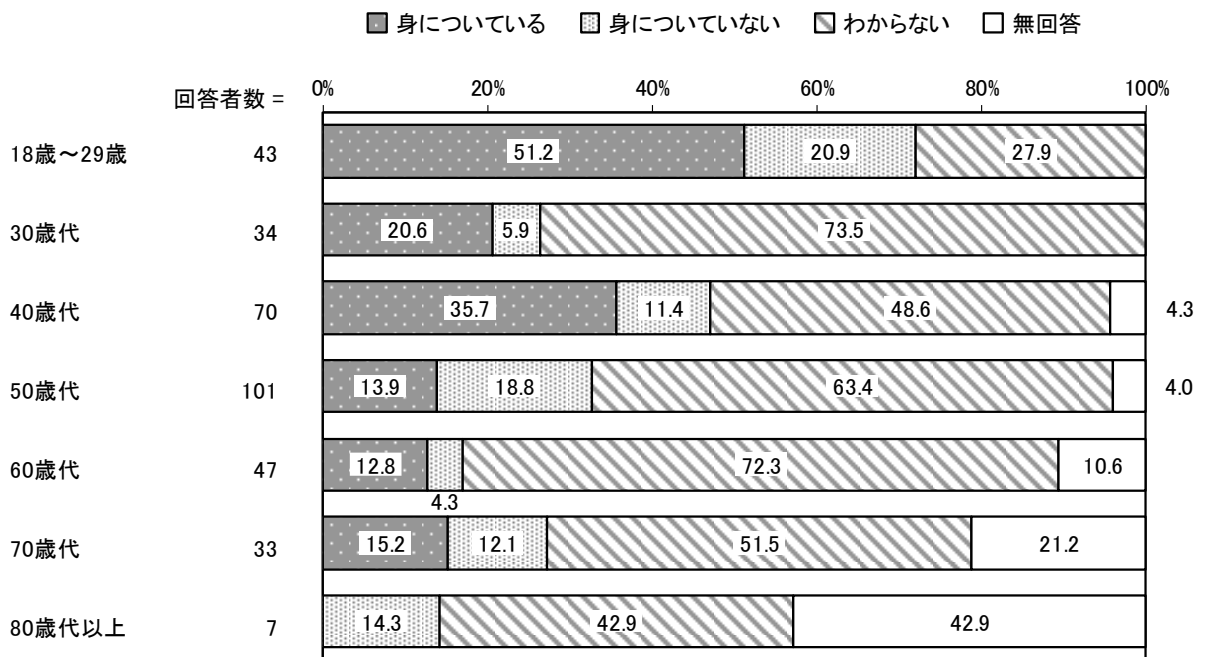
子どもの有無別でみると、他に比べ、小学生の子、中学生の子で「身についている」の割合が、中学生の子で「身についていない」の割合が高くなっています。



(14) 多様な人々がお互いに認め合い、共に生きる姿勢

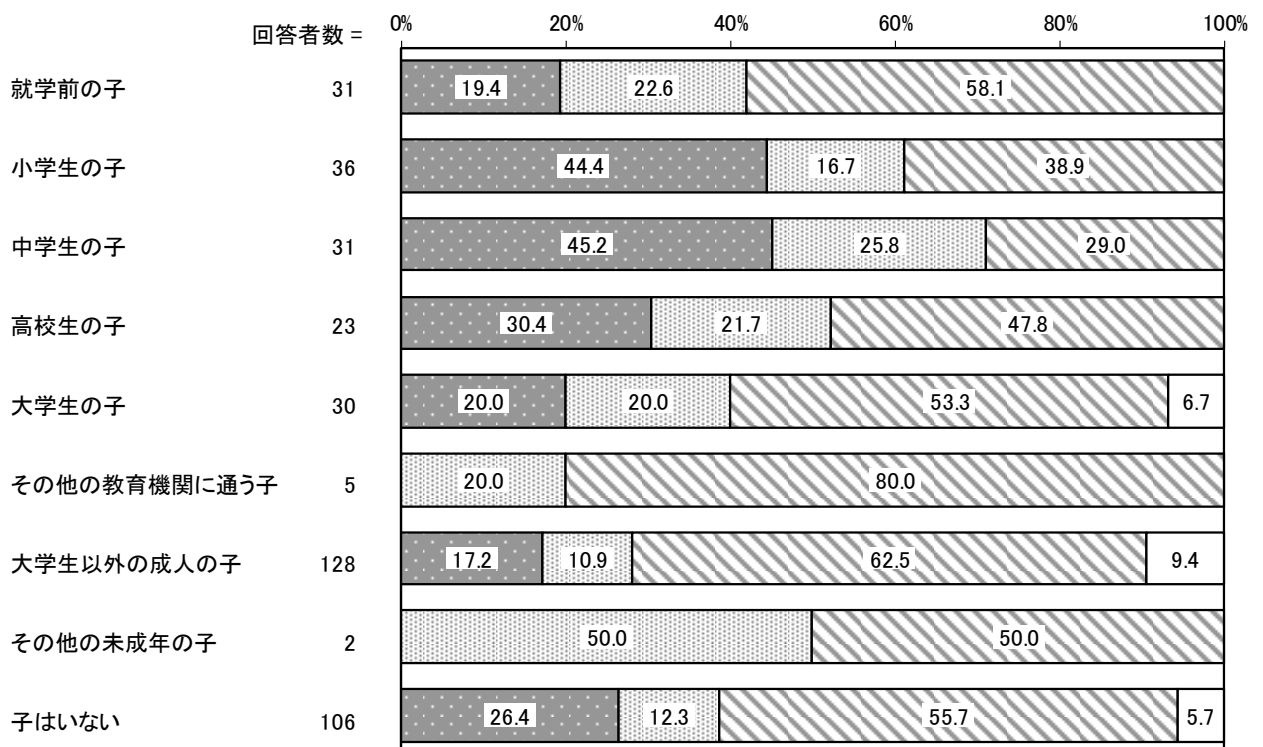
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で「身につけている」の割合が高くなっています。



【子どもの有無別】

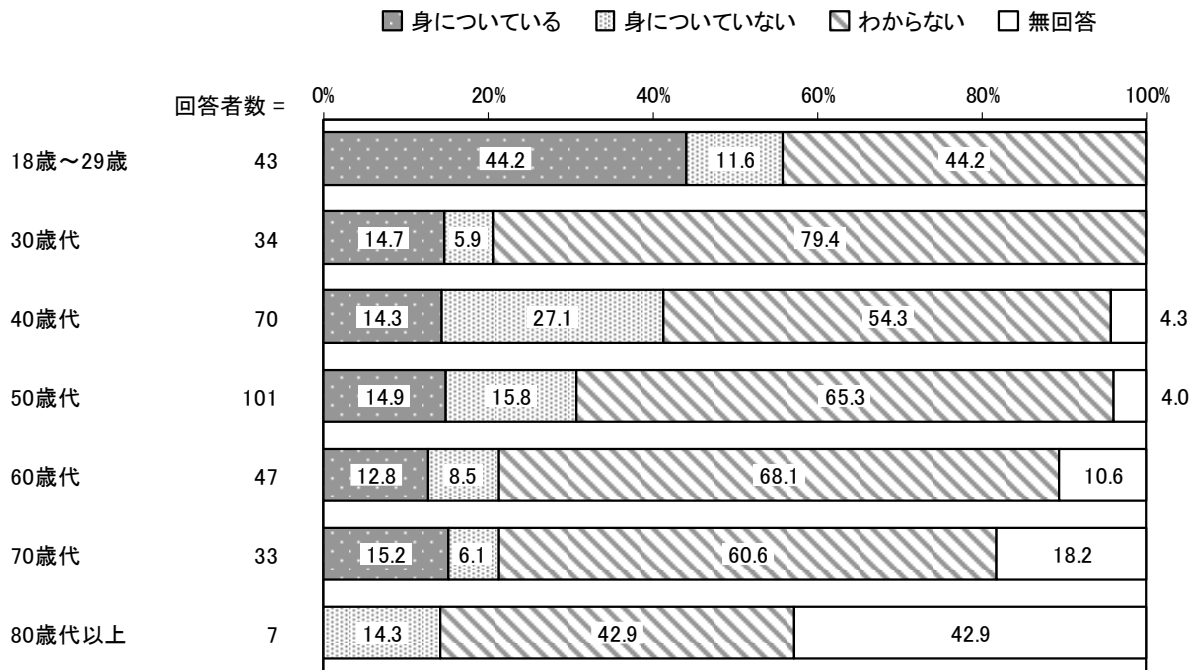
子どもの有無別でみると、他に比べ、小学生の子、中学生の子で「身につけている」の割合が、大学生以外の成人の子で「わからない」の割合が高くなっています。



(15) 生き方や進路について考える力

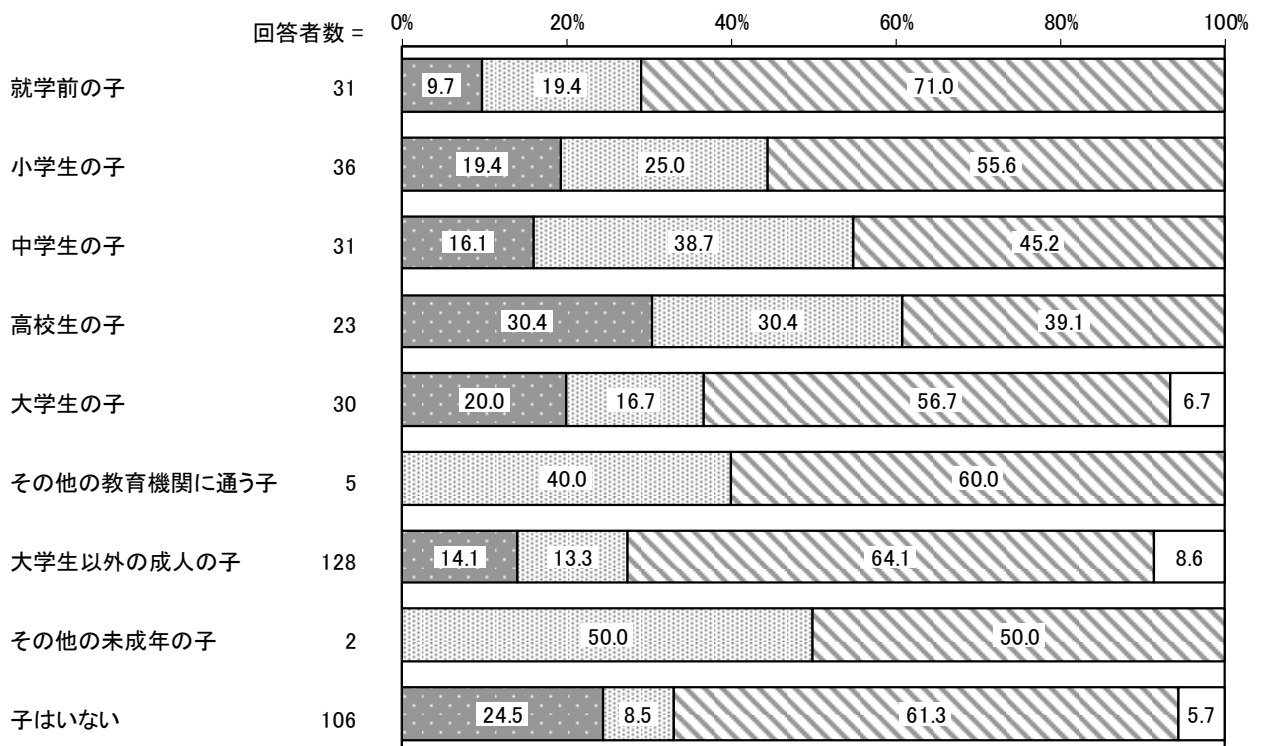
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で「身についている」の割合が、40歳代で「身についていない」の割合が高くなっています。



【子どもの有無別】

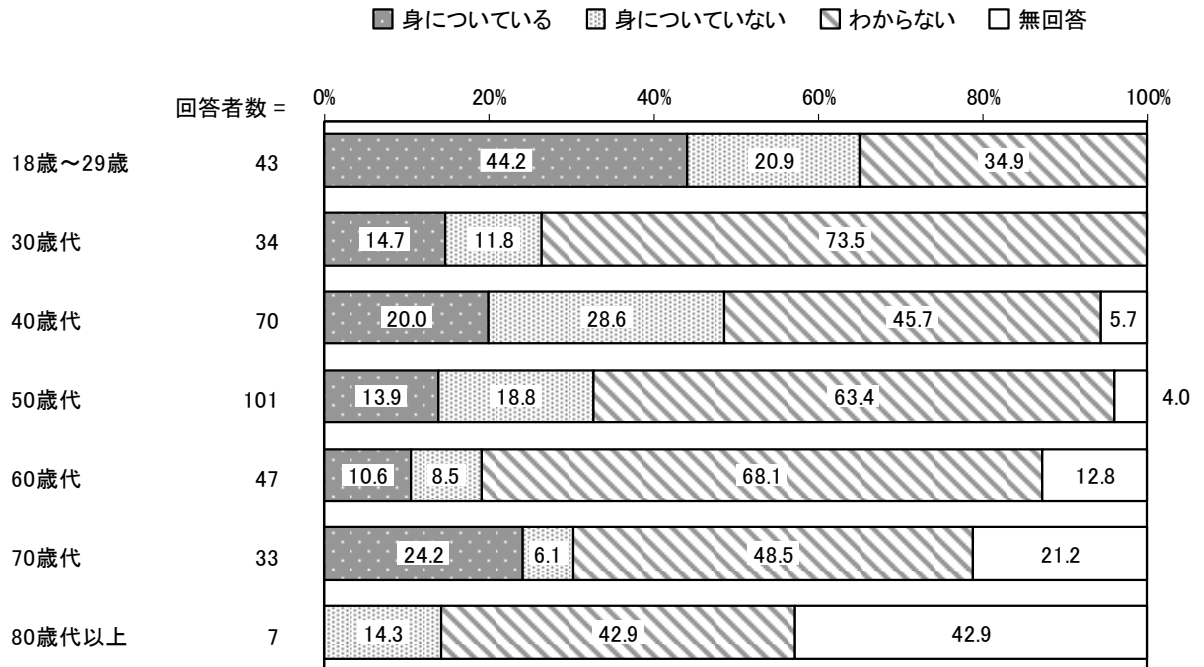
子どもの有無別でみると、他に比べ、高校生の子で「身についている」の割合が、中学生の子で「身についていない」の割合が高くなっています。



(16) ものごとをやりとげる粘り強さ

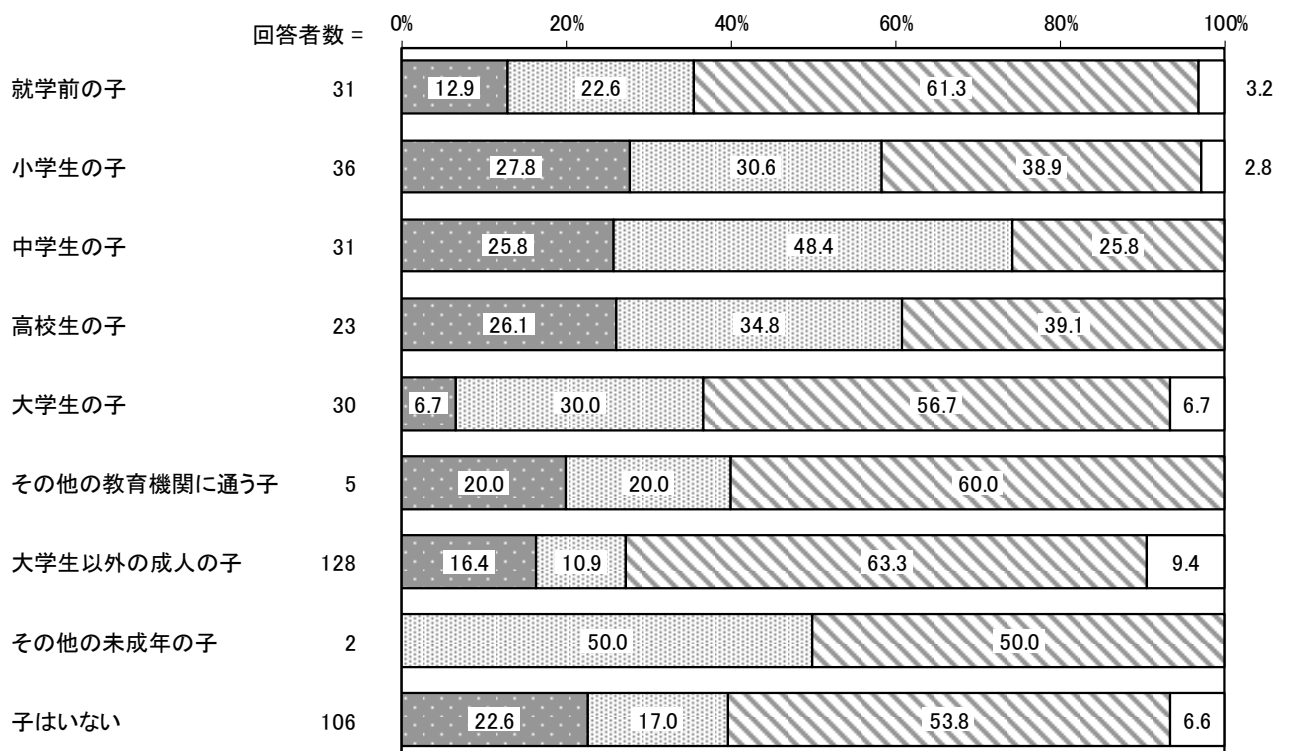
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で「身についている」の割合が、40歳代で「身についていない」の割合が高くなっています。また、30歳代で「わからない」の割合が高くなっています。



【子どもの有無別】

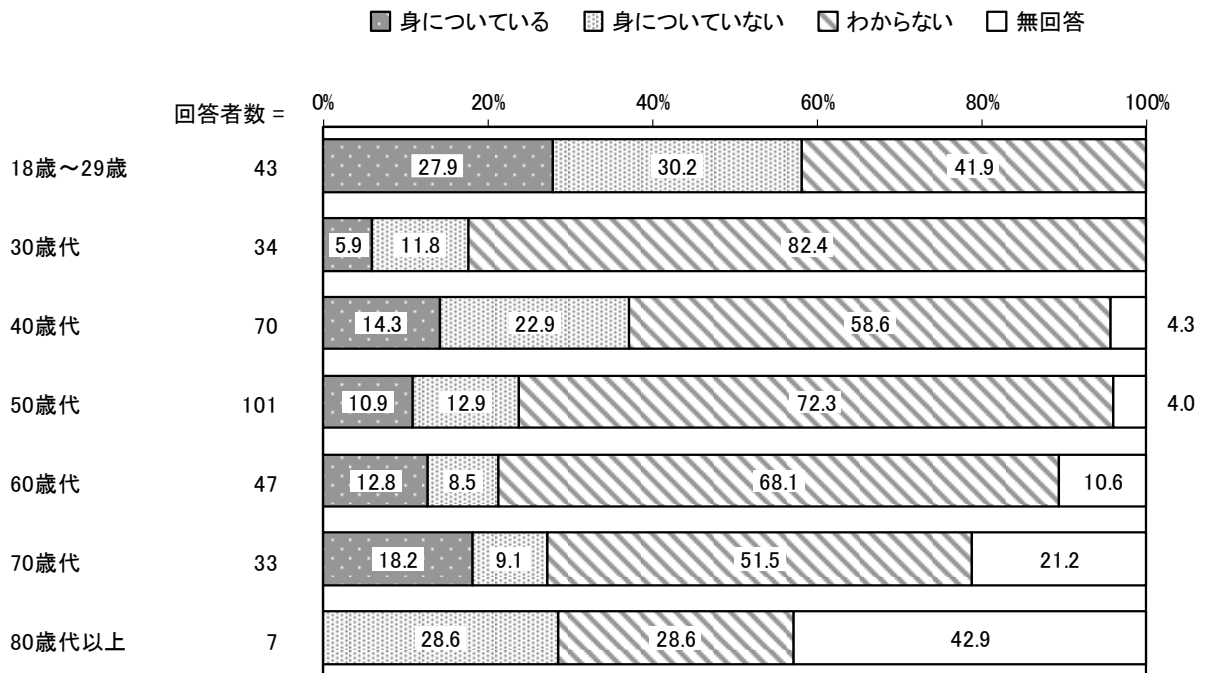
子どもの有無別でみると、他に比べ、中学生の子で「身についていない」の割合が高くなっています。



(17) 郷土や国を愛する心

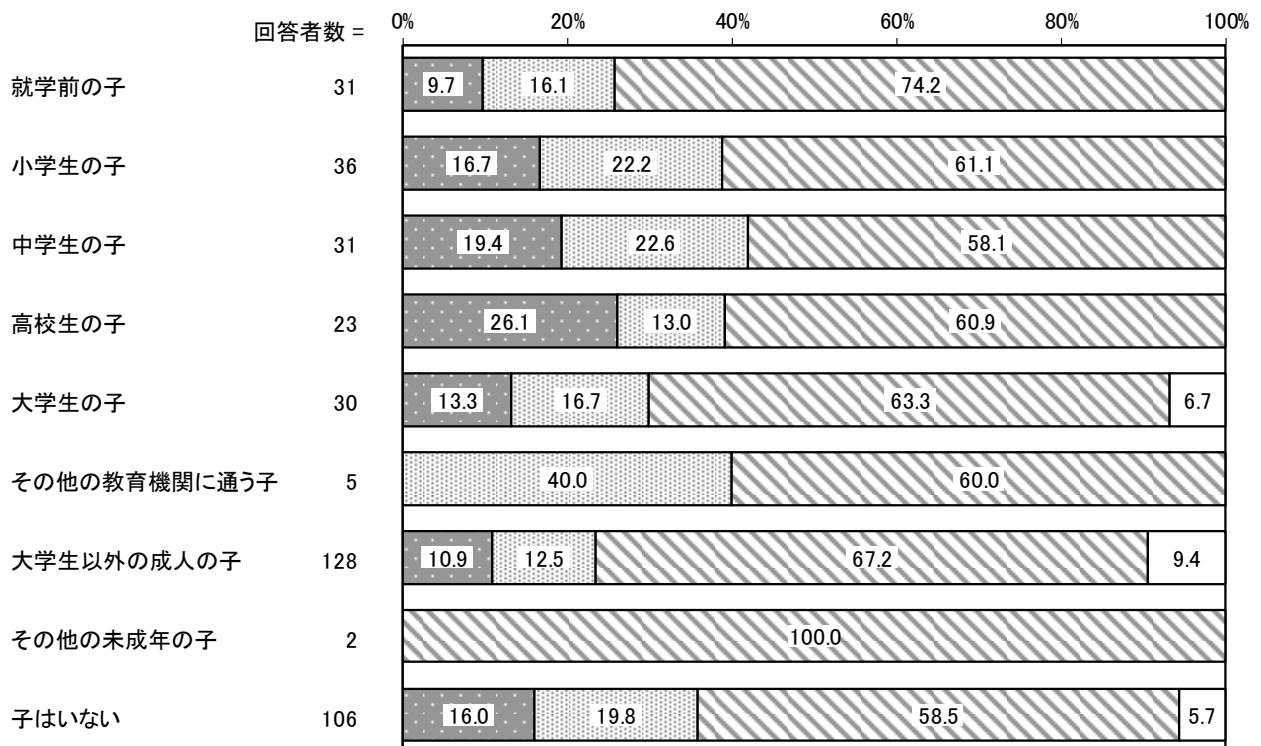
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で「身についている」「身についていない」の割合が高くなっています。



【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、他に比べ、高校生の子で「身についている」の割合が、就学前の子で「わからない」の割合が高くなっています。

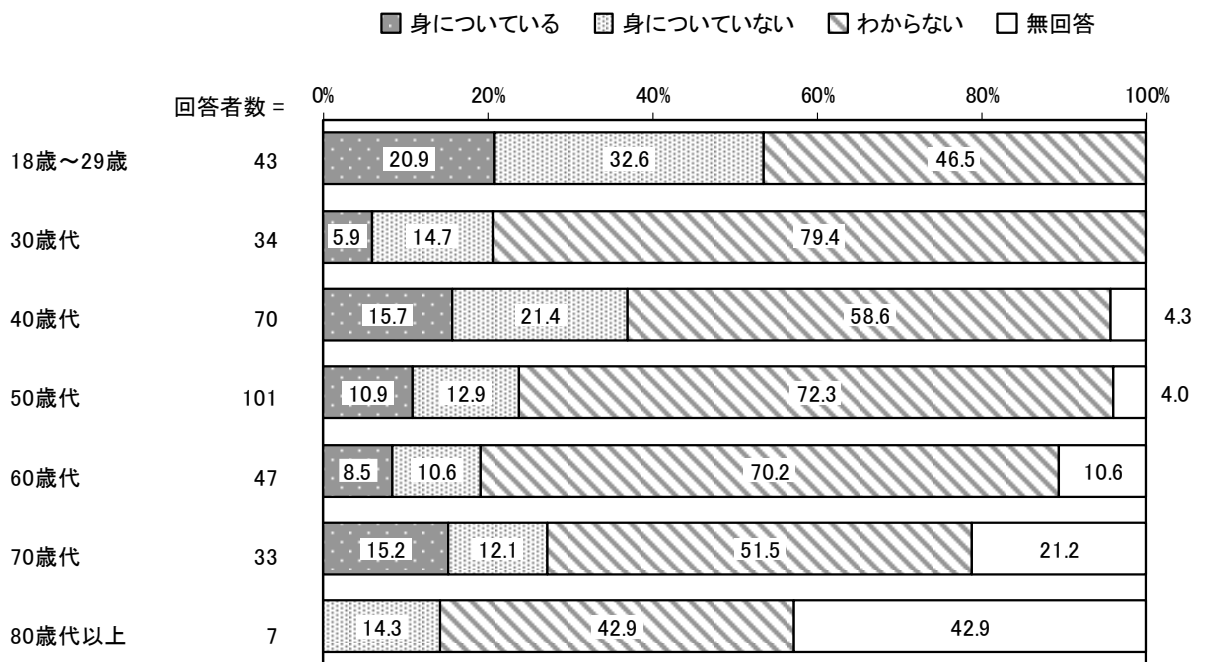




(18) 歴史や伝統、文化についての理解

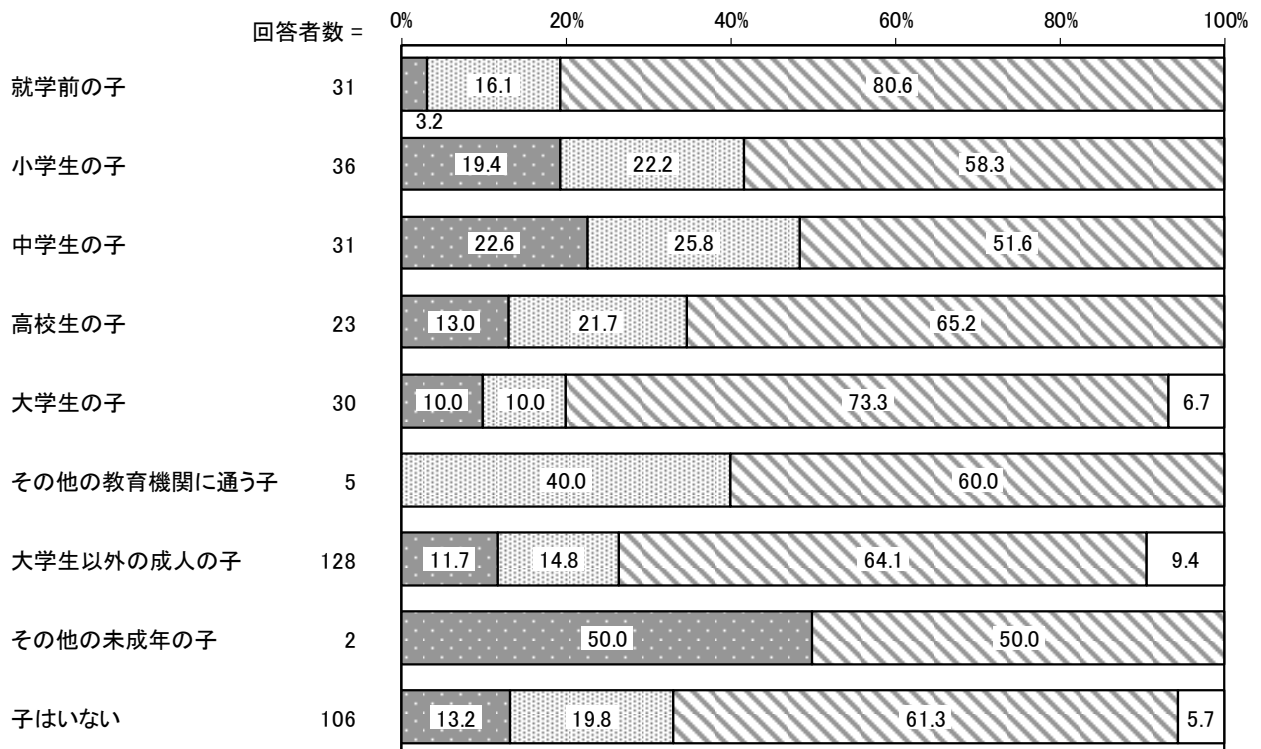
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で「身についている」「身についていない」の割合が高くなっています。



【子どもの有無別】

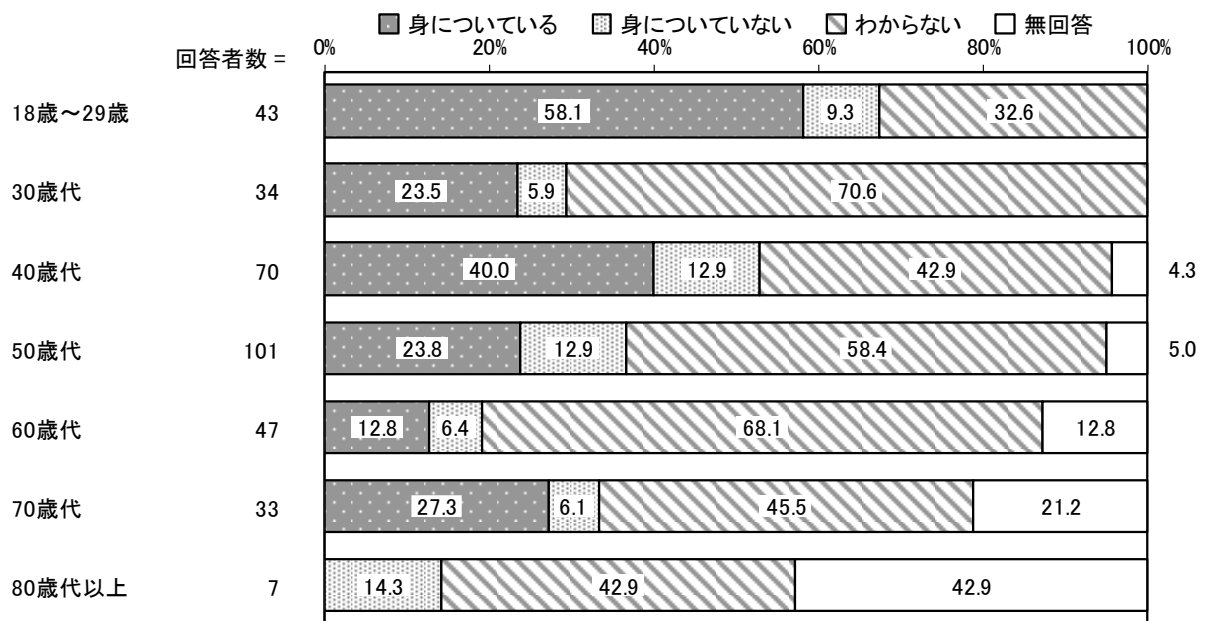
子どもの有無別でみると、他に比べ、中学生の子で「身についている」「身についていない」の割合が、就学前の子で「わからない」の割合が高くなっています。



(19) 他者に対する理解と思いやりや優しさ

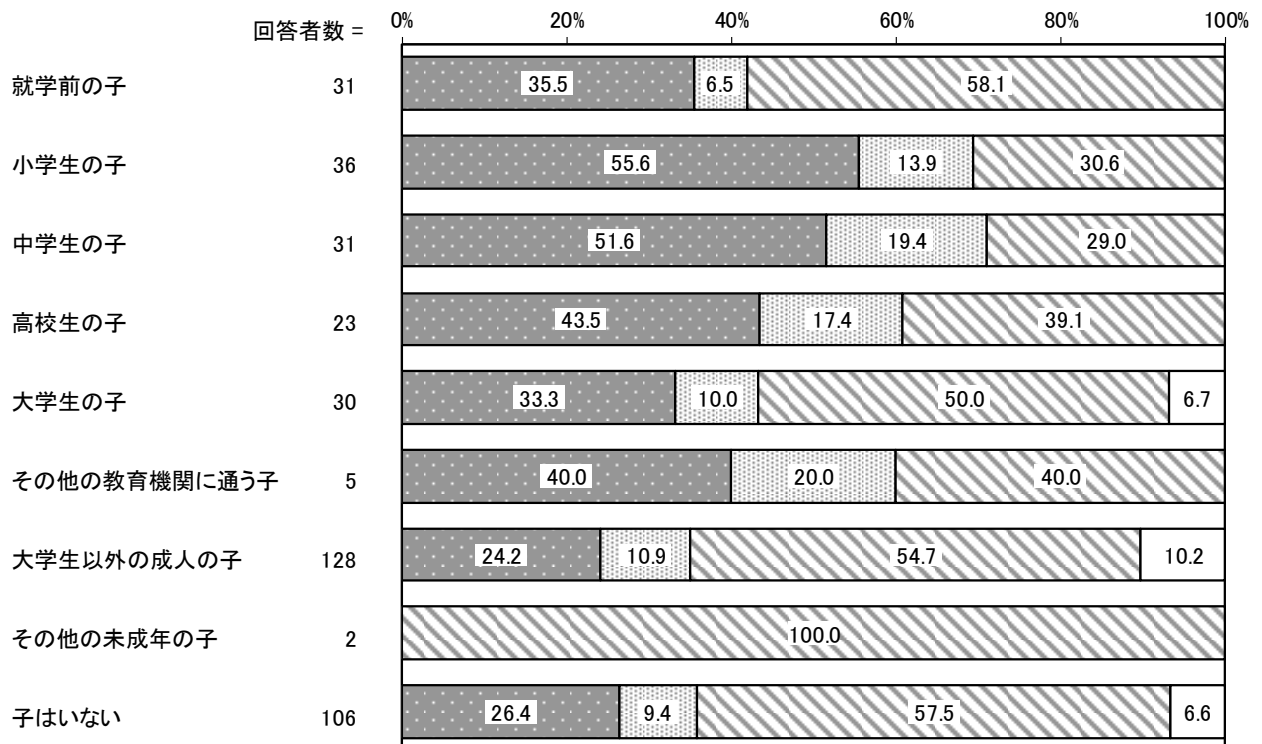
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で「身につけている」の割合が高くなっています。



【子どもの有無別】

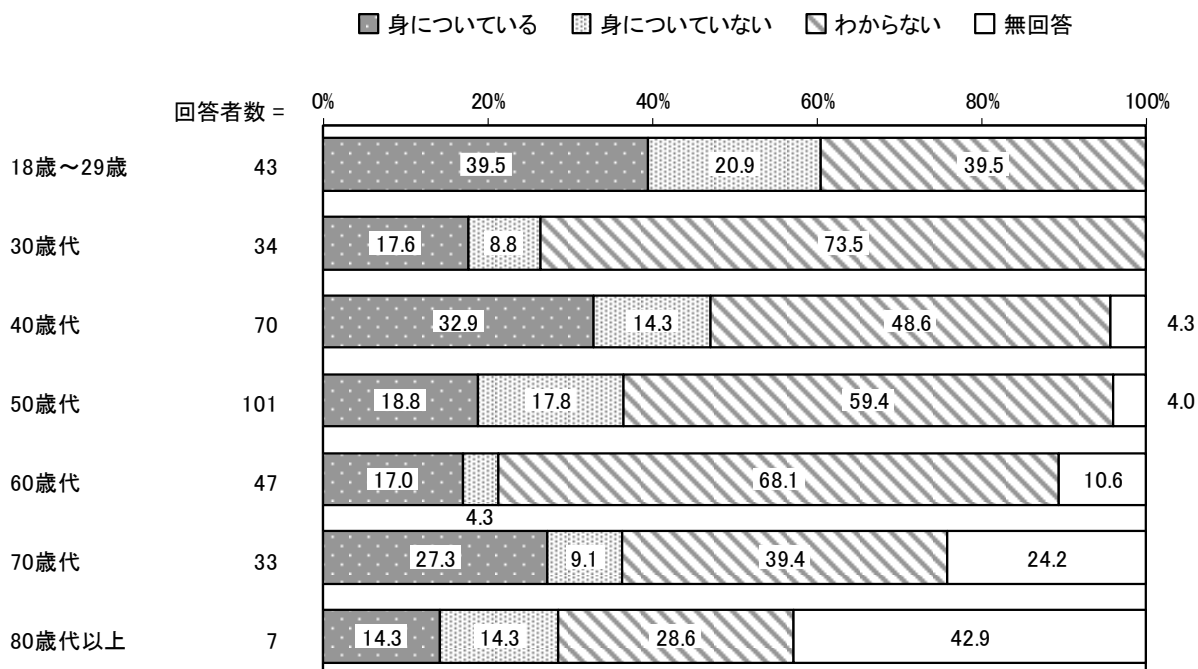
子どもの有無別でみると、他に比べ、小学生の子、中学生の子で「身につけている」の割合が高くなっています。



## (20) 生命や自然、環境を大切にする心

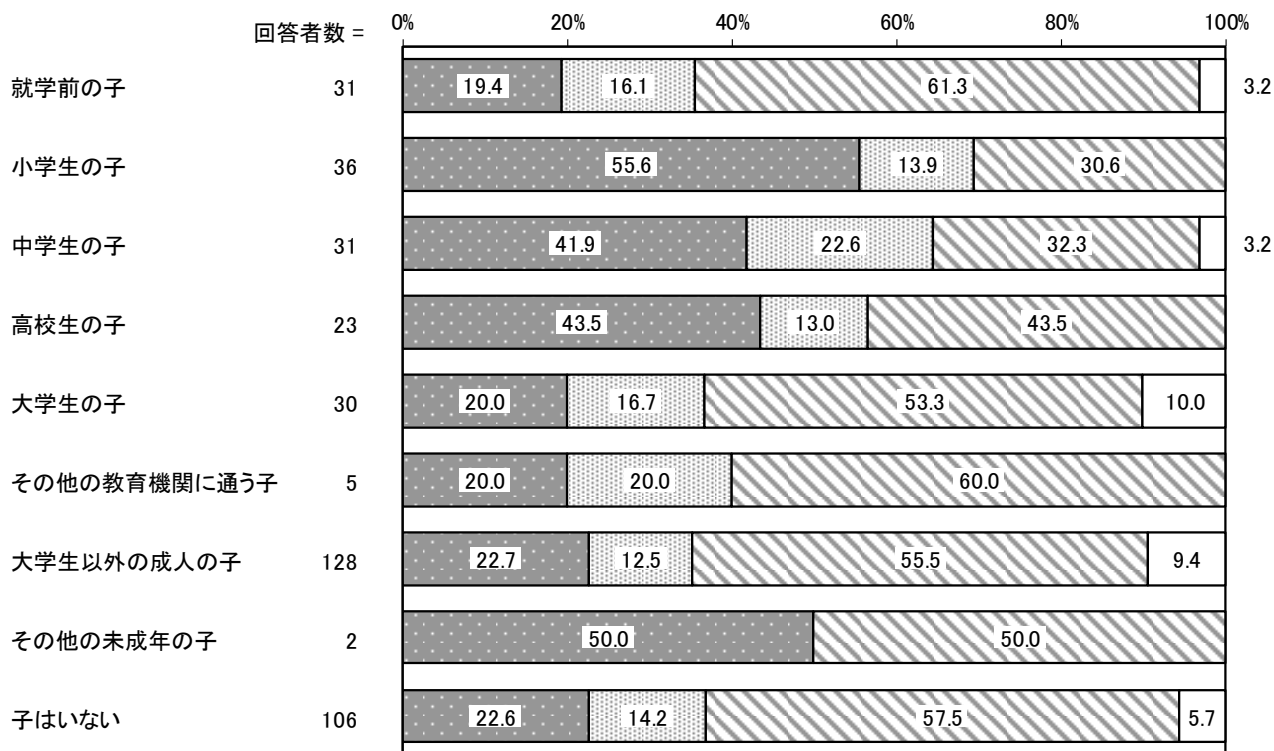
### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳、40歳代で「身につけている」の割合が、30歳代で「わからない」の割合が高くなっています。



### 【子どもの有無別】

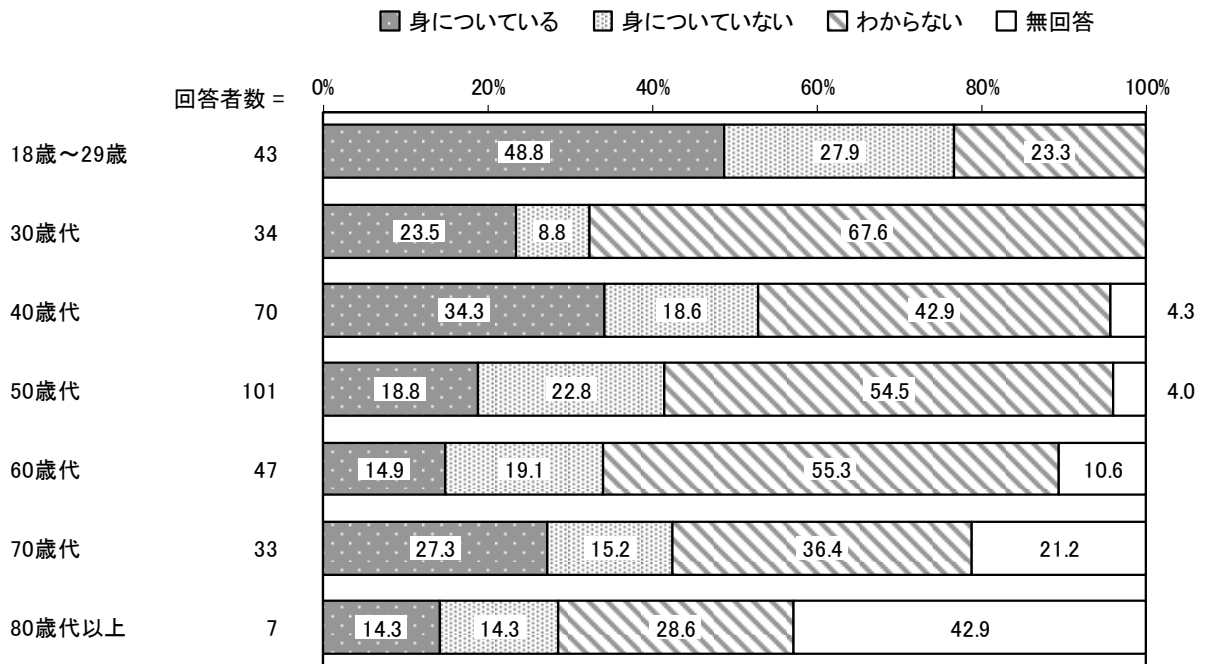
子どもの有無別でみると、他に比べ、小学生の子で「身につけている」の割合が、中学生の子で「身につけていない」の割合が高くなっています。



(21) 言葉遣い、礼節、マナー

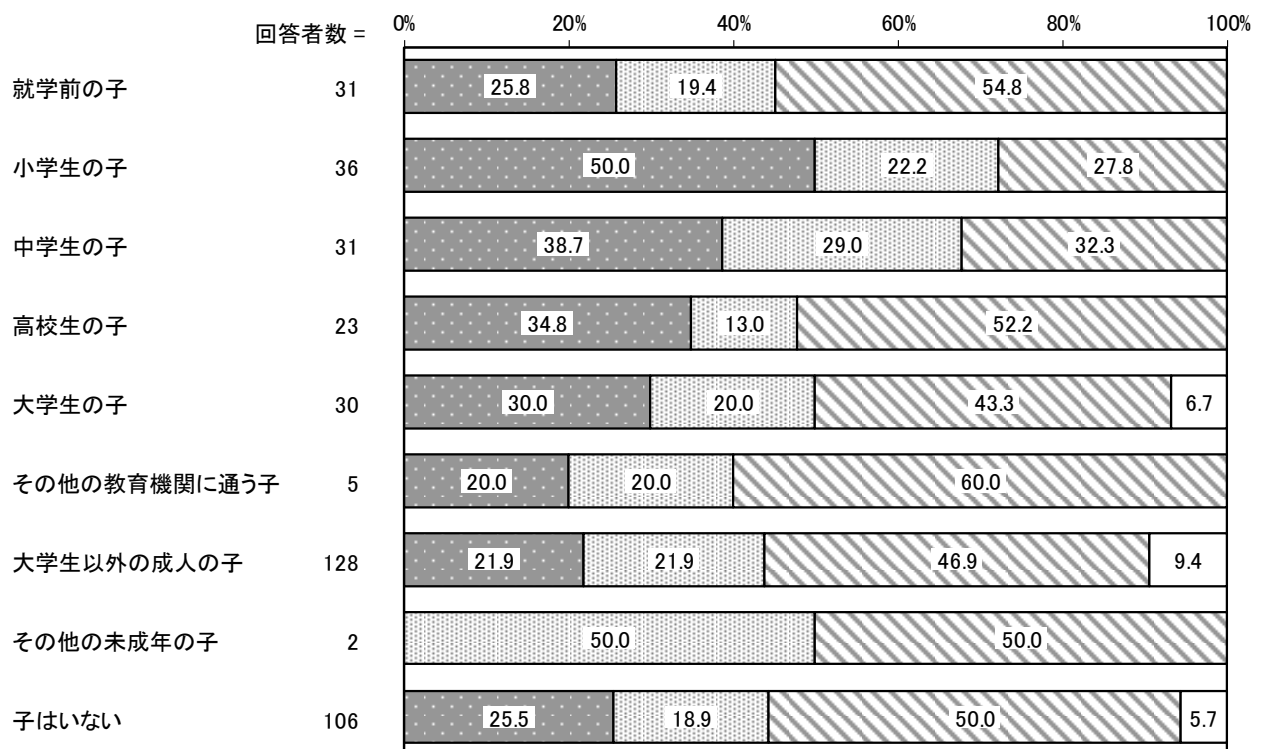
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で「身につけている」「身につけていない」の割合が高くなっています。



【子どもの有無別】

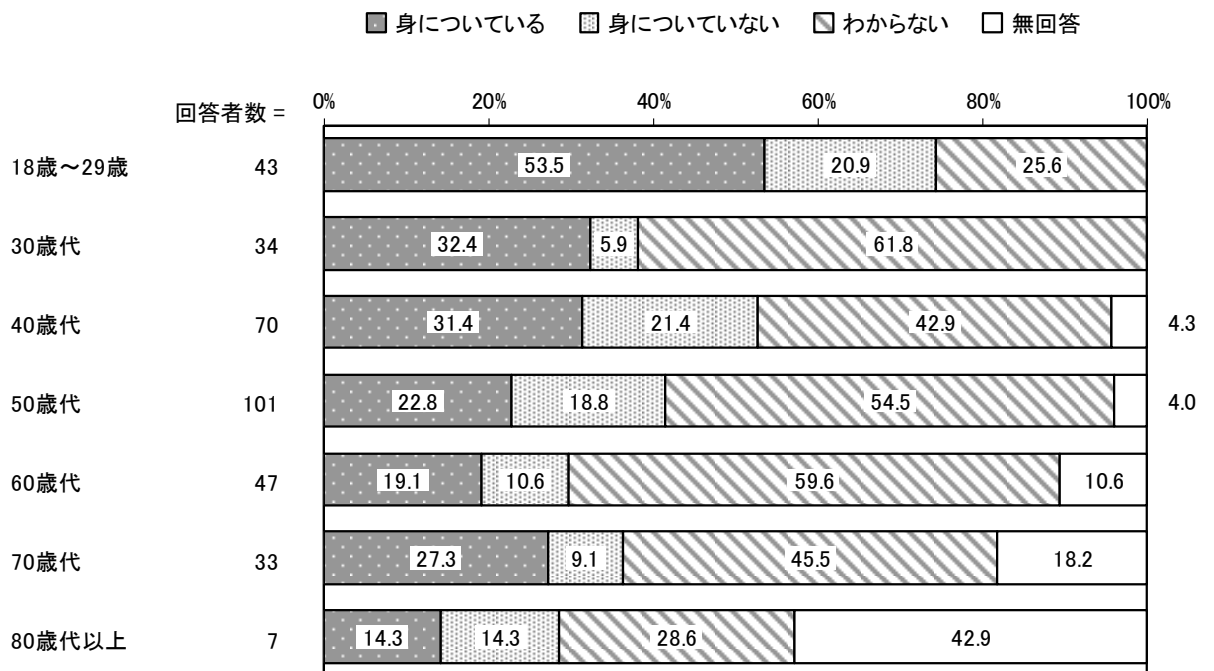
子どもの有無別でみると、他に比べ、小学生の子で「身につけている」の割合が、中学生の子で「身につけていない」の割合が高くなっています。



(22) 基本的な生活習慣

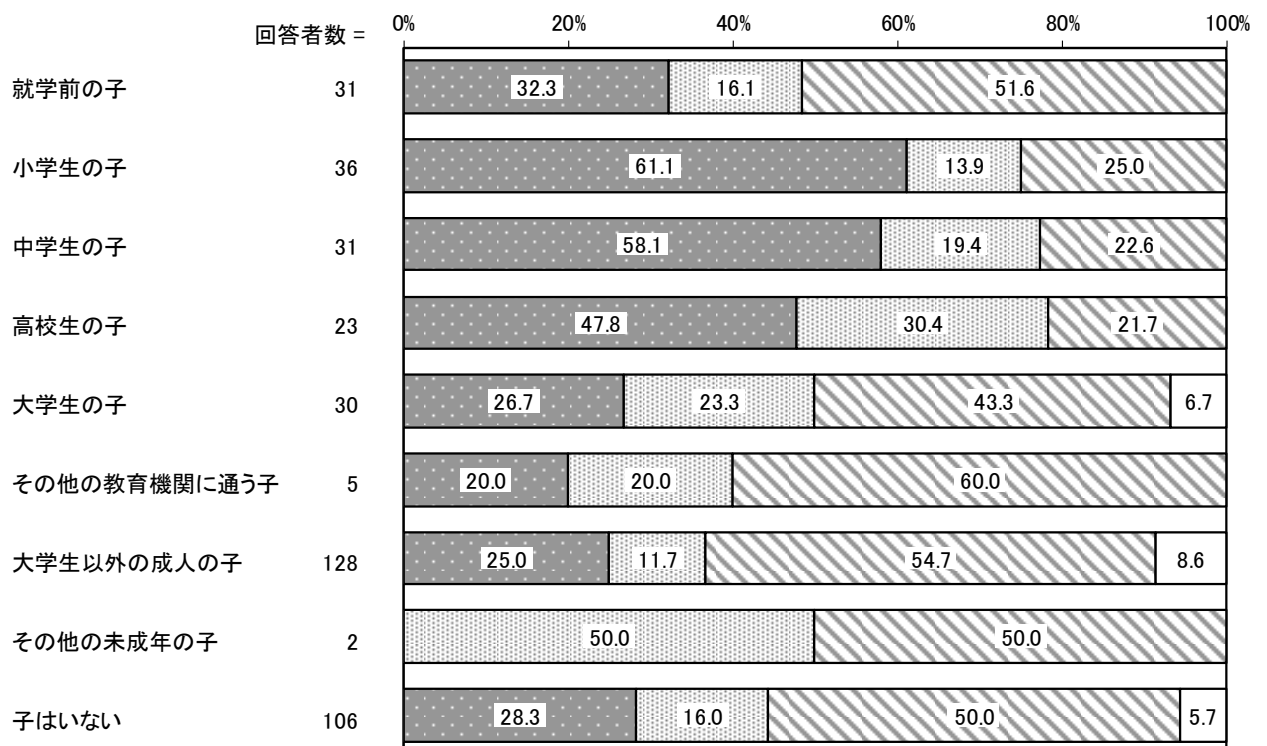
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で「身につけている」の割合が高くなっています。



【子どもの有無別】

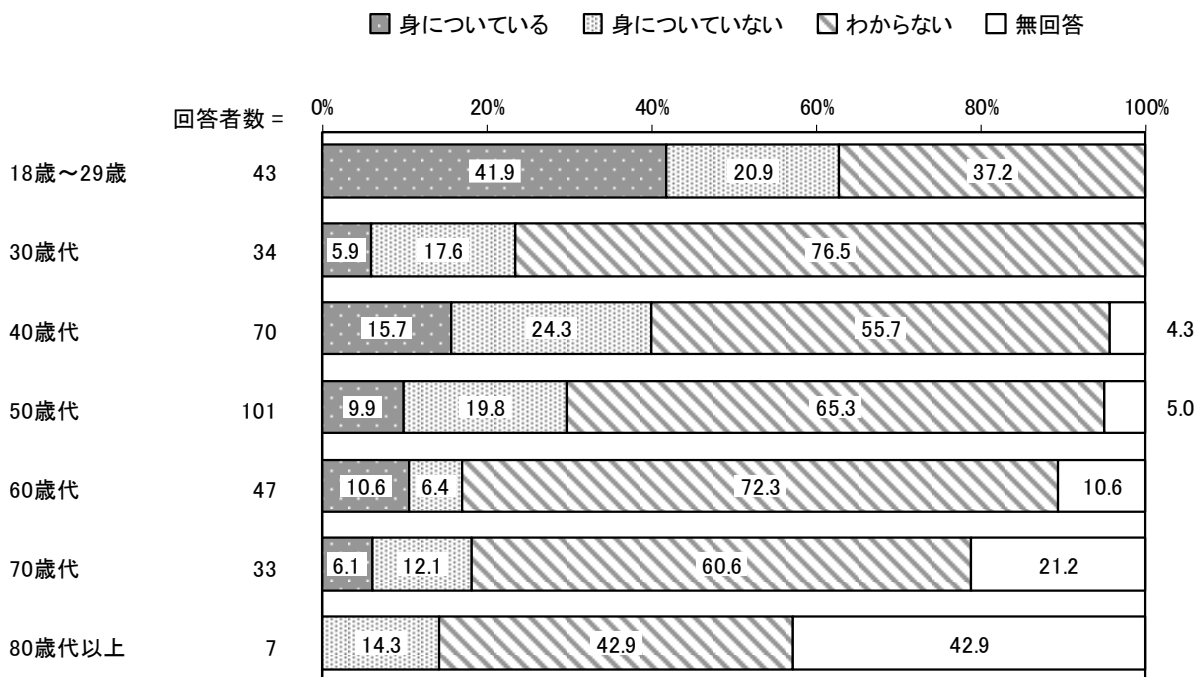
子どもの有無別でみると、他に比べ、小学生の子、中学生の子で「身につけている」の割合が、高校生の子で「身につけていない」の割合が高くなっています。



(23) 幅広い知識や教養

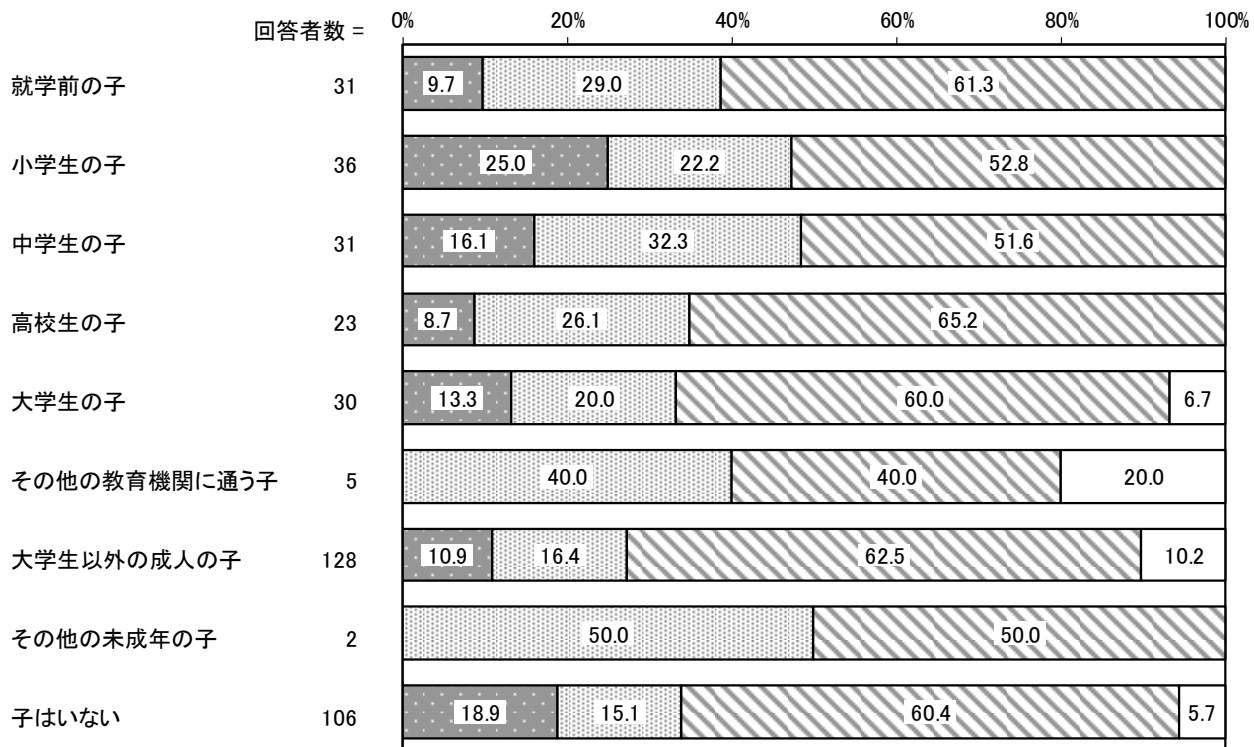
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で「身につけている」の割合が高くなっています。



【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、他に比べ、小学生の子で「身につけている」の割合が高くなっています。

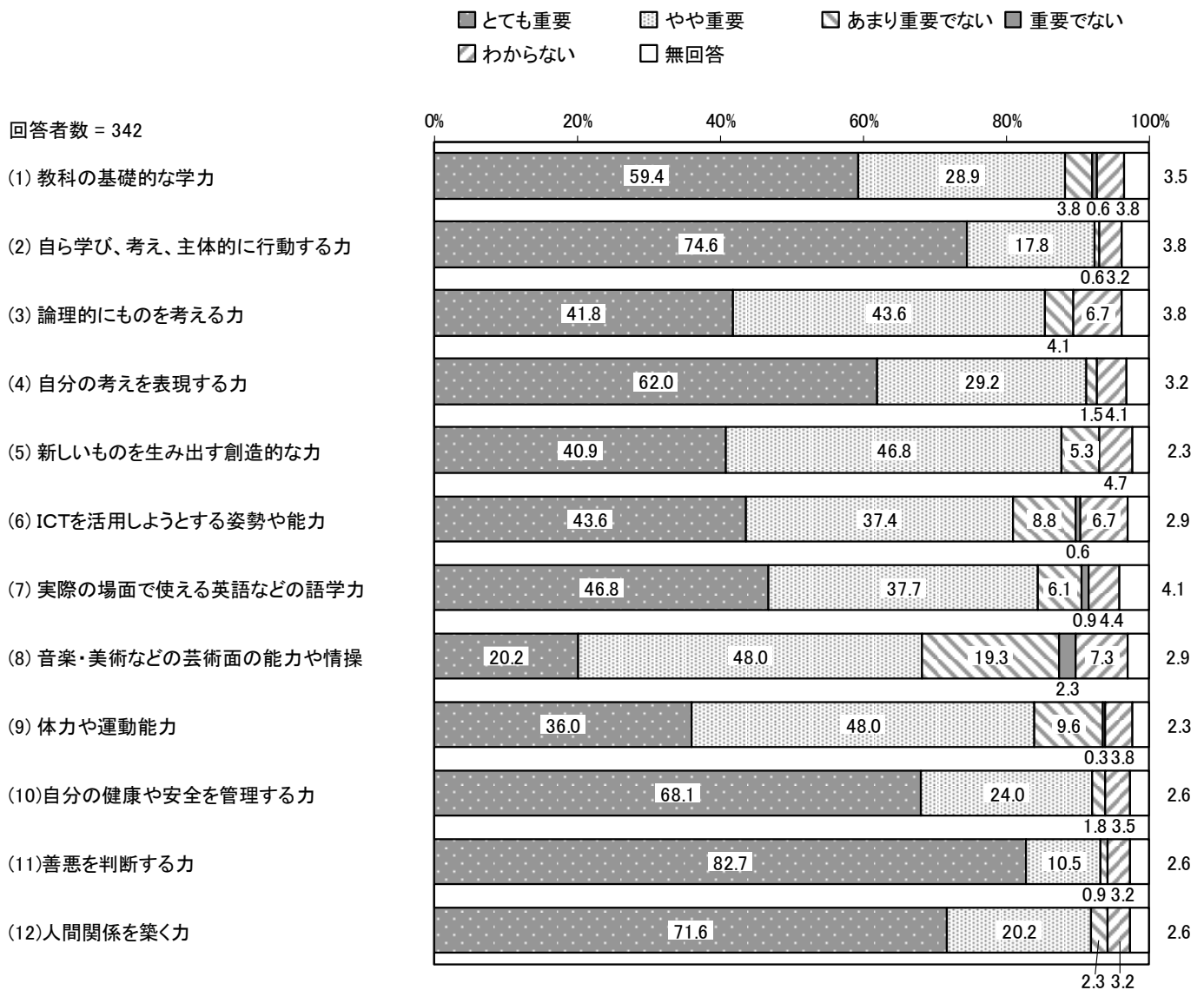


## 重要性

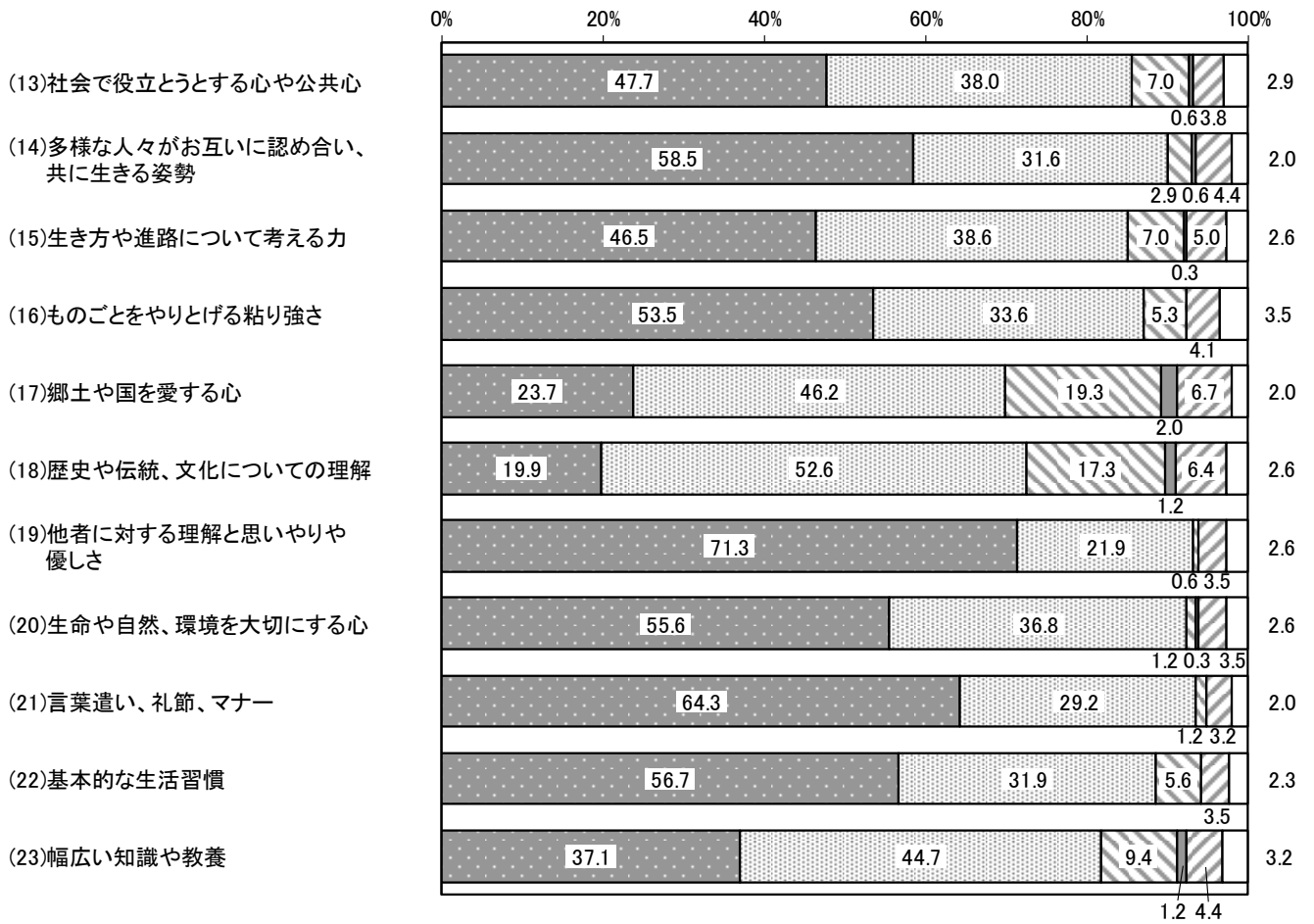
「とても重要」と「やや重要」をあわせた“重要”（以下、“重要”という。）の割合が高いのは『(21)言葉遣い、礼節、マナー』『(11)善悪を判断する力』『(19)他者に対する理解と思いやりや優しさ』『(20)生命や自然、環境を大切にする心』となっています。

「あまり重要でない」と「重要でない」をあわせた“重要でない”（以下、“重要でない”という。）の割合が高いのは『(8)音楽・美術などの芸術面の能力や情操』『(17)郷土や国を愛する心』『(18)歴史や伝統、文化についての理解』『(23)幅広い知識や教養』となっています。

※P84において、「質問項目について得点化しポートフォリオ分析をおこないました。」



■ とても重要    ■ やや重要    ■ あまり重要でない    ■ 重要でない  
 ■ わからない    □ 無回答

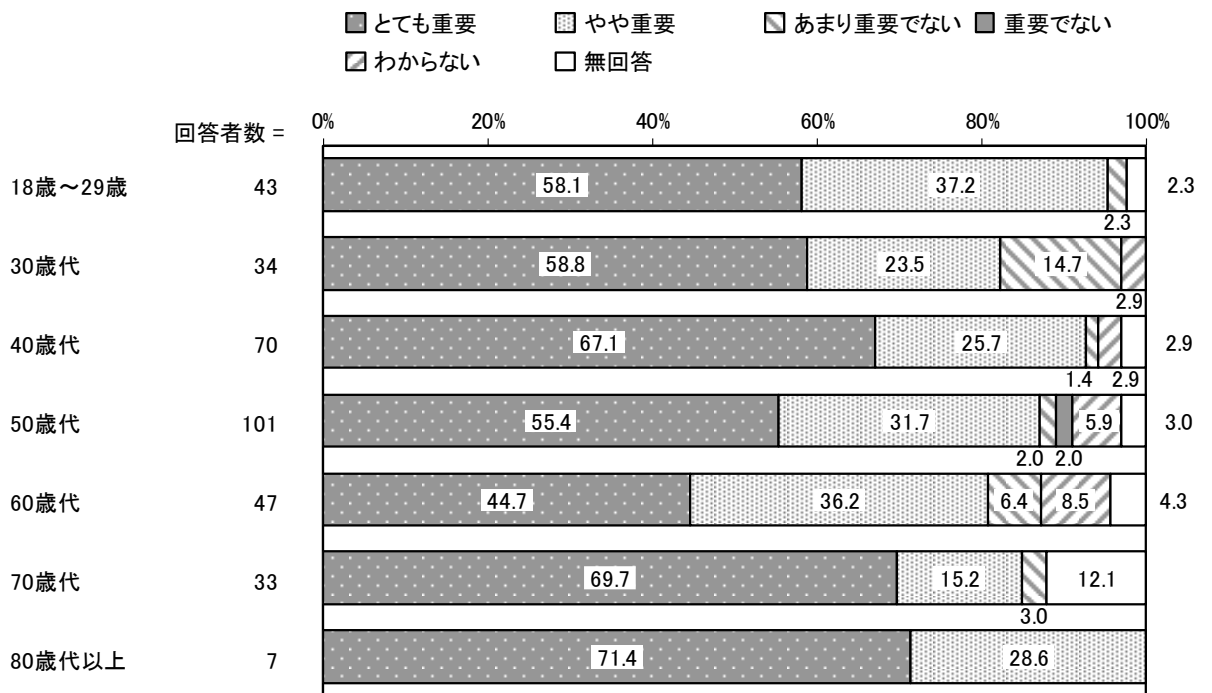




(1) 教科の基礎的な学力

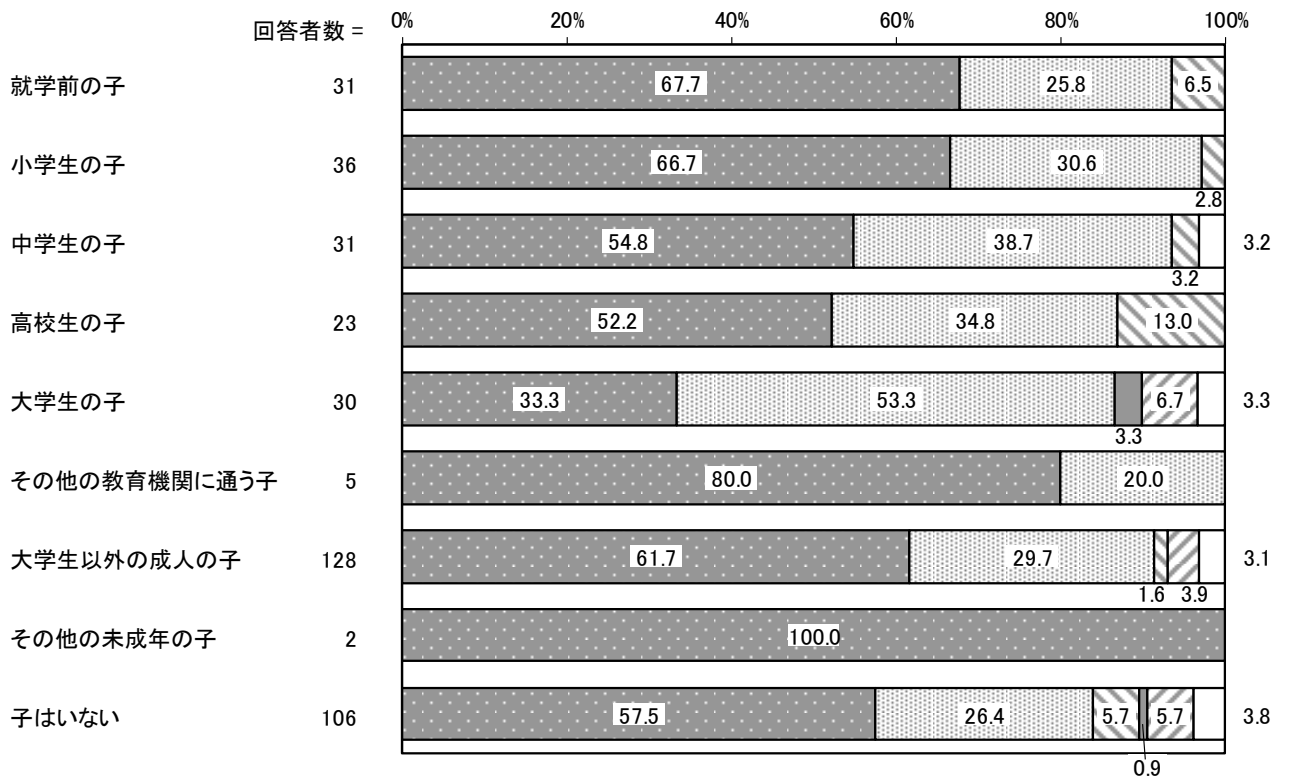
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳代で“重要でない”の割合が高くなっています。



【子どもの有無別】

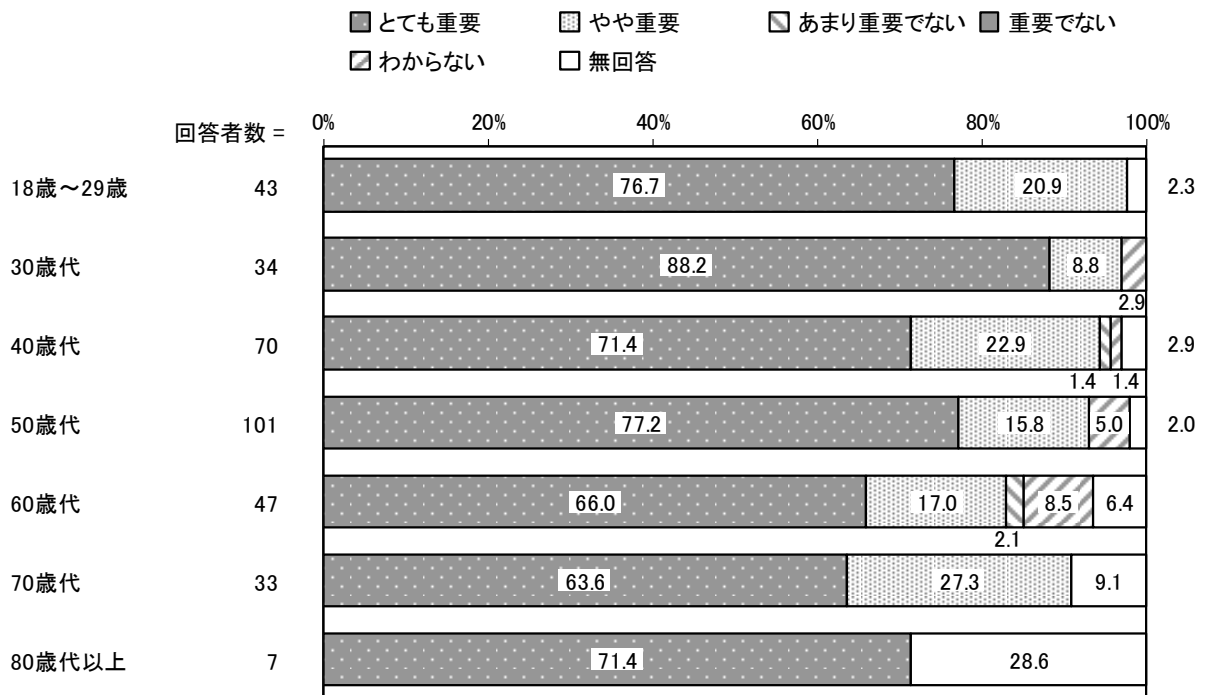
子どもの有無別でみると、他に比べ、高校生の子で“重要でない”の割合が高くなっています。



(2) 自ら学び、考え、主体的に行動する力

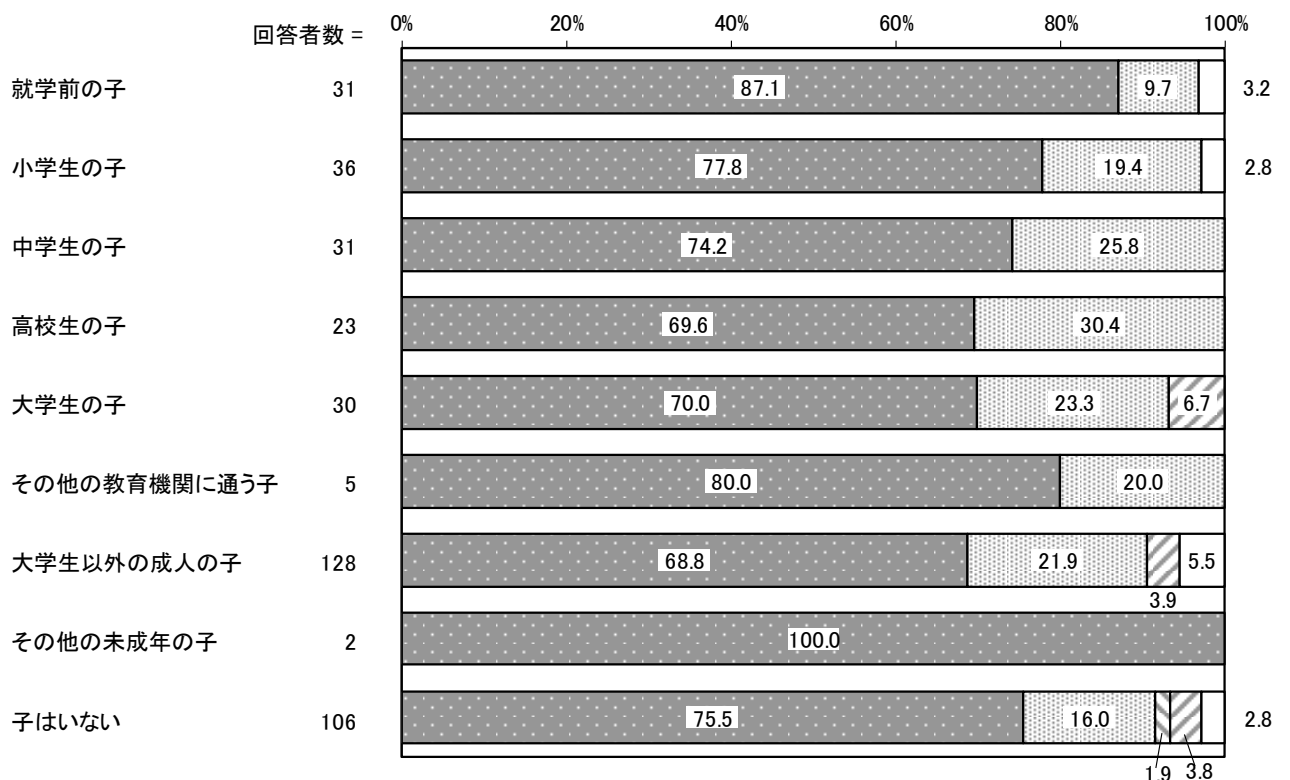
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、60歳代で“重要”の割合が低くなっています。



【子どもの有無別】

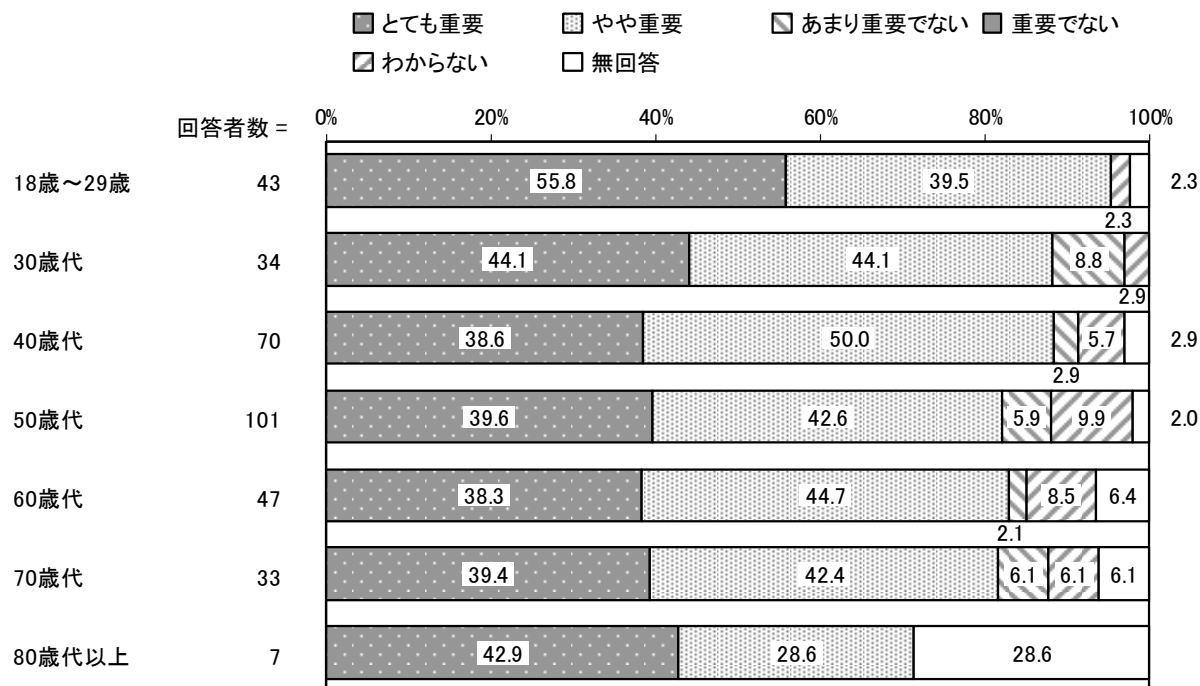
子どもの有無別でみると、大きな差異はみられません。



### (3) 論理的にものを考える力

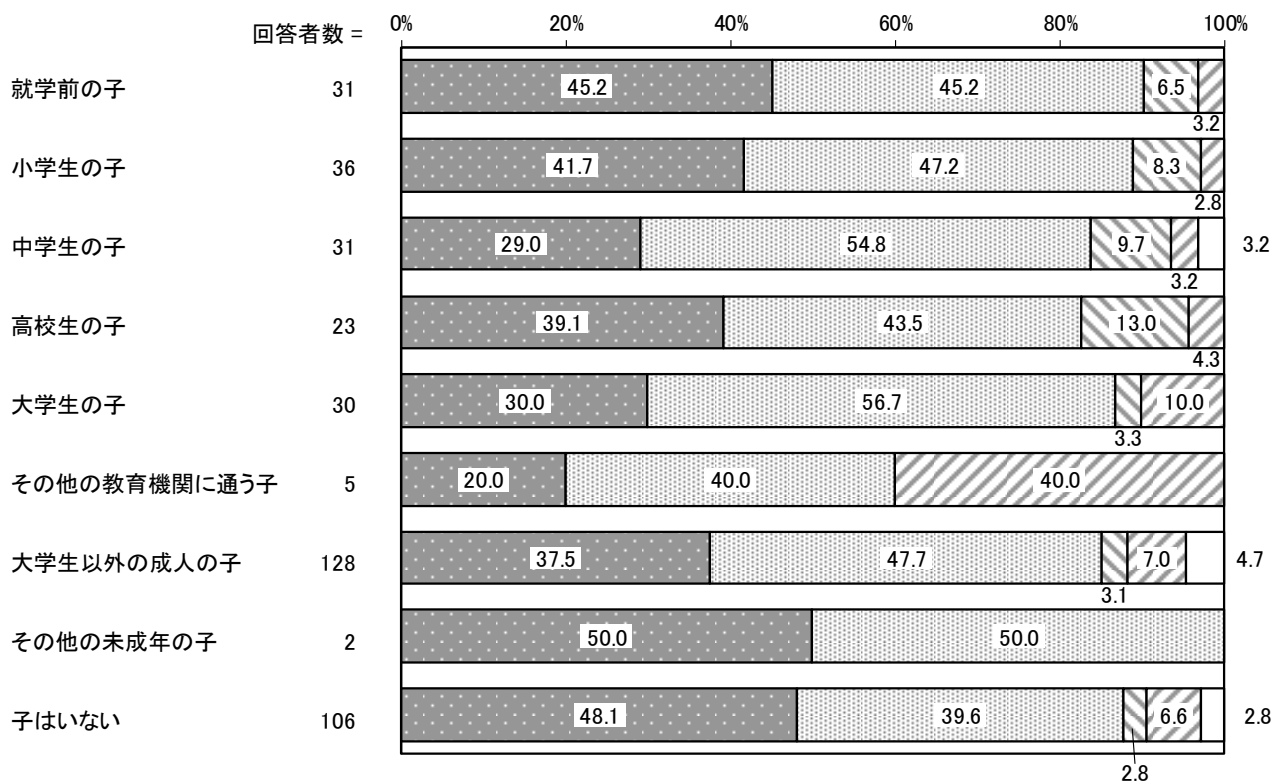
#### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で“重要”の割合が高くなっています。



#### 【子どもの有無別】

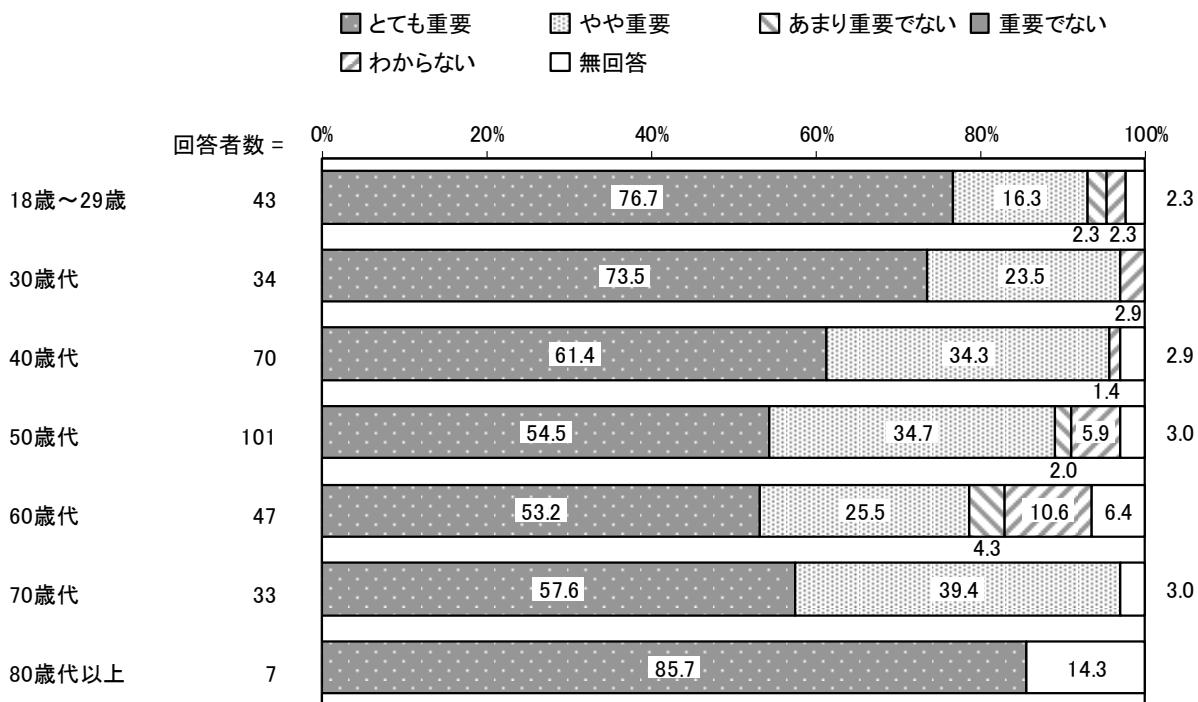
子どもの有無別でみると、他に比べ、高校生の子で“重要でない”の割合が高くなっています。



(4) 自分の考えを表現する力

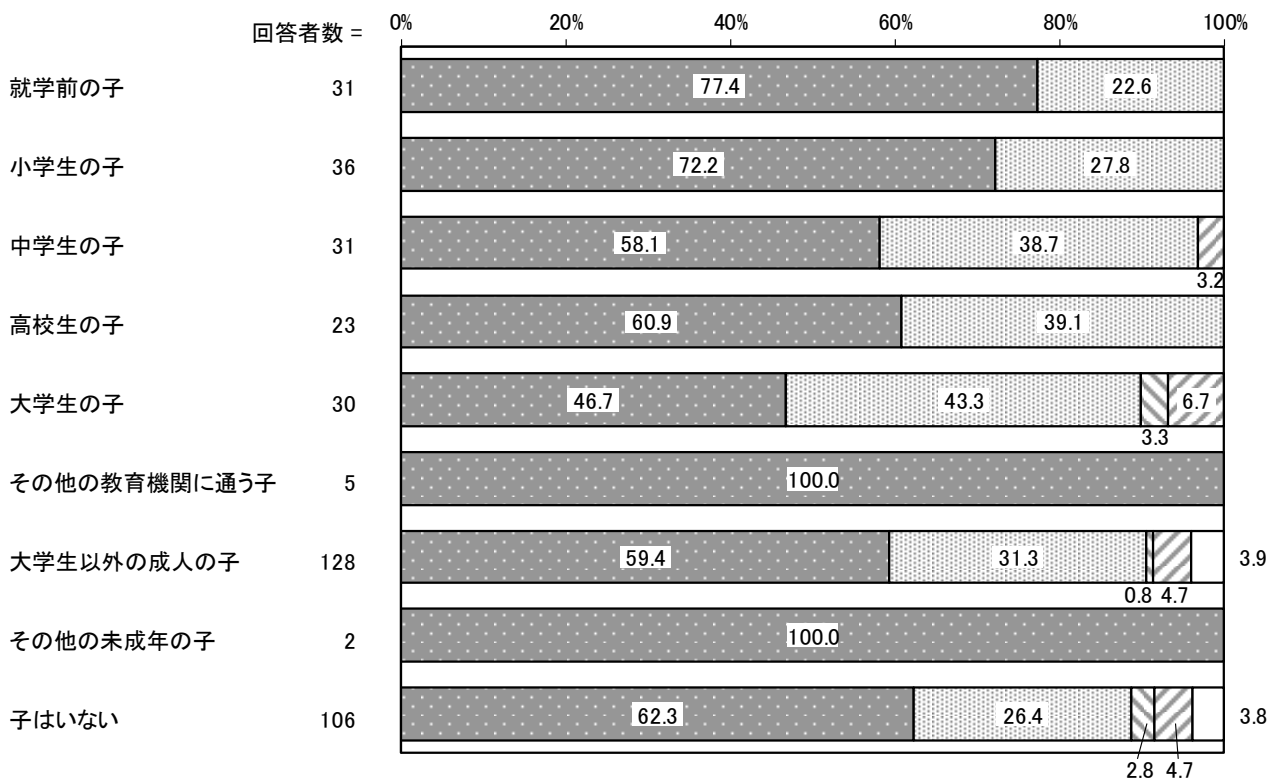
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、60歳代で“重要”の割合が低くなっています。



【子どもの有無別】

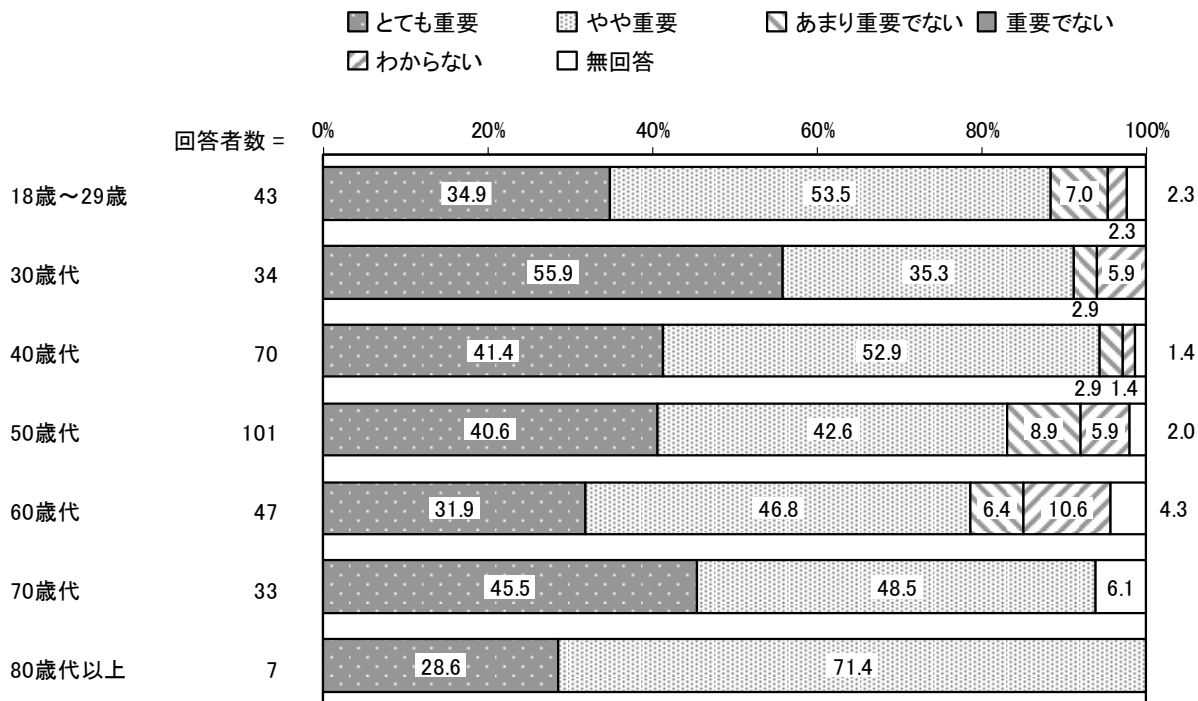
子どもの有無別でみると、大きな差異はみられません。



(5)新しいものを生み出す創造的な力

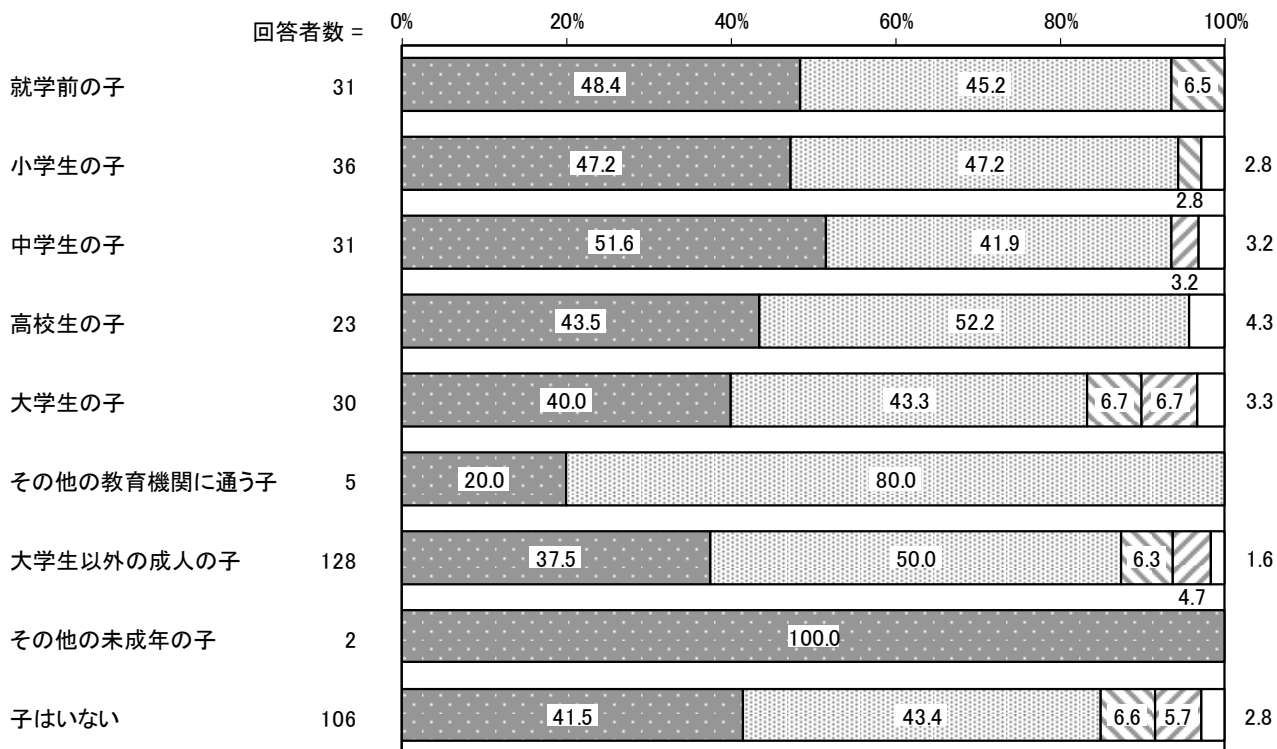
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、60歳代で“重要”の割合が低くなっています。



【子どもの有無別】

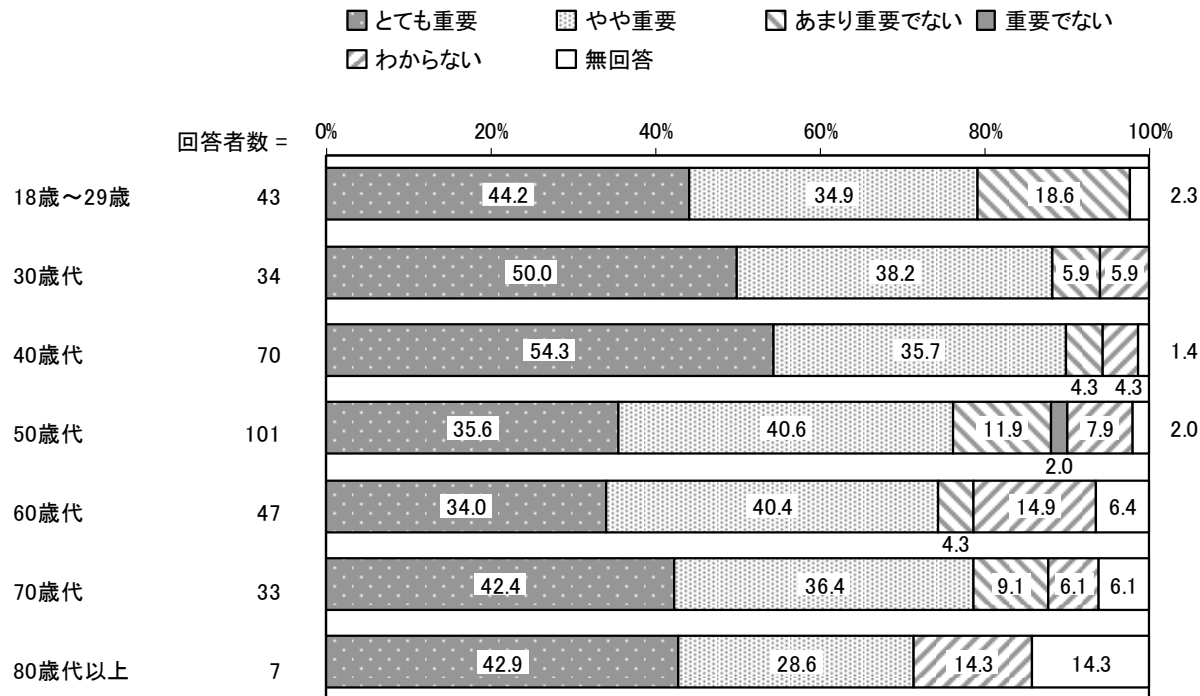
子どもの有無別でみると、他に比べ、就学前の子、小学生の子、中学生の子、高校生の子で“重要”の割合が高くなっています。



(6) ICTを活用しようとする姿勢や能力

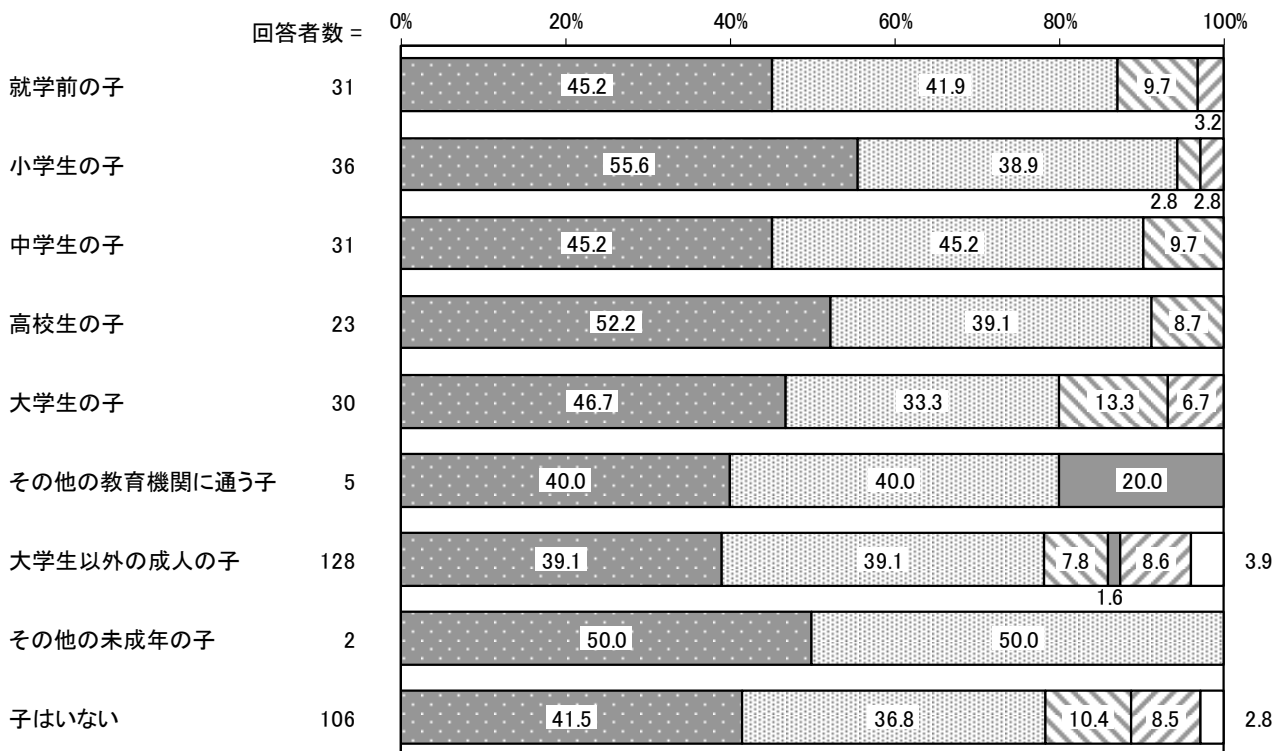
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳代、40歳代で“重要”の割合が、18歳～29歳、50歳代で“重要でない”の割合が高くなっています。



【子どもの有無別】

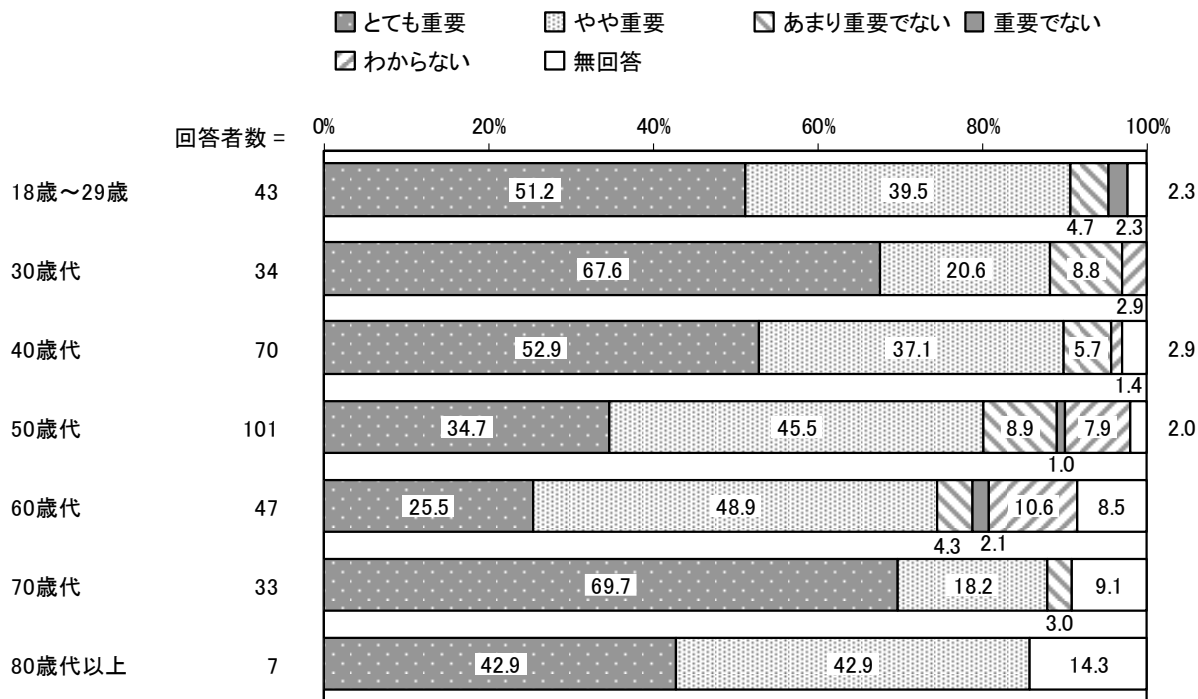
子どもの有無別でみると、就学前の子、小学生の子、中学生の子、高校生の子で“重要”の割合が高くなっています。



(7) 実際の場面で使える英語などの語学力

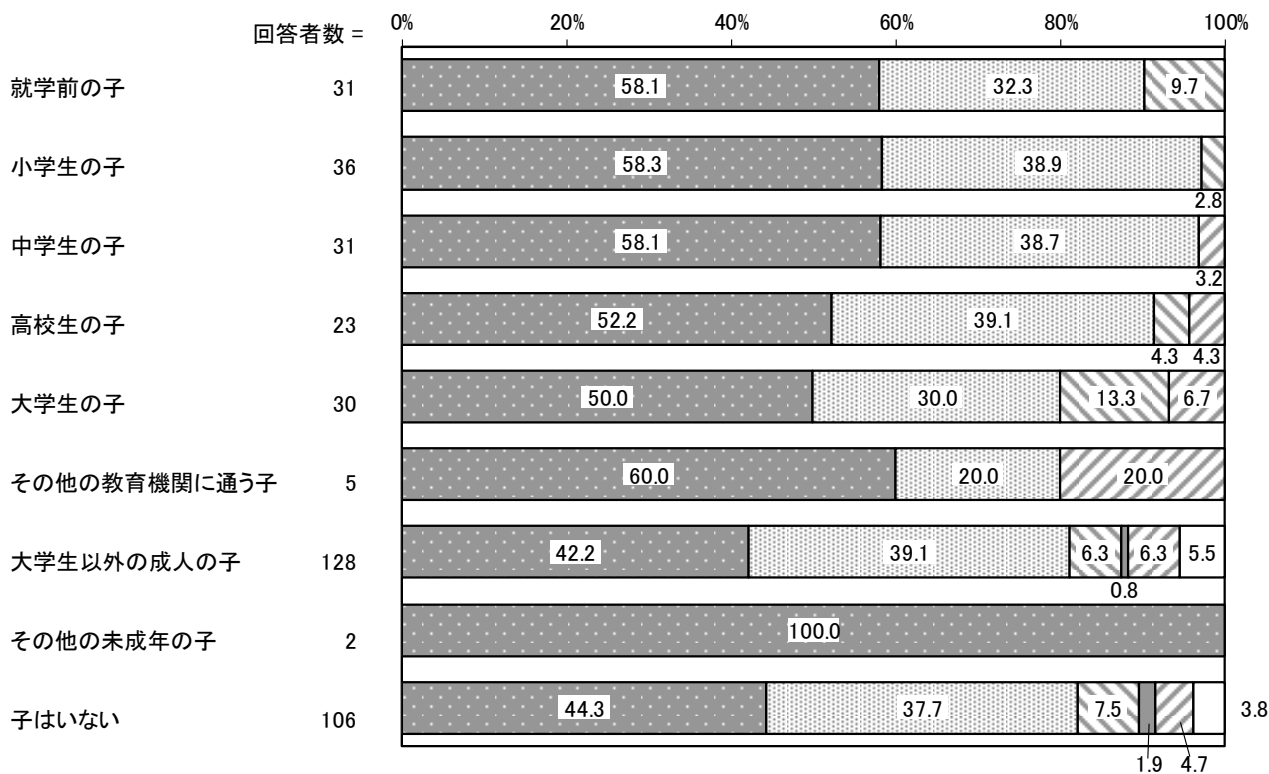
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、60歳代で“重要”の割合が低くなっています。



【子どもの有無別】

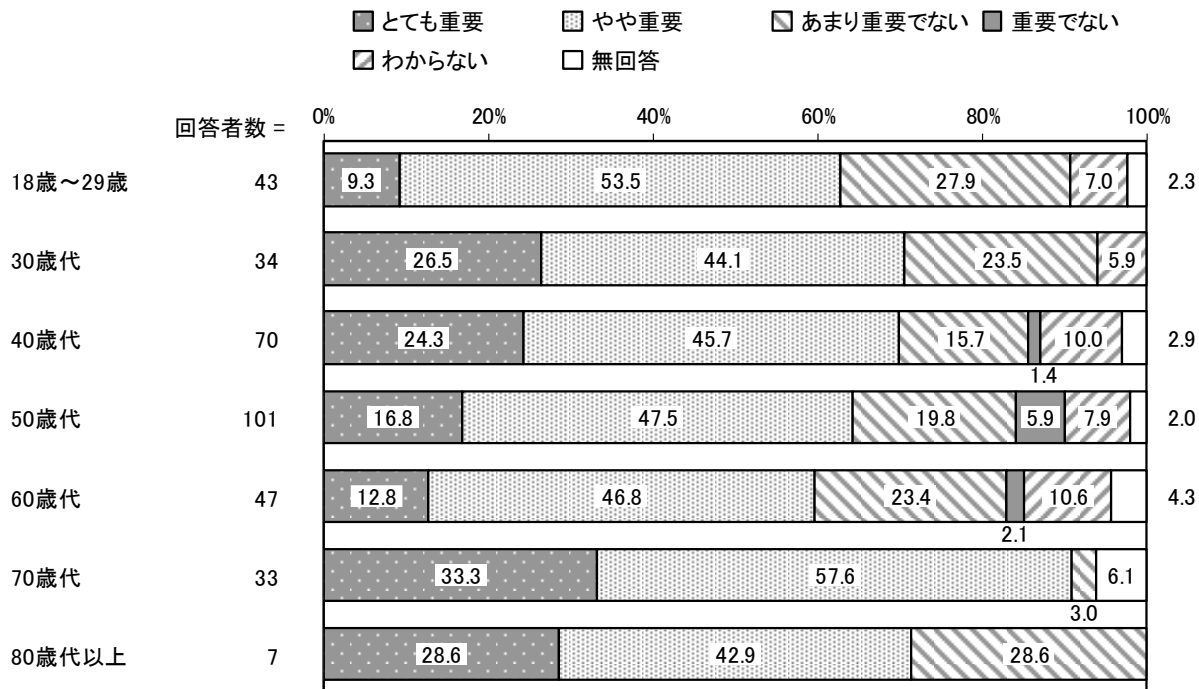
子どもの有無別でみると、他に比べ、小学生の子、中学生の子で“重要”の割合が高くなっています。



(8) 音楽・美術などの芸術面の能力や情操

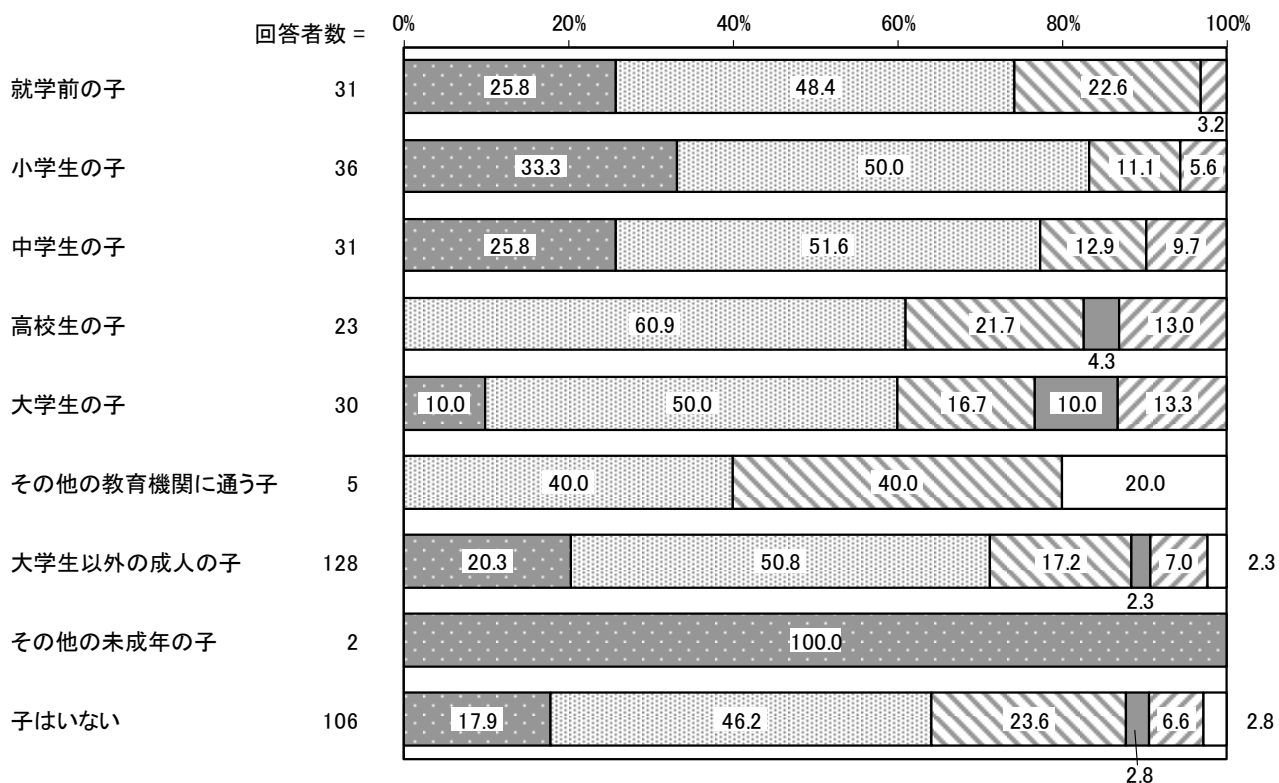
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、70歳代で“重要”の割合が高くなっています。



【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、他に比べ、小学生の子で“重要”の割合が高くなっています。

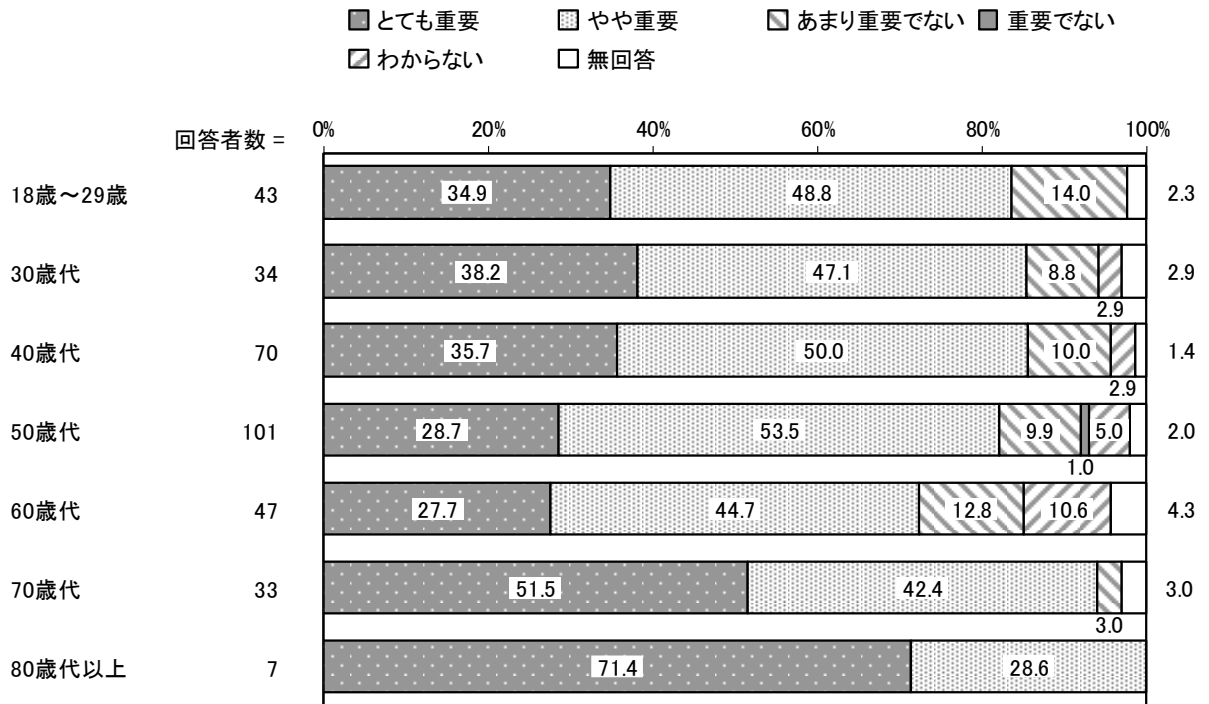




(9) 体力や運動能力

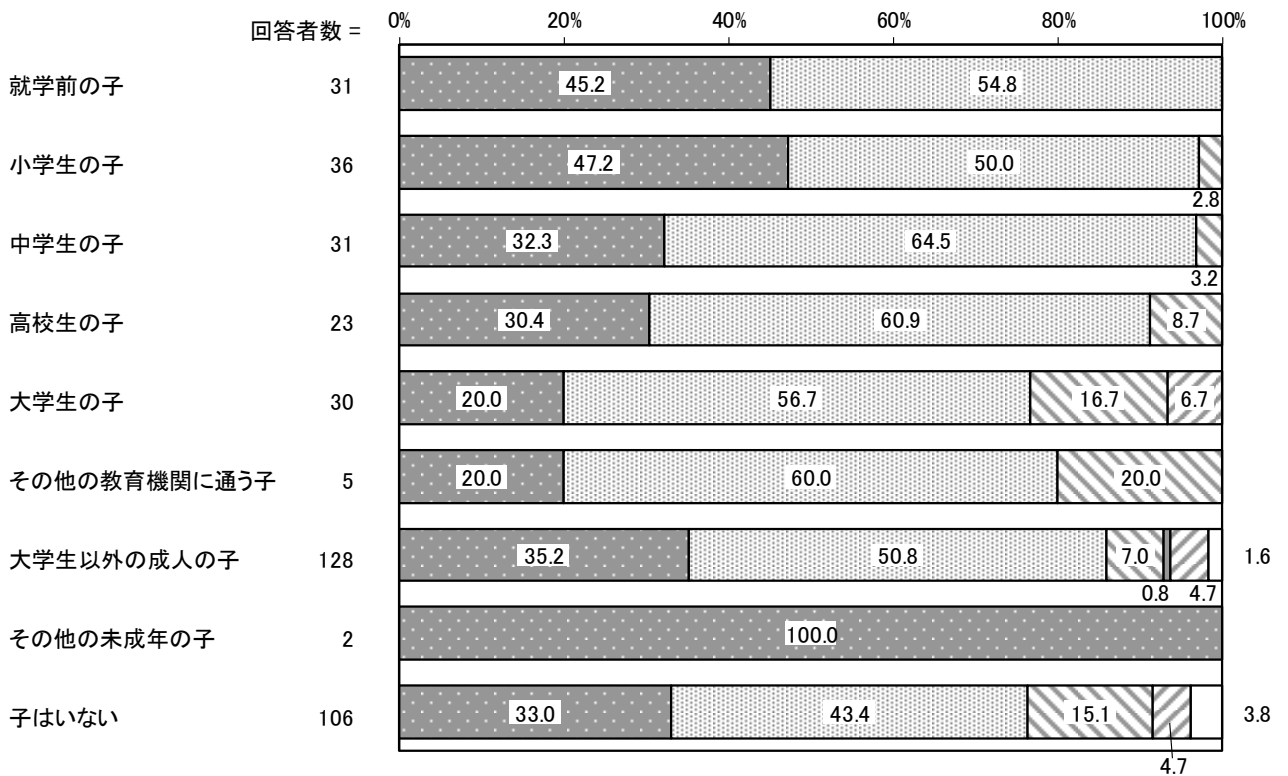
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、70歳代で“重要”の割合が、60歳代で「わからない」の割合が高くなっています。



【子どもの有無別】

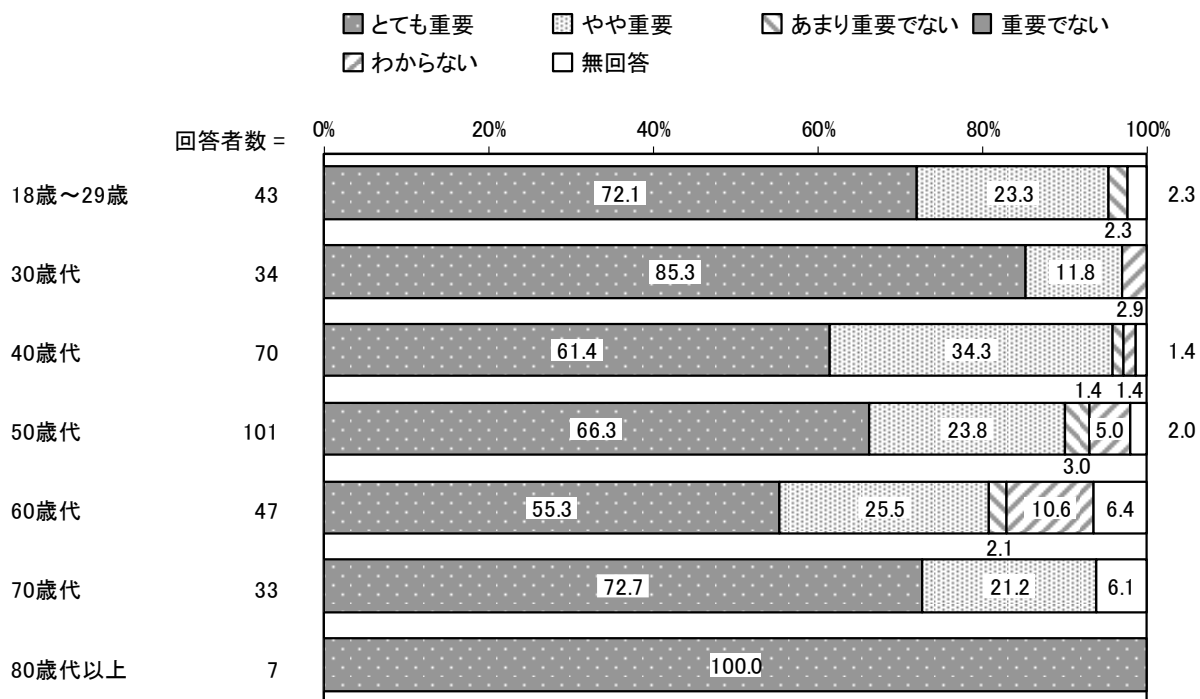
子どもの有無別でみると、他に比べ、大学生の子で“重要でない”の割合が高くなっています。



(10) 自分の健康や安全を管理する力

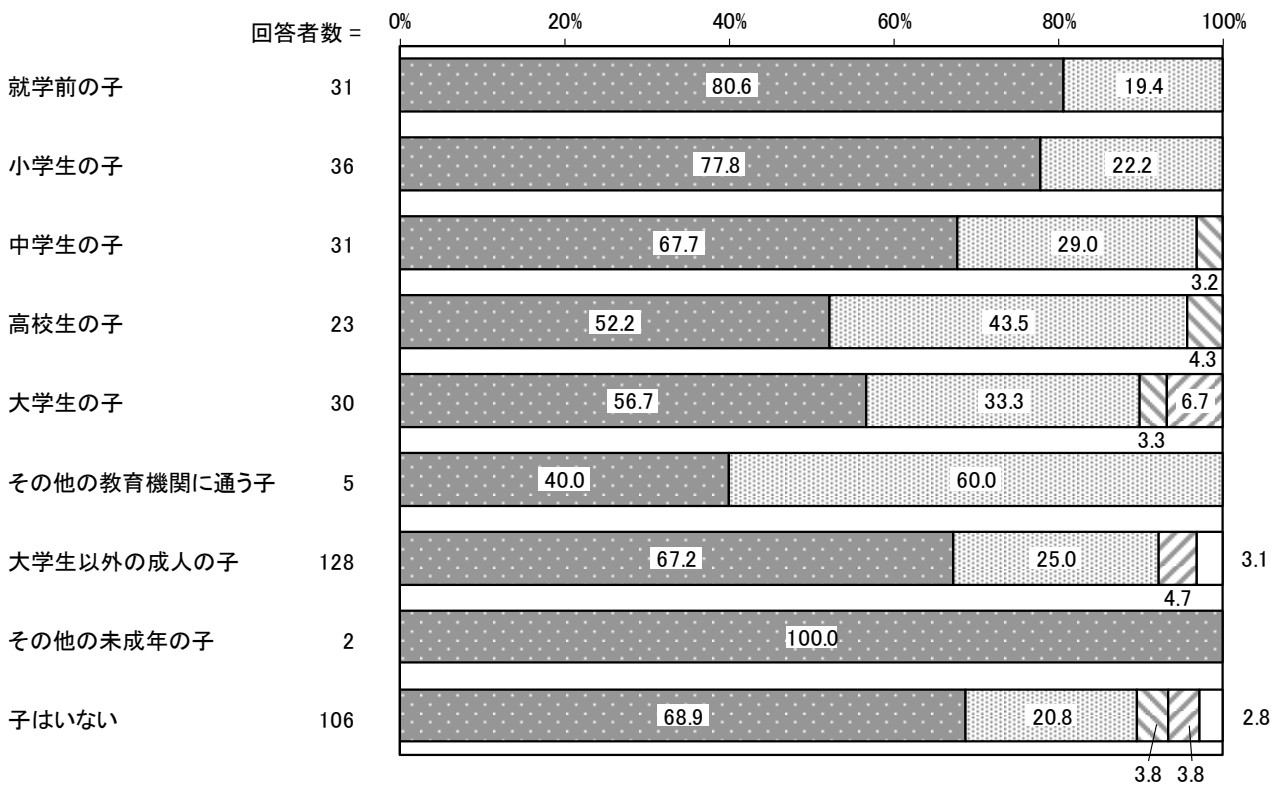
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、60歳代で“重要”の割合が低くなっています。



【子どもの有無別】

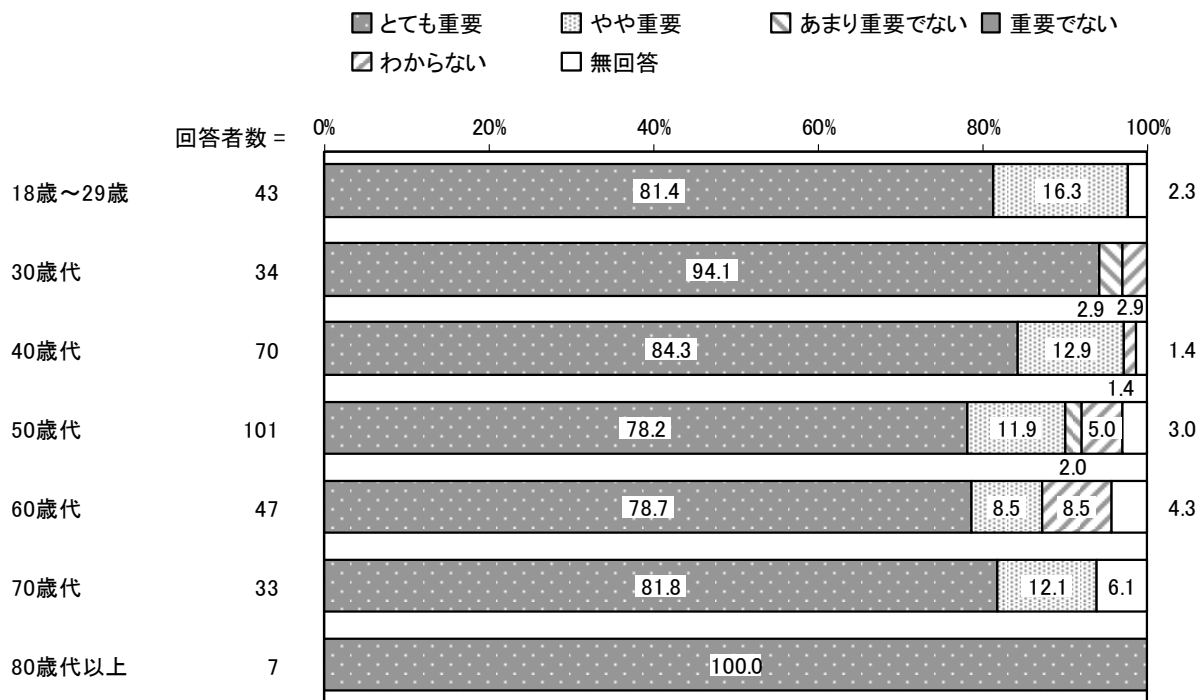
子どもの有無別でみると、他に比べ、就学前の子、小学生の子で“重要”の割合が高くなっています。



(11) 善悪を判断する力

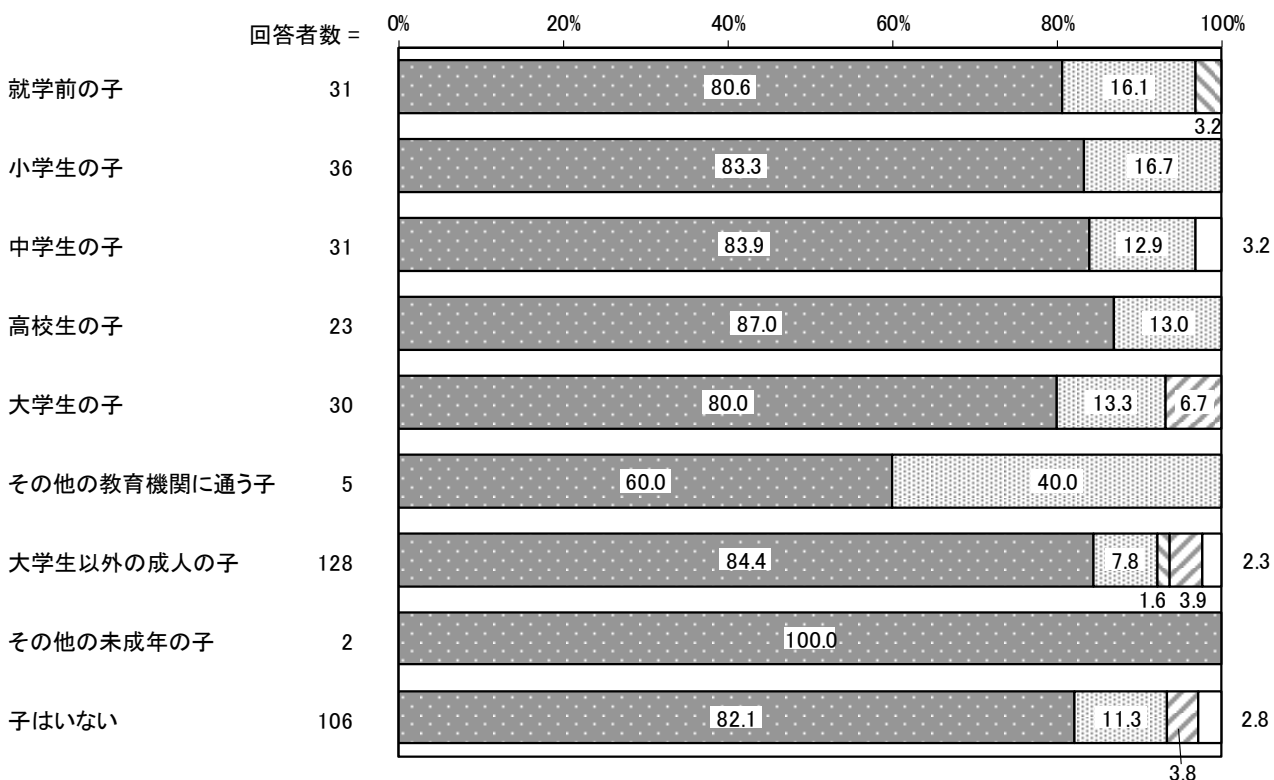
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳、40歳代で“重要”の割合が高くなっています。



【子どもの有無別】

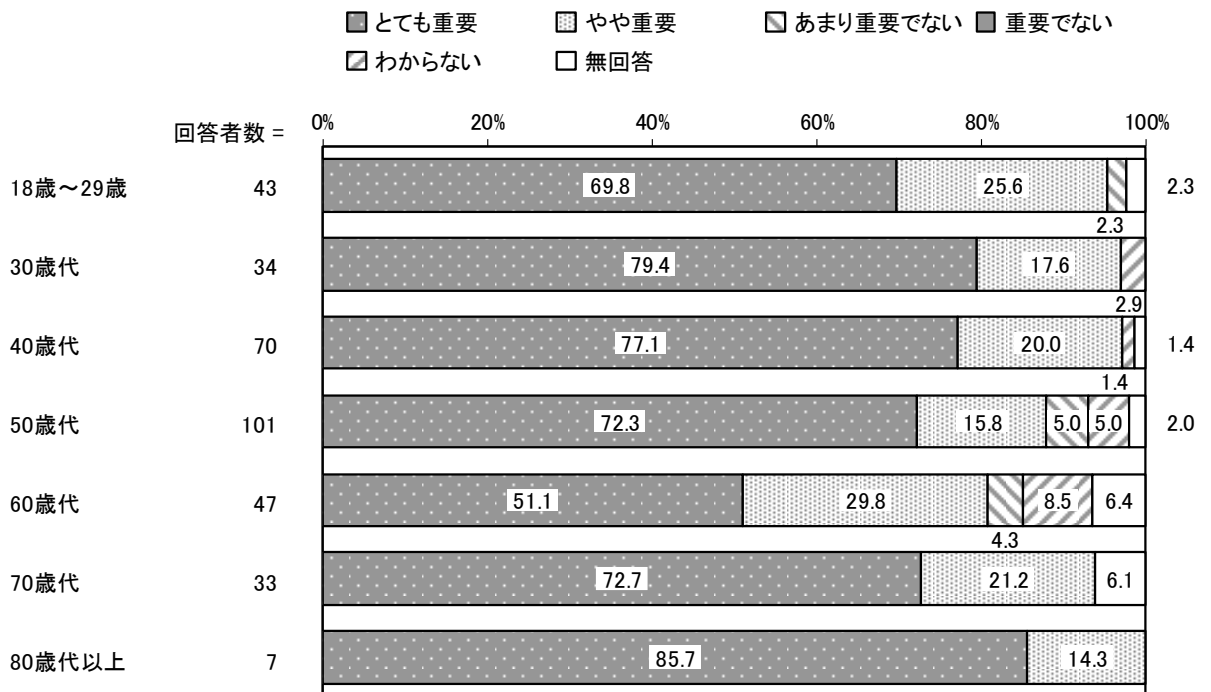
子どもの有無別でみると、他に比べ、小学生の子、高校生の子で“重要”の割合が高くなっています。



(12) 人間関係を築く力

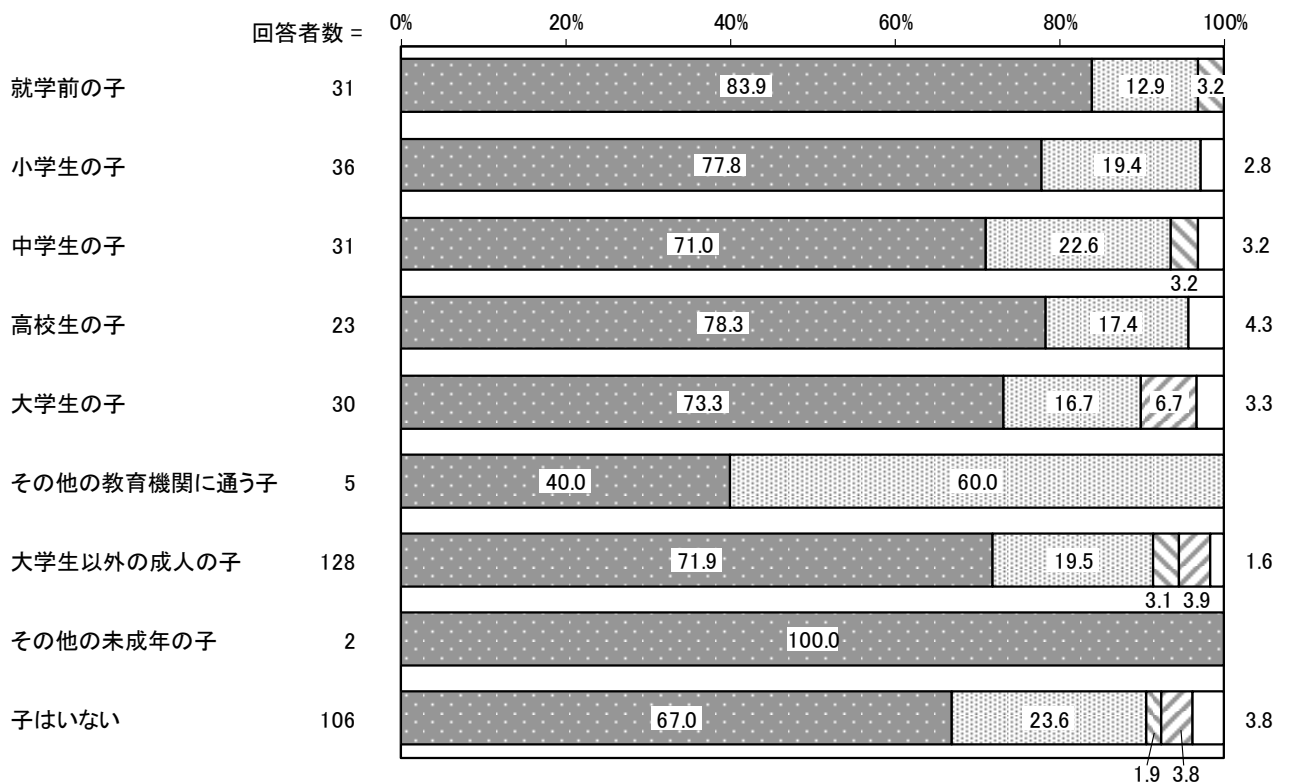
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、60歳代で“重要”の割合が低くなっています。



【子どもの有無別】

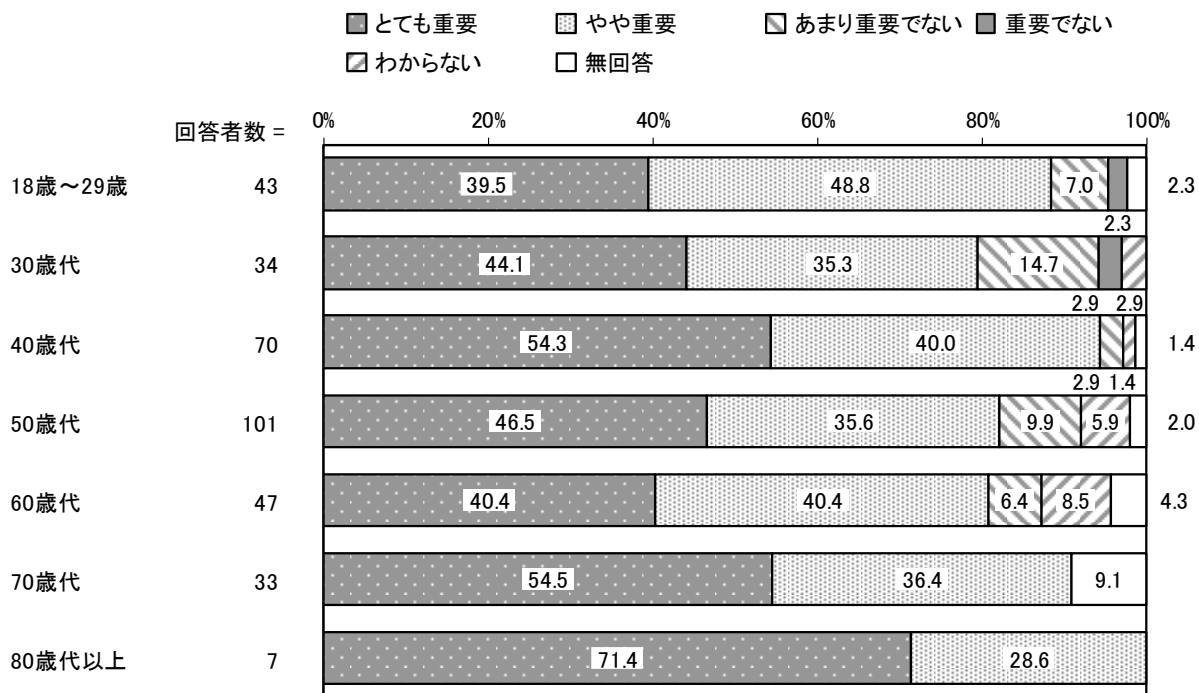
子どもの有無別でみると、他に比べ、大学生の子で「わからない」の割合が高くなっています。



(13) 社会で役立とうとする心や公共心

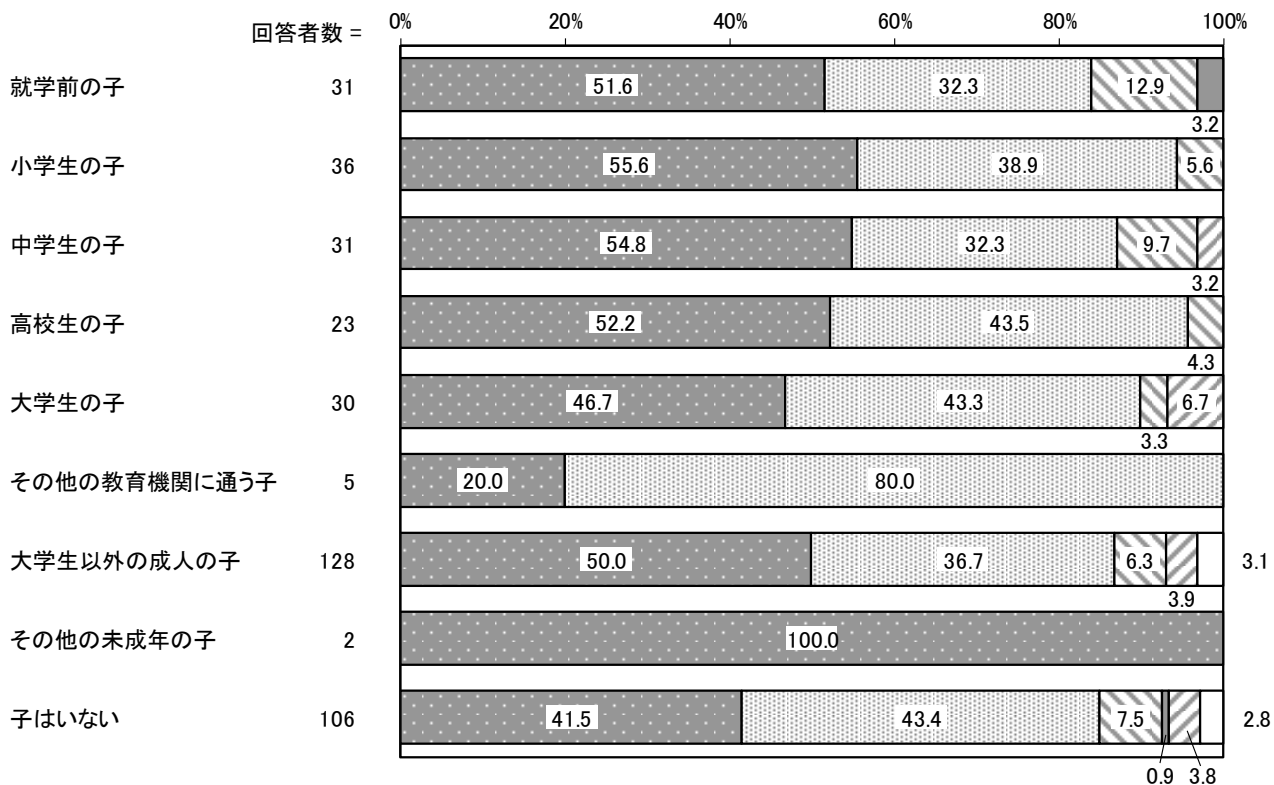
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳、40歳代、70歳代で“重要”の割合が、30歳代で“重要でない”の割合が高くなっています。



【子どもの有無別】

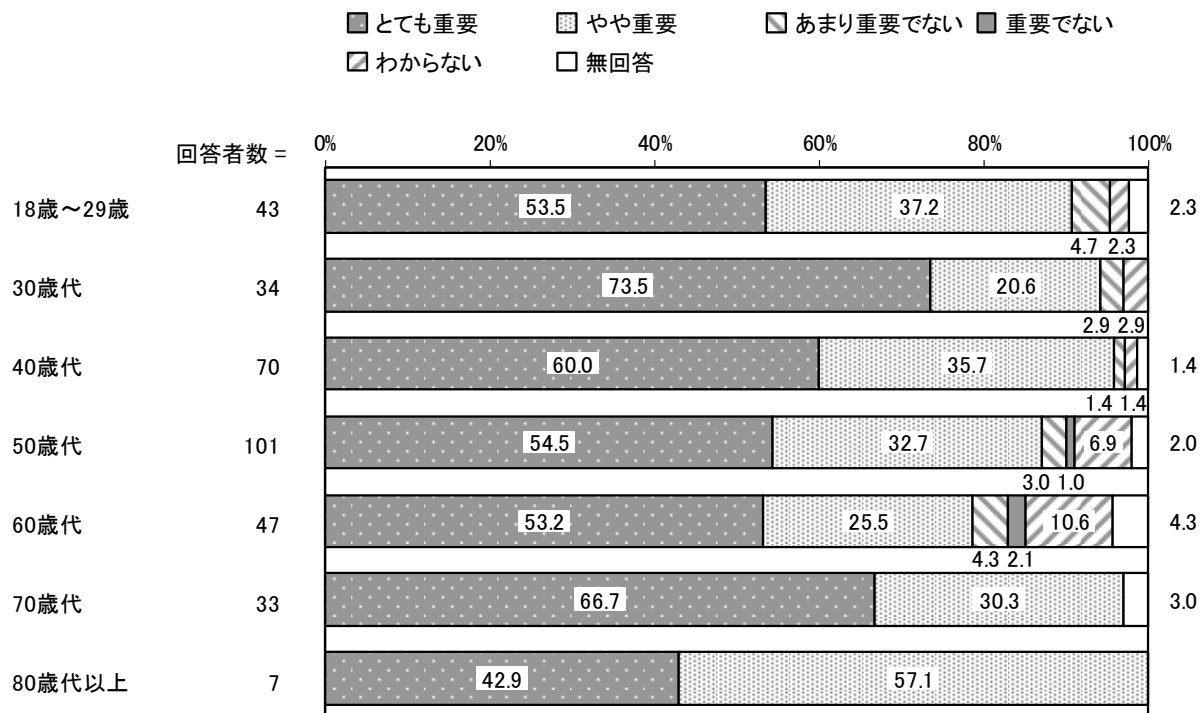
子どもの有無別でみると、他に比べ、小学生の子、高校生の子で“重要”の割合が、就学前の子で“重要でない”の割合が高くなっています。



(14) 多様な人々がお互いに認め合い、共に生きる姿勢

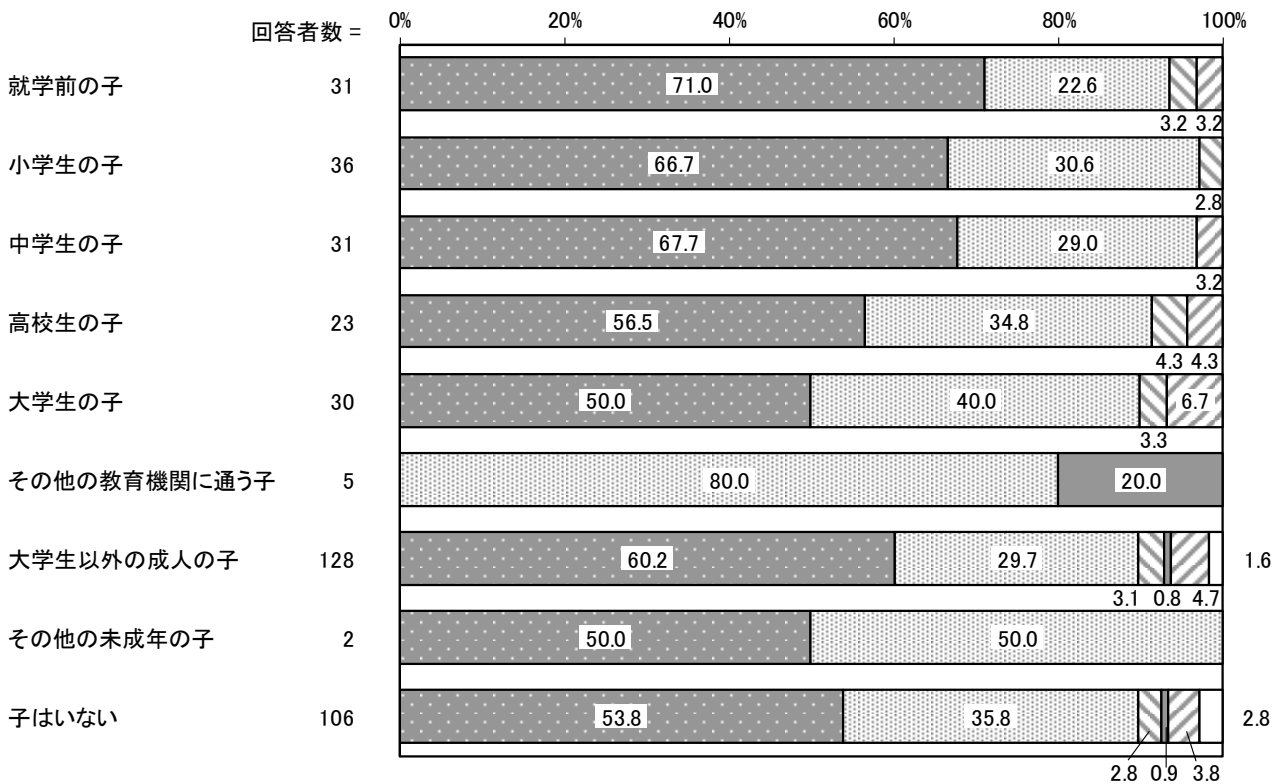
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、60歳代で“重要”の割合が低くなっています。



【子どもの有無別】

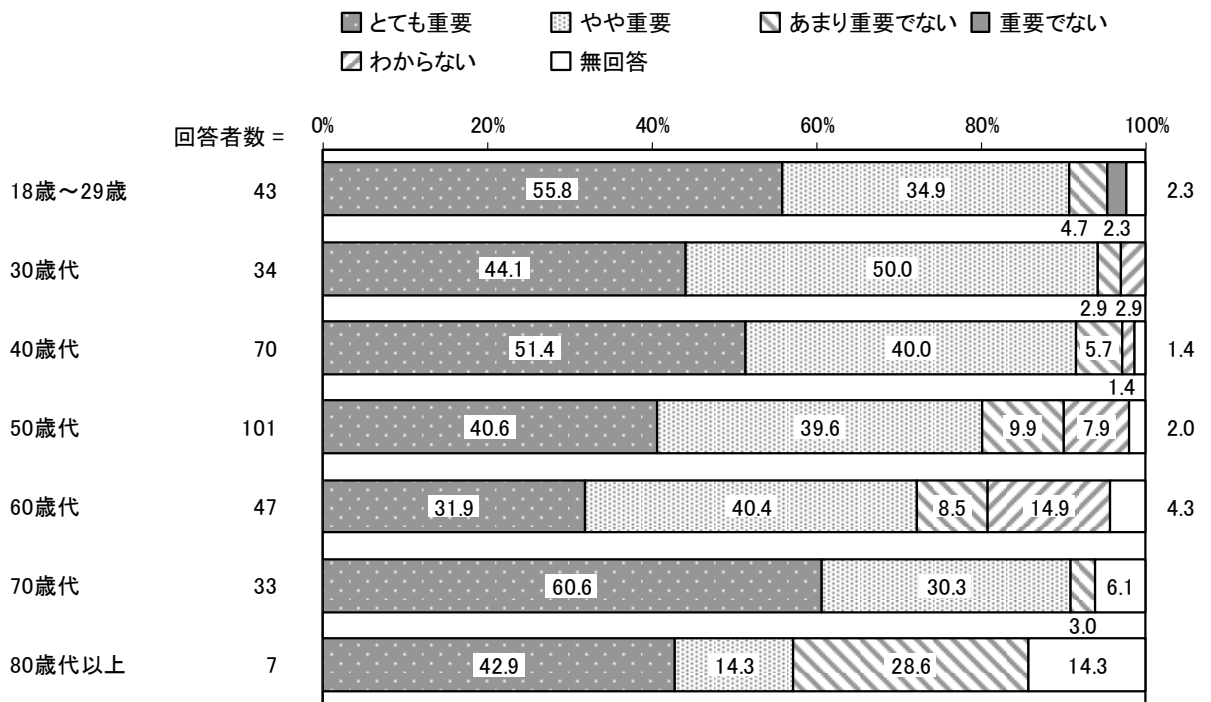
子どもの有無別でみると、他に比べ、小学生の子、中学生の子で“重要”の割合が高くなっています。



(15) 生き方や進路について考える力

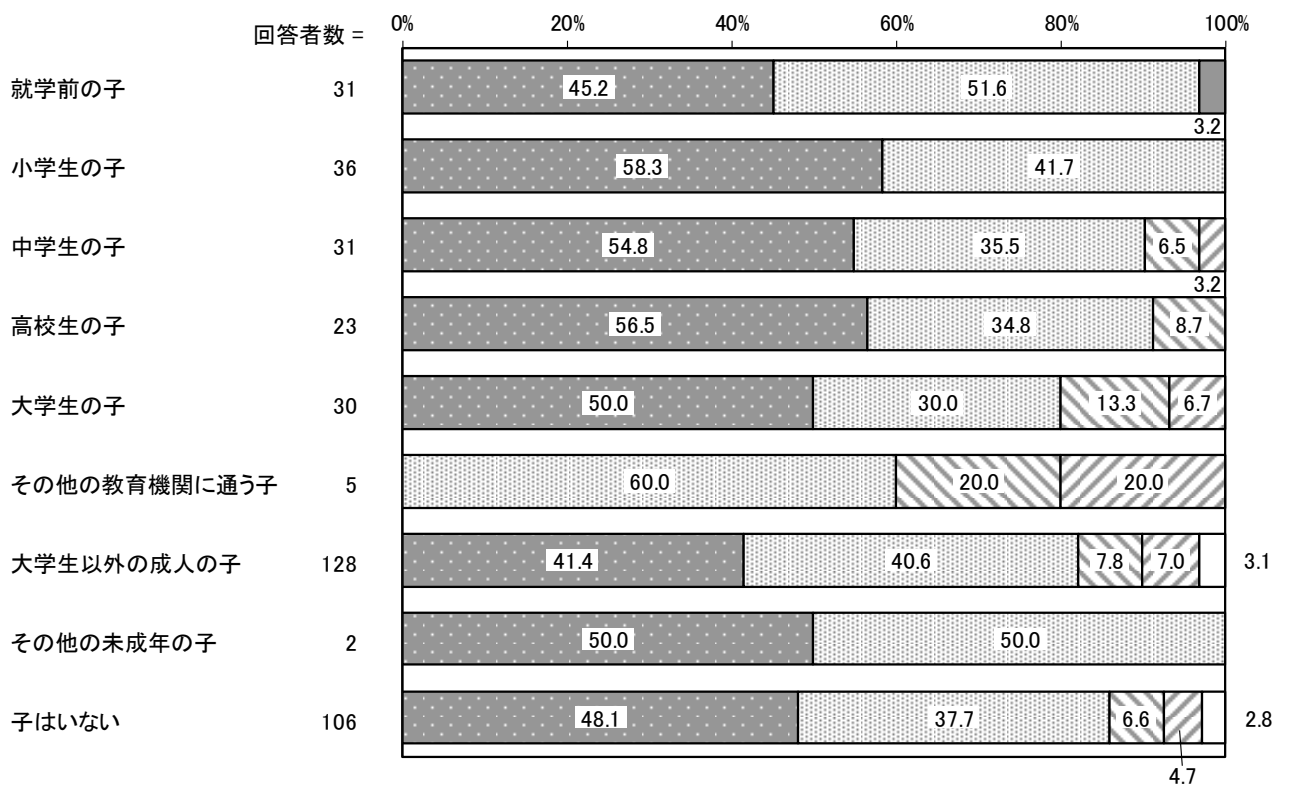
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、60歳代で“重要”の割合が低くなっています。



【子どもの有無別】

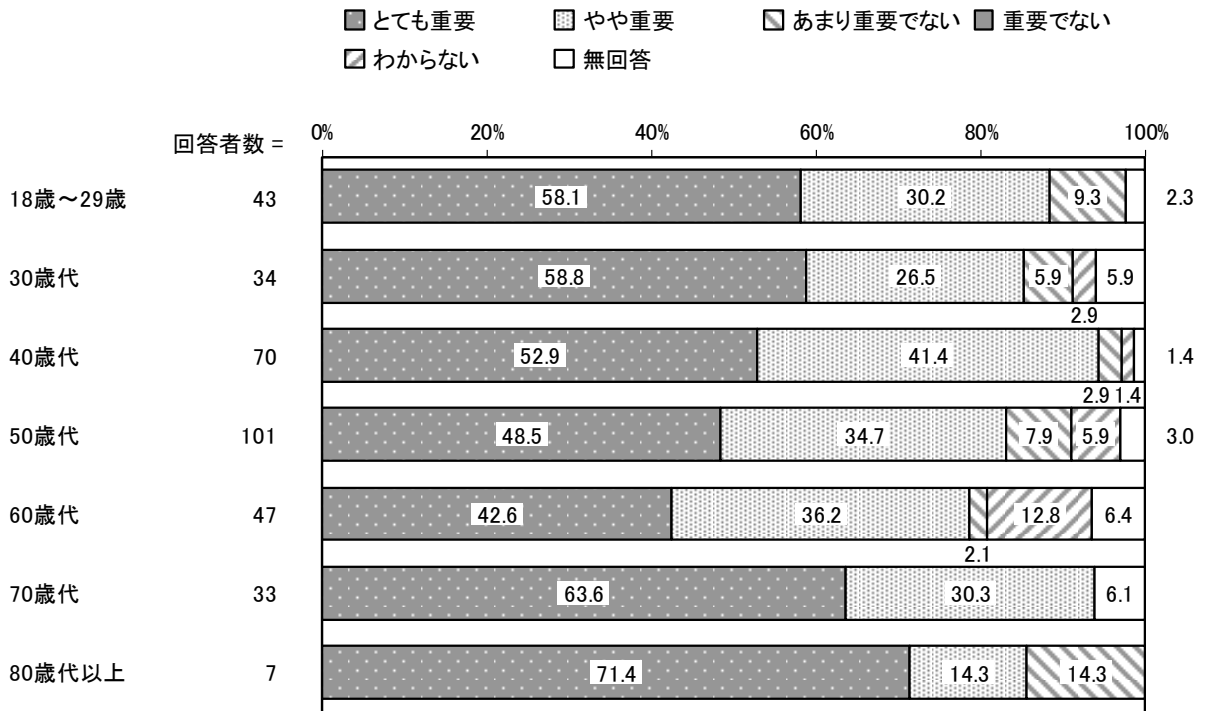
子どもの有無別でみると、他に比べ、就学前の子、小学生の子で“重要”の割合が高くなっています。



(16) ものごとをやりとげる粘り強さ

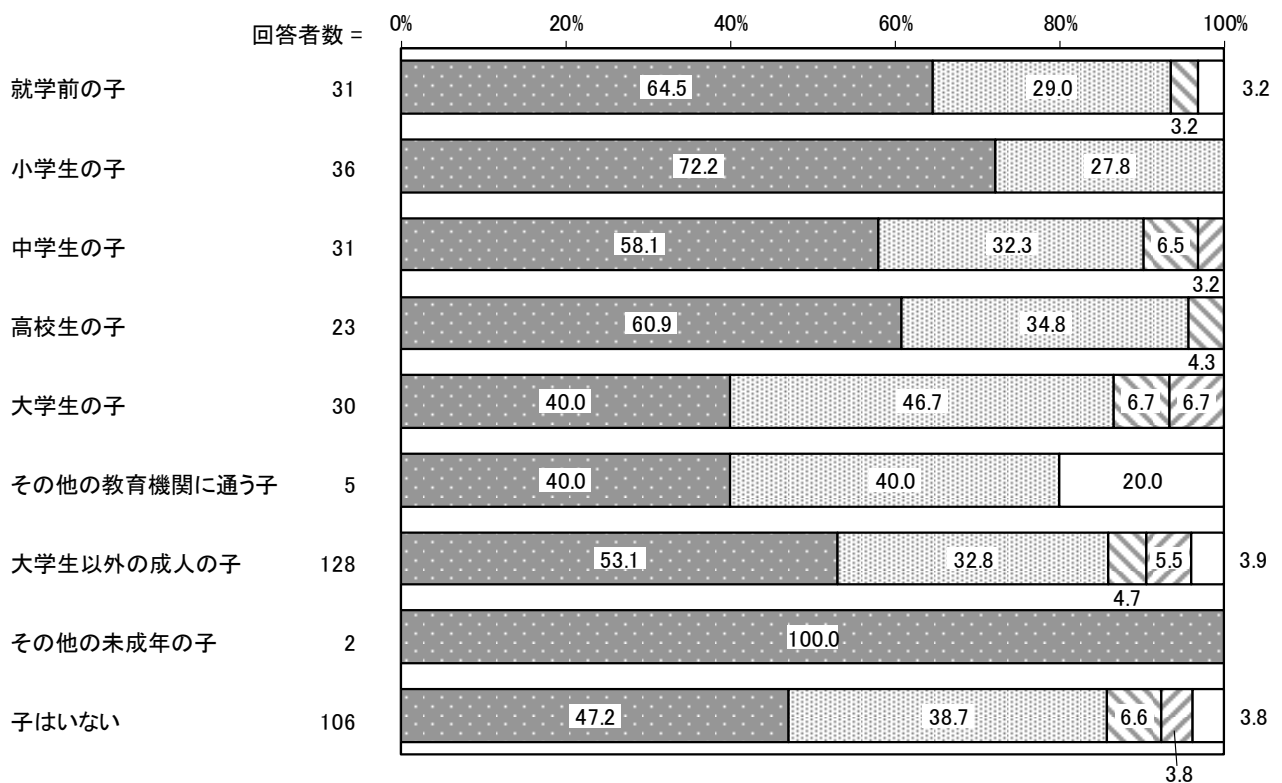
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、40歳代で“重要”の割合が、60歳代で「わからない」の割合が高くなっています。



【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、他に比べ、小学生の子で“重要”の割合が高くなっています。

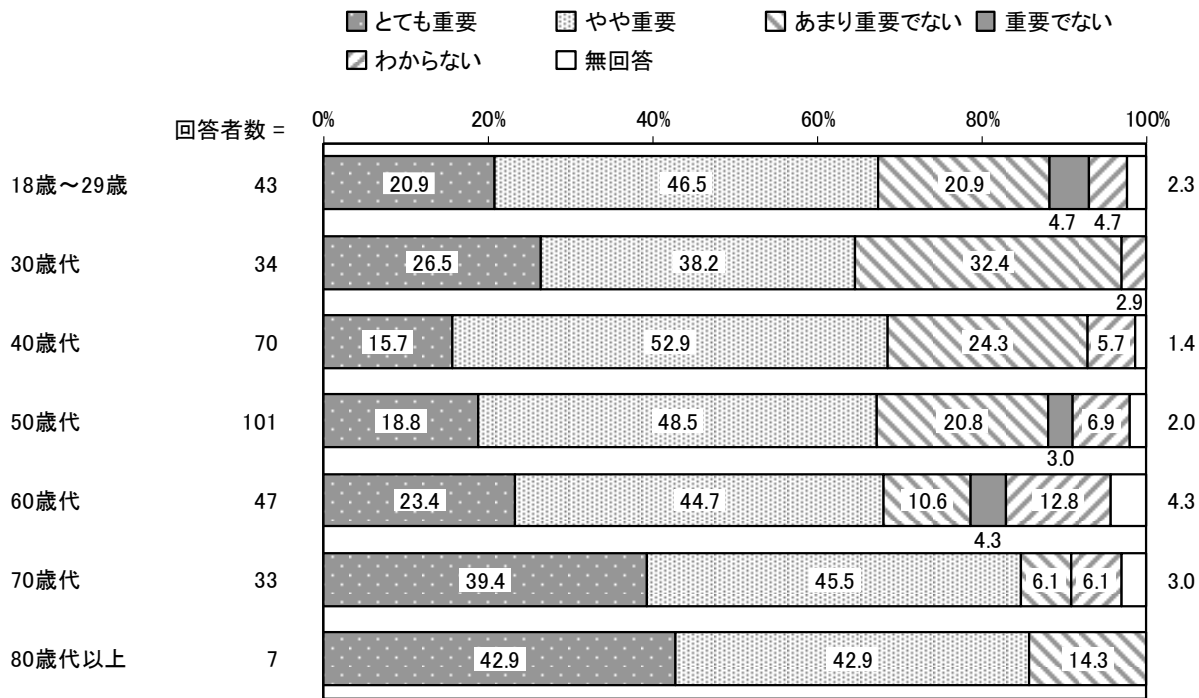




(17) 郷土や国を愛する心

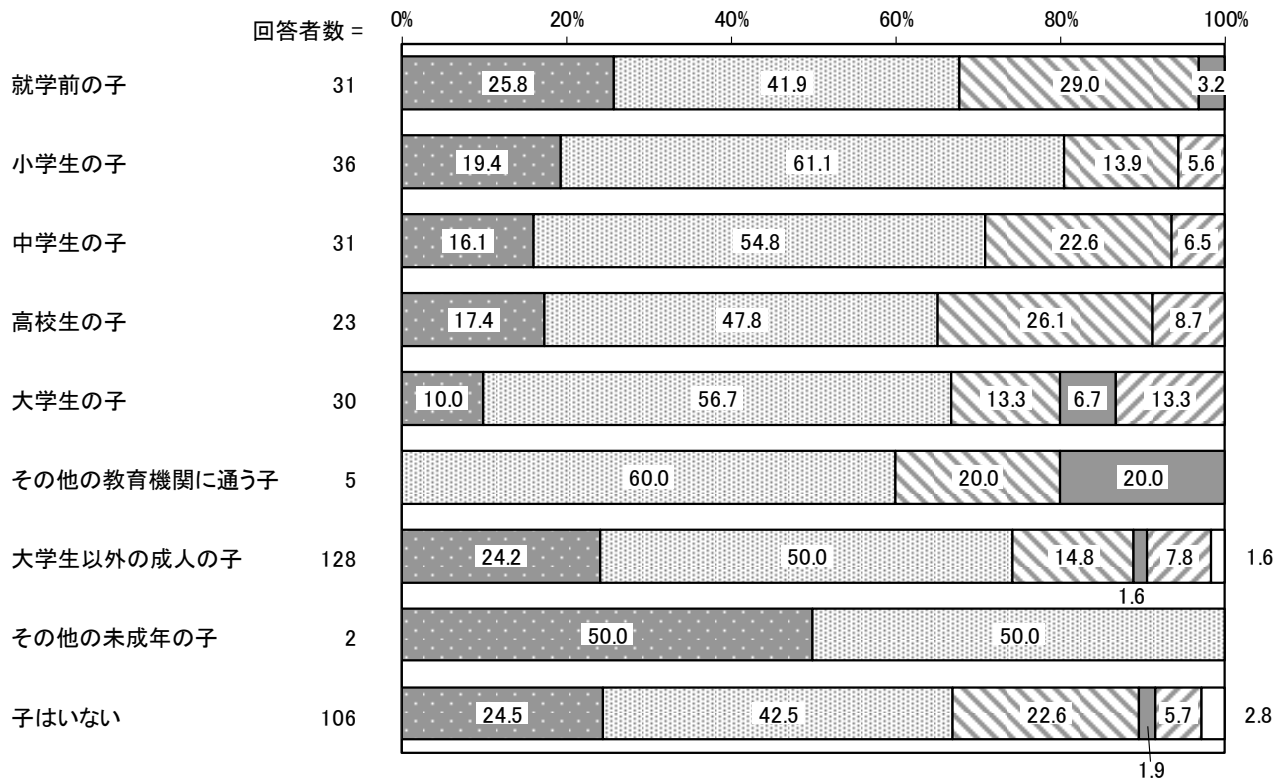
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、70歳代で“重要”の割合が、30歳代で“重要でない”の割合が高くなっています。



【子どもの有無別】

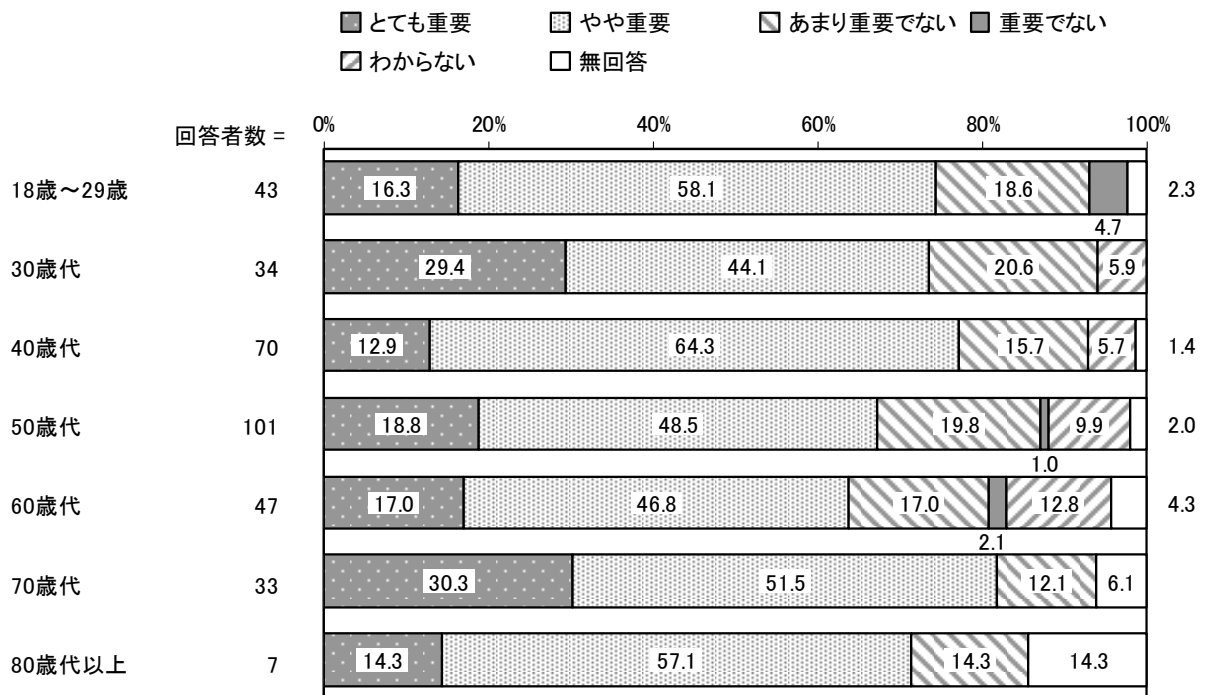
子どもの有無別でみると、他に比べ、小学生の子で“重要”の割合が、就学前の子で“重要でない”の割合が高くなっています。



(18) 歴史や伝統、文化についての理解

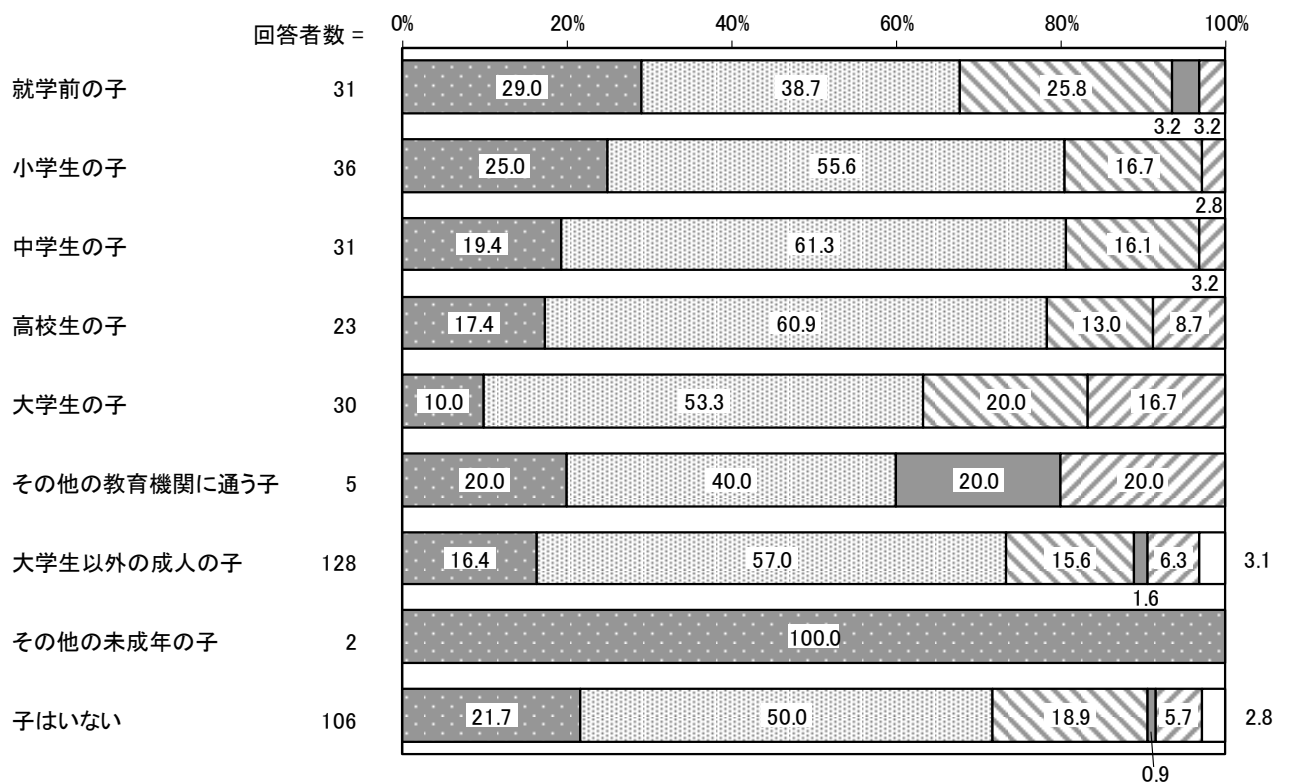
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、70歳代で“重要”の割合が高くなっています。



【子どもの有無別】

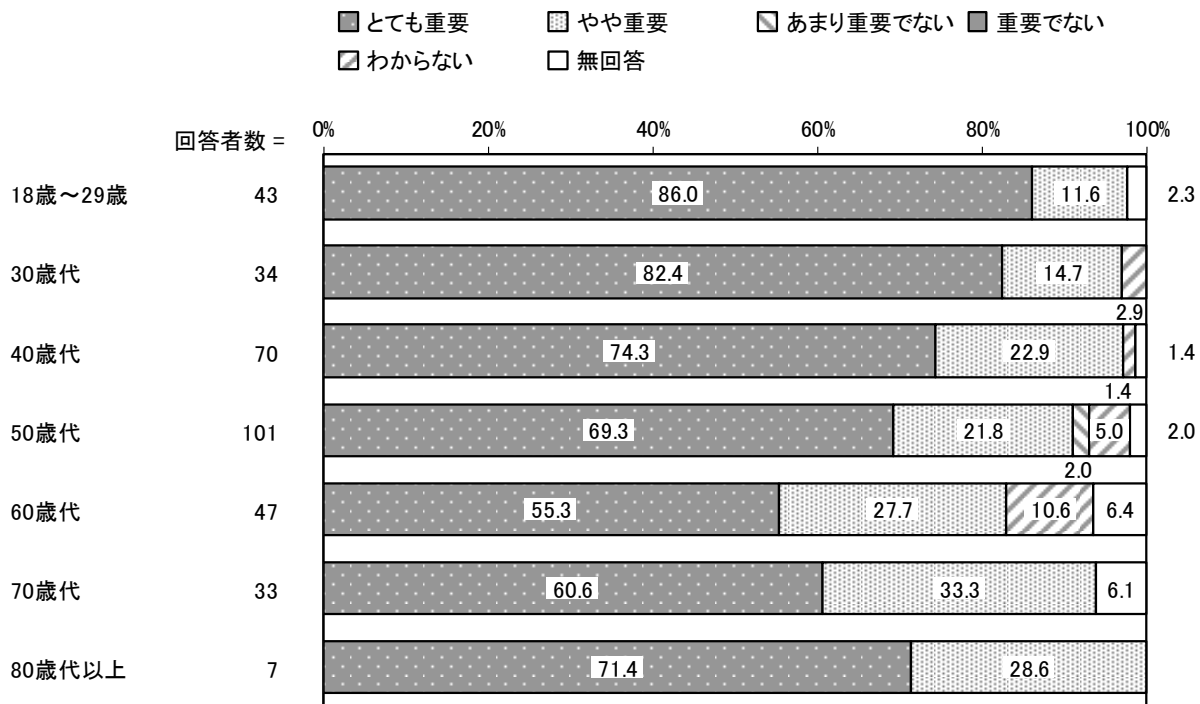
子どもの有無別でみると、他に比べ、就学前の子で“重要でない”の割合が高くなっています。



(19) 他者に対する理解と思いやりや優しさ

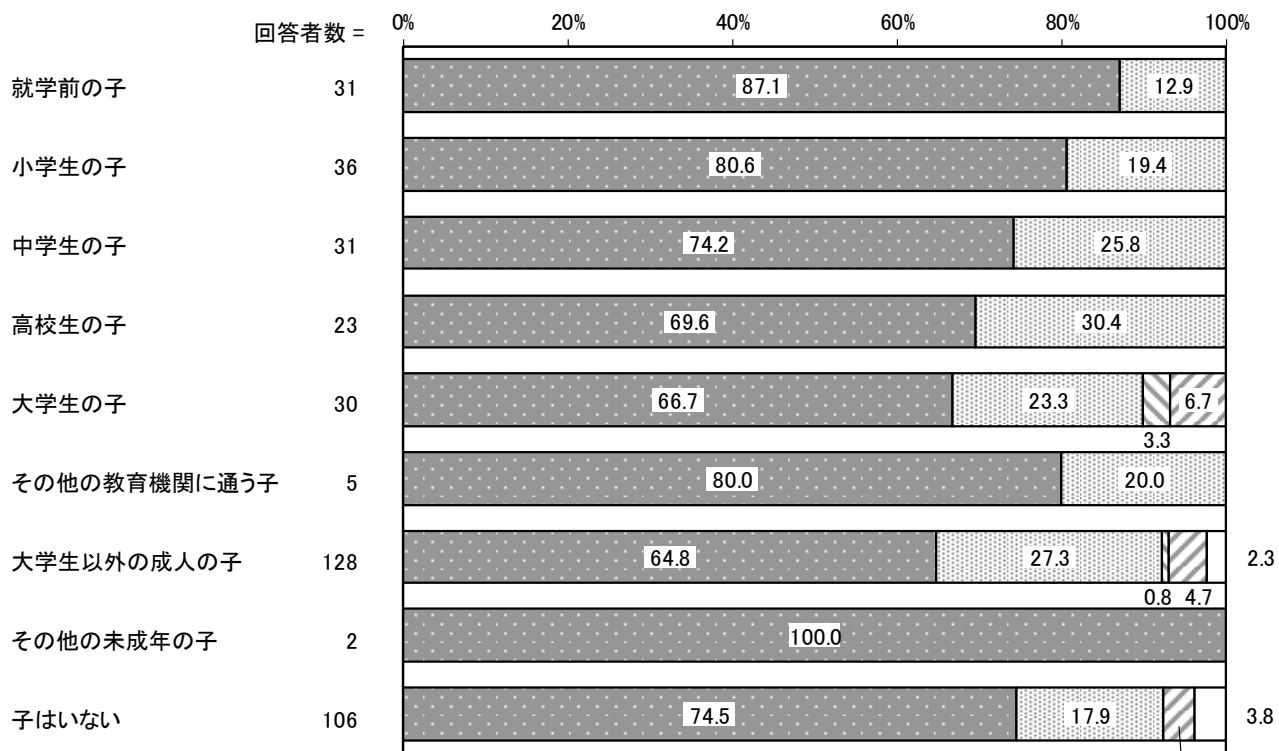
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、60歳代で“重要”の割合が低くなっています。



【子どもの有無別】

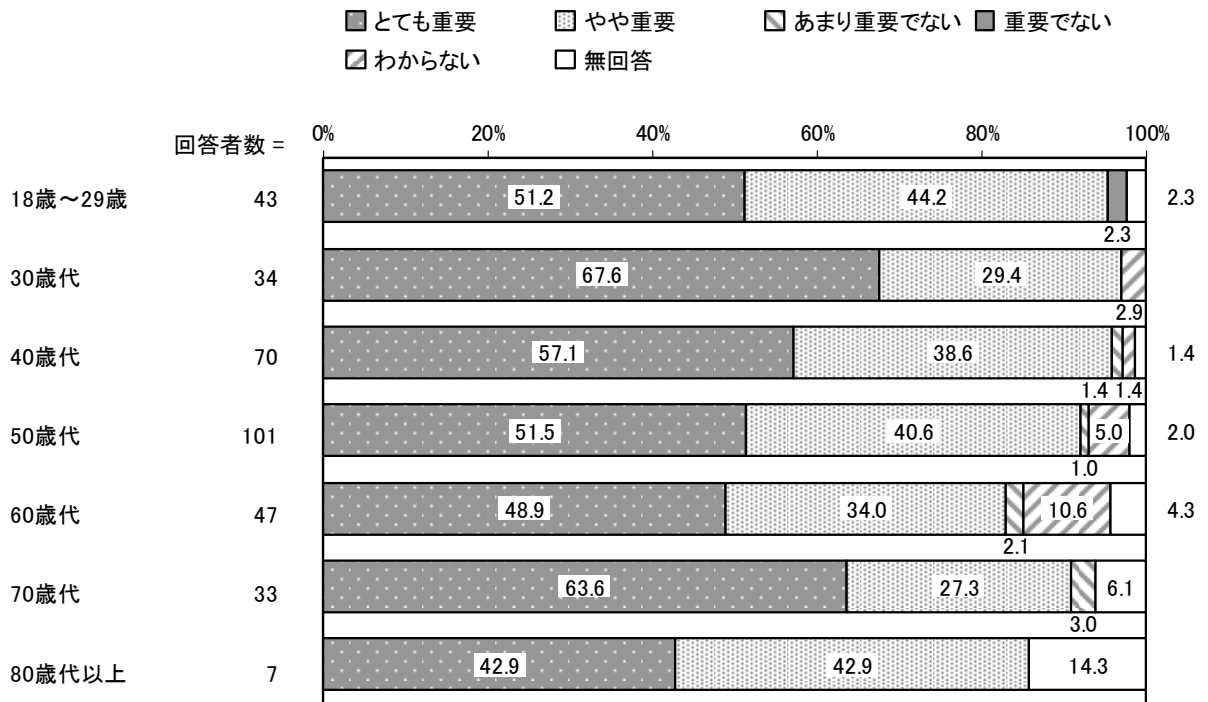
子どもの有無別でみると、他に比べ、就学前の子、小学生の子、中学生の子、高校生の子で“重要”の割合が高くなっています。



(20) 生命や自然、環境を大切にする心

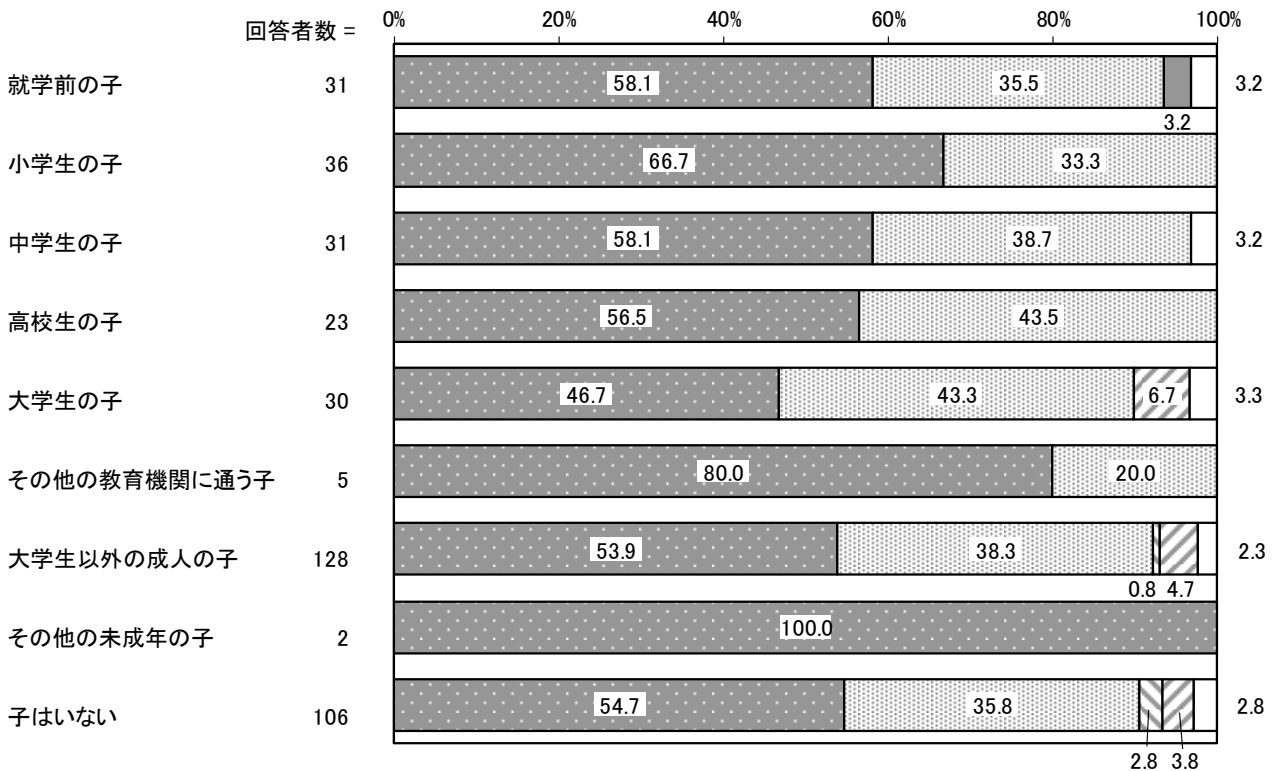
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、60歳代で“重要”の割合が低くなっています。



【子どもの有無別】

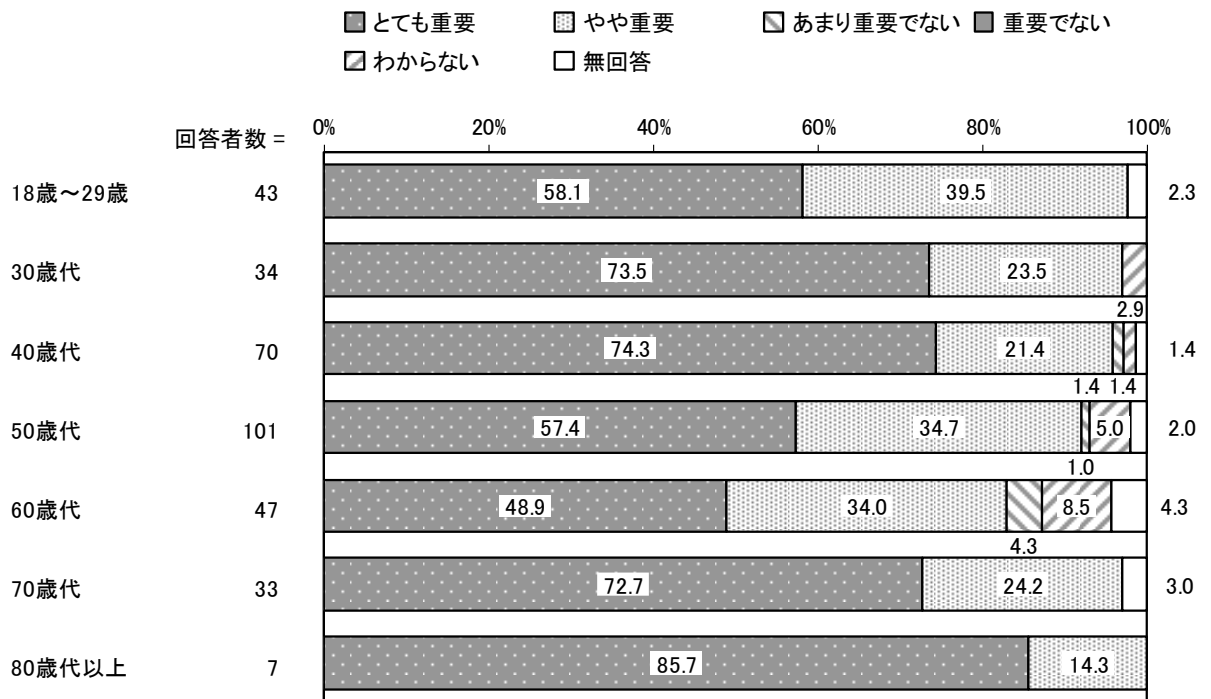
子どもの有無別でみると、他に比べ、小学生の子、高校生の子で“重要”の割合が高くなっています。



(21) 言葉遣い、礼節、マナー

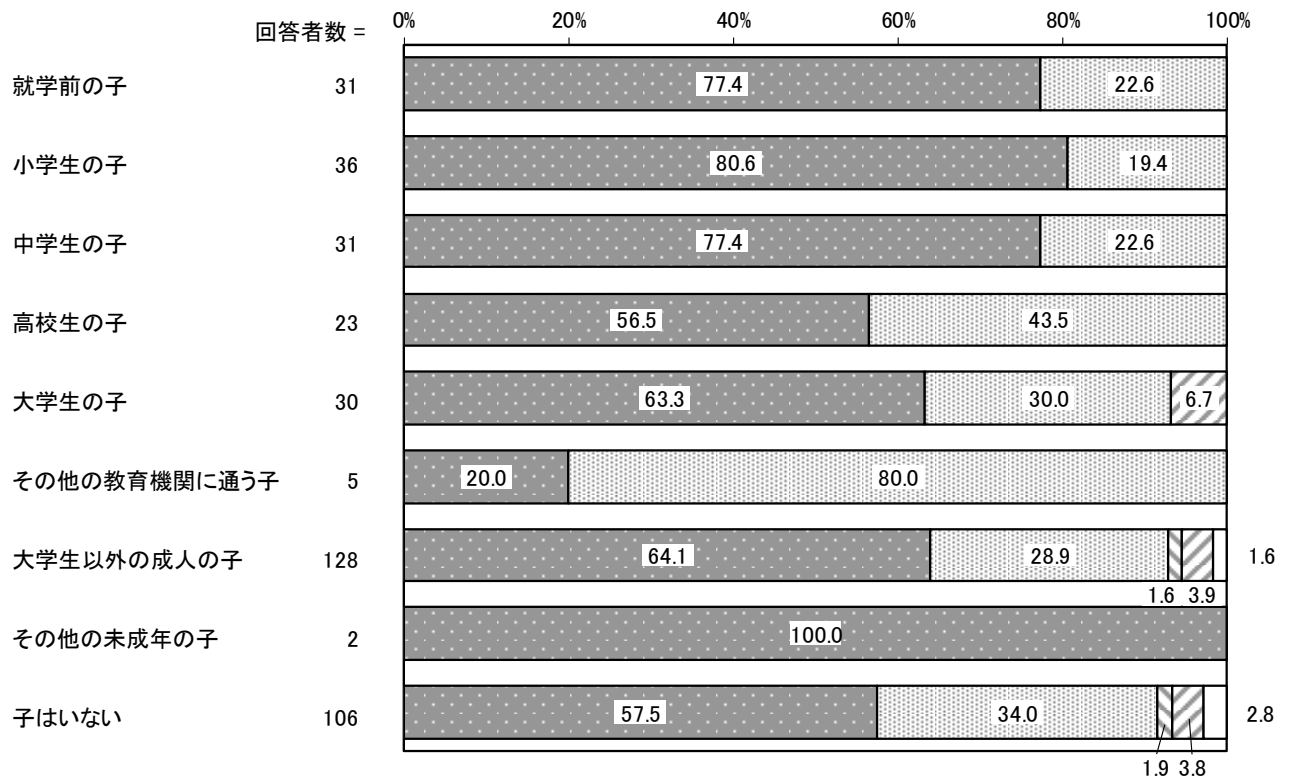
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、60歳代で“重要”の割合が低くなっています。



【子どもの有無別】

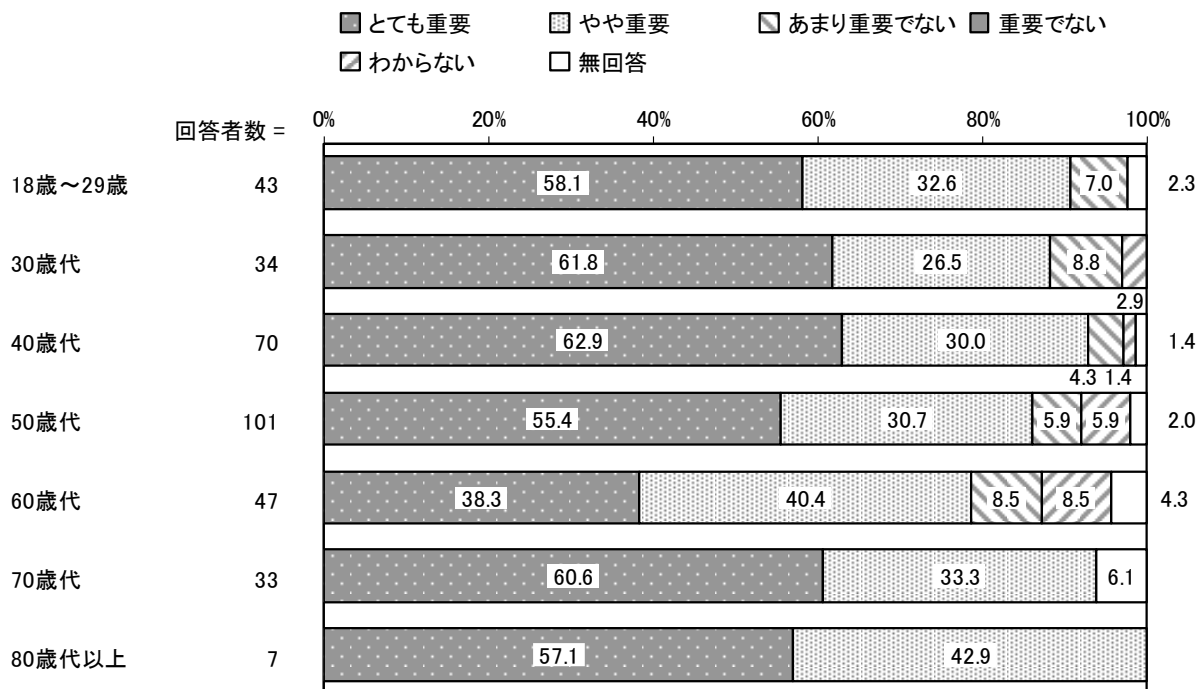
子どもの有無別でみると、他に比べ、就学前の子、小学生の子、中学生の子、高校生の子で“重要”の割合が高くなっています。



(22) 基本的な生活習慣

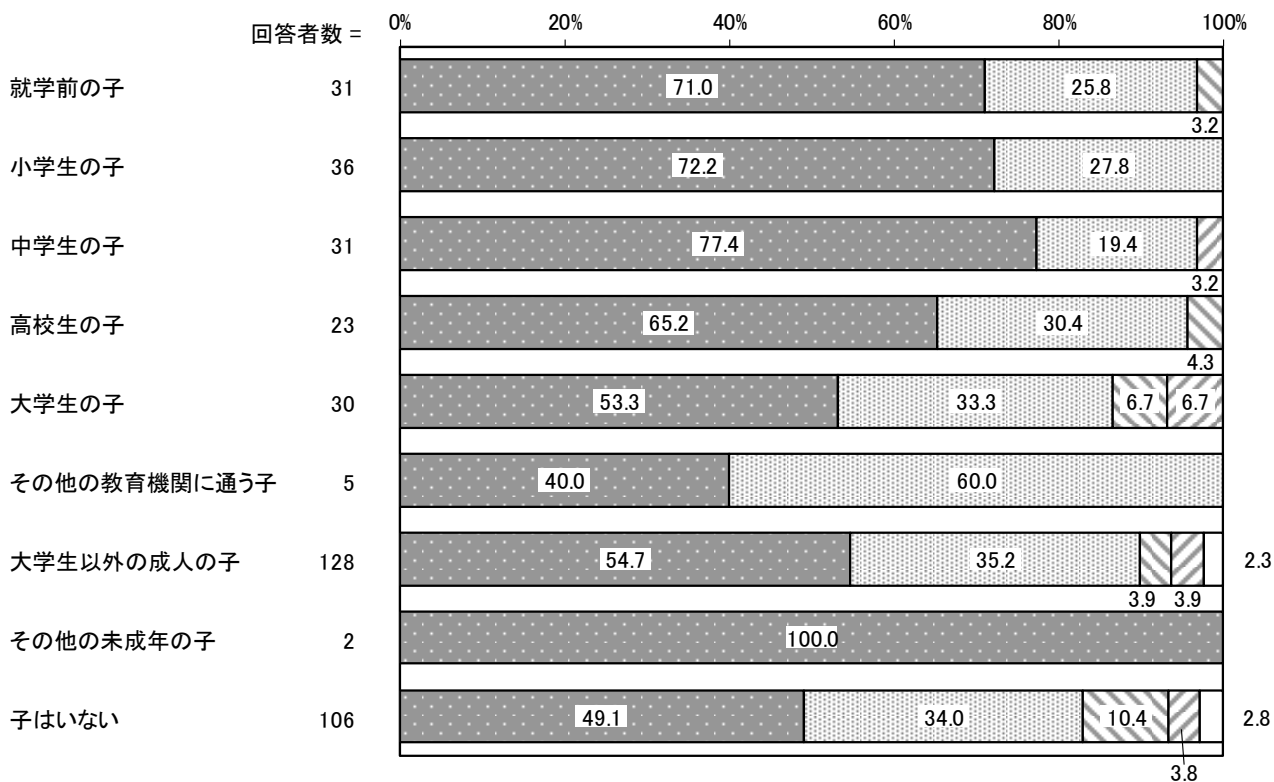
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、60歳代で“重要”の割合が低くなっています。



【子どもの有無別】

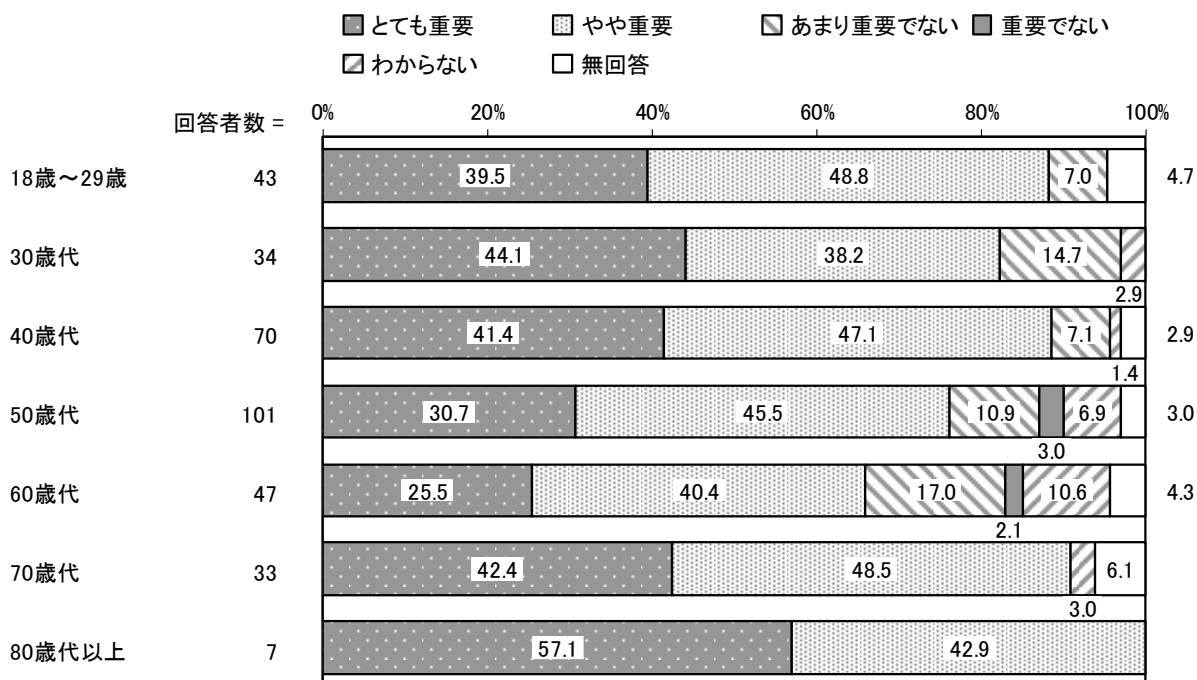
子どもの有無別でみると、他に比べ、就学前の子、小学生の子、中学生の子、高校生の子で“重要”の割合が高くなっています。



(23) 幅広い知識や教養

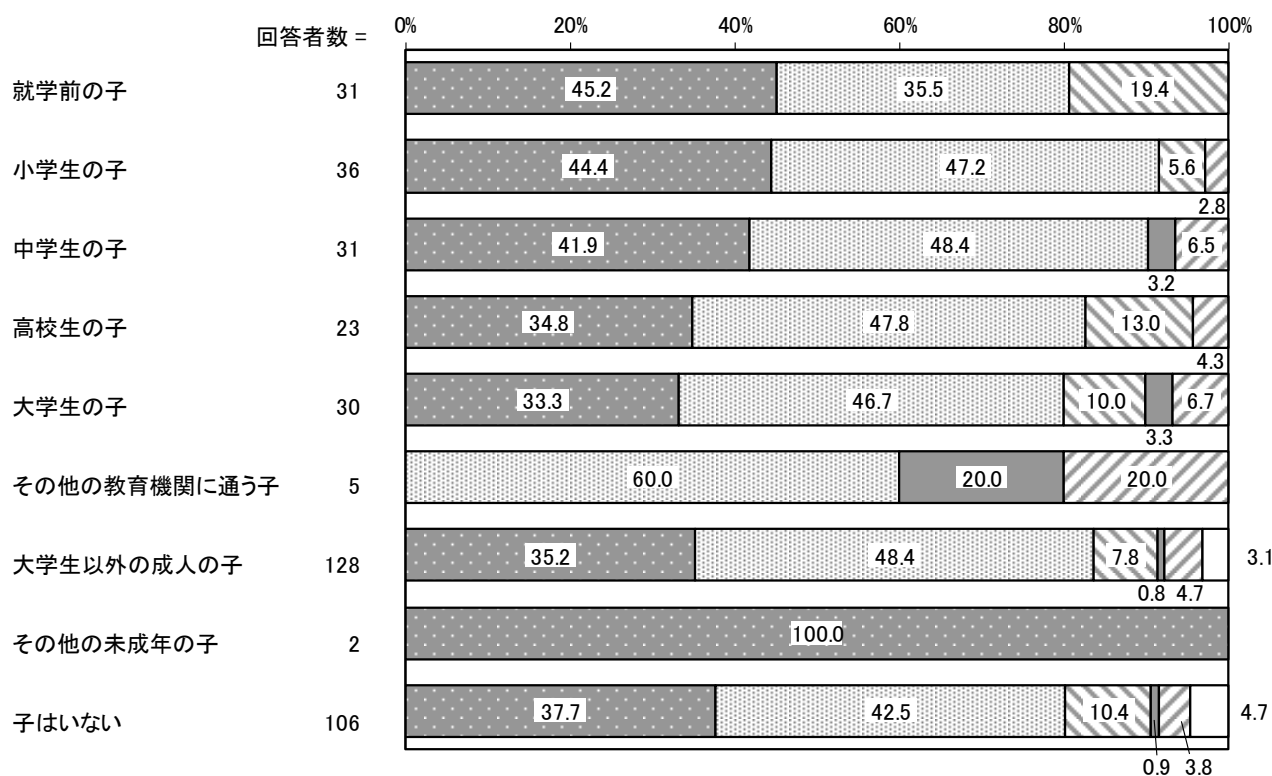
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、60歳代で“重要”の割合が低くなっています。



【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、他に比べ、小学生の子、中学生の子で“重要”の割合が、就学前の子で“重要でない”の割合が高くなっています。



## 【ポートフォリオによる分析】

### (1) 現在の状況・重要性の得点化

23 項目の質問項目について、「現在の状況」と「重要性」を3つと5つの選択肢の中から回答してもらい、下記の手順で得点化し、分析を行いました。

#### ■現在の状況・重要性の得点化の手順■

満足度		得点	重要性		得点
身についていない	→	-2 点	重要でない	→	-2 点
わからない	→	0 点	あまり重要でない	→	-1 点
身についている	→	2 点	わからない	→	0 点
無回答	→	計算対象外	やや重要	→	1 点
			とても重要	→	2 点
			無回答	→	計算対象外

#### ■得点の算出式■

2点×「身についている(とても重要)」の回答数  
+1点×「やや重要」の回答数  
+0点×「わからない」の回答数  
-1点×「あまり重要でない」の回答数  
-2点×「身についていない(重要でない)」の回答数／無回答を除く回答数

算出された現在の状況・重要性の得点をもとに、各施策の現在の状況・重要性に順位付けを行いました。

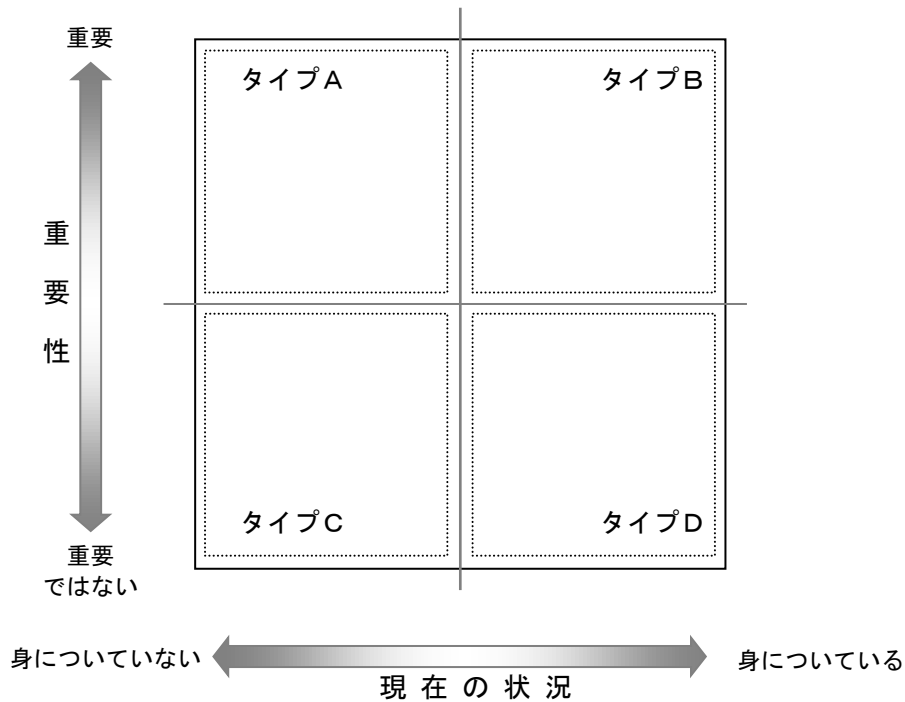


■現在の状況・重要性■

現在の状況	得点	順位	得点	重 要 性
施策名				施策名
(11) 善悪を判断する力	0.43	第1位	1.80	(11) 善悪を判断する力
(12) 人間関係を築く力	0.41	第2位	1.73	(2) 自ら学び、考え、主体的に行動する力
(19) 他者に対する理解と 思いやりや優しさ	0.41	第3位	1.68	(19) 他者に対する理解と 思いやりや優しさ
(22) 基本的な生活習慣	0.27	第4位	1.65	(12) 人間関係を築く力
(20) 生命や自然、環境を大 切にする心	0.22	第5位	1.63	(10) 自分の健康や安全を 管理する力
(14) 多様な人々がお互い に認め合い、共に生き る姿勢	0.21	第6位	1.60	(21) 言葉遣い、礼節、 マナー
(1) 教科の基礎的な学力	0.20	第7位	1.57	(4) 自分の考えを表現す る力
(6) I C Tを活用しよう とする姿勢や能力	0.19	第8位	1.50	(20) 生命や自然、環境を大 切にする心
(4) 自分の考えを表現す る力	0.18	第9位	1.48	(1) 教科の基礎的な学力
(10) 自分の健康や安全を 管理する力	0.17	第10位	1.47	(14) 多様な人々がお互い に認め合い、共に生き る姿勢
(21) 言葉遣い、礼節、 マナー	0.14	第11位	1.43	(22) 基本的な生活習慣
(9) 体力や運動能力	0.08	第12位	1.40	(16) ものごとをやりとげ る粘り強さ
(15) 生き方や進路につい て考える力	0.07	第13位	1.29	(7) 実際の場面で使える 英語などの語学力
(16) ものごとをやりとげ る粘り強さ	0.03	第14位	1.29	(13) 社会で役立つとす る心や公共心
(13) 社会で役立つとす る心や公共心	0.02	第15位	1.28	(3) 論理的にものを考え る力
(2) 自ら学び、考え、主体 的に行動する力	0.01	第16位	1.27	(15) 生き方や進路につい て考える力
(3) 論理的にものを考え る力	-0.01	第17位	1.26	(5) 新しいものを生み出 す創造的な力
(8) 音楽・美術などの芸術 面の能力や情操	-0.05	第18位	1.18	(6) I C Tを活用しよう とする姿勢や能力
(17) 郷土や国を愛する心	-0.07	第19位	1.12	(9) 体力や運動能力
(23) 幅広い知識や教養	-0.08	第20位	1.11	(23) 幅広い知識や教養
(18) 歴史や伝統、文化につ いての理解	-0.10	第21位	0.75	(18) 歴史や伝統、文化につ いての理解
(5) 新しいものを生み出 す創造的な力	-0.13	第22位	0.72	(17) 郷土や国を愛する心
(7) 実際の場面で使える 英語などの語学力	-0.67	第23位	0.66	(8) 音楽・美術などの芸術 面の能力や情操

## (2) ポートフォリオ分析による現在の状況・重要性の評価

各項目の現在の状況・重要性の得点の関係について、現在の状況・重要性をそれぞれ縦軸と横軸にとり、得点の平均値を境界として、4つの領域に区分したプロット図を作成し、今後の施策の方向性について分析しました。



### ◆タイプA

**身についていないが、重要性は高い**

→ 今後の重点課題として検討が必要なタイプ。

### ◆タイプB

**身についており、重要性も高い**

→ 事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプ。

### ◆タイプC

**身についておらず、重要性も低い**

→ 全体に比べ、重要性および現在の状況が身についていない理由についての検証が必要なタイプ。施策の縮小や廃止などを含めた検討が必要。

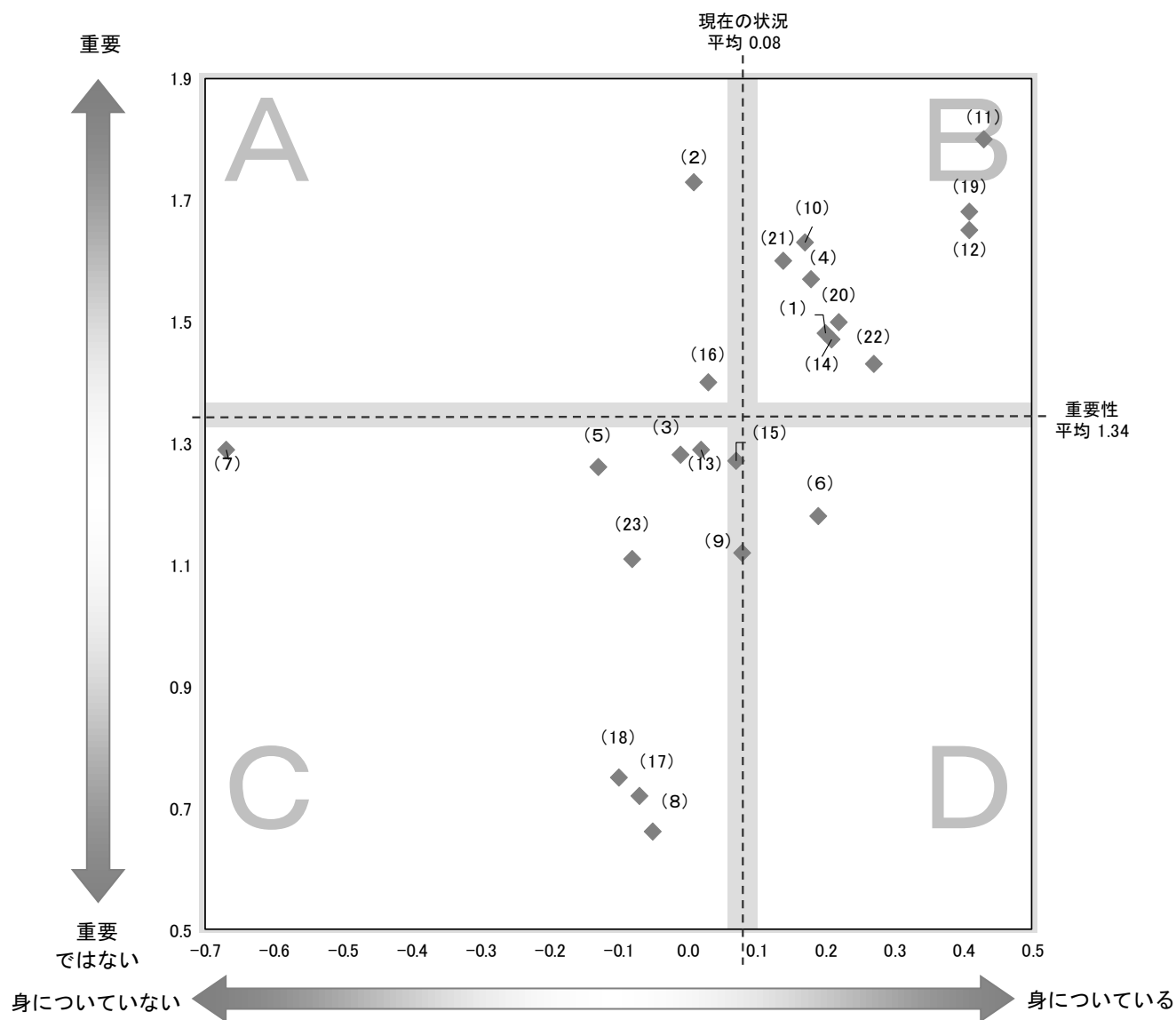
### ◆タイプD

**身についているが、重要性は低い**

→ これまでの施策が充実した結果、現在の状況が身についているものが含まれていると考えられるタイプ。ただし、施策が過剰になっていないか検討が必要。

●施策のポートフォリオ分析（回答者数 = 342）

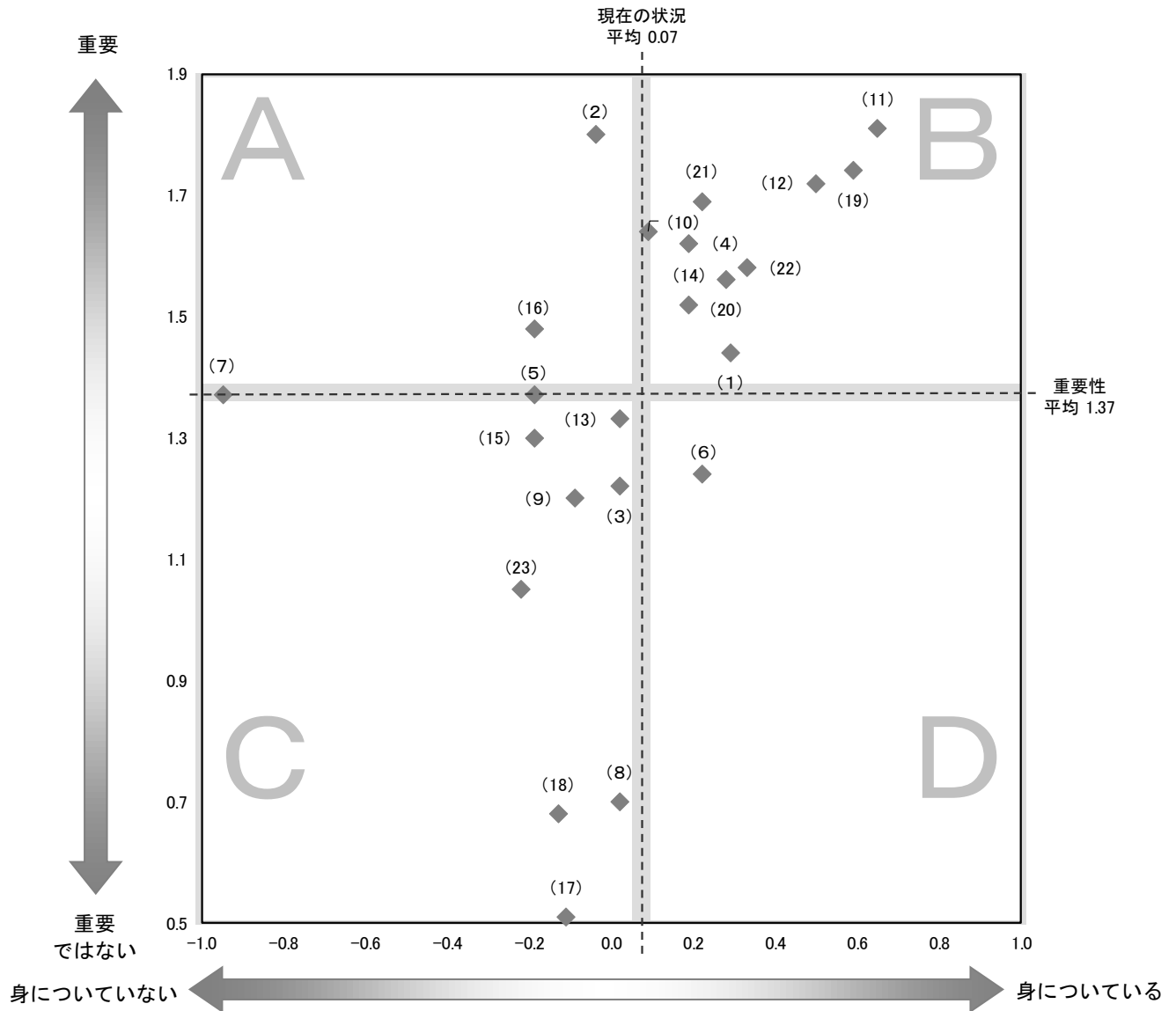
身についていないが、重要性は高い施策（タイプA）は、『(2) 自ら学び、考え、主体的に行動する力』『(16)ものごとをやりとげる粘り強さ』となっています。



項目	
(1) 教科の基礎的な学力	(13) 社会で役立つとする心や公共心
(2) 自ら学び、考え、主体的に行動する力	(14) 多様な人々がお互いに認め合い、共に生きる姿勢
(3) 論理的にものを考える力	(15) 生き方や進路について考える力
(4) 自分の考えを表現する力	(16) ものごとをやりとげる粘り強さ
(5) 新しいものを生み出す創造的な力	(17) 郷土や国を愛する心
(6) ICTを活用しようとする姿勢や能力	(18) 歴史や伝統、文化についての理解
(7) 実際の場面で使える英語などの語学力	(19) 他者に対する理解と思いやりや優しさ
(8) 音楽・美術などの芸術面の能力や情操	(20) 生命や自然、環境を大切にする心
(9) 体力や運動能力	(21) 言葉遣い、礼節、マナー
(10) 自分の健康や安全を管理する力	(22) 基本的な生活習慣
(11) 善悪を判断する力	(23) 幅広い知識や教養
(12) 人間関係を築く力	

●施策のポートフォリオ分析(子どものいる世帯(大学生以外の成人の子は除く) 回答者数 = 110)

身についていないが、重要性は高い施策(タイプA)は、『(2) 自ら学び、考え、主体的に行動する力』『(5) 新しいものを生み出す創造的な力』『(7) 実際の場面で使える英語などの語学力』『(16)ものごとをやりとげる粘り強さ』となっています。



項目	
(1) 教科の基礎的な学力	(13) 社会で役立とうとする心や公共心
(2) 自ら学び、考え、主体的に行動する力	(14) 多様な人々がお互いに認め合い、共に生きる姿勢
(3) 論理的にものを考える力	(15) 生き方や進路について考える力
(4) 自分の考えを表現する力	(16) ものごとをやりとげる粘り強さ
(5) 新しいものを生み出す創造的な力	(17) 郷土や国を愛する心
(6) ICTを活用しようとする姿勢や能力	(18) 歴史や伝統、文化についての理解
(7) 実際の場面で使える英語などの語学力	(19) 他者に対する理解と思いやりや優しさ
(8) 音楽・美術などの芸術面の能力や情操	(20) 生命や自然、環境を大切にできる心
(9) 体力や運動能力	(21) 言葉遣い、礼節、マナー
(10) 自分の健康や安全を管理する力	(22) 基本的な生活習慣
(11) 善悪を判断する力	(23) 幅広い知識や教養
(12) 人間関係を築く力	

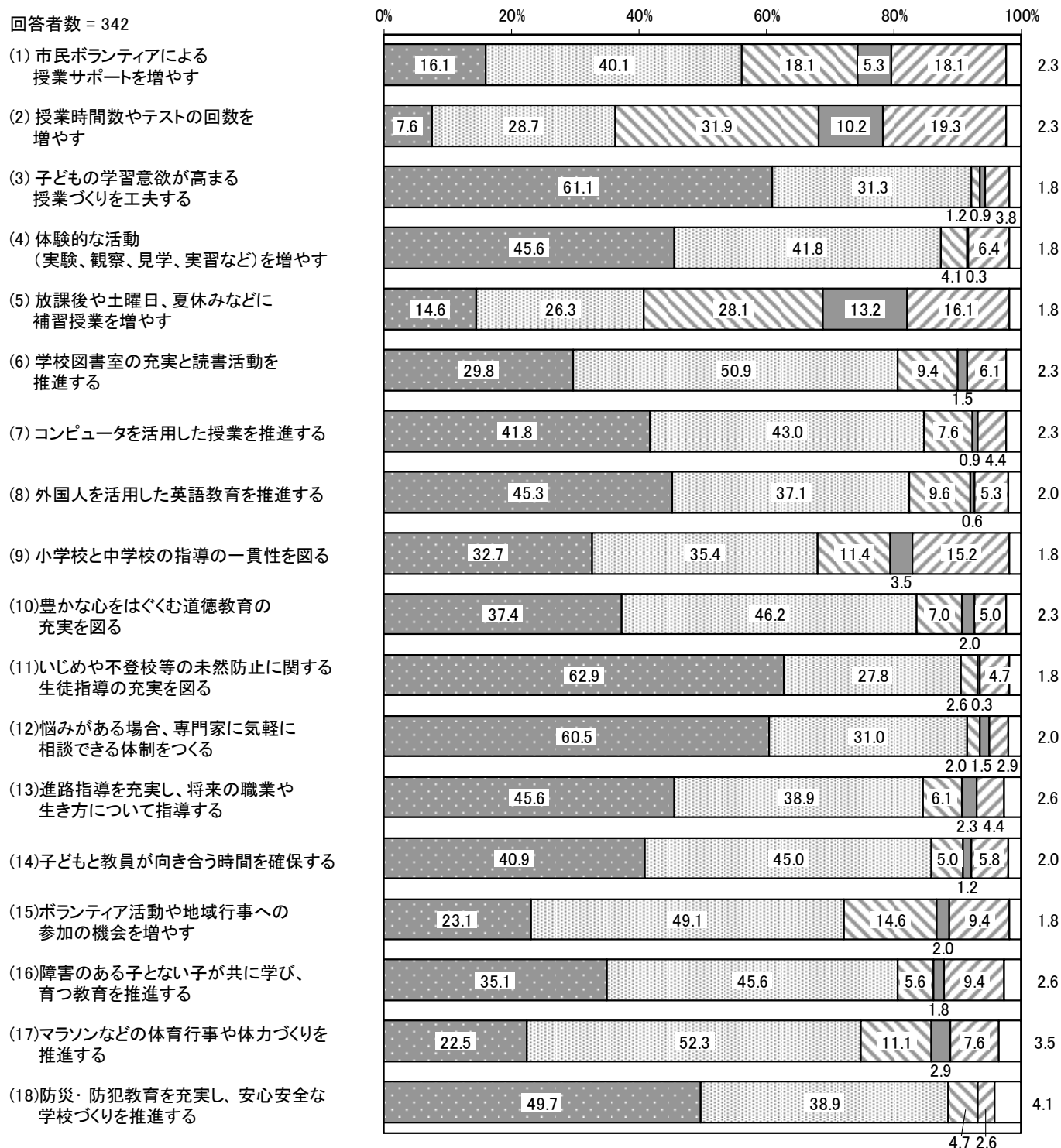
問9 力を入れるべき教育施策や教育事業について 次のような教育施策や教育事業について、ご意見をお聞かせください。各項目について、当てはまる番号1つに○印をつけてください。

「必要である」と「どちらかといえば必要である」をあわせた“必要である”（以下、“必要である”という。）の割合が高いのは『(3) 子どもの学習意欲が高まる授業づくりを工夫する』『(12) 悩みがある場合、専門家に気軽に相談できる体制をつくる』『(11) いじめや不登校等の未然防止に関する生徒指導の充実を図る』『(18) 防災・防犯教育を充実し、安心安全な学校づくりを推進する』となっています。

「どちらかといえば必要でない」と「必要でない」をあわせた“必要でない”（以下、“必要でない”という。）の割合が高いのは『(2) 授業時間数やテストの回数を増やす』『(5) 放課後や土曜日、夏休みなどに補習授業を増やす』『(1) 市民ボランティアによる授業サポートを増やす』『(15) ボランティア活動や地域行事への参加の機会を増やす』となっています。

- 必要である
- どちらかといえば必要でない
- わからない
- どちらかといえば必要である
- 必要でない
- 無回答

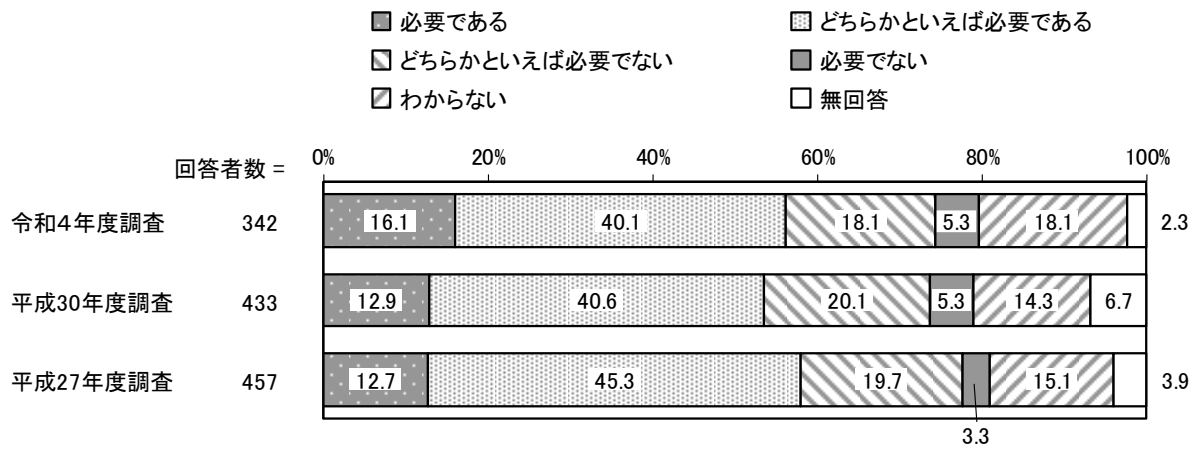
回答者数 = 342



(1) 市民ボランティアによる授業サポートを増やす

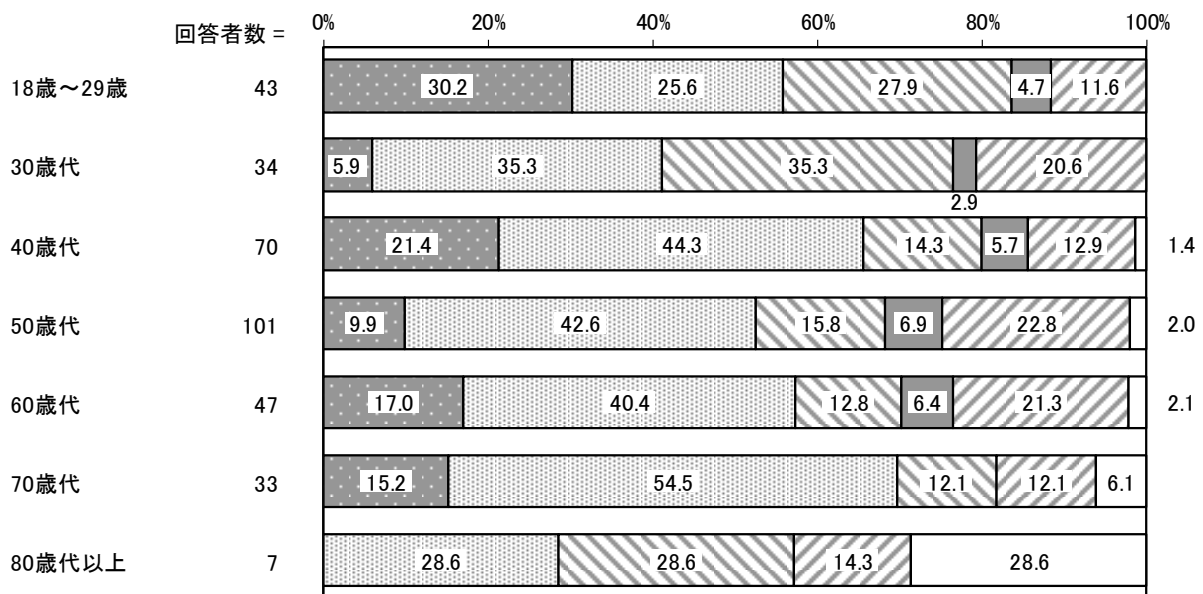
【経年比較】

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



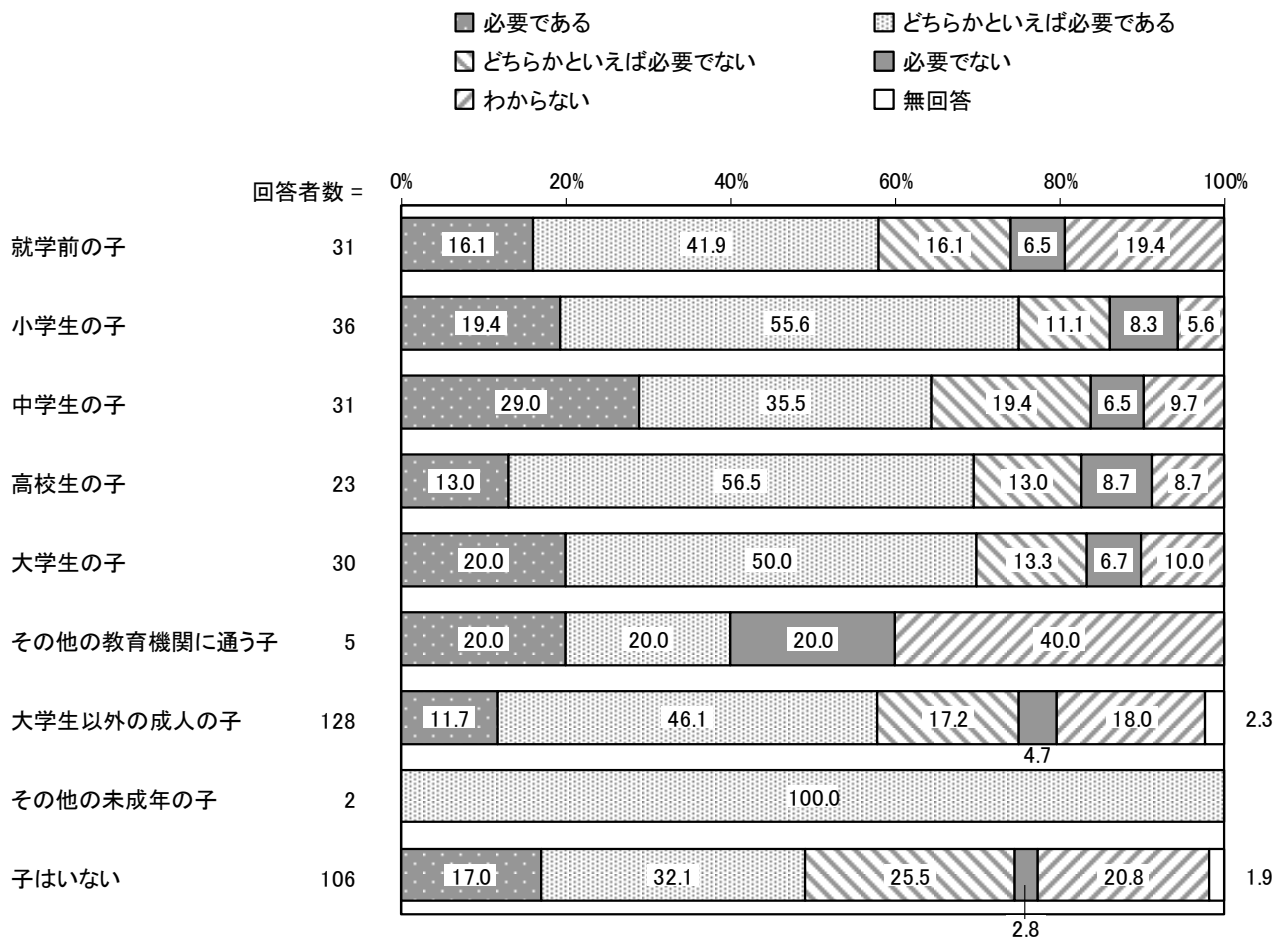
【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、40歳代、70歳代で“必要である”の割合が、30歳代で“必要でない”の割合が高くなっています。



### 【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、他に比べ、小学生の子で“必要である”の割合が高くなっています。

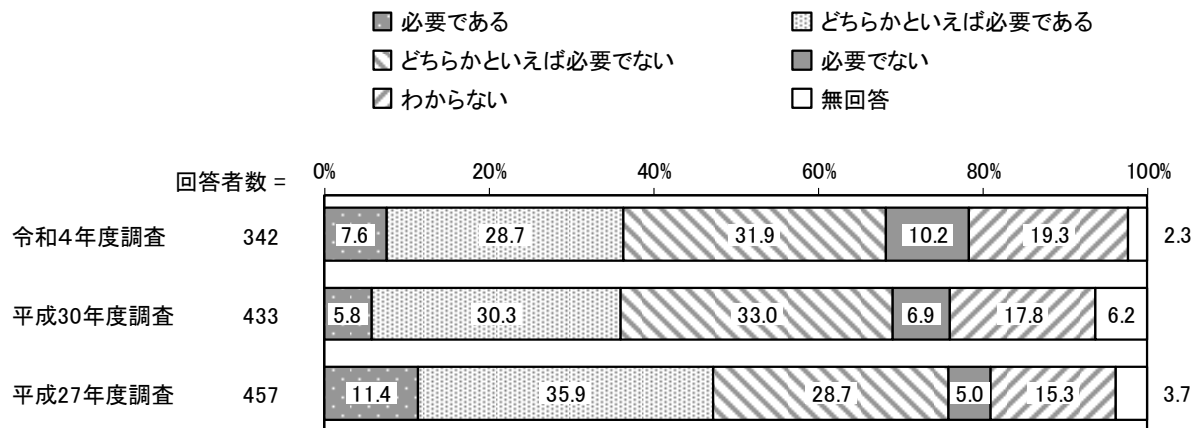




(2) 授業時間数やテストの回数を増やす

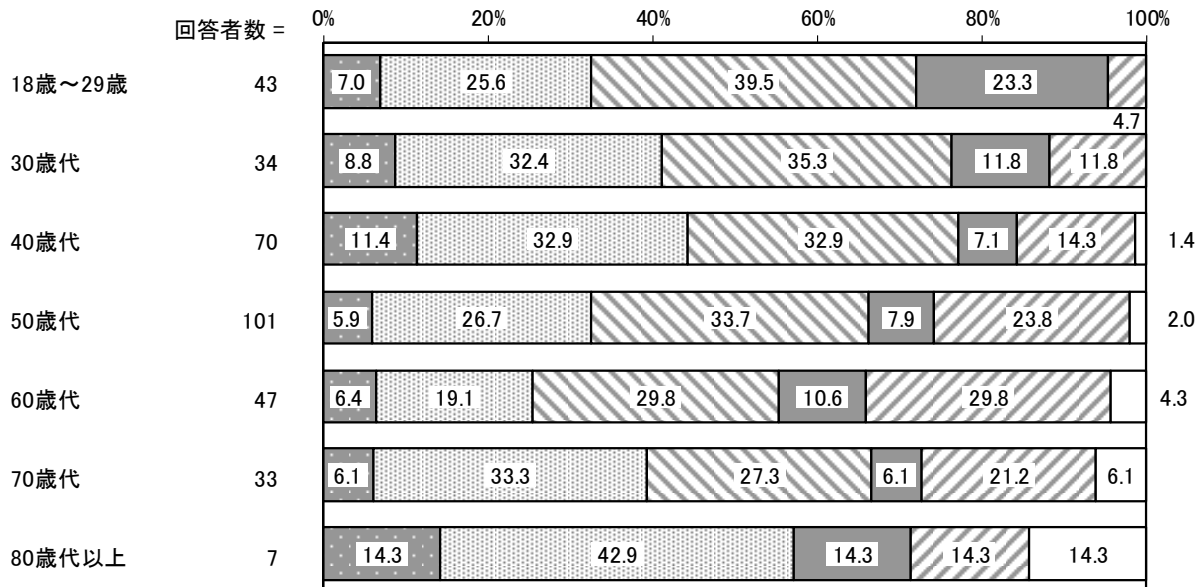
【経年比較】

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



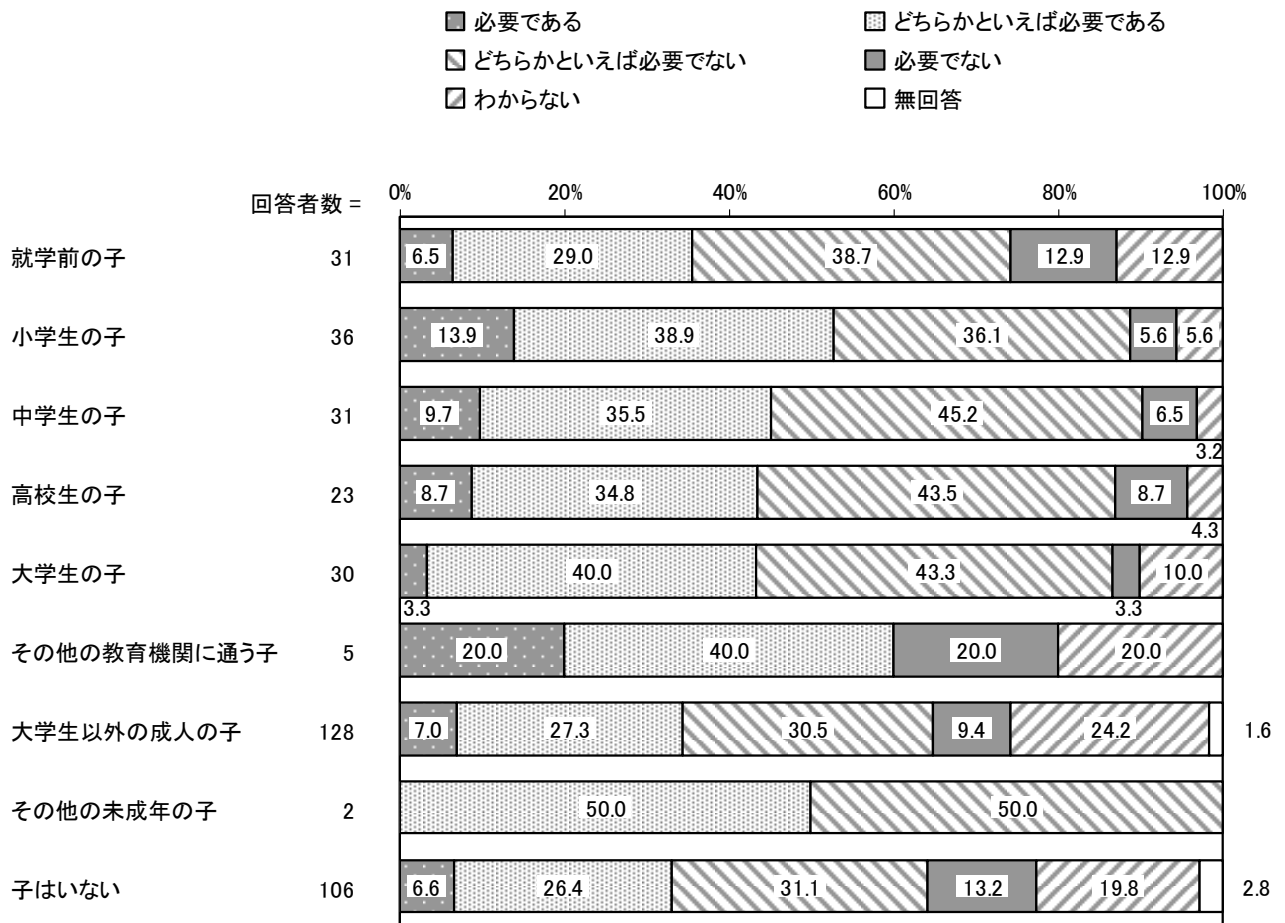
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で“必要でない”の割合が高くなっています。



## 【子どもの有無別】

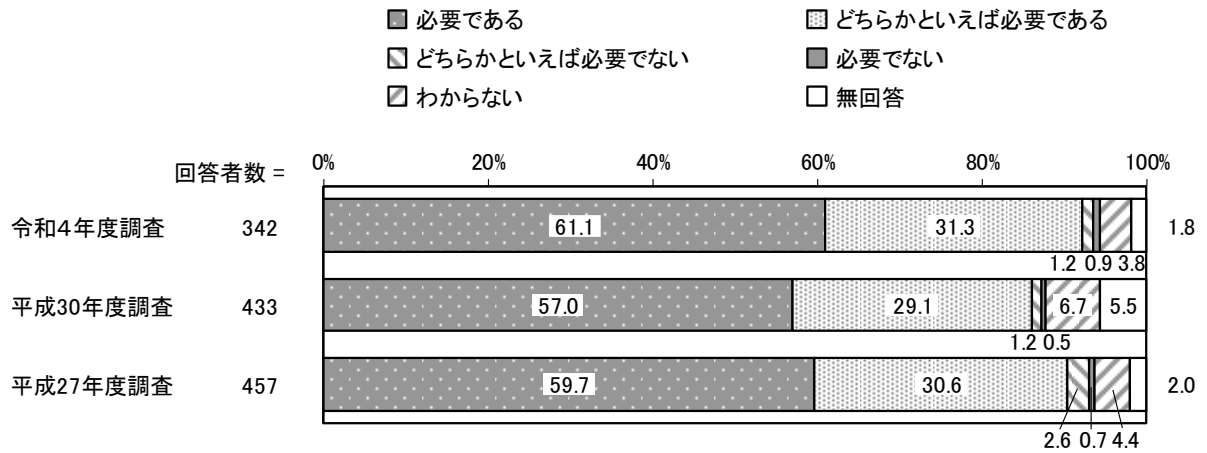
子どもの有無別でみると、他に比べ、小学生の子で“必要である”の割合が高くなっています。



### (3) 子どもの学習意欲が高まる授業づくりを工夫する

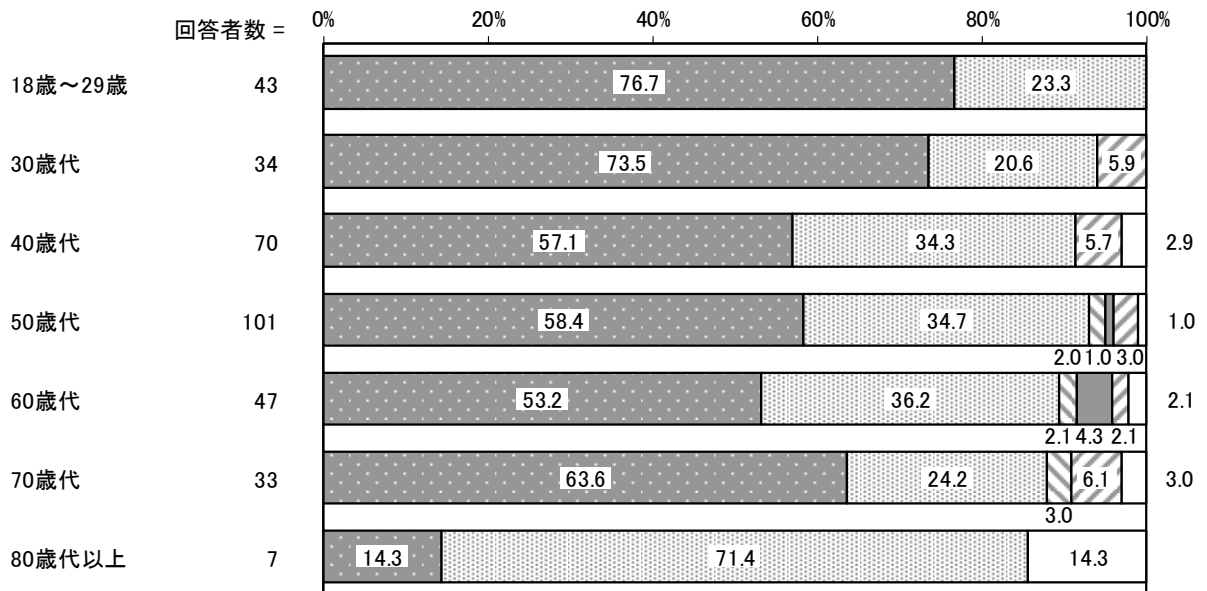
#### 【経年比較】

前回調査と比較すると、“必要である”の割合が増加しています。



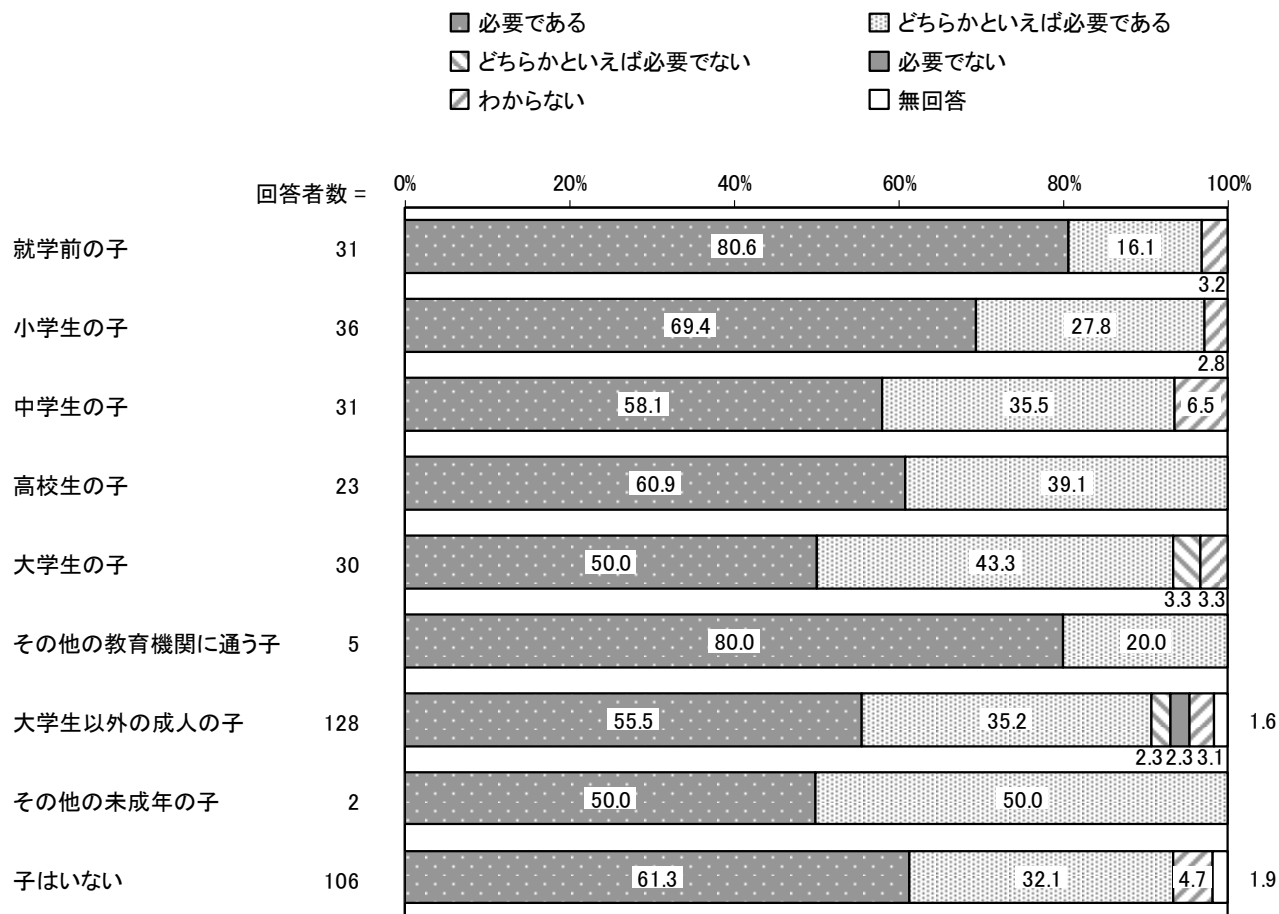
#### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で“必要である”の割合が高くなっています。



### 【子どもの有無別】

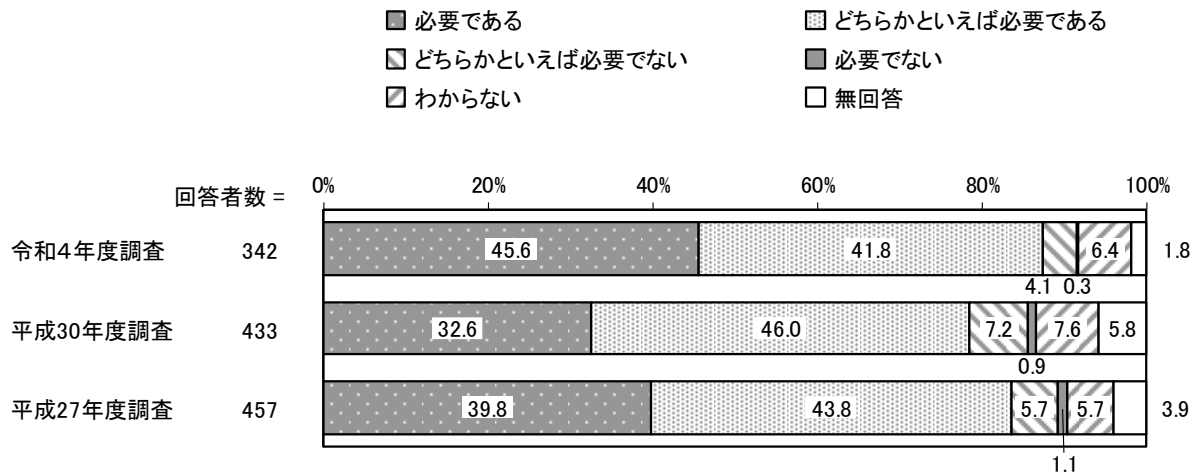
子どもの有無別でみると、他に比べ、高校生の子で“必要である”の割合が高くなっています。



(4) 体験的な活動（実験、観察、見学、実習など）を増やす

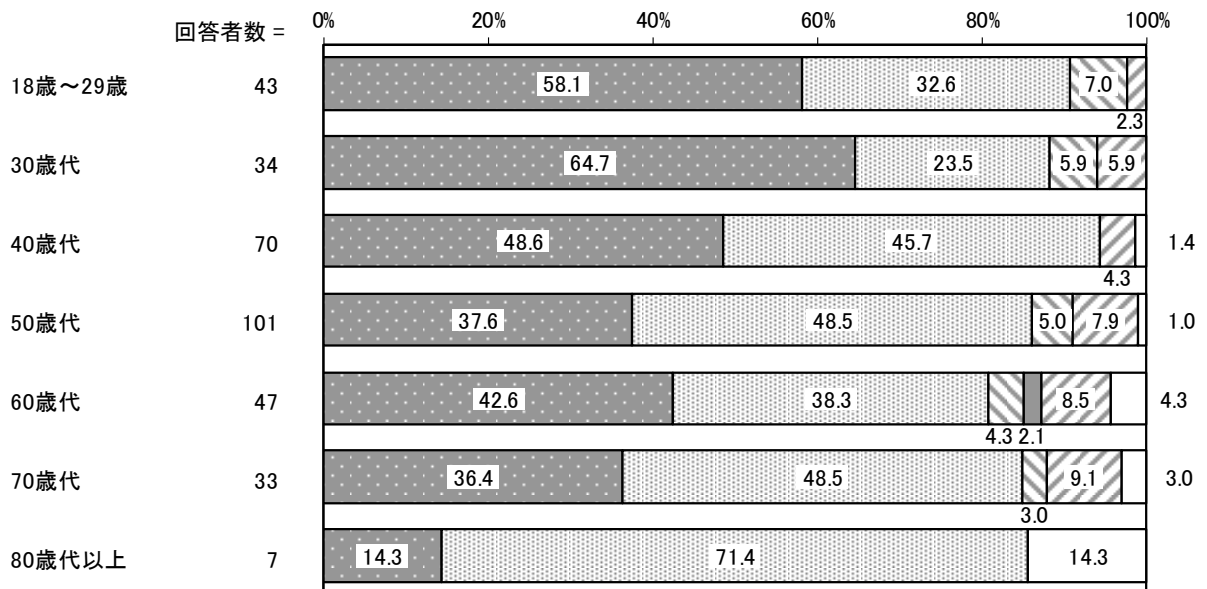
【経年比較】

前回調査と比較すると、“必要である”の割合が増加しています。



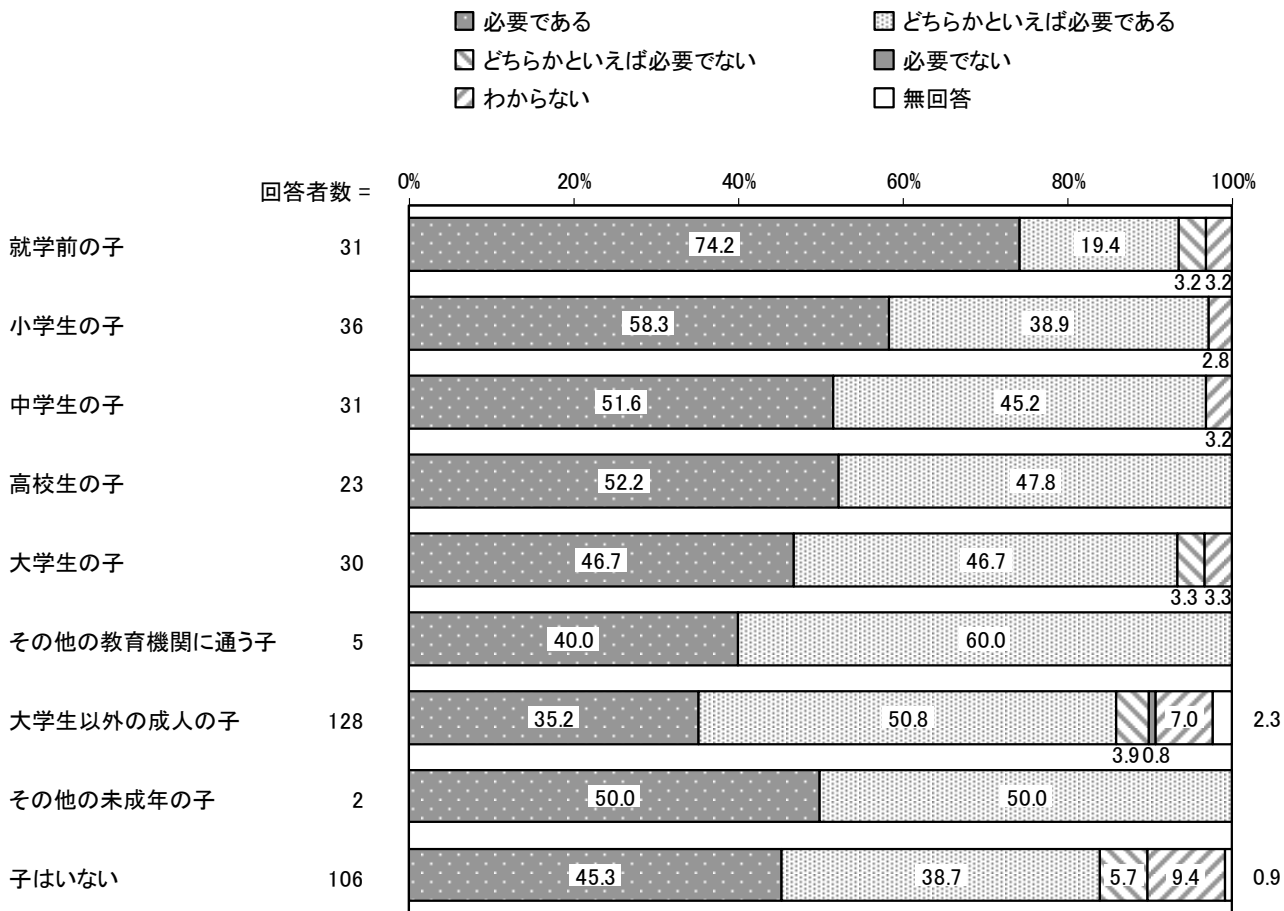
【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、18歳～29歳、40歳代で“必要である”の割合が高くなっています。



### 【子どもの有無別】

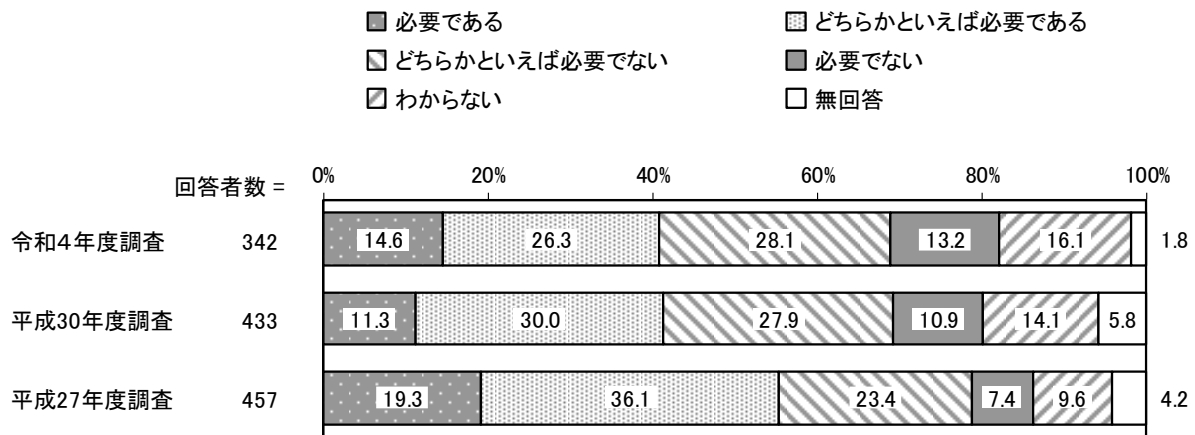
子どもの有無別でみると、他に比べ、高校生の子で“必要である”の割合が高くなっています。



(5) 放課後や土曜日、夏休みなどに補習授業を増やす

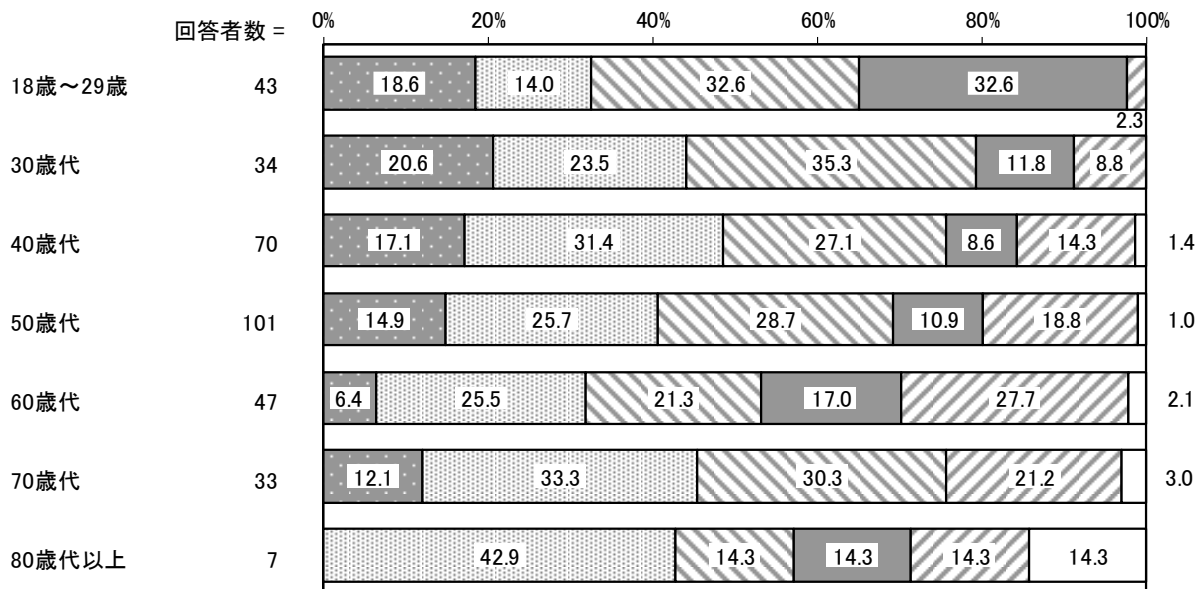
【経年比較】

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



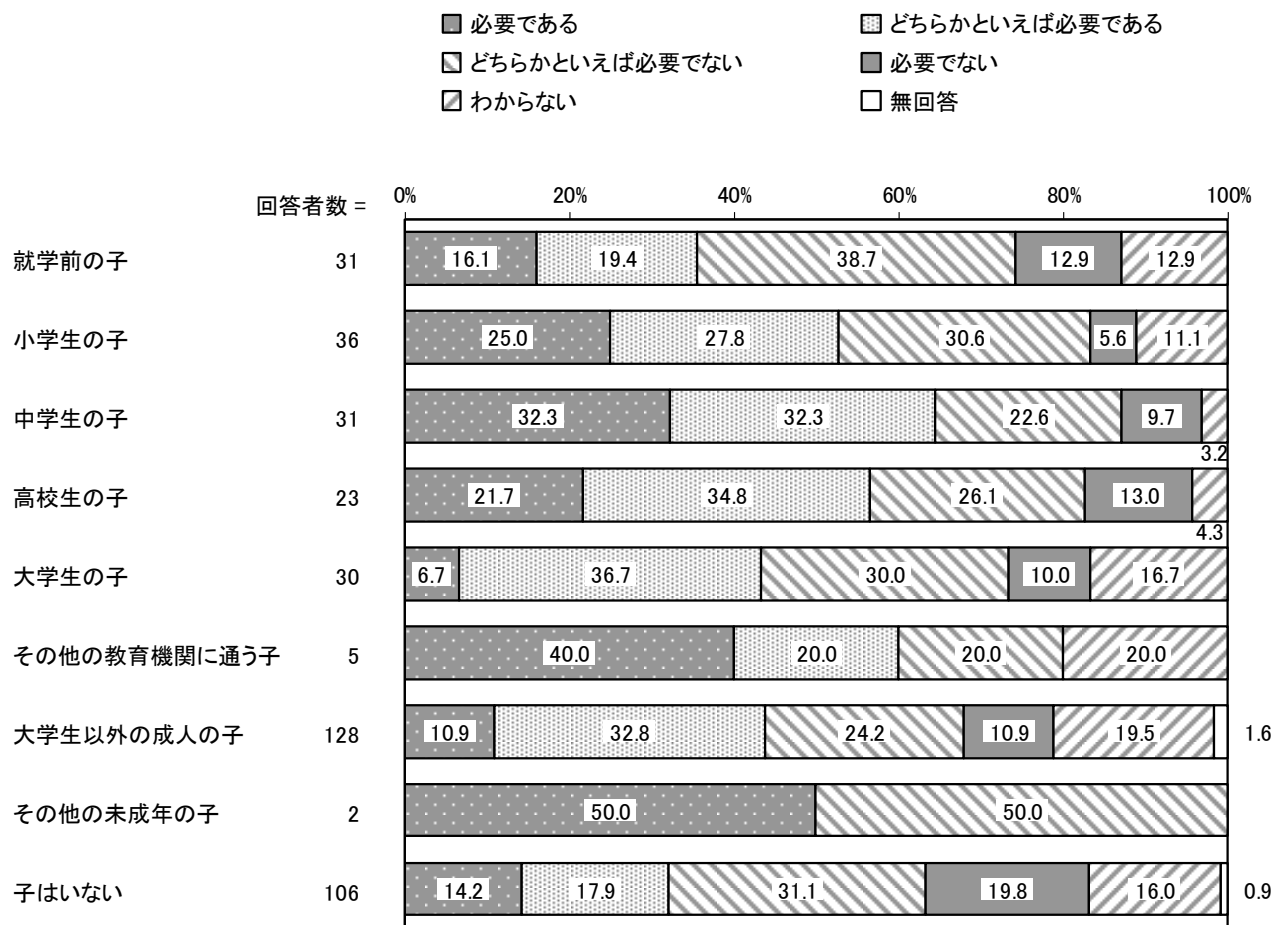
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で“必要でない”の割合が高くなっています。



### 【子どもの有無別】

子どもの有無別で見ると、他に比べ、中学生の子で“必要である”の割合が、就学前の子で“必要でない”の割合が高くなっています。

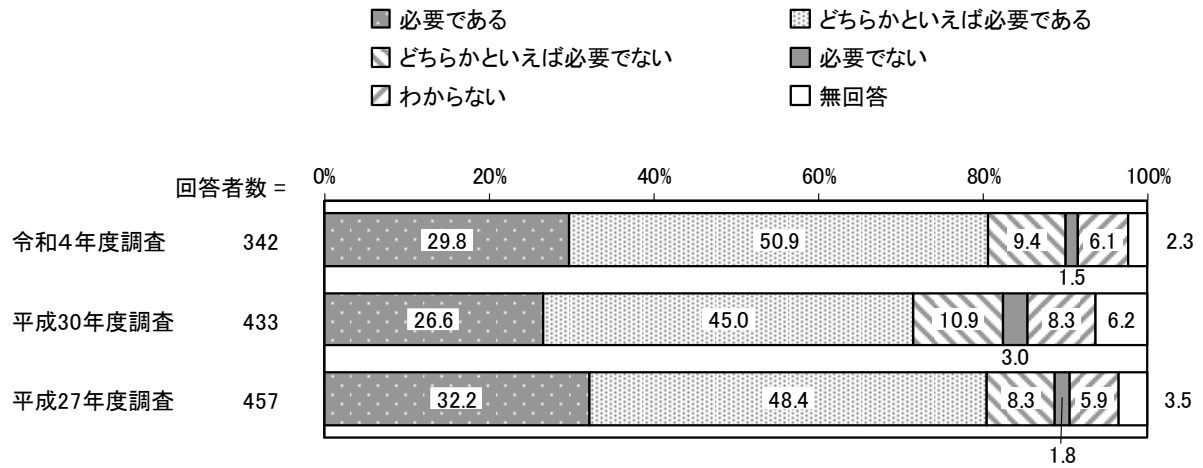




## (6) 学校図書室の充実と読書活動を推進する

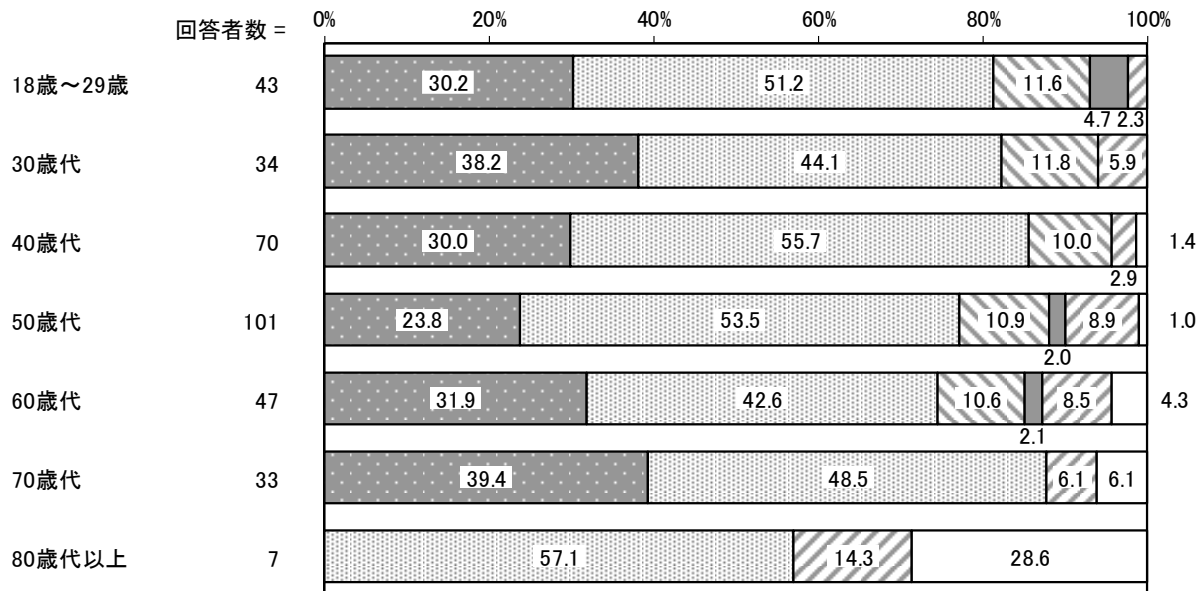
### 【経年比較】

前回調査と比較すると、“必要である”の割合が増加しています。



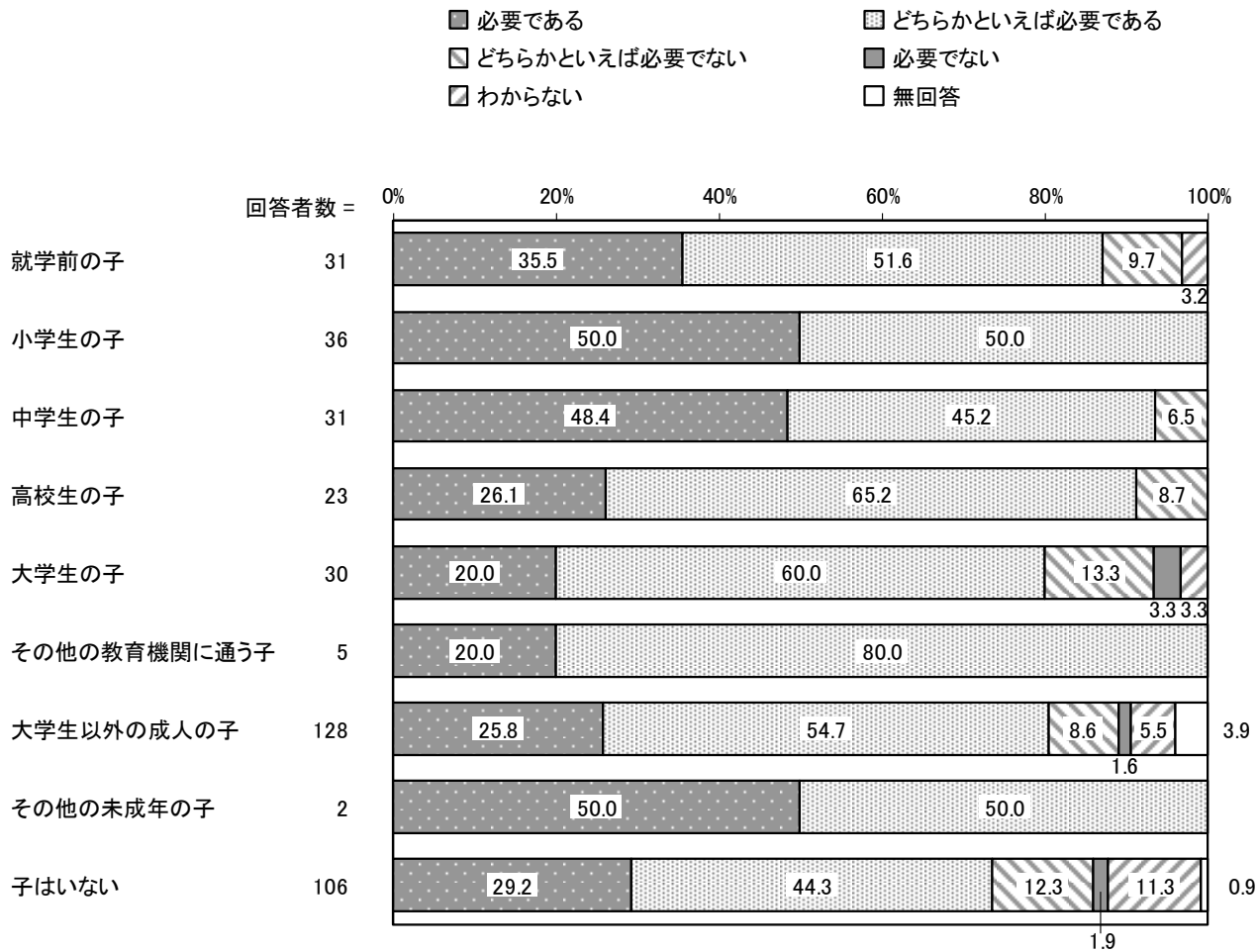
### 【年齢別】

年齢別でみると、大きな差異はみられません。



## 【子どもの有無別】

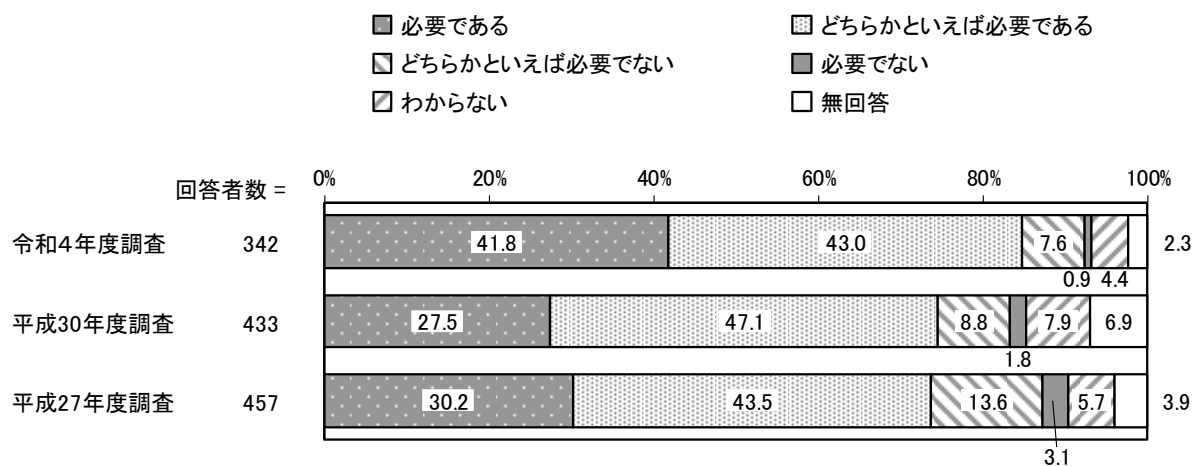
子どもの有無別でみると、他に比べ、小学生の子で“必要である”の割合が高くなっています。



## (7) コンピュータを活用した授業を推進する

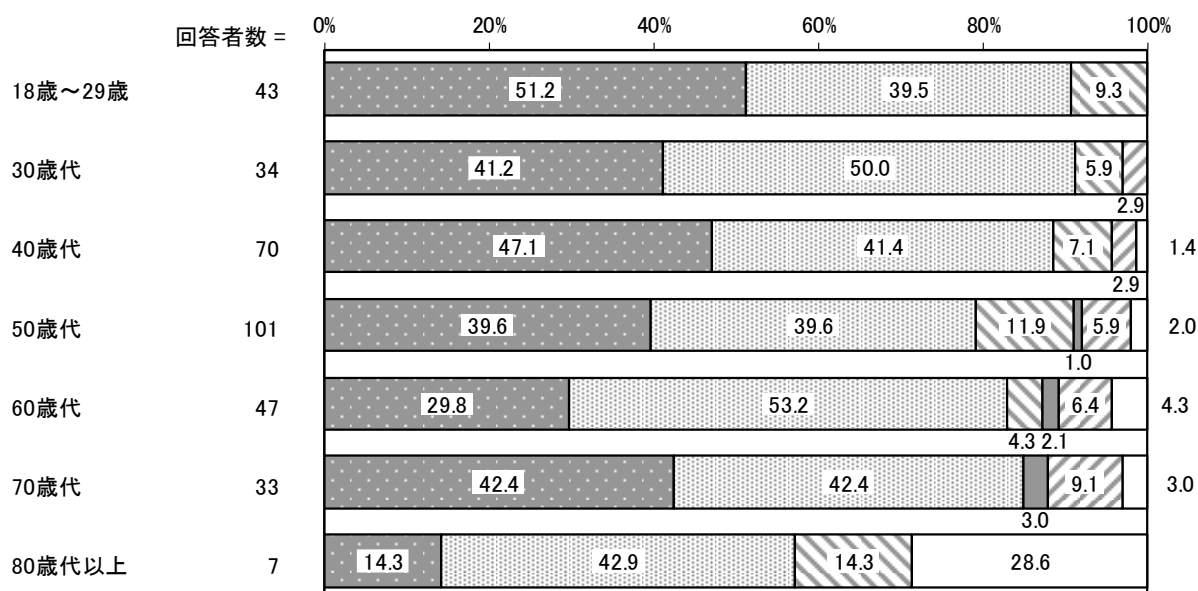
### 【経年比較】

前回調査と比較すると、“必要である”の割合が増加しています。



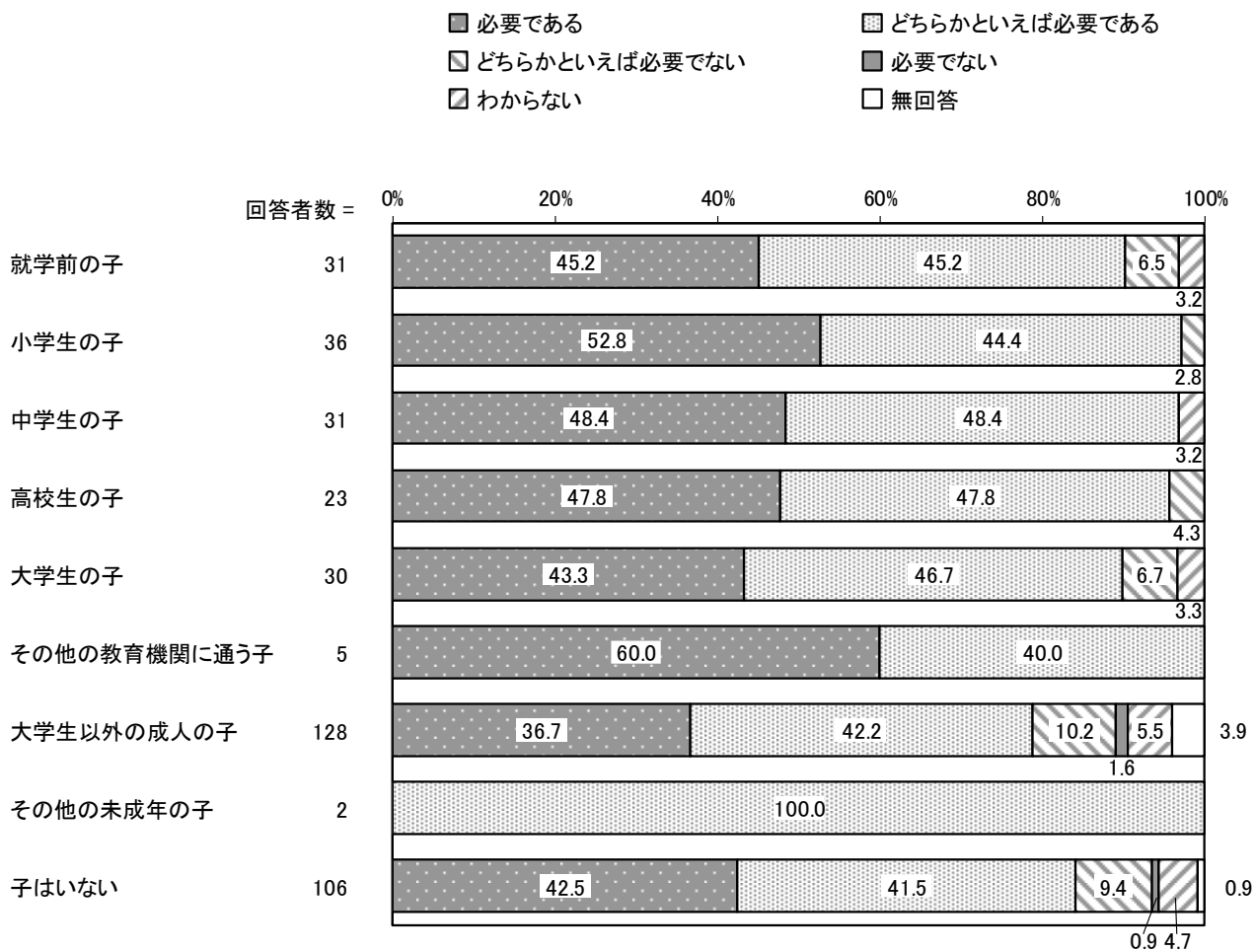
### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳、30歳代、40歳代で“必要である”の割合が、50歳代で“必要でない”の割合が高くなっています。



### 【子どもの有無別】

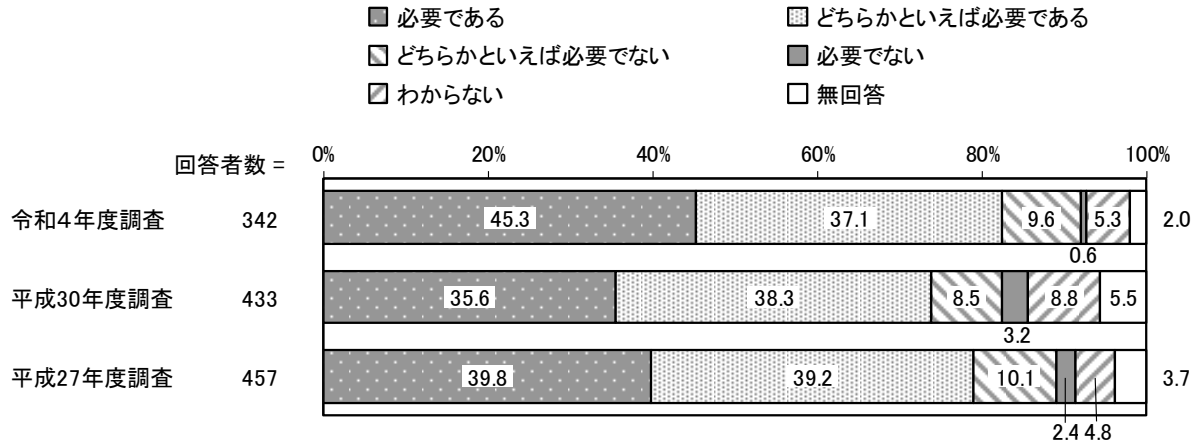
子どもの有無別で見ると、他に比べ、小学生の子、中学生の子、高校生の子で“必要である”の割合が高くなっています。



(8)外国人を活用した英語教育を推進する

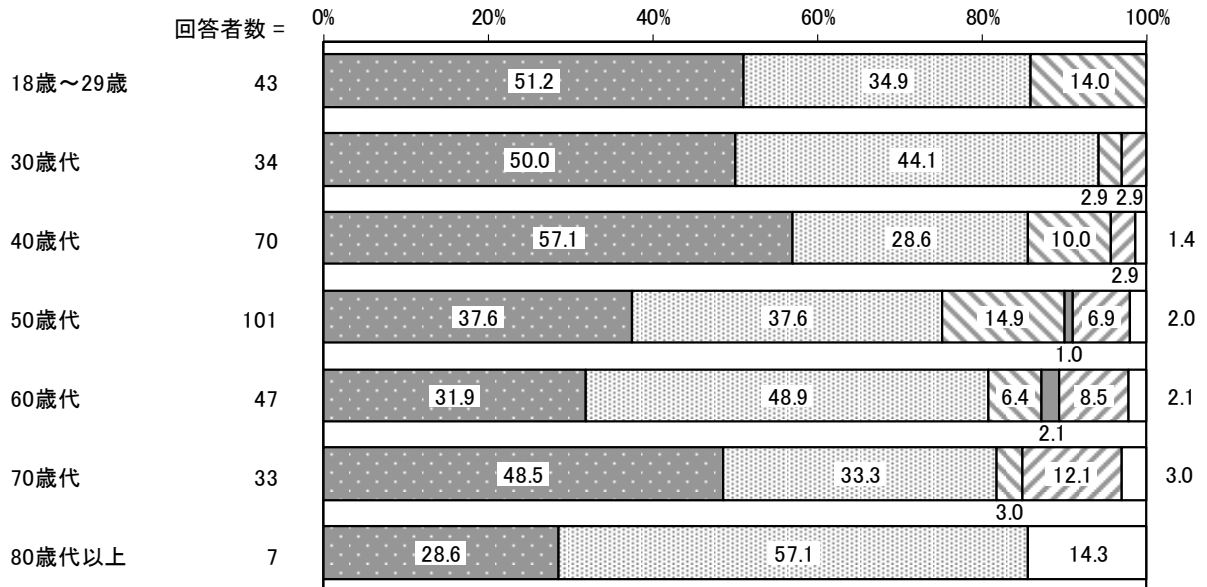
【経年比較】

前回調査と比較すると、“必要である”の割合が増加しています。



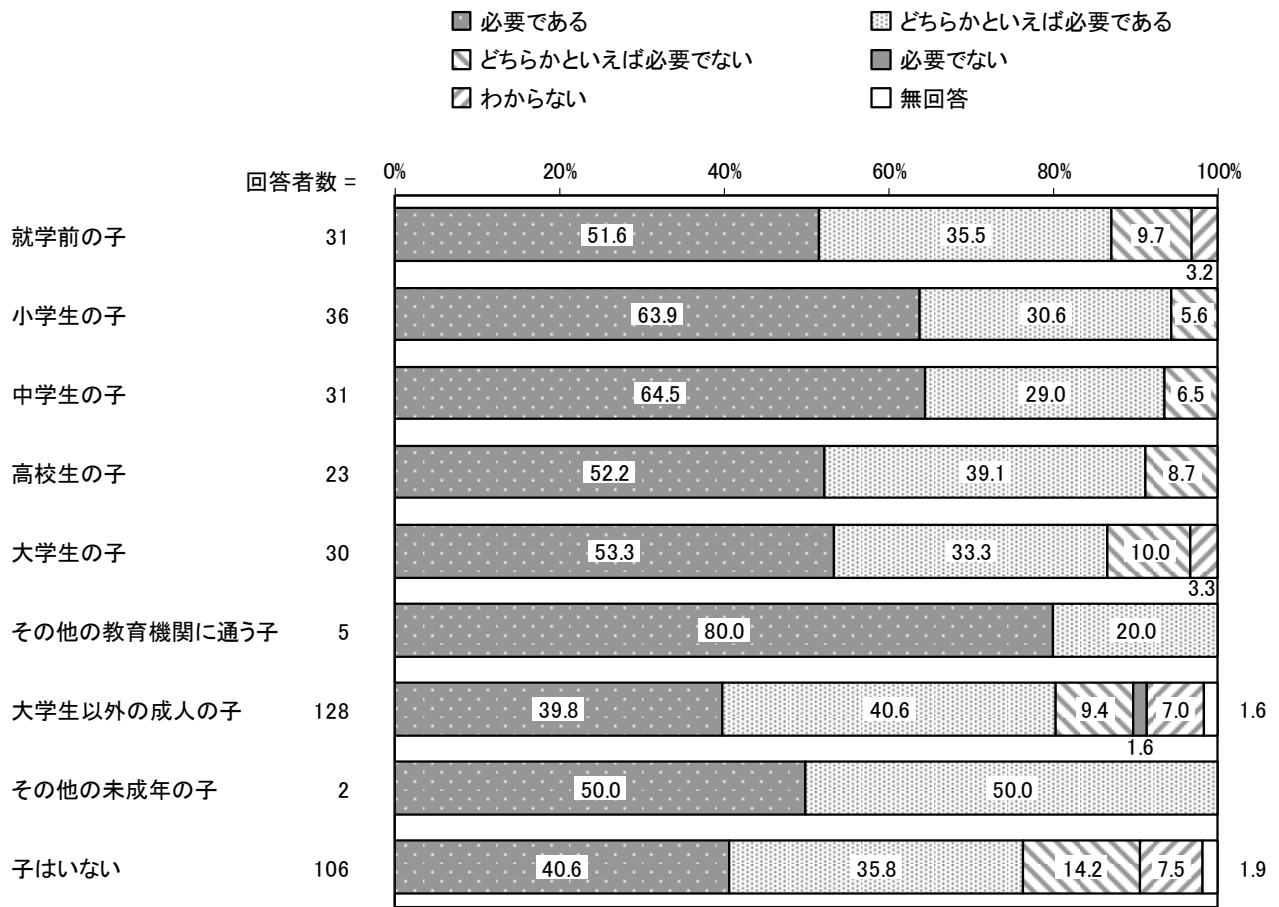
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳代で“必要である”の割合が高くなっています。



### 【子どもの有無別】

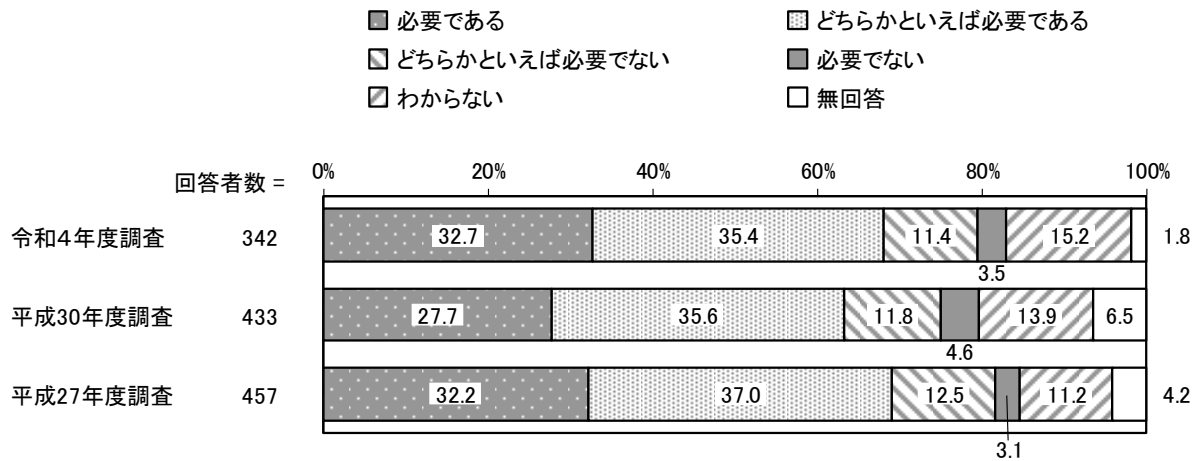
子どもの有無別で見ると、他に比べ、小学生の子、中学生の子、高校生の子で“必要である”の割合が高くなっています。



(9) 小学校と中学校の指導の一貫性を図る

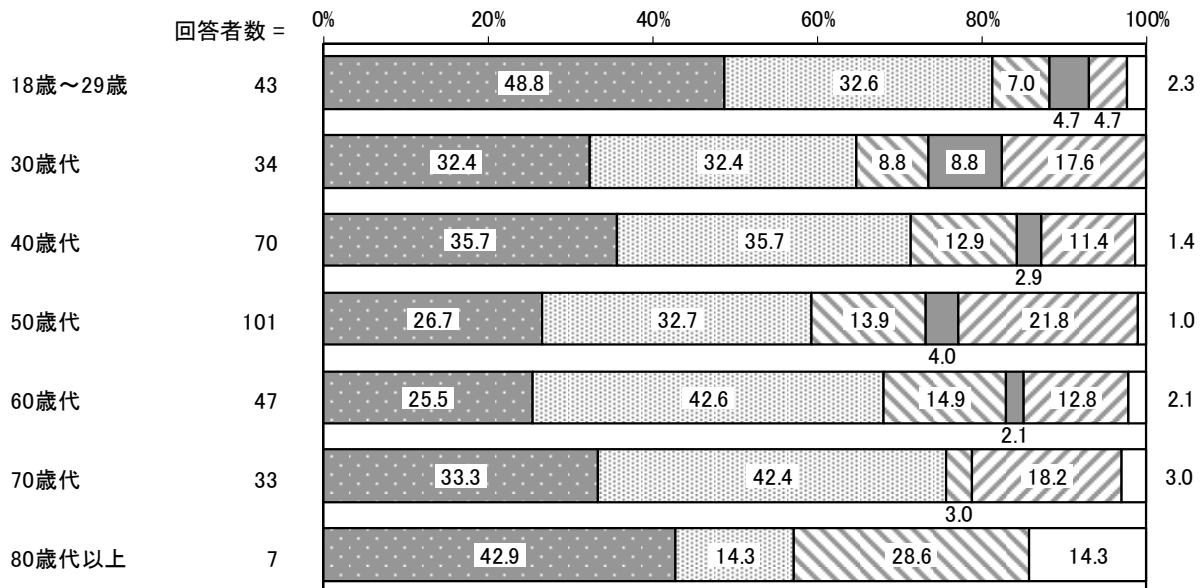
【経年比較】

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



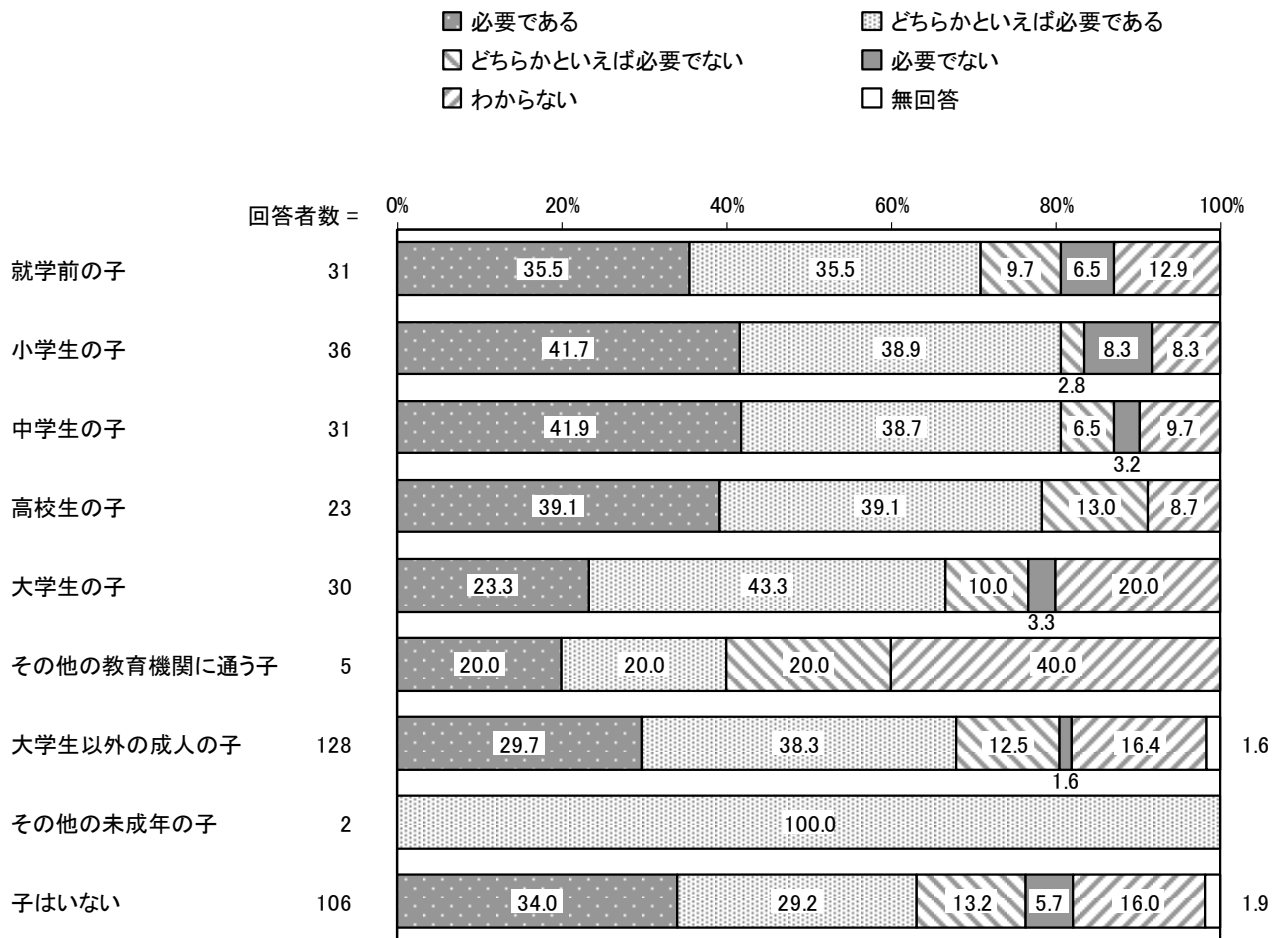
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で“必要である”の割合が高くなっています。



### 【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、他に比べ、大学生の子、大学生以外の成人の子、子はいないで“必要である”の割合が低くなっています。

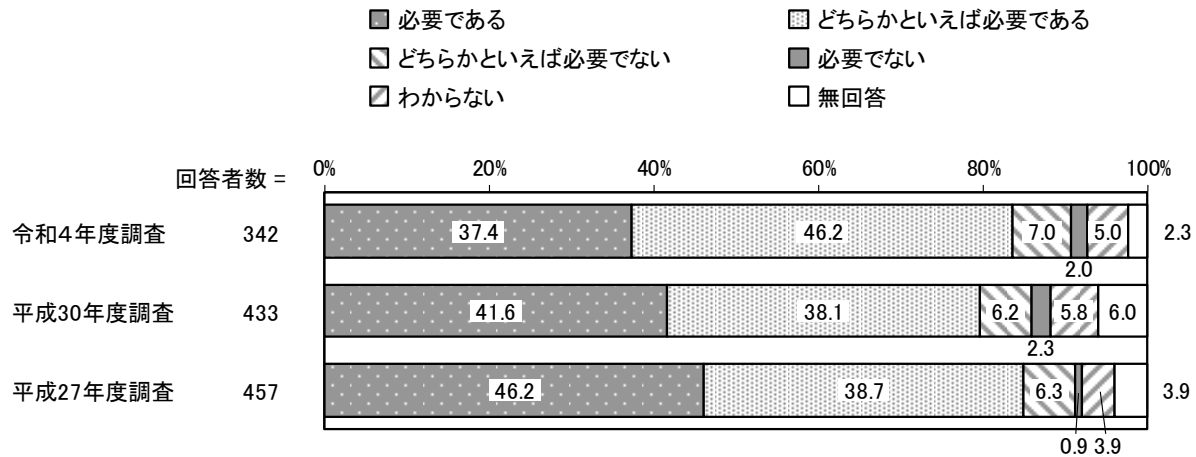




(10) 豊かな心をはぐくむ道德教育の充実を図る

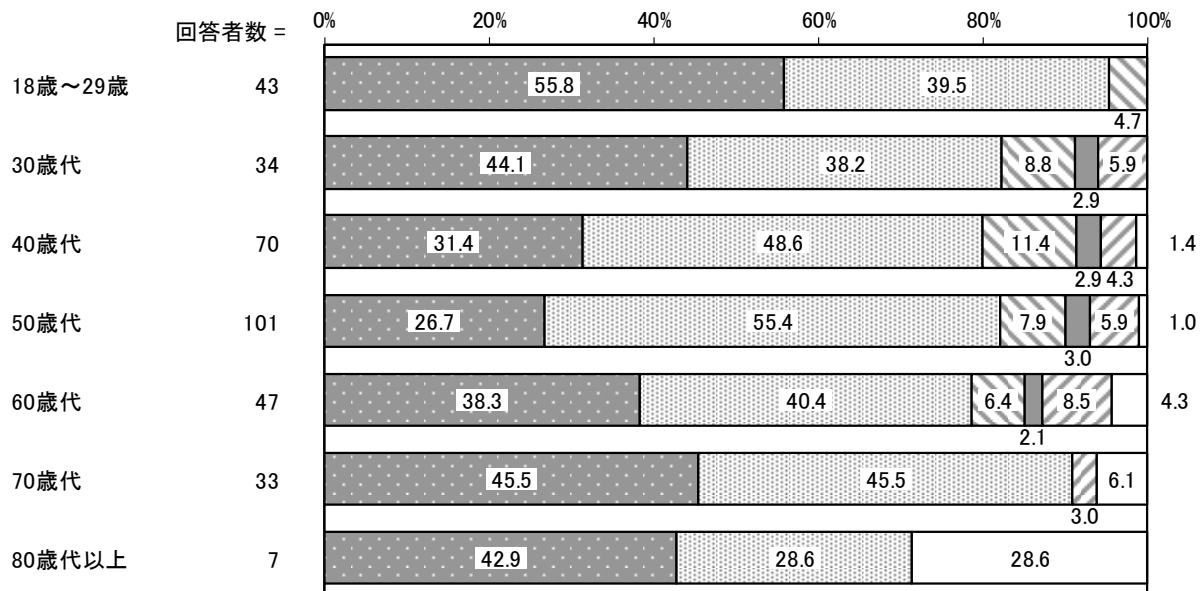
【経年比較】

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



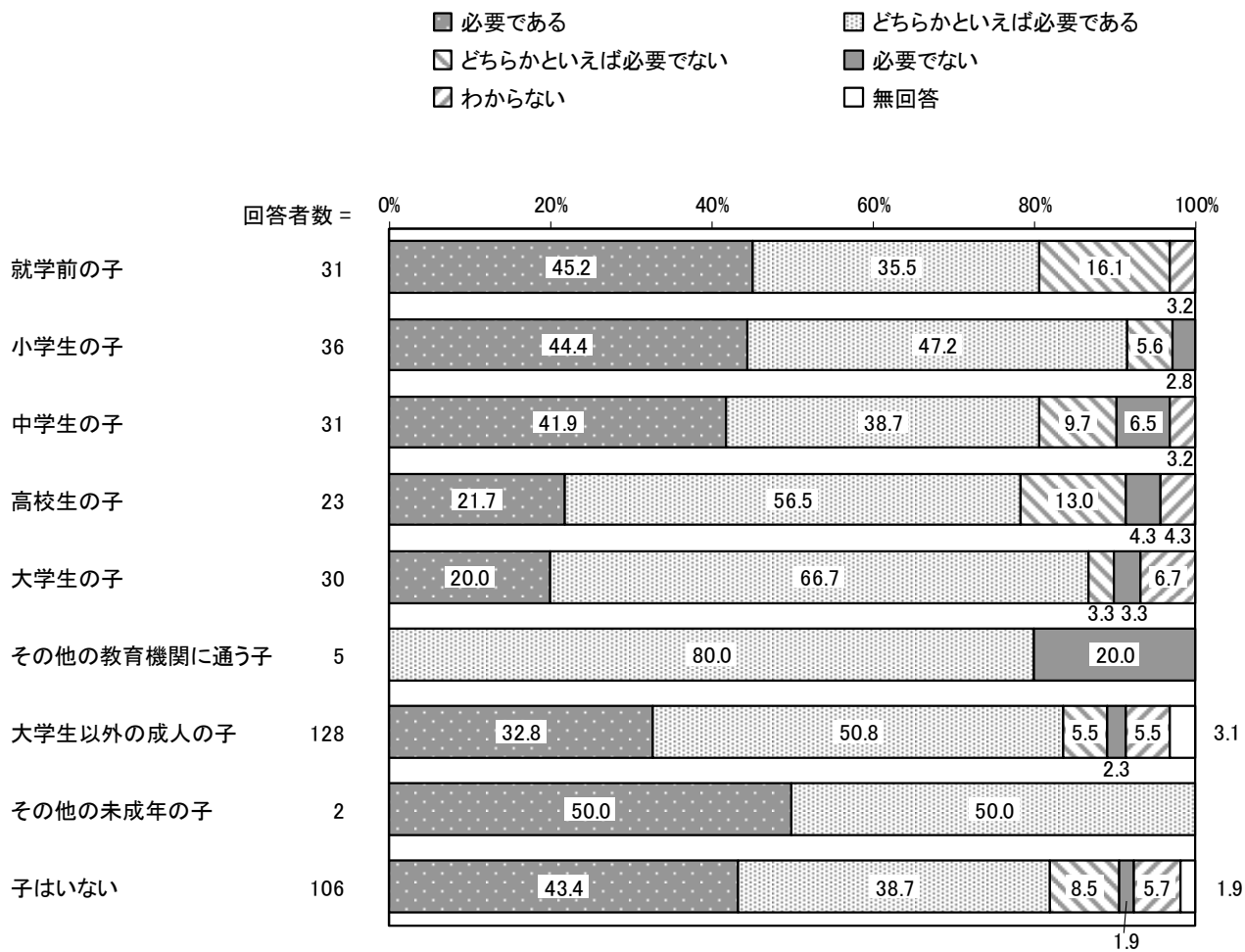
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳、70歳代で“必要である”の割合が高くなっています。



### 【子どもの有無別】

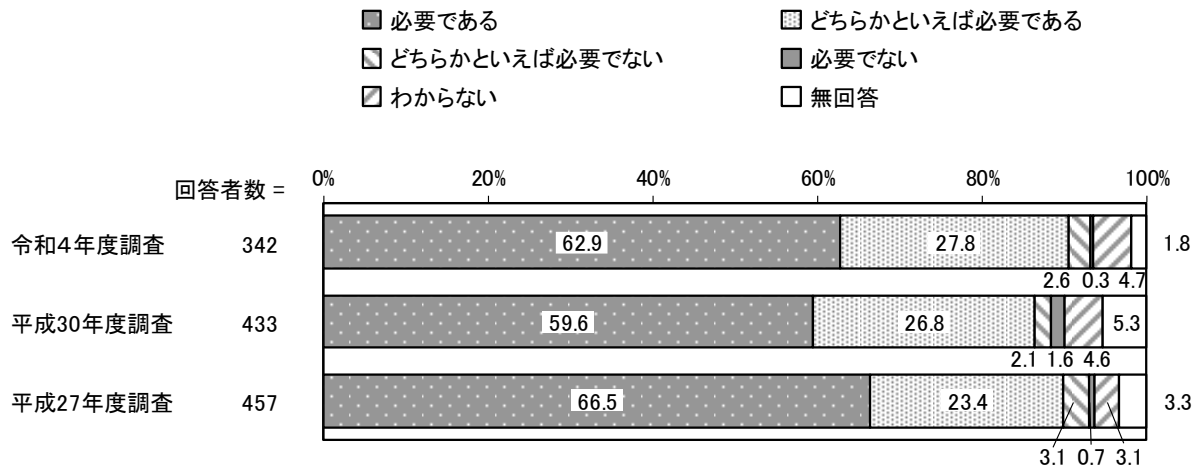
子どもの有無別で見ると、他に比べ、小学生の子、大学生の子で“必要である”の割合が高くなっています。



(11) いじめや不登校等の未然防止に関する生徒指導の充実を図る

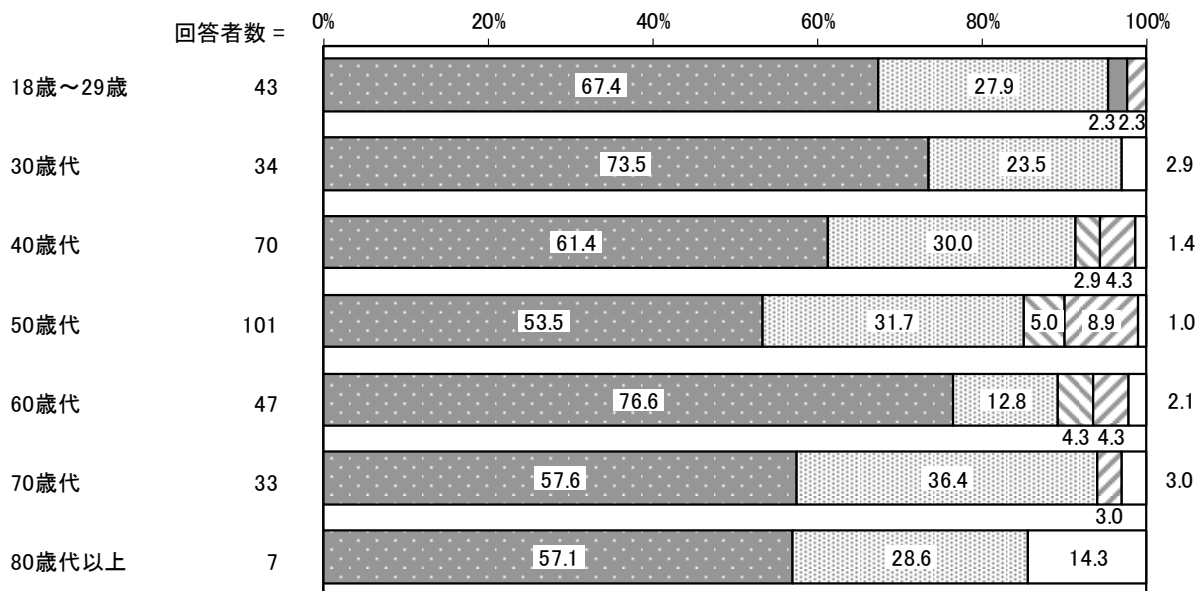
【経年比較】

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



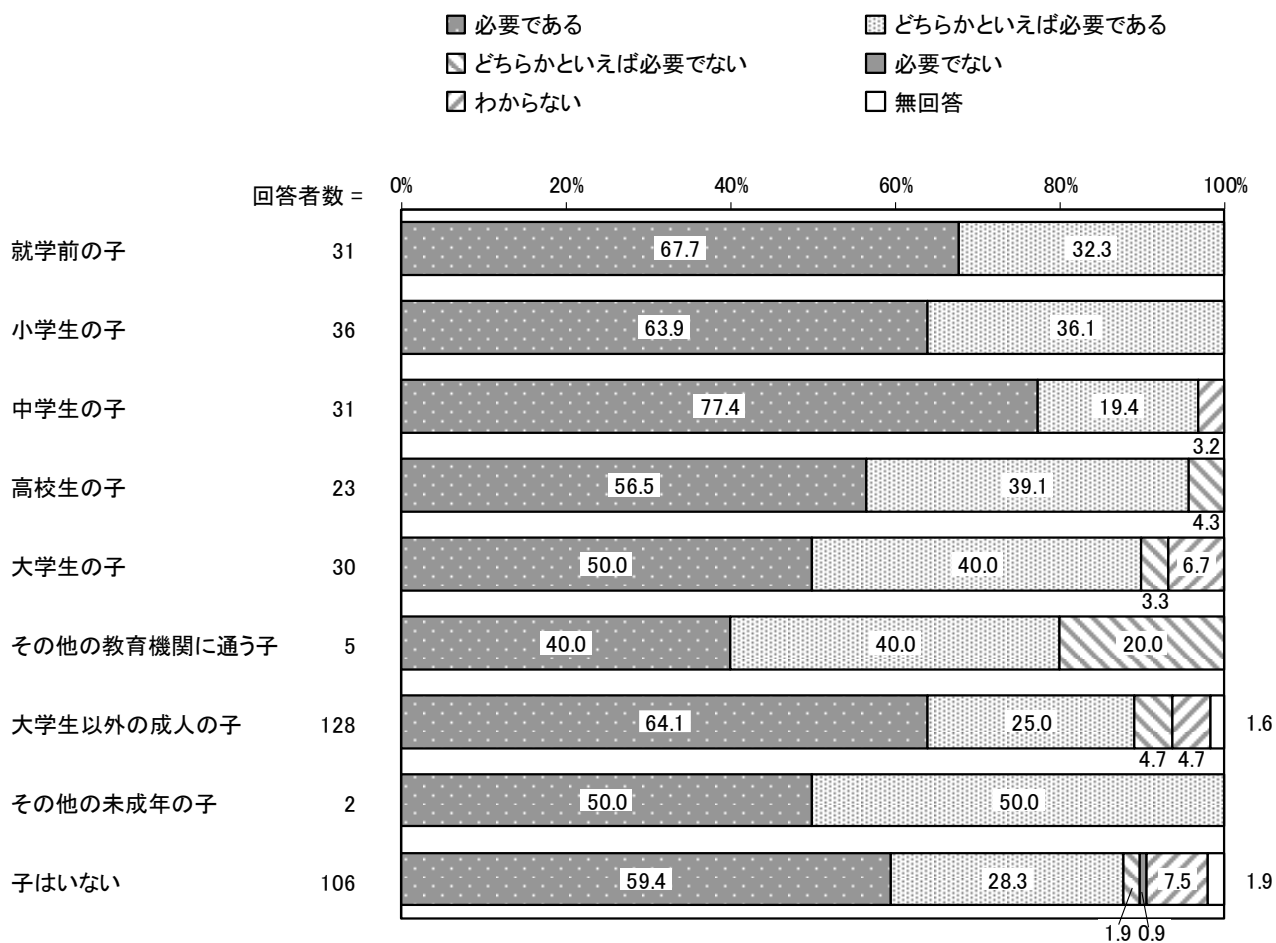
【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、18歳～29歳、30歳代、70歳代で“必要である”の割合が高くなっています。



### 【子どもの有無別】

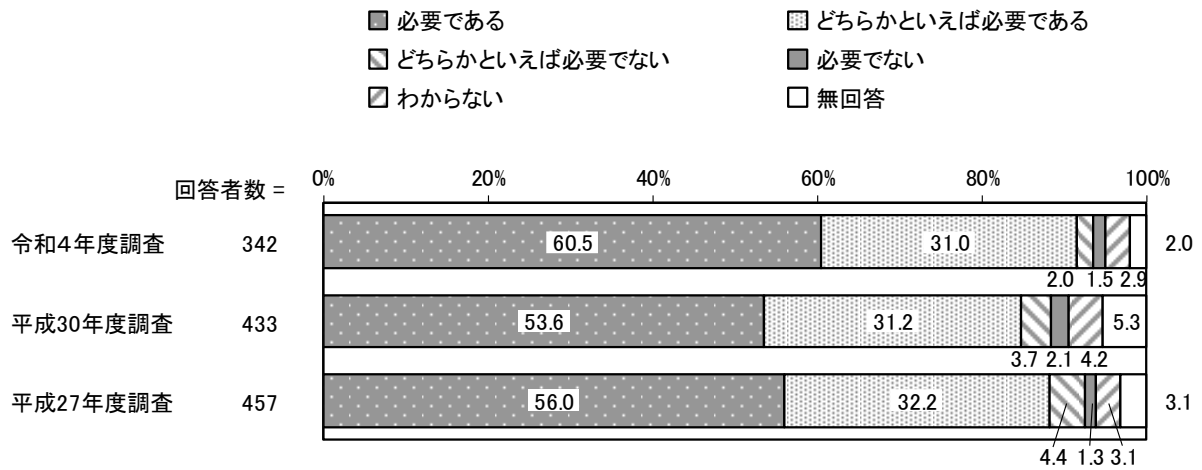
子どもの有無別でみると、他に比べ、就学前の子、小学生の子で“必要である”の割合が高くなっています。



(12) 悩みがある場合、専門家に気軽に相談できる体制をつくる

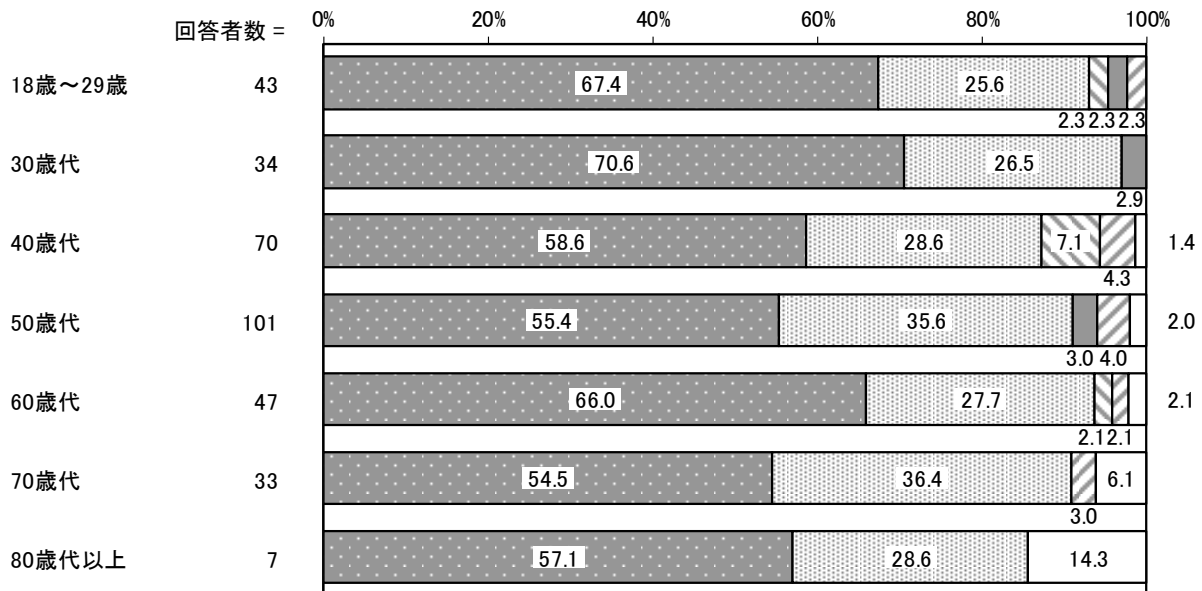
【経年比較】

前回調査と比較すると、“必要である”の割合が増加しています。



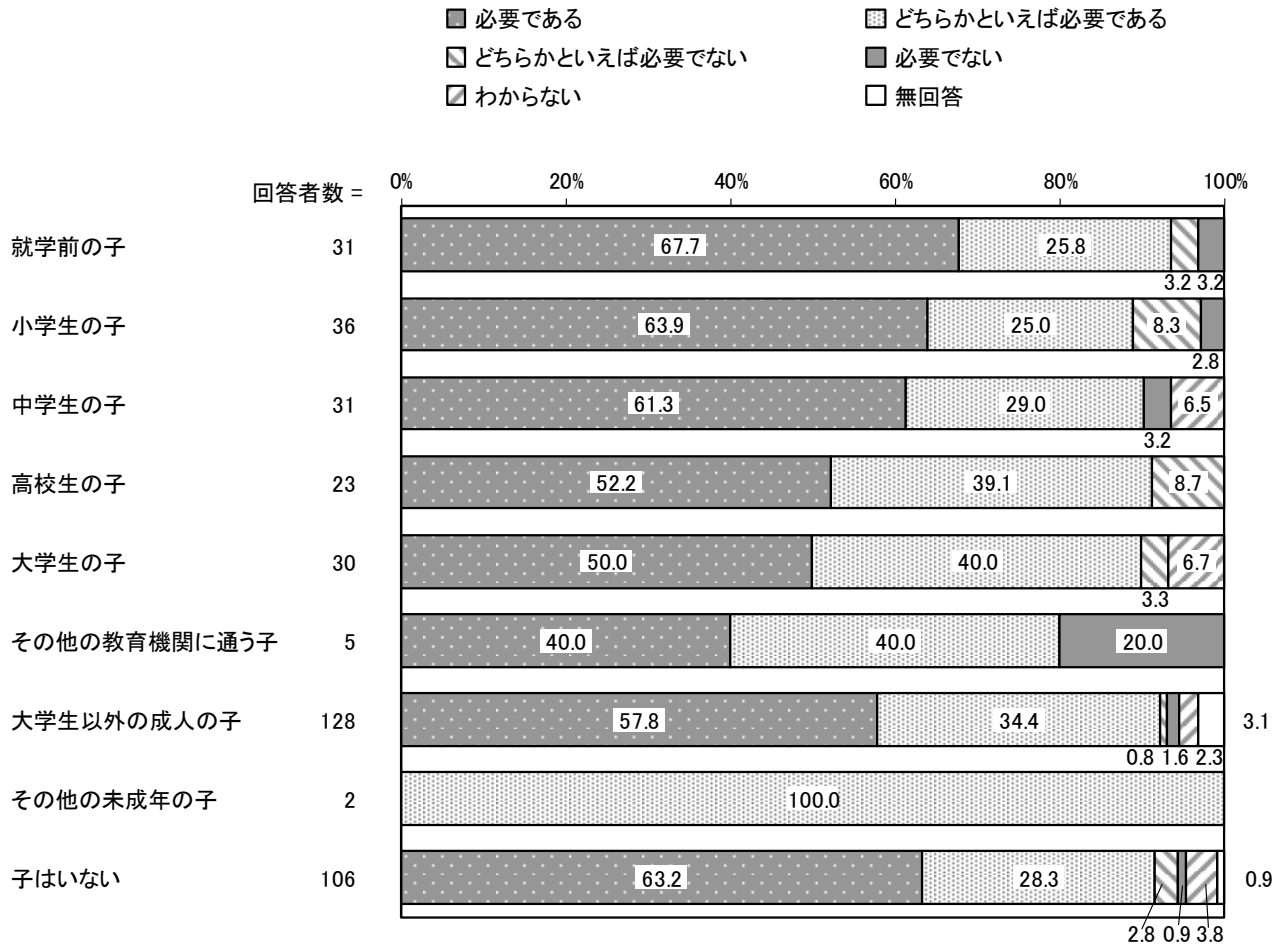
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳代で“必要である”の割合が高くなっています。



## 【子どもの有無別】

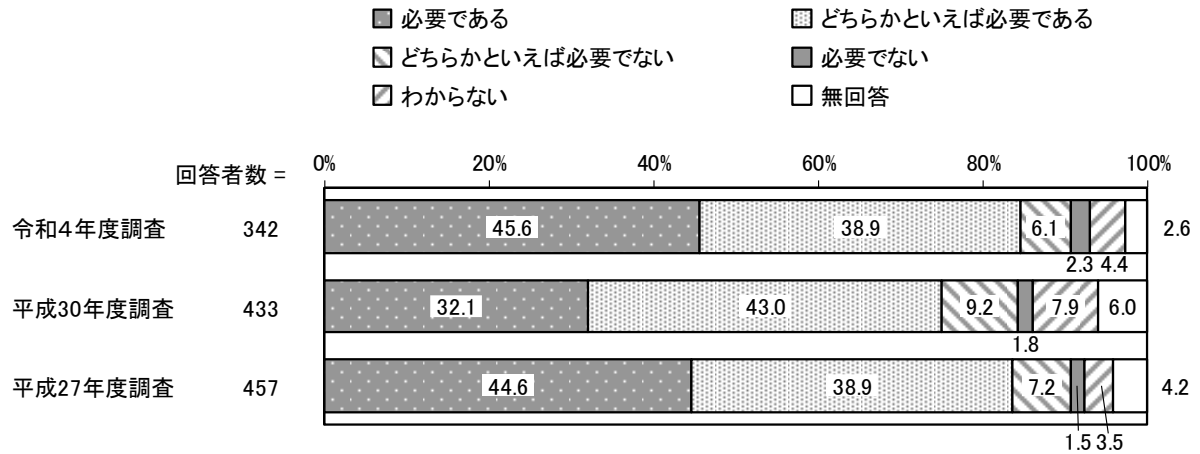
子どもの有無別でみると、大きな差異はみられません。



(13) 進路指導を充実し、将来の職業や生き方について指導する

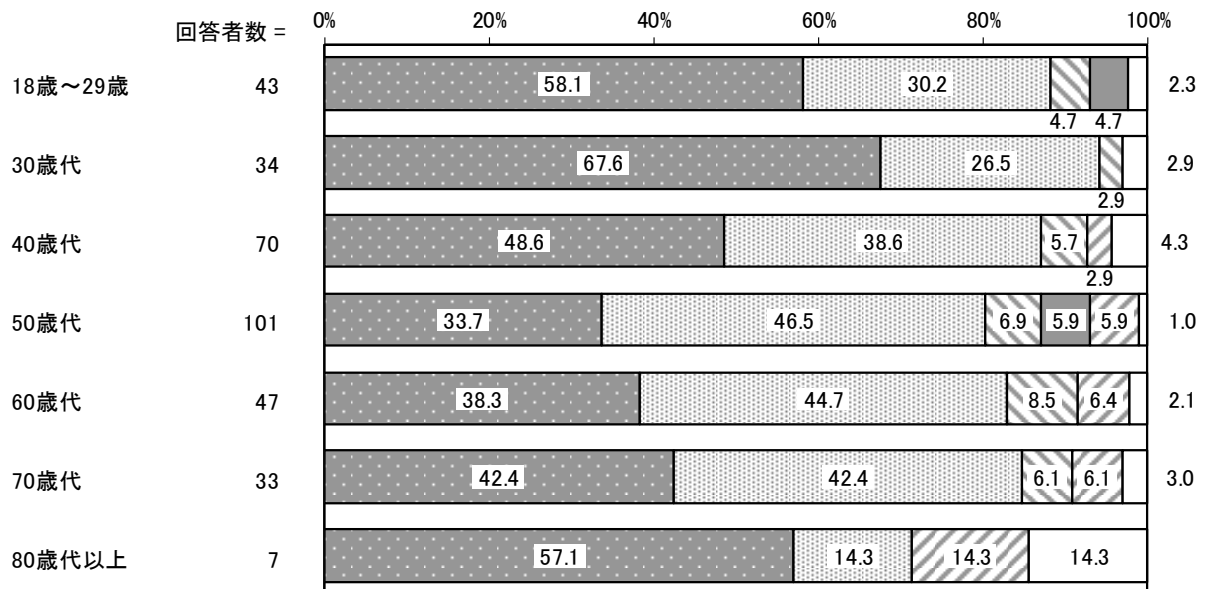
【経年比較】

前回調査と比較すると、“必要である”の割合が増加しています。



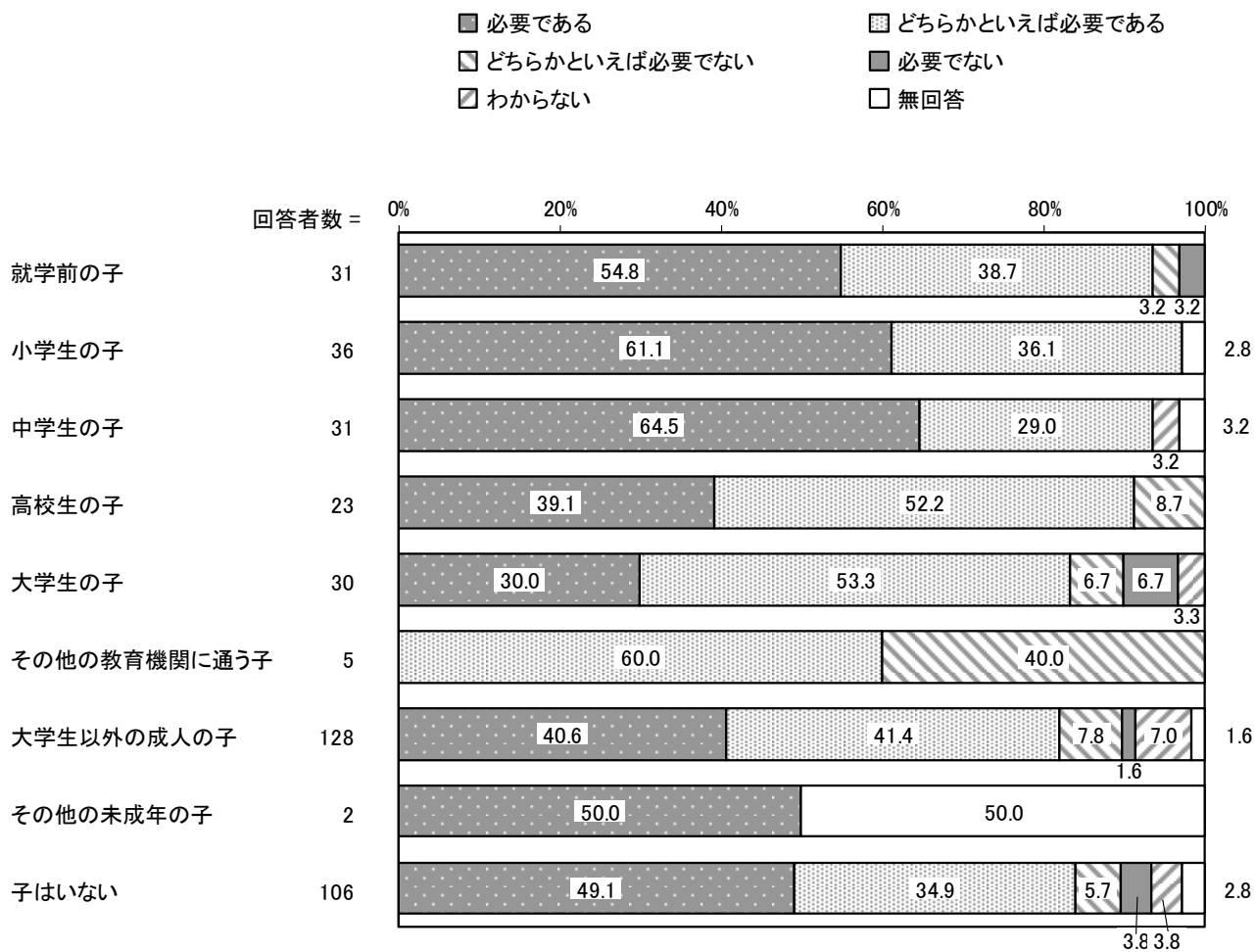
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳代で“必要である”の割合が高くなっています。



### 【子どもの有無別】

子どもの有無別で見ると、他に比べ、小学生の子で“必要である”の割合が高くなっています。

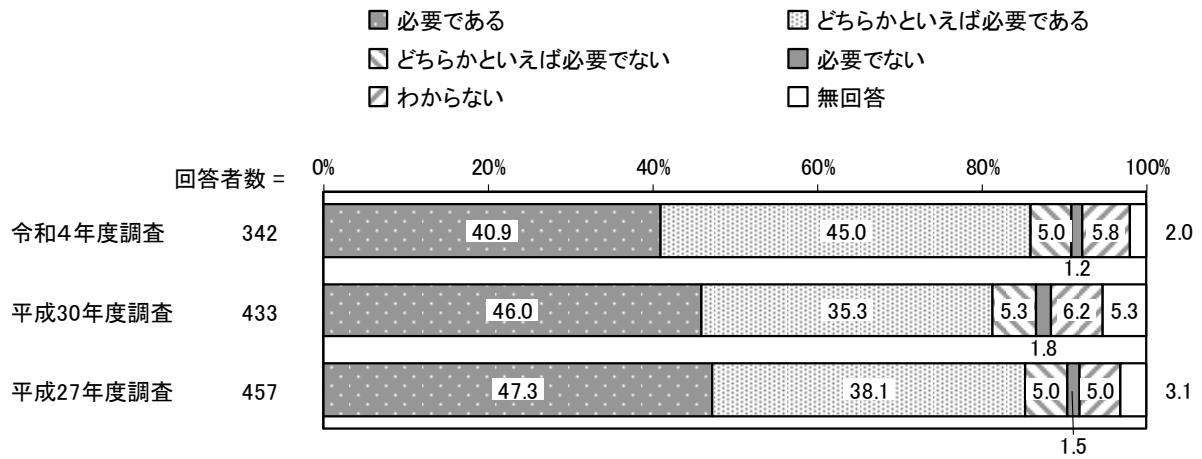




(14) 子どもと教員が向き合う時間を確保する

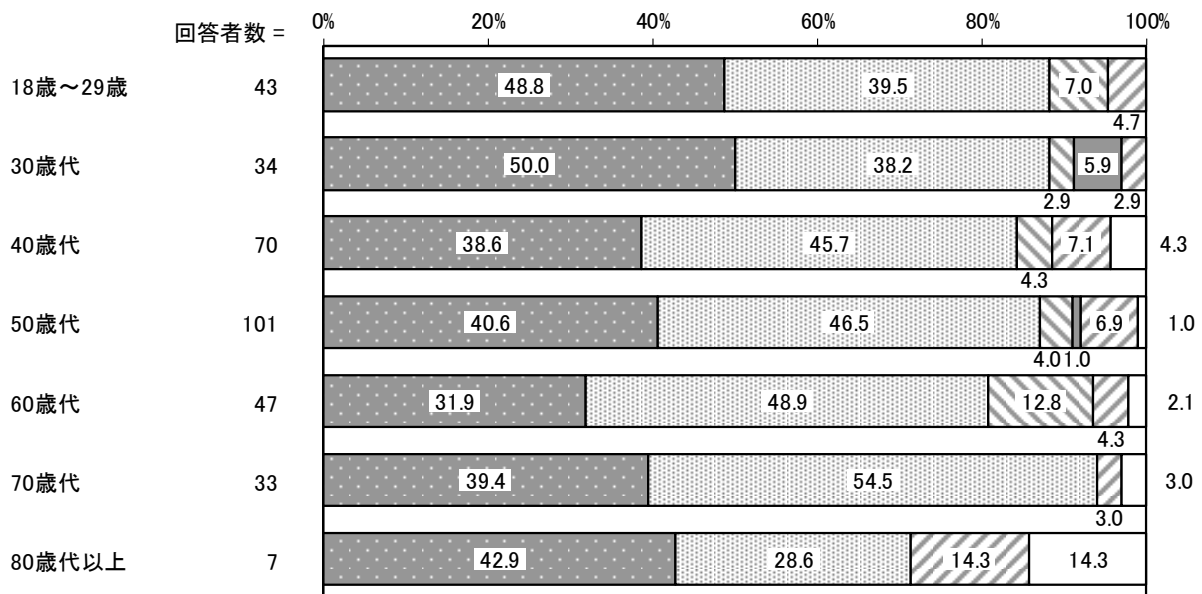
【経年比較】

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



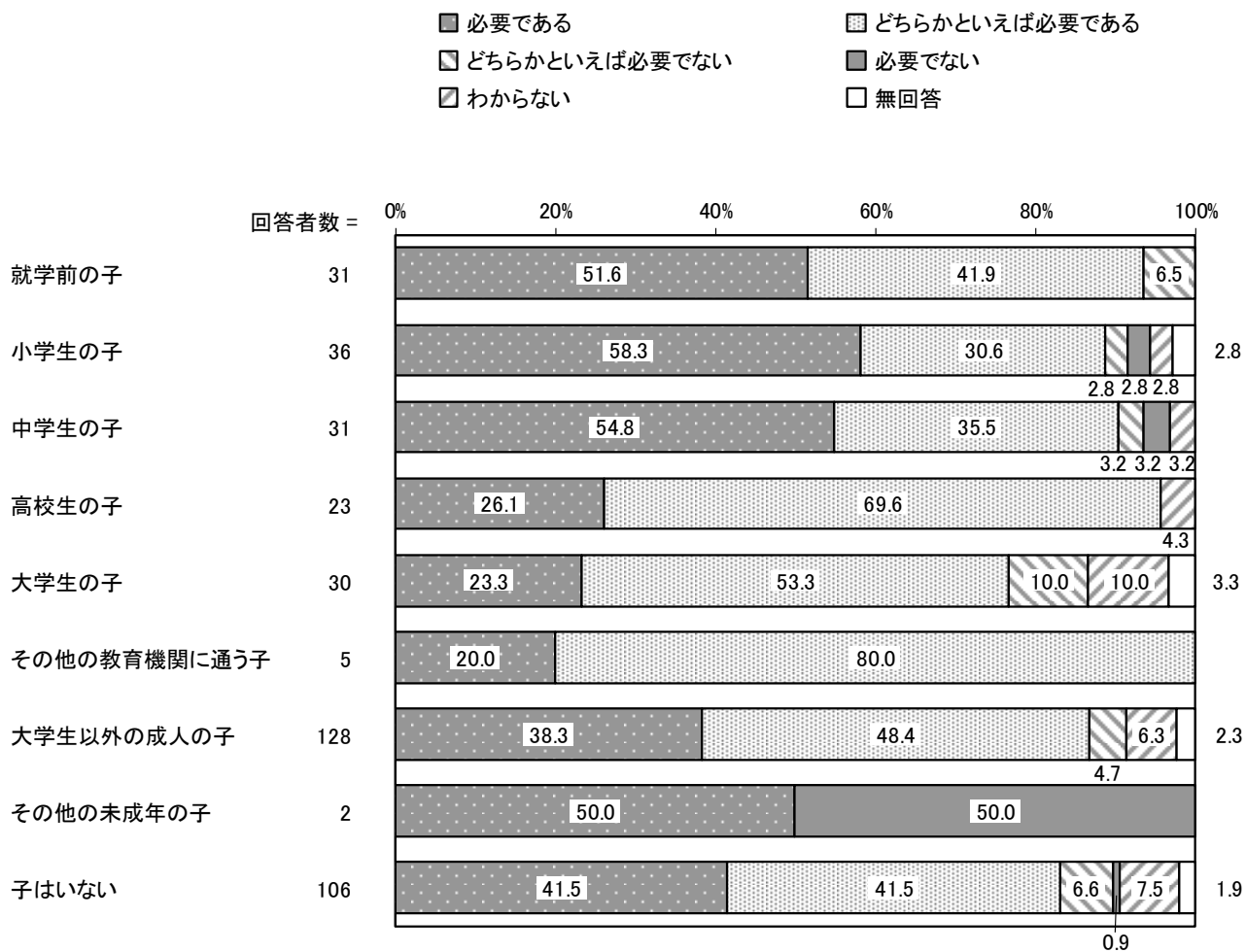
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、70歳代で“必要である”の割合が高くなっています。



### 【子どもの有無別】

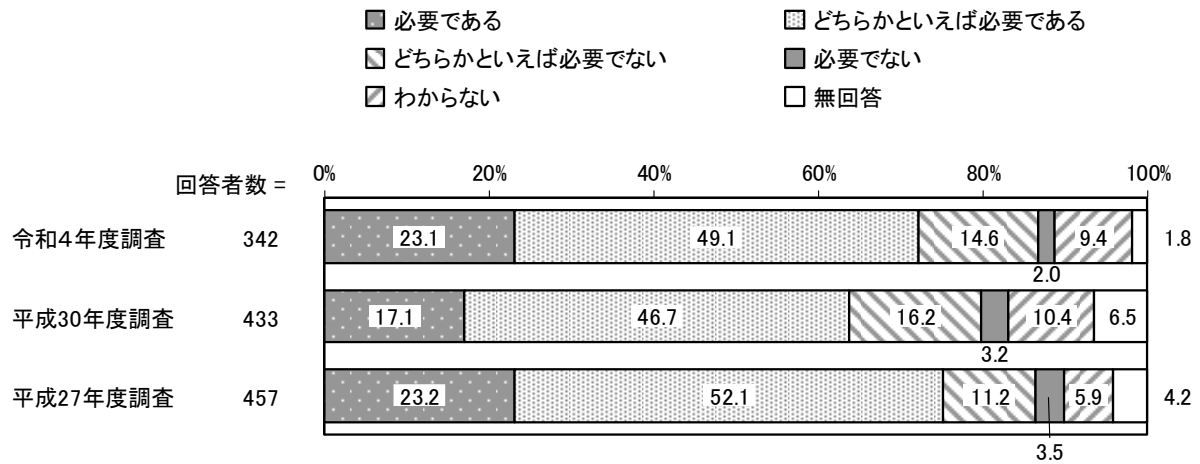
子どもの有無別でみると、他に比べ、就学前の子、高校生の子で“必要である”の割合が高くなっています。



(15) ボランティア活動や地域行事への参加の機会を増やす

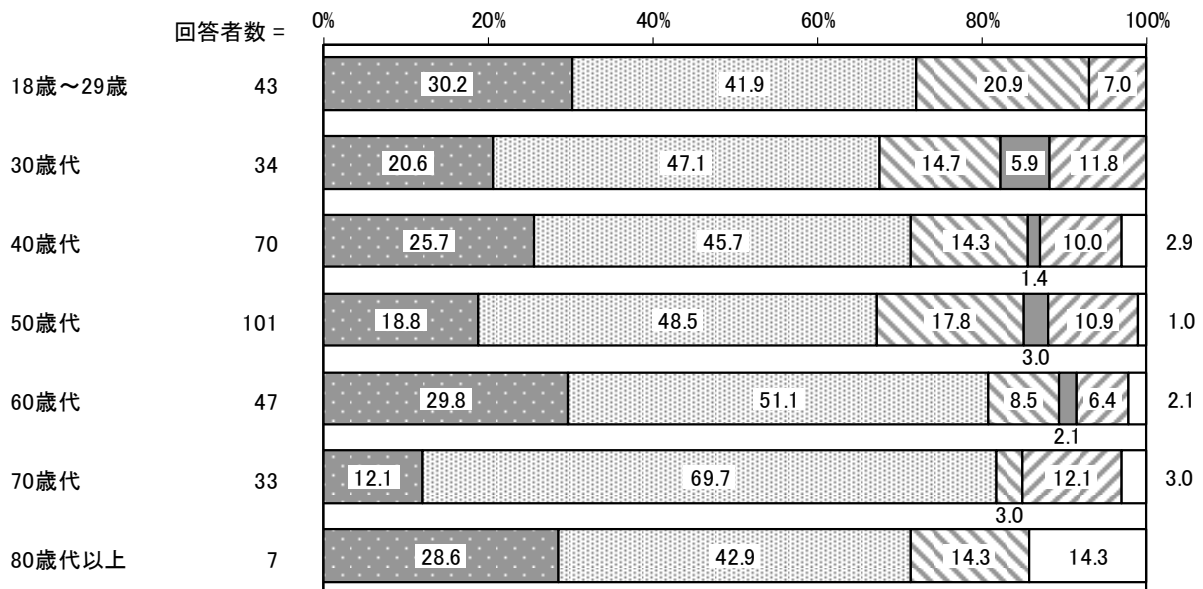
【経年比較】

前回調査と比較すると、“必要である”の割合が増加しています。



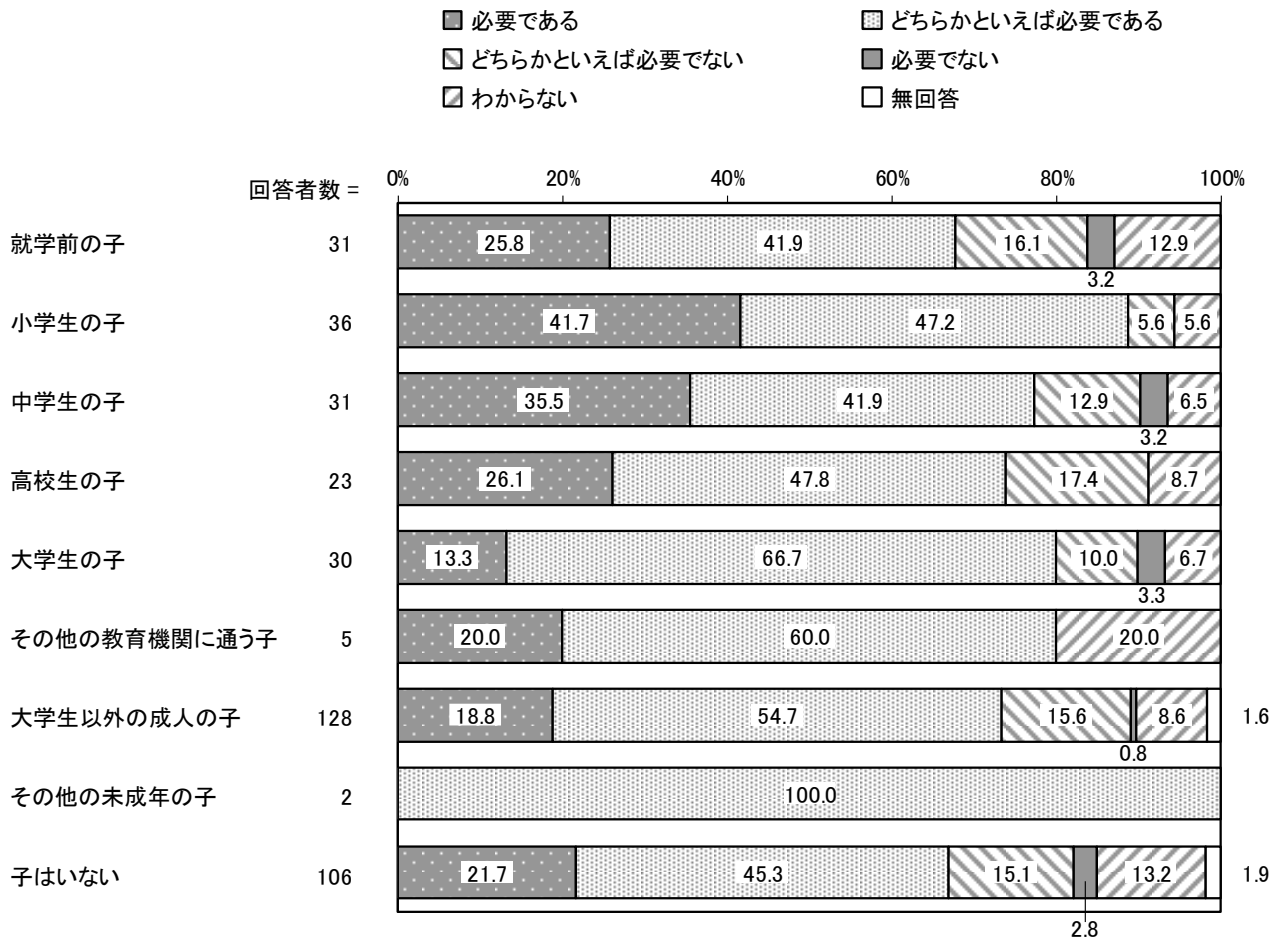
【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、60歳代、70歳代で“必要である”の割合が高くなっています。



## 【子どもの有無別】

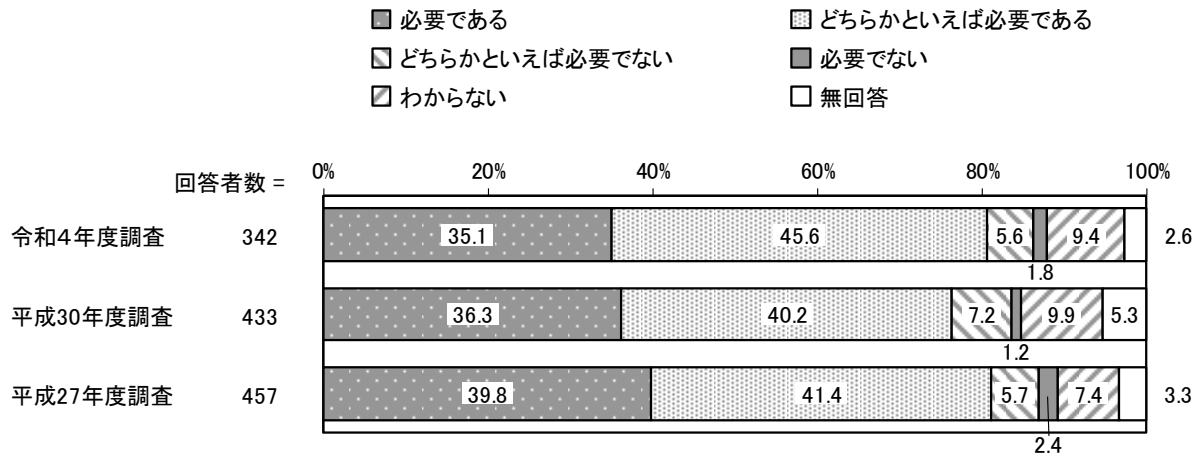
子どもの有無別でみると、他に比べ、小学生の子で“必要である”の割合が高くなっています。



(16) 障害のある子とない子が共に学び、育つ教育を推進する

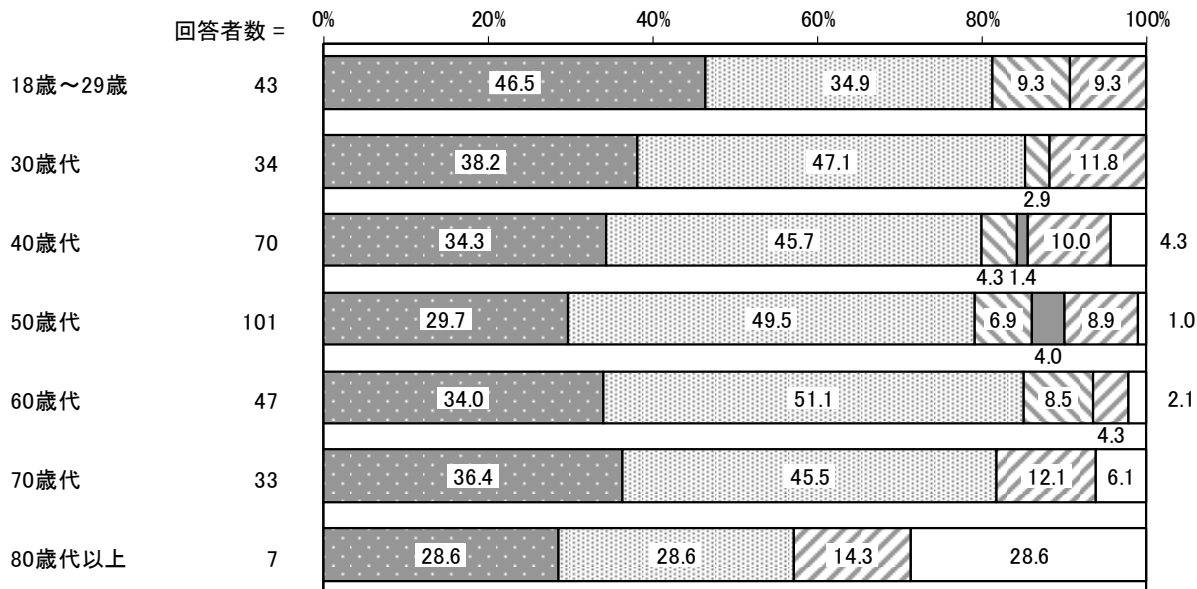
【経年比較】

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



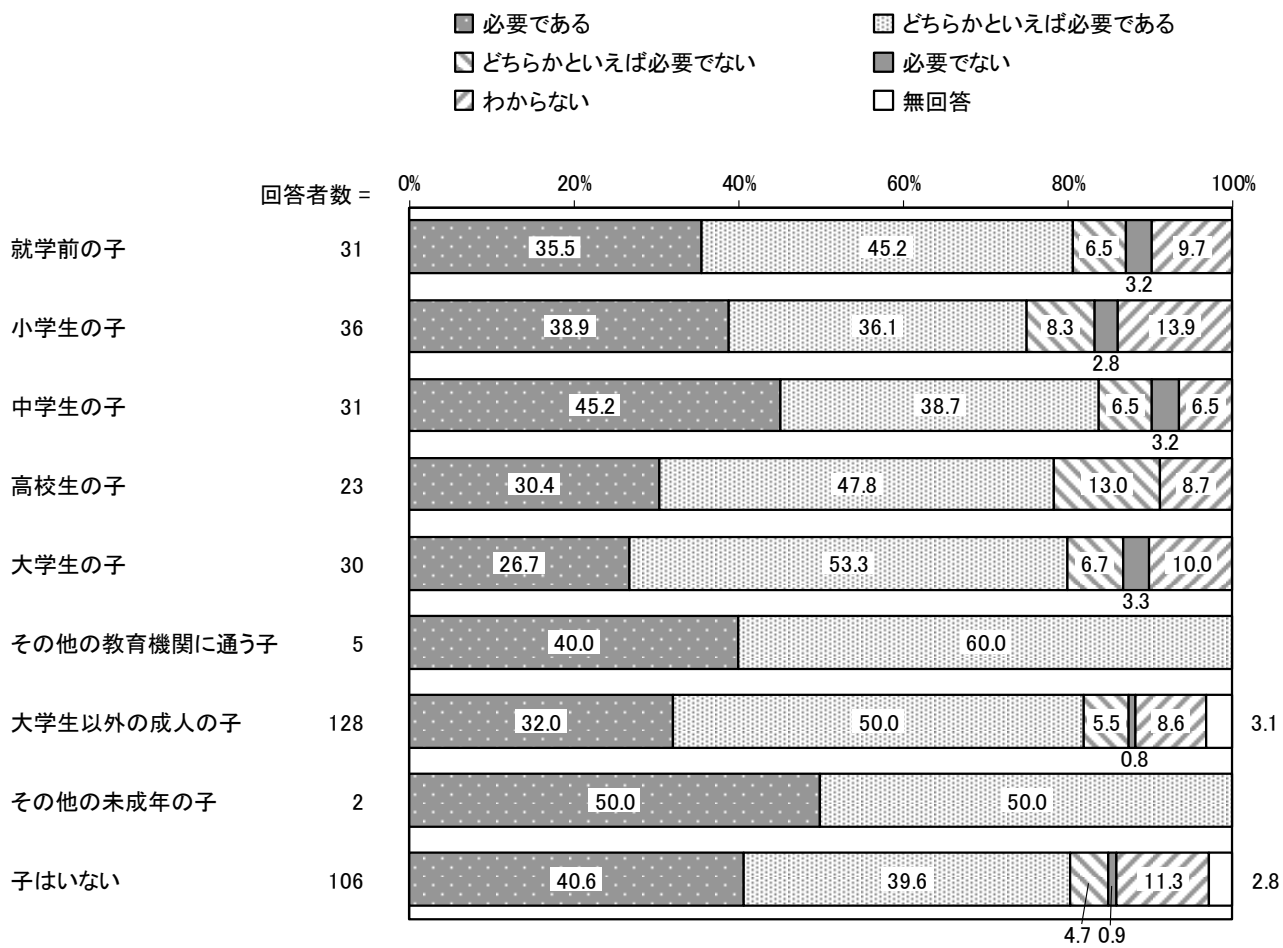
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳代、60歳代で“必要である”の割合が高くなっています。



## 【子どもの有無別】

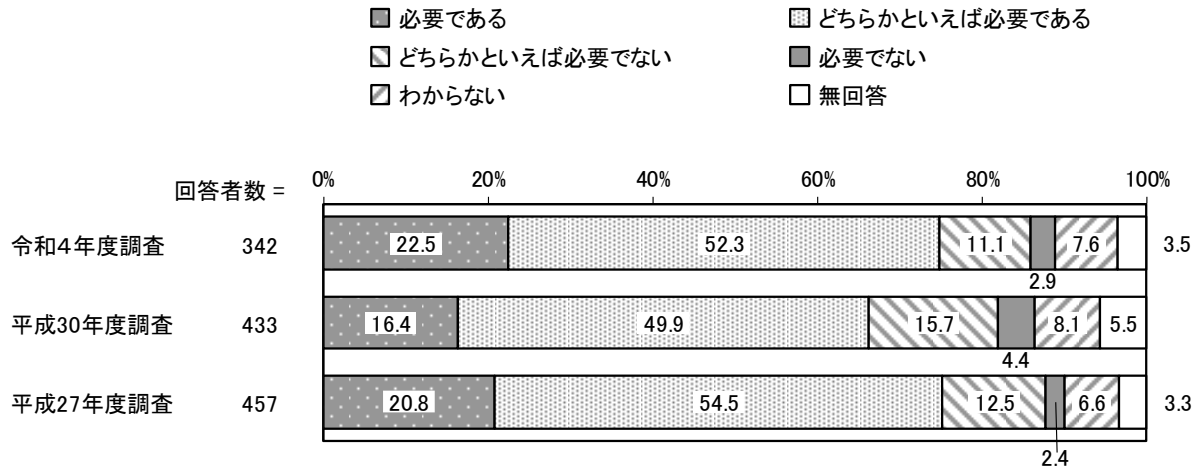
子どもの有無別でみると、大きな差異はみられません。



(17) マラソンなどの体育行事や体づくりを推進する

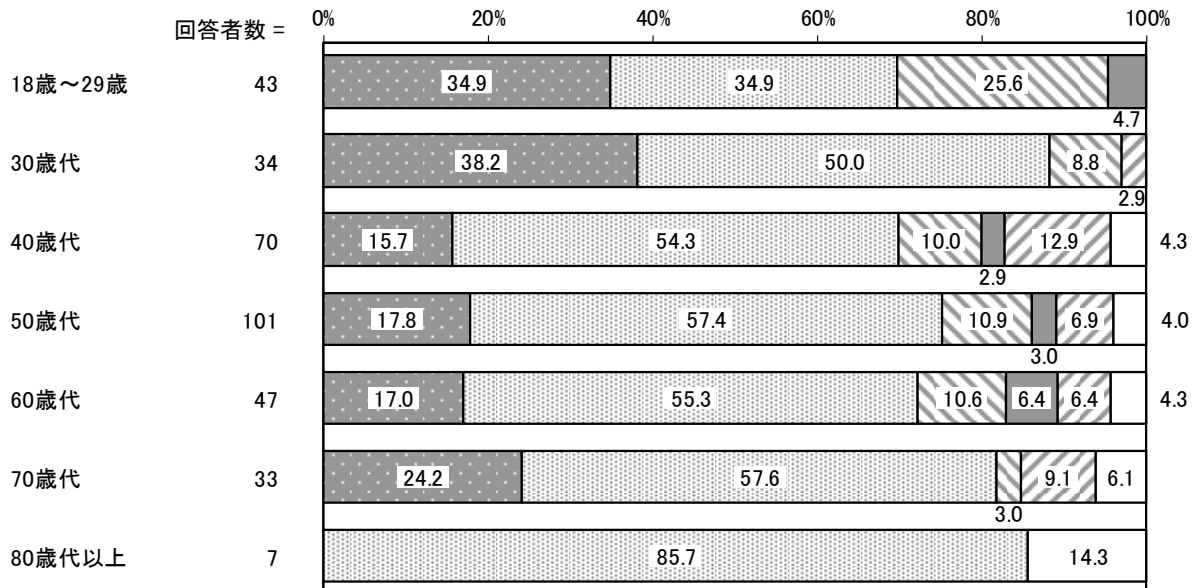
【経年比較】

前回調査と比較すると、“必要である”の割合が増加しています。



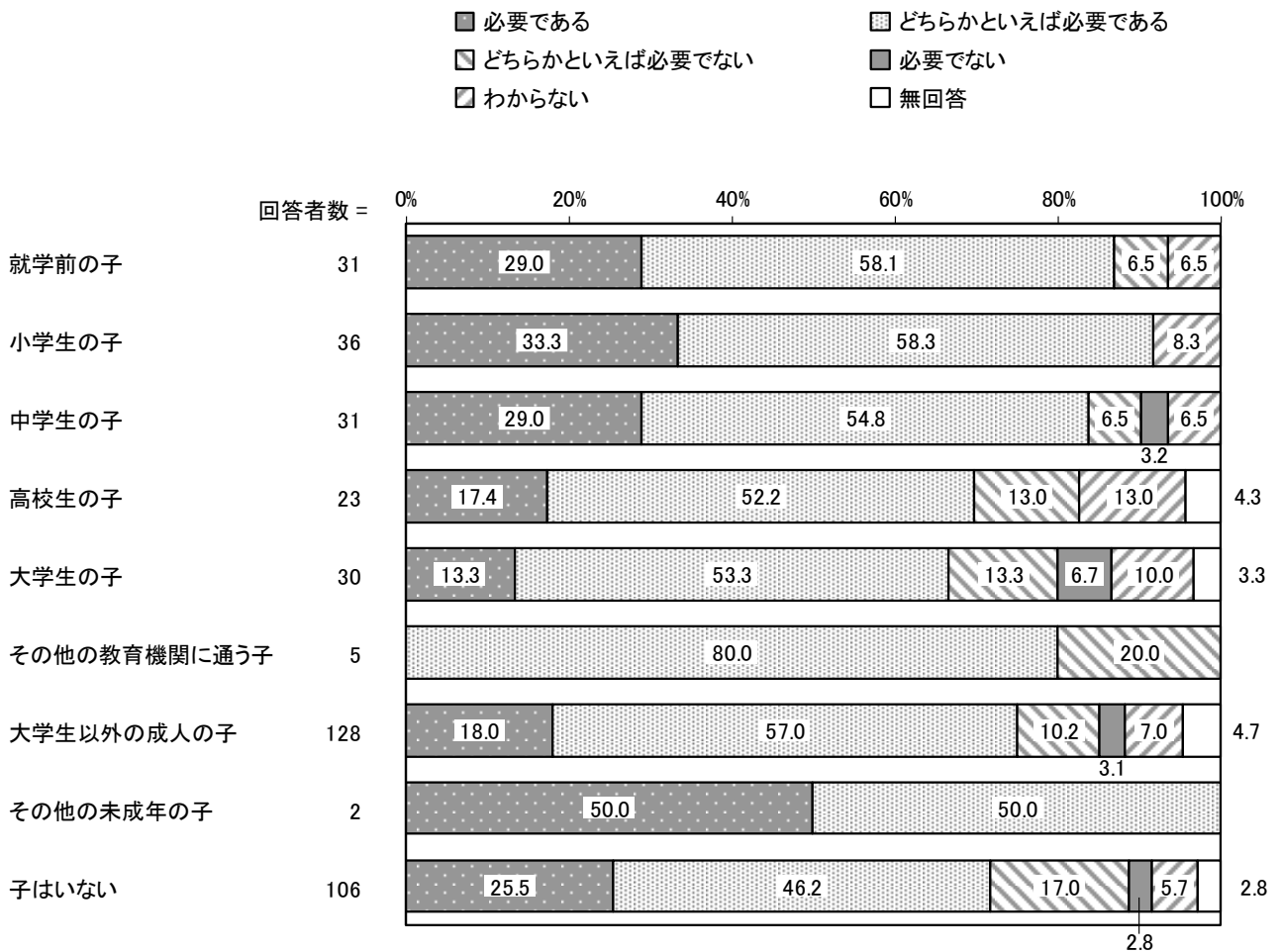
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳代で“必要である”の割合が、18歳～29歳で“必要でない”の割合が高くなっています。



### 【子どもの有無別】

子どもの有無別で見ると、他に比べ、小学生の子で“必要である”の割合が、大学生の子で“必要でない”の割合が高くなっています。

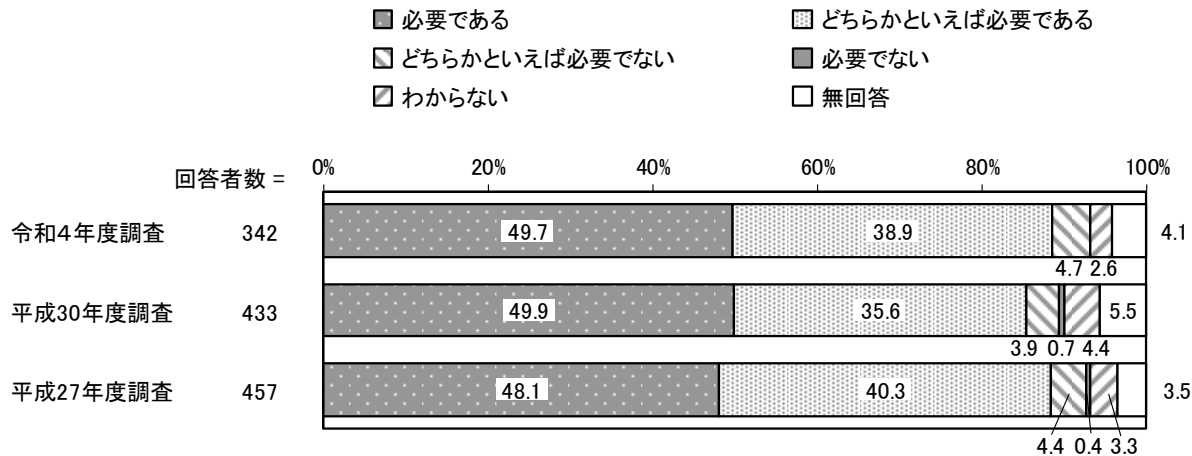




(18) 防災・防犯教育を充実し、安心安全な学校づくりを推進する

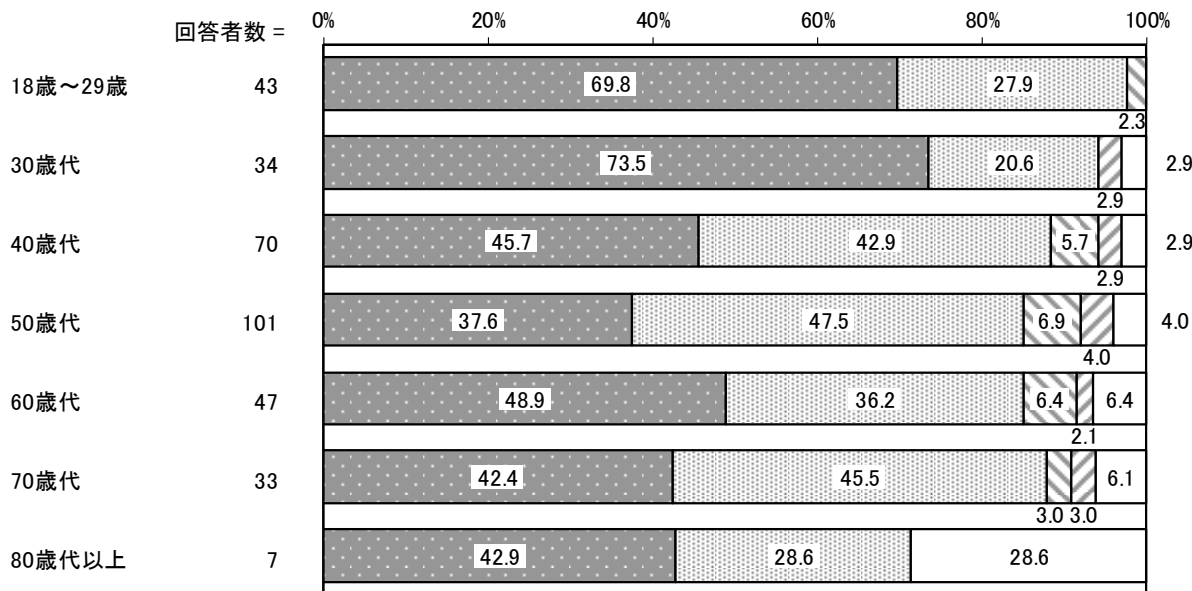
【経年比較】

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



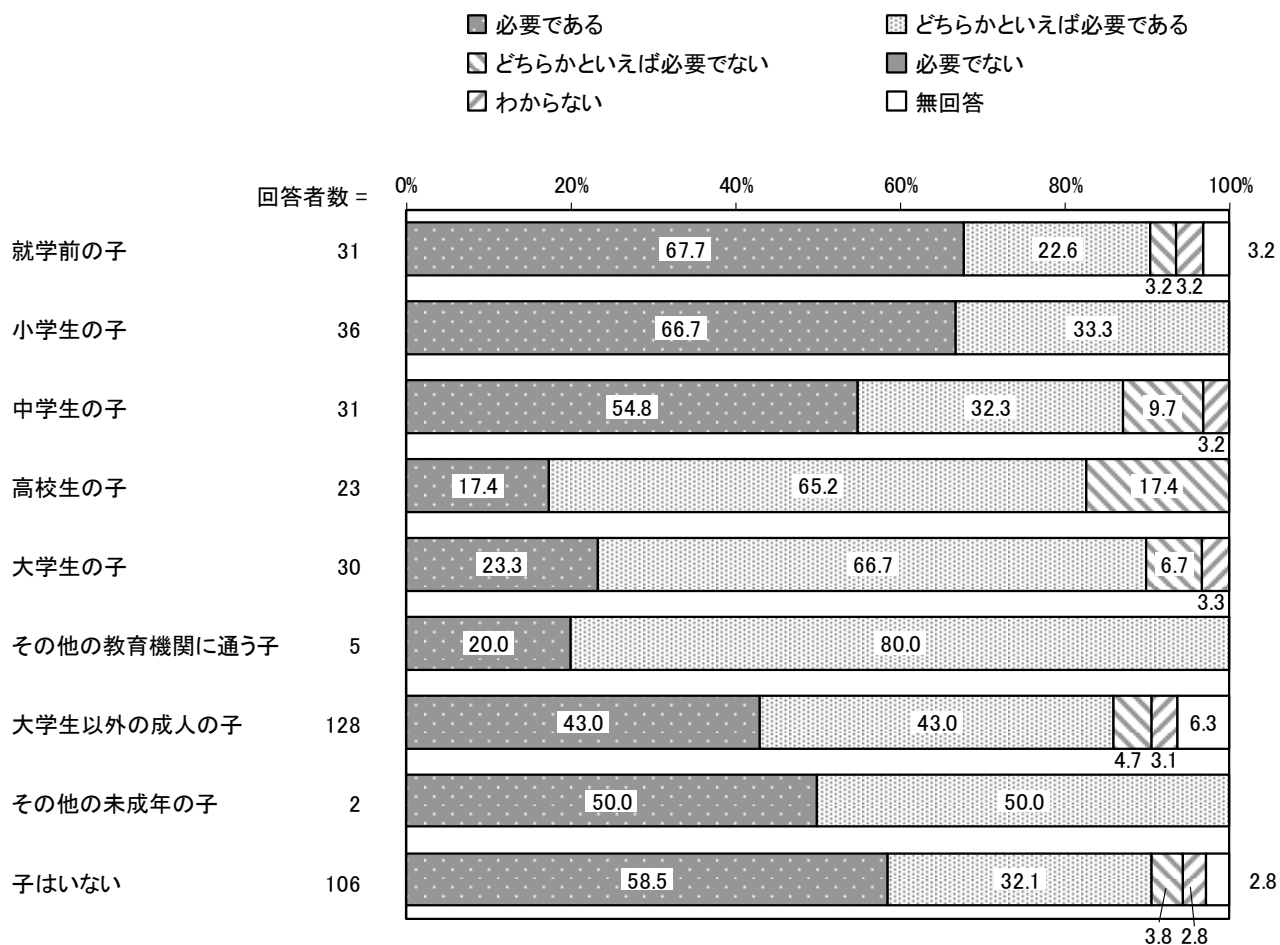
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳、30歳代で“必要である”の割合が高くなっています。



### 【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、他に比べ、小学生の子で“必要である”の割合が、高校生の子で“必要でない”の割合が高くなっています。

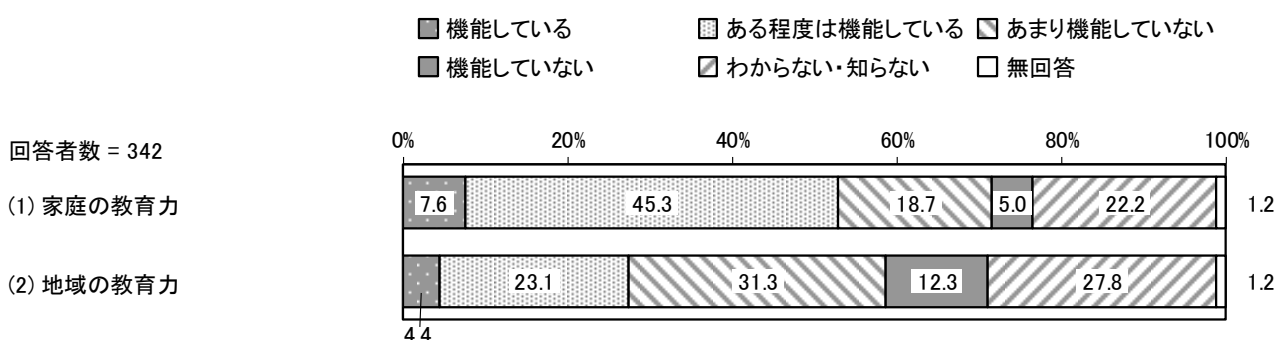


### (3) 家庭教育・地域教育等について

問10 家庭教育・地域教育の現状について あなたの周辺を見て、家庭教育力、地域の教育力はどの程度機能していると思いますか。(1)と(2)で、それぞれ1つに○印をつけてください。

『(1) 家庭教育力』では「機能している」と「ある程度は機能している」をあわせた“機能している”(以下、“機能している”という。)の割合が52.9%、「あまり機能していない」と「機能していない」をあわせた“機能していない”(以下、“機能していない”という。)の割合が23.7%となっています。

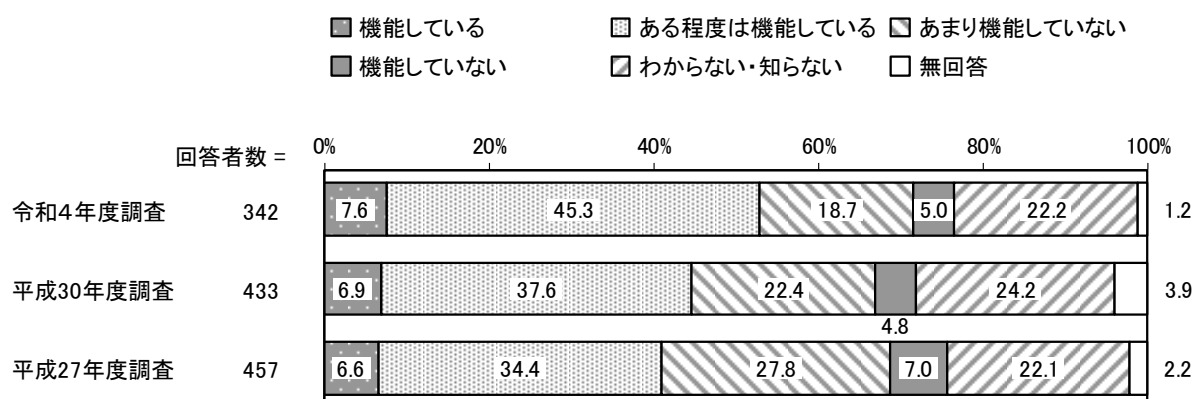
『(2) 地域の教育力』では“機能している”の割合が27.5%、“機能していない”の割合が43.6%となっています。



#### (1) 家庭教育力

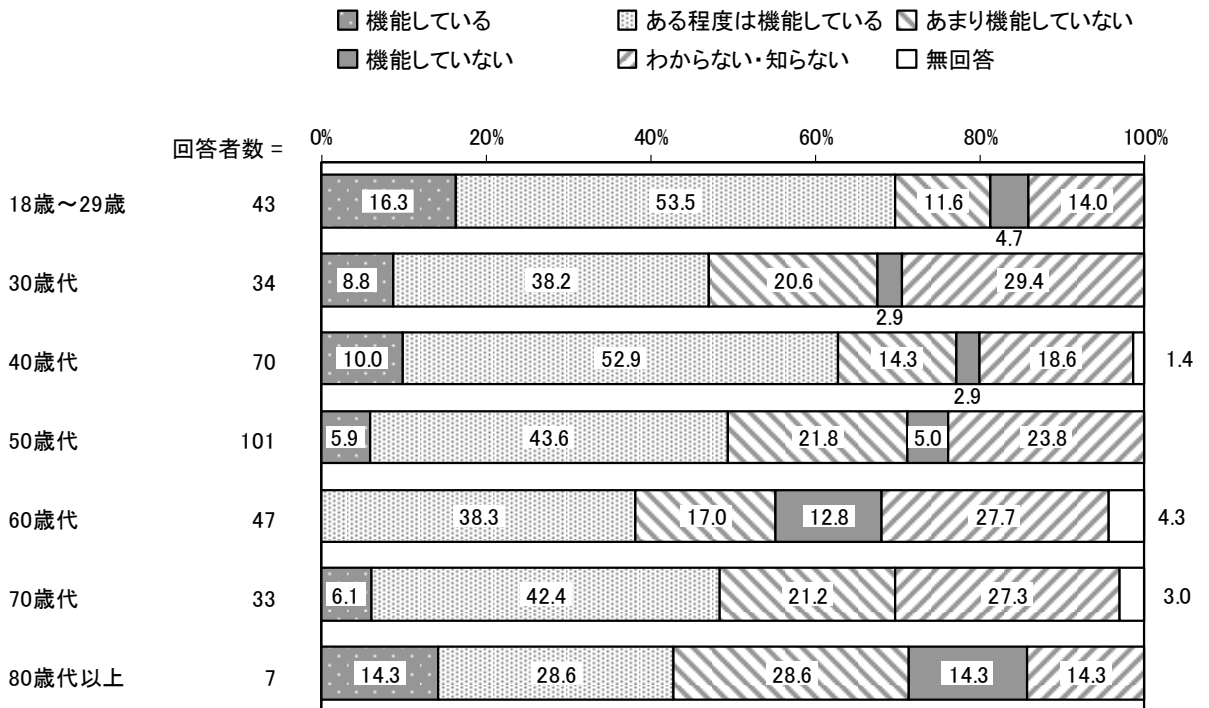
##### 【経年比較】

前回調査と比較すると、“機能している”の割合が増加しています。



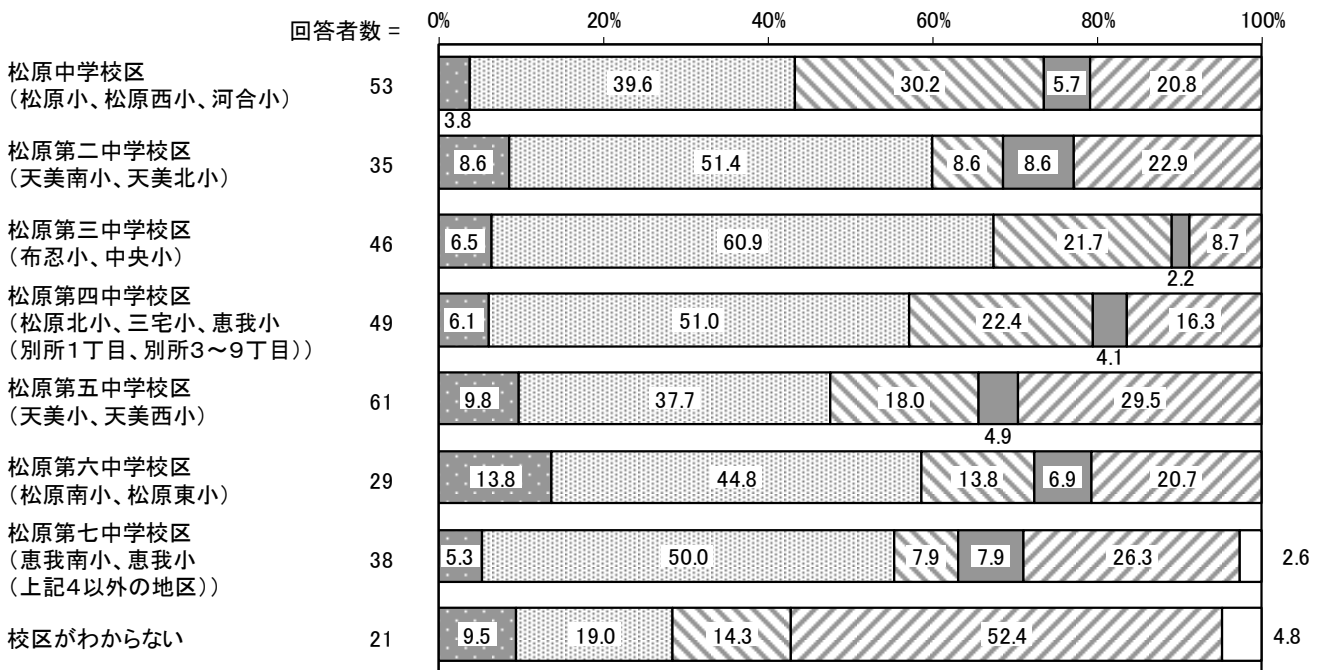
### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で“機能している”の割合が高くなっています。



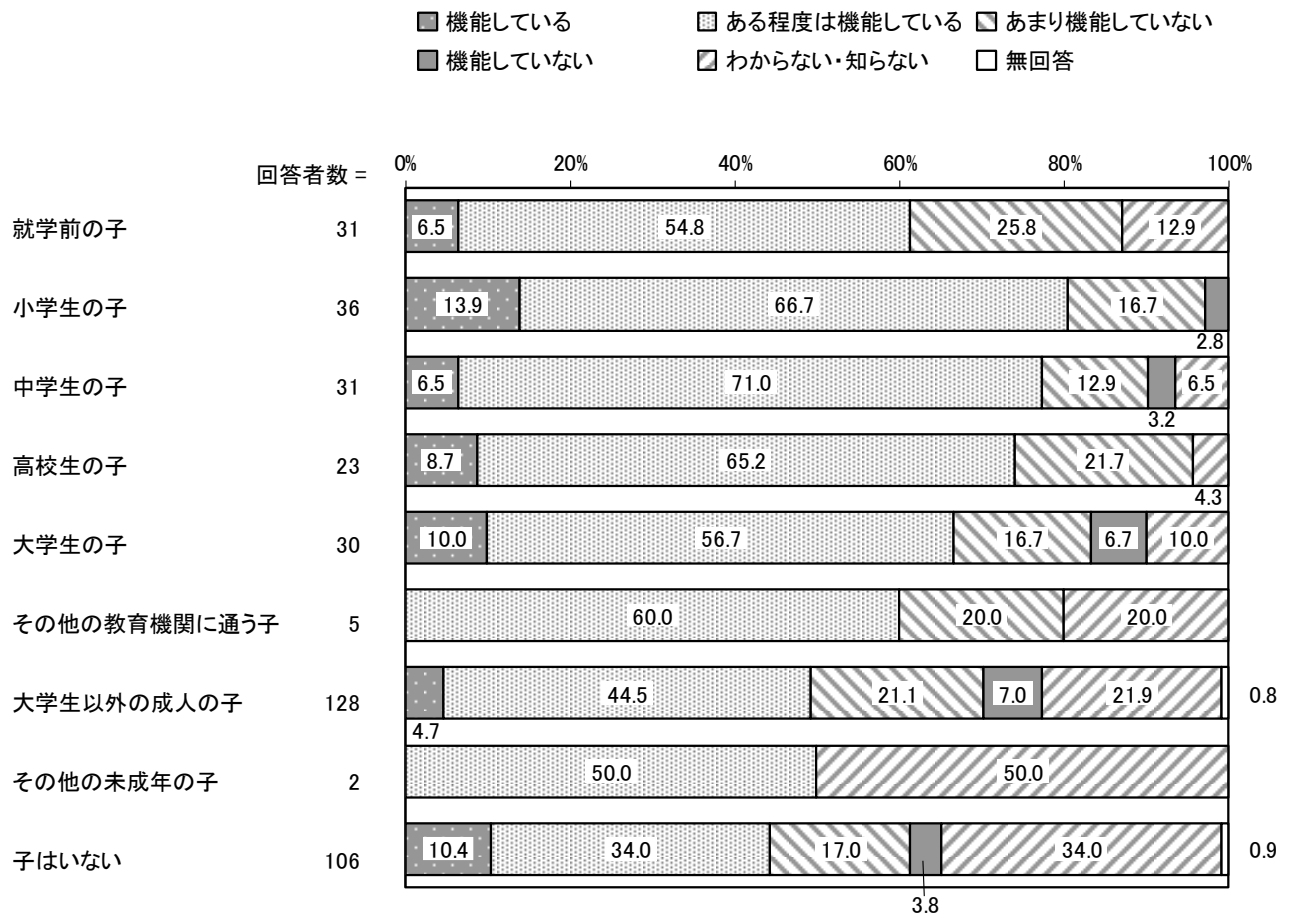
### 【校区別】

校区別でみると、他に比べ、松原第三中学校区（布忍小、中央小）で“機能している”の割合が、松原中学校区（松原小、松原西小、河合小）で“機能していない”の割合が高くなっています。



### 【子どもの有無別】

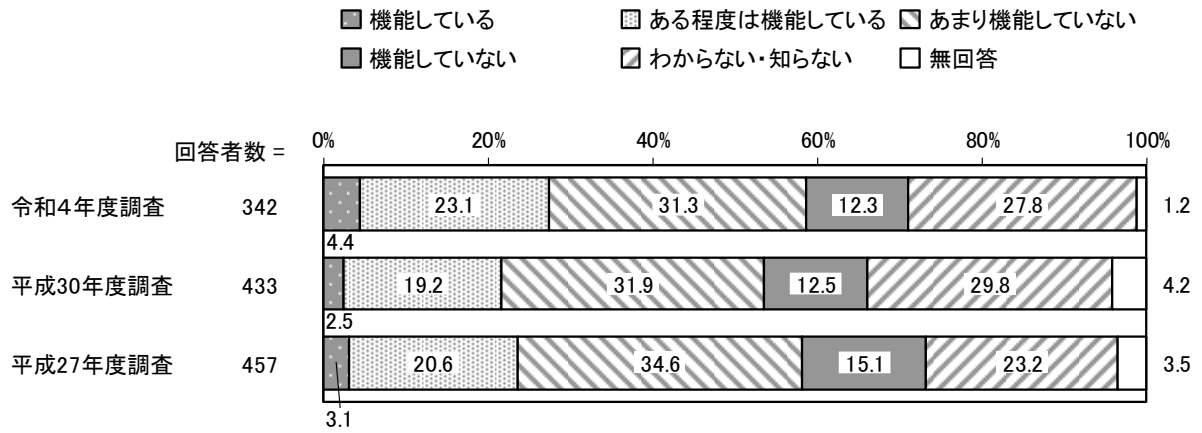
子どもの有無別でみると、他に比べ、小学生の子、中学生の子、高校生の子で“機能している”の割合が高くなっています。



## (2) 地域の教育力

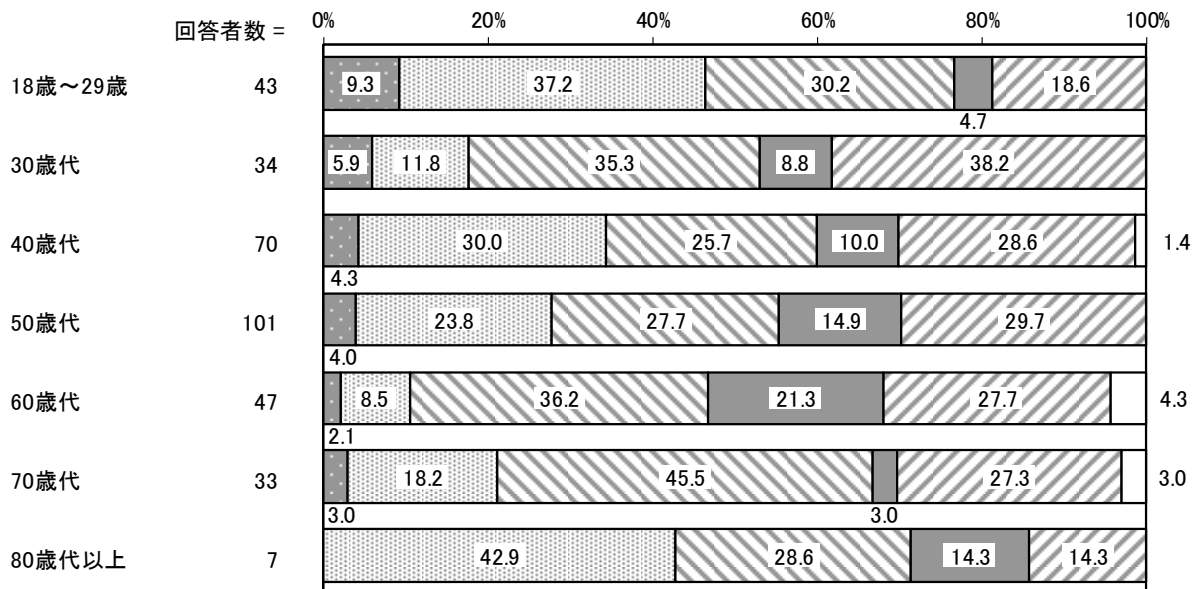
### 【経年比較】

前回調査と比較すると、“機能している”の割合が増加しています。



### 【年齢別】

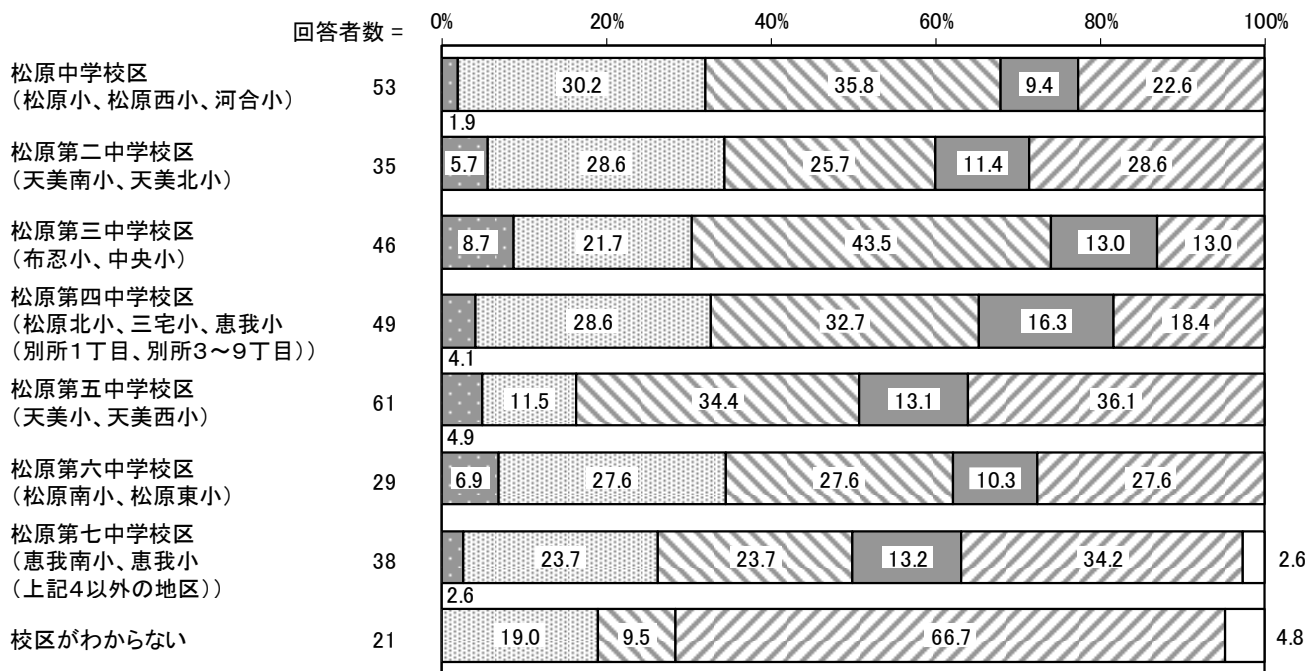
年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で“機能している”の割合が、60歳代で“機能していない”の割合が高くなっています。



## 【校区別】

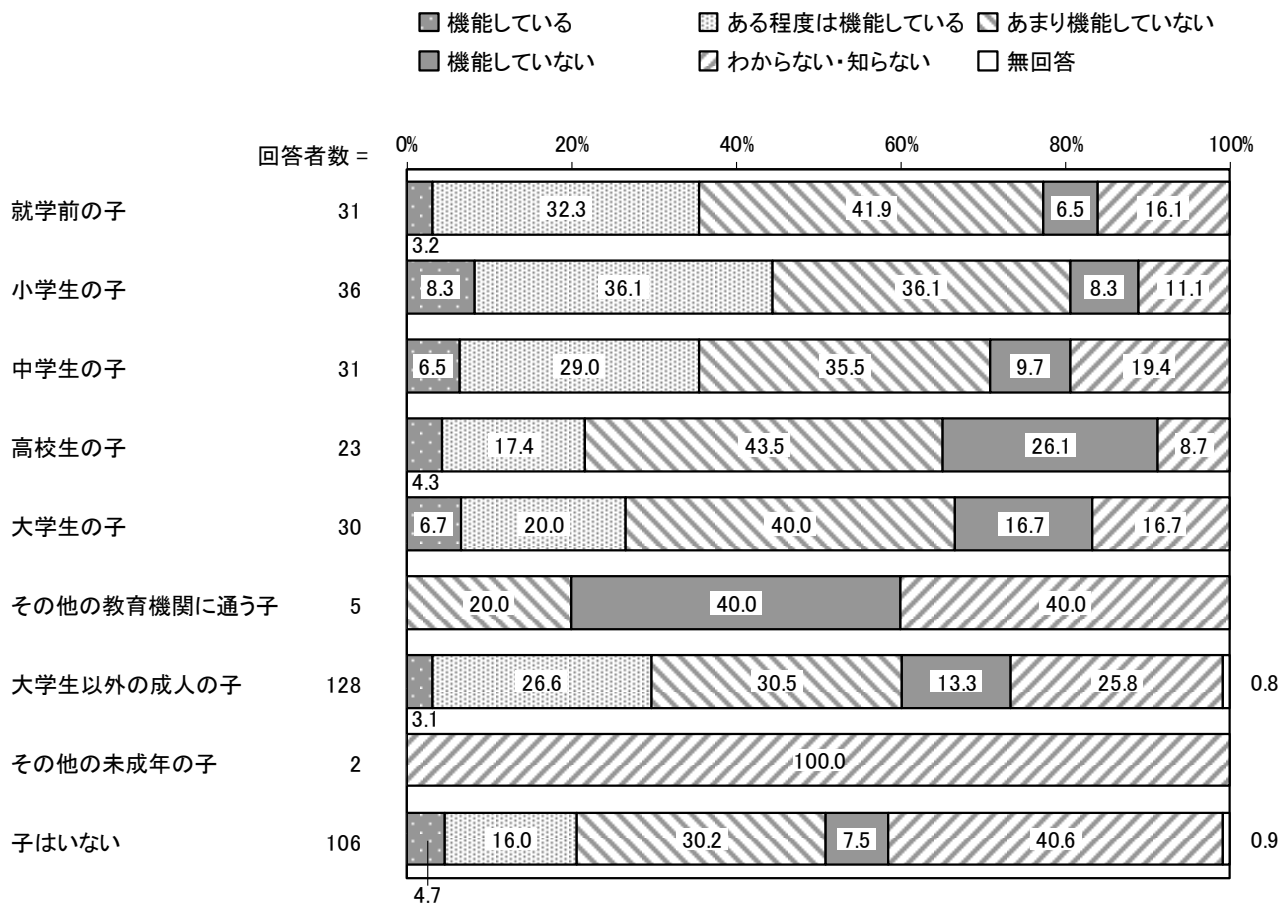
校区別でみると、他に比べ、松原第二中学校区（天美南小、天美北小）、松原第六中学校区（松原南小、松原東小）で“機能している”の割合が、松原第三中学校区（布忍小、中央小）で“機能していない”の割合が高くなっています。

■ 機能している      ■ ある程度は機能している   ■ あまり機能していない  
 ■ 機能していない      ■ わからない・知らない   □ 無回答



### 【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、他に比べ、小学生の子で“機能している”の割合が、高校生の子で“機能していない”の割合が高くなっています。



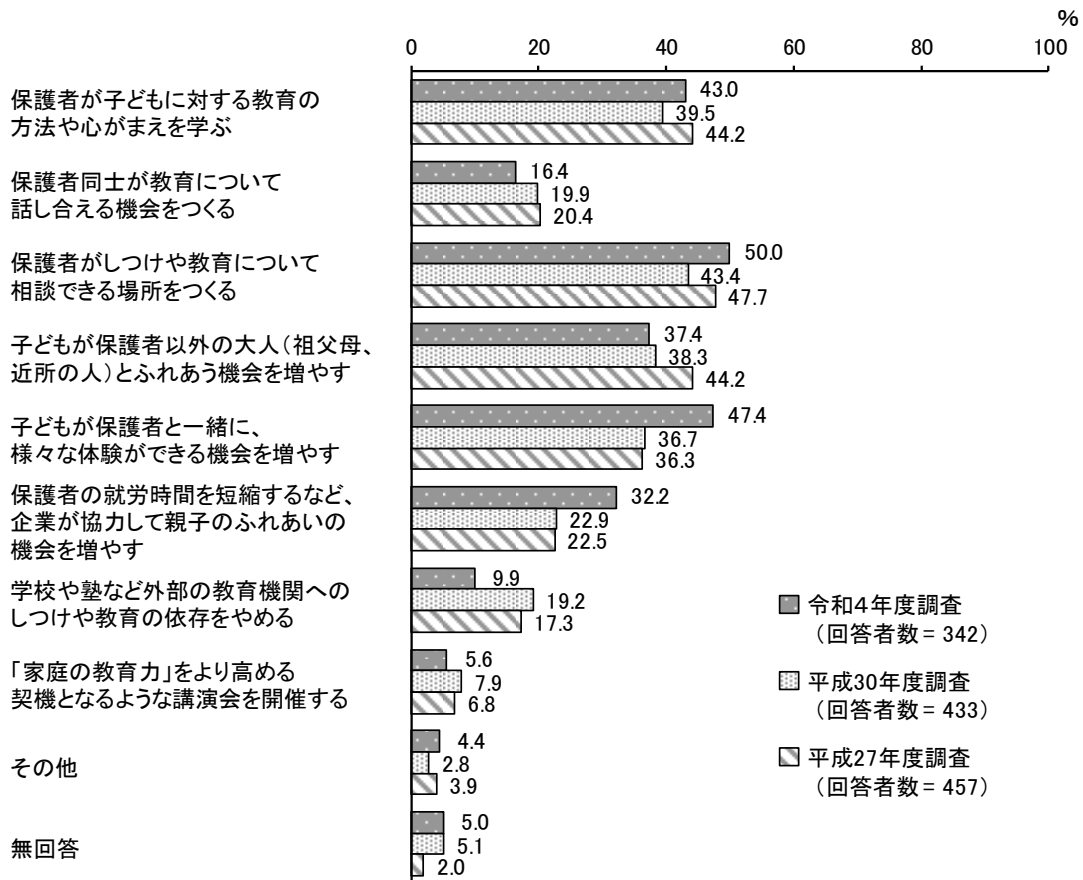


問 11 家庭の教育力を高めるために あなたは、「家庭の教育力」をより高めていくために、どのような取組みが必要だと思いますか。(主なもの3つまで○印)

「保護者がしつけや教育について相談できる場所をつくる」の割合が50.0%と最も高く、次いで「子どもが保護者と一緒に、様々な体験ができる機会を増やす」の割合が47.4%、「保護者が子どもに対する教育の方法や心がまえを学ぶ」の割合が43.0%となっています。

【経年比較】

前回調査と比較すると、「保護者がしつけや教育について相談できる場所をつくる」「子どもが保護者と一緒に、様々な体験ができる機会を増やす」「保護者の就労時間を短縮するなど、企業が協力して親子のふれあいの機会を増やす」の割合が増加しています。一方、「学校や塾など外部の教育機関へのしつけや教育の依存をやめる」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で「保護者が子どもに対する教育の方法や心がまえを学ぶ」の割合が、30歳代で「子どもが保護者と一緒に、様々な体験ができる機会を増やす」「保護者の就労時間を短縮するなど、企業が協力して親子のふれあいの機会を増やす」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	保護者が子どもに対する教育の方法や心がまえを学ぶ	保護者同士が教育について話し合える機会をつくる	保護者がしつけや教育について相談できる場所をつくる	子どもが保護者以外の大人(祖父母、近所の人)とふれあう機会を増やす	子どもが保護者と一緒に、様々な体験ができる機会を増やす	保護者の就労時間を短縮するなど、企業が協力して親子のふれあいの機会を増やす	学校や塾など外部の教育機関へのしつけや教育の依存をやめる	「家庭の教育力」をより高める契機となるような講演会を開催する	その他	無回答
18歳～29歳	43	58.1	14.0	41.9	41.9	55.8	39.5	11.6	2.3	—	—
30歳代	34	47.1	5.9	44.1	32.4	76.5	47.1	—	—	5.9	—
40歳代	70	45.7	17.1	44.3	37.1	45.7	34.3	12.9	5.7	2.9	2.9
50歳代	101	37.6	18.8	59.4	37.6	39.6	25.7	11.9	7.9	7.9	2.0
60歳代	47	38.3	17.0	46.8	42.6	48.9	27.7	12.8	6.4	4.3	8.5
70歳代	33	39.4	21.2	54.5	36.4	51.5	36.4	—	6.1	3.0	12.1
80歳代以上	7	57.1	28.6	57.1	14.3	—	14.3	14.3	14.3	—	14.3

## 【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、他に比べ、就学前の子で「保護者が子どもに対する教育の方法や心がまえを学ぶ」「子どもが保護者と一緒に、様々な体験ができる機会を増やす」の割合が、大学生以外の成人の子で「子どもが保護者以外の大人（祖父母、近所の人）とふれあう機会を増やす」の割合が高くなっています。また、小学生の子で「保護者の就労時間を短縮するなど、企業が協力して親子のふれあいの機会を増やす」の割合が高くなっています。

単位：％

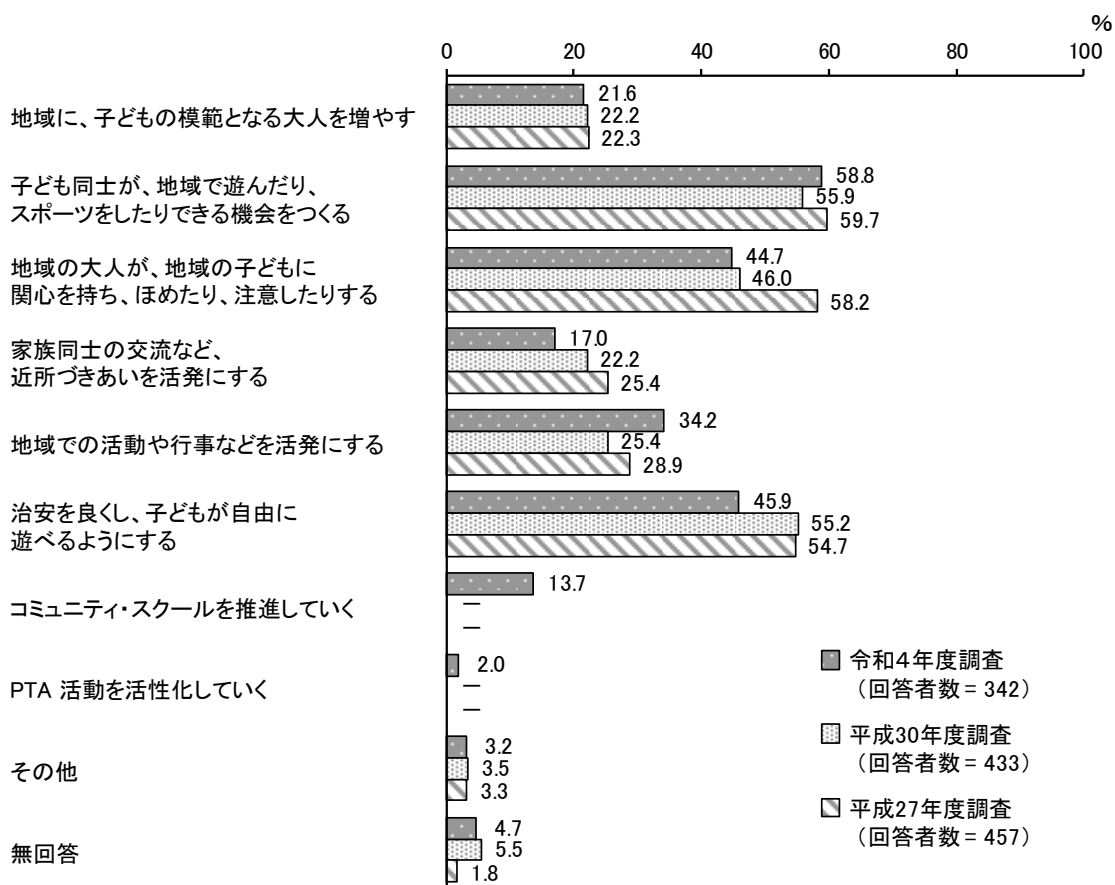
区分	回答者数（件）	保護者が子どもに対する教育の方法や心がまえを学ぶ	保護者同士が教育について話し合える機会をつくる	保護者がしつけや教育について相談できる場所をつくる	子どもが保護者以外の大人（祖父母、近所の人）とふれあう機会を増やす	子どもが保護者と一緒に、様々な体験ができる機会を増やす	保護者の就労時間を短縮するなど、企業が協力して親子のふれあいの機会を増やす	学校や塾など外部の教育機関へのしつけや教育の依存をやめる	「家庭の教育力」をより高める契機となるような講演会を開催する	その他	無回答
就学前の子	31	64.5	22.6	32.3	25.8	77.4	41.9	—	6.5	3.2	—
小学生の子	36	50.0	11.1	36.1	38.9	69.4	47.2	—	2.8	5.6	2.8
中学生の子	31	45.2	22.6	45.2	29.0	61.3	35.5	12.9	3.2	3.2	—
高校生の子	23	30.4	21.7	43.5	30.4	60.9	21.7	13.0	8.7	4.3	4.3
大学生の子	30	36.7	16.7	56.7	20.0	63.3	26.7	10.0	10.0	10.0	—
その他の教育機関に通う子	5	40.0	60.0	60.0	60.0	20.0	20.0	—	—	—	—
大学生以外の成人の子	128	39.1	18.8	54.7	46.1	42.2	28.9	7.8	7.8	4.7	5.5
その他の未成年の子	2	—	50.0	50.0	—	100.0	100.0	—	—	—	—
子はいない	106	45.3	15.1	50.0	37.7	42.5	33.0	15.1	2.8	3.8	1.9

問12 「地域の教育力」を高めるために あなたは、「地域の教育力」をより高めていくために、どのような取組みが必要だと思いますか。(主なもの3つまで○印)

「子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツをしたりできる機会をつくる」の割合が58.8%と最も高く、次いで「治安を良くし、子どもが自由に遊べるようにする」の割合が45.9%、「地域の大人が、地域の子どもの関心を持ち、ほめたり、注意したりする」の割合が44.7%となっています。

【経年比較】

前回調査と比較すると、「地域での活動や行事などを活発にする」の割合が増加しています。一方、「家族同士の交流など、近所づきあいを活発にする」「治安を良くし、子どもが自由に遊べるようにする」の割合が減少しています。



※平成30年度調査、平成27年度調査では「コミュニティ・スクールを推進していく」「PTA活動を活性化していく」の選択肢はありませんでした。

## 【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、30歳代で「子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツをしたりできる機会をつくる」「治安を良くし、子どもが自由に遊べるようにする」の割合が、40歳代で「地域に、子どもの模範となる大人を増やす」の割合が高くなっています。また、70歳代で「家族同士の交流など、近所づきあいを活発にする」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	地域に、子どもの模範となる大人を増やす	子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツをしたりできる機会をつくる	地域の大人が、地域の子どもの関心を持ち、ほめたり、注意したりする	家族同士の交流など、近所づきあいを活発にする	地域での活動や行事などを活発にする	治安を良くし、子どもが自由に遊べるようにする	コミュニティ・スクールを推進していく	PTA活動を活性化していく	その他	無回答
18歳～29歳	43	25.6	74.4	39.5	20.9	37.2	60.5	16.3	2.3	—	—
30歳代	34	17.6	79.4	38.2	17.6	29.4	73.5	—	—	2.9	—
40歳代	70	32.9	61.4	37.1	7.1	28.6	45.7	17.1	2.9	1.4	4.3
50歳代	101	18.8	55.4	50.5	17.8	31.7	35.6	15.8	2.0	5.0	1.0
60歳代	47	14.9	46.8	53.2	21.3	42.6	42.6	17.0	—	6.4	4.3
70歳代	33	15.2	54.5	51.5	27.3	42.4	42.4	6.1	3.0	3.0	12.1
80歳代以上	7	14.3	28.6	42.9	14.3	71.4	28.6	28.6	14.3	—	14.3

【校區別】

校區別でみると、他に比べ、松原中学校区（松原小、松原西小、河合小）で「家族同士の交流など、近所づきあいを活発にする」の割合が、松原第二中学校区（天美南小、天美北小）で「治安を良くし、子どもが自由に遊べるようにする」の割合が高くなっています。また、松原第六中学校区（松原南小、松原東小）で「コミュニティ・スクールを推進していく」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	地域に、子どもの模範となる大人を増やす	子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツをしたりできる機会をつくる	地域の大人が、地域の子どもに関心を持ち、ほめたり、注意したりする	家族同士の交流など、近所づきあいを活発にする	地域での活動や行事などを活発にする	治安を良くし、子どもが自由に遊べるようにする	コミュニティ・スクールを推進していく	PTA活動を活性化していく	その他	無回答
松原中学校区 （松原小、松原西小、河合小）	53	11.3	60.4	47.2	30.2	30.2	37.7	5.7	1.9	3.8	9.4
松原第二中学校区 （天美南小、天美北小）	35	31.4	68.6	28.6	20.0	40.0	65.7	14.3	—	2.9	—
松原第三中学校区 （布忍小、中央小）	46	15.2	67.4	41.3	23.9	32.6	37.0	17.4	2.2	2.2	2.2
松原第四中学校区 （松原北小、三宅小、恵我小 （別所1丁目、別所3～9丁目））	49	22.4	59.2	46.9	16.3	30.6	51.0	18.4	4.1	2.0	2.0
松原第五中学校区 （天美小、天美西小）	61	23.0	54.1	54.1	4.9	41.0	50.8	13.1	3.3	3.3	—
松原第六中学校区 （松原南小、松原東小）	29	27.6	51.7	48.3	17.2	37.9	44.8	24.1	3.4	—	—
松原第七中学校区 （恵我南小、恵我小 （上記4以外の地区））	38	28.9	65.8	44.7	13.2	28.9	39.5	15.8	—	7.9	2.6
校区がわからない	21	19.0	47.6	52.4	14.3	42.9	47.6	4.8	—	4.8	4.8

## 【子どもの有無別】

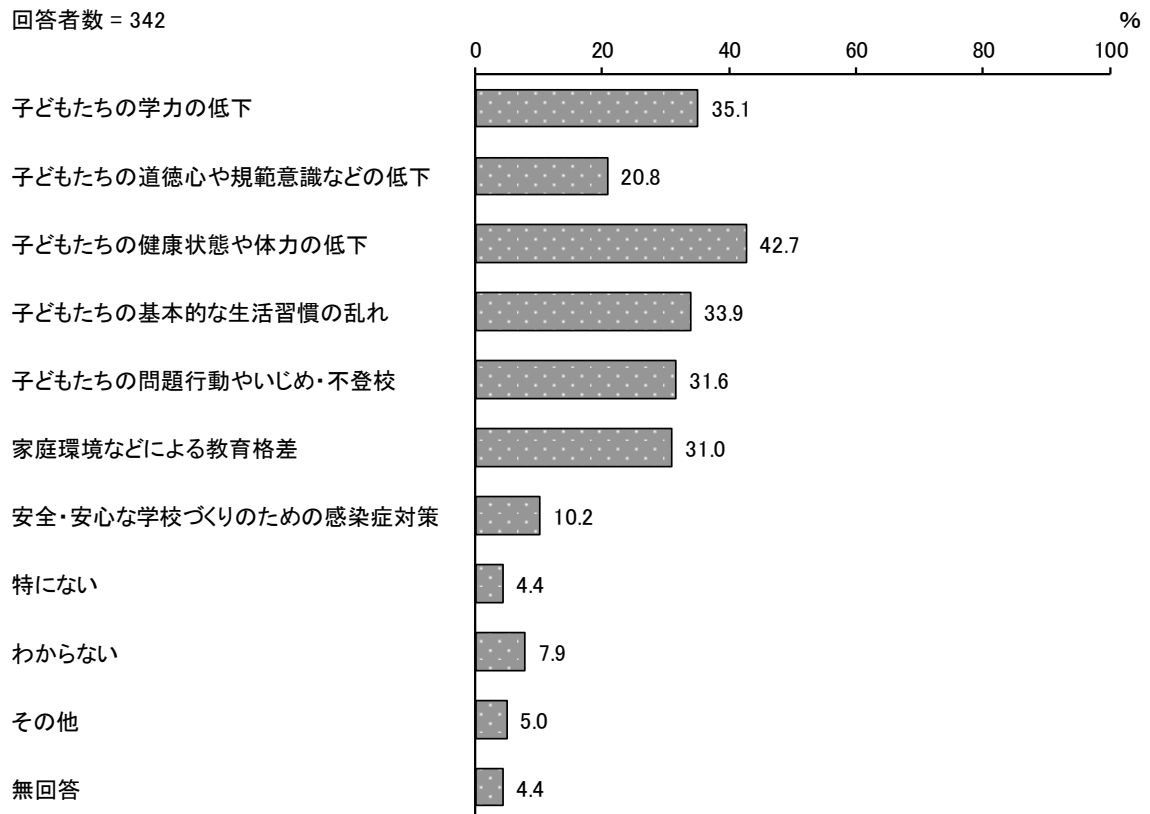
子どもの有無別でみると、他に比べ、就学前の子で「子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツをしたりできる機会をつくる」の割合が、中学生の子、大学生以外の成人の子で「地域の大人が、地域の子どもに関心を持ち、ほめたり、注意したりする」の割合が高くなっています。また、中学生の子、高校生の子で「コミュニティ・スクールを推進していく」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	地域に、子どもの模範となる大人を増やす	子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツをしたりできる機会をつくる	地域の大人が、地域の子どもに関心を持ち、ほめたり、注意したりする	家族同士の交流など、近所づきあいを活発にする	地域での活動や行事などを活発にする	治安を良くし、子どもが自由に遊べるようにする	コミュニティ・スクールを推進していく	PTA活動を活性化していく	その他	無回答
就学前の子	31	29.0	80.6	35.5	19.4	41.9	61.3	6.5	—	—	—
小学生の子	36	27.8	72.2	36.1	8.3	27.8	58.3	11.1	—	2.8	2.8
中学生の子	31	22.6	61.3	54.8	16.1	32.3	38.7	25.8	3.2	3.2	3.2
高校生の子	23	8.7	69.6	39.1	8.7	39.1	30.4	26.1	—	—	8.7
大学生の子	30	20.0	63.3	43.3	23.3	33.3	30.0	16.7	6.7	6.7	—
その他の教育機関に通う子	5	—	20.0	80.0	20.0	20.0	40.0	40.0	—	20.0	—
大学生以外の成人の子	128	18.8	47.7	53.1	18.8	40.6	38.3	16.4	2.3	4.7	3.9
その他の未成年の子	2	—	100.0	50.0	—	50.0	50.0	50.0	—	—	—
子はいない	106	24.5	63.2	42.5	18.9	28.3	53.8	10.4	1.9	1.9	1.9

問 13 新型コロナウイルスの影響 現在の状況下における松原市の子どもたちの教育について不安を感じていることは何ですか。(主なもの3つまで○印)

「子どもたちの健康状態や体力の低下」の割合が42.7%と最も高く、次いで「子どもたちの学力の低下」の割合が35.1%、「子どもたちの基本的な生活習慣の乱れ」の割合が33.9%となっています。





## 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳代で「特にない」の割合が、40歳代で「子どもたちの健康状態や体力の低下」の割合が高くなっています。また、60歳代で「子どもたちの道徳心や規範意識などの低下」の割合が、70歳代で「子どもたちの学力の低下」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	子どもたちの学力の低下	子どもたちの道徳心や規範意識などの低下	子どもたちの健康状態や体力の低下	子どもたちの基本的な生活習慣の乱れ	子どもたちの問題行動やいじめ・不登校	家庭環境などによる教育格差	安全・安心な学校づくりのための感染症対策	特にない	わからない	その他	無回答
18歳～29歳	43	30.2	18.6	48.8	41.9	32.6	30.2	7.0	4.7	7.0	2.3	—
30歳代	34	26.5	17.6	29.4	35.3	14.7	14.7	11.8	20.6	11.8	11.8	—
40歳代	70	38.6	17.1	54.3	28.6	34.3	25.7	4.3	2.9	4.3	10.0	2.9
50歳代	101	38.6	18.8	43.6	36.6	32.7	34.7	10.9	2.0	10.9	2.0	1.0
60歳代	47	29.8	31.9	40.4	23.4	38.3	40.4	17.0	2.1	8.5	4.3	6.4
70歳代	33	45.5	21.2	36.4	42.4	27.3	36.4	15.2	3.0	3.0	3.0	12.1
80歳代以上	7	28.6	28.6	14.3	42.9	42.9	28.6	14.3	—	14.3	—	14.3

## 【子どもの有無別】

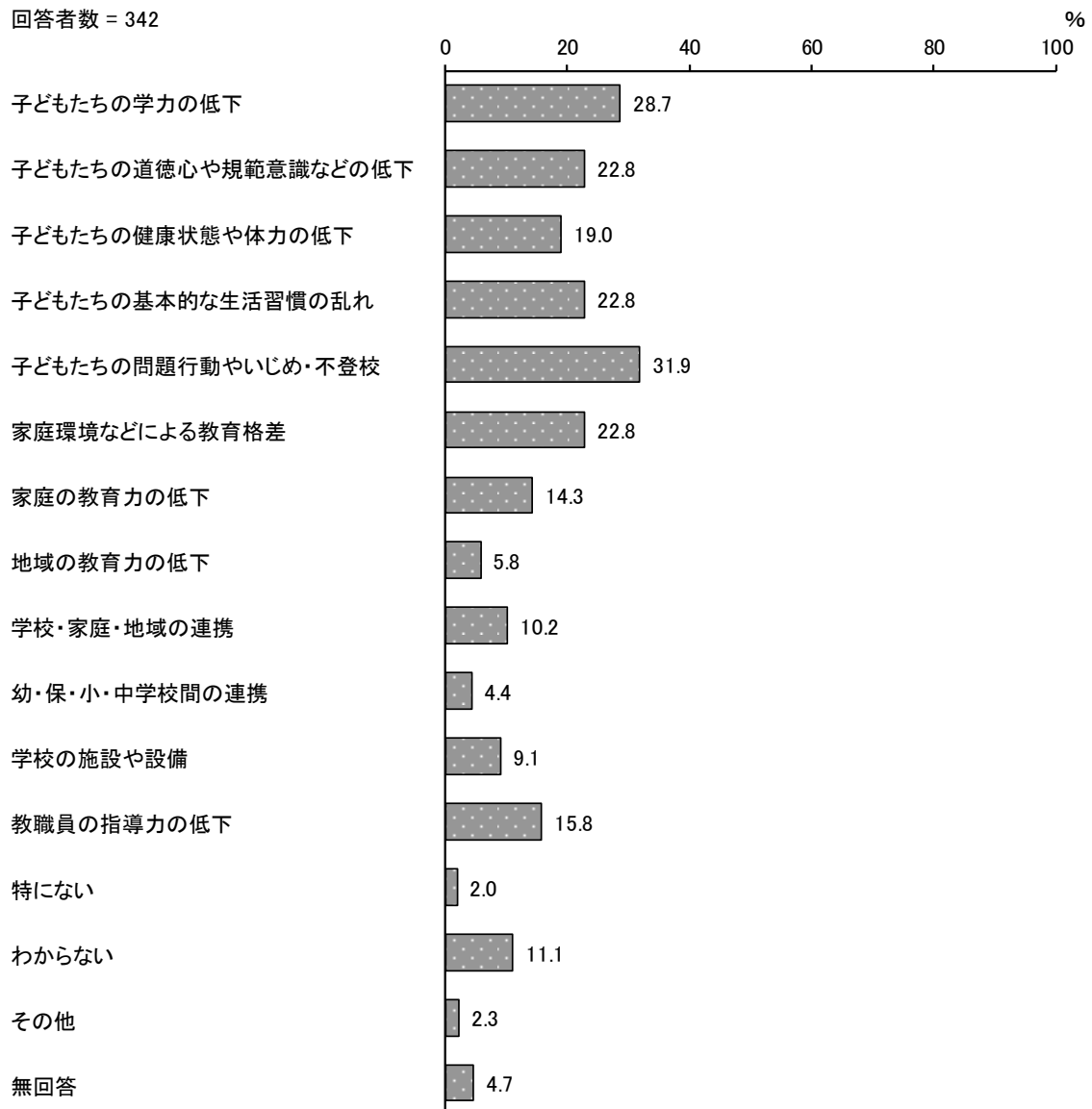
子どもの有無別でみると、他に比べ、就学前の子で「子どもたちの道徳心や規範意識などの低下」「特にない」の割合が、大学生の子で「子どもたちの基本的な生活習慣の乱れ」の割合が高くなっています。また、大学生以外の成人の子で「家庭環境などによる教育格差」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	子どもたちの学力の低下	子どもたちの道徳心や規範意識などの低下	子どもたちの健康状態や体力の低下	子どもたちの基本的な生活習慣の乱れ	子どもたちの問題行動やいじめ・不登校	家庭環境などによる教育格差	安全・安心な学校づくりのための感染症対策	特にない	わからない	その他	無回答
就学前の子	31	22.6	32.3	45.2	29.0	29.0	12.9	19.4	16.1	3.2	9.7	—
小学生の子	36	41.7	25.0	52.8	13.9	30.6	19.4	11.1	8.3	—	13.9	2.8
中学生の子	31	48.4	25.8	54.8	32.3	35.5	29.0	19.4	—	—	9.7	—
高校生の子	23	43.5	13.0	43.5	43.5	30.4	26.1	8.7	—	4.3	4.3	4.3
大学生の子	30	40.0	10.0	40.0	50.0	30.0	26.7	6.7	3.3	10.0	6.7	—
その他の教育機関に通う子	5	20.0	—	60.0	60.0	20.0	60.0	—	—	—	20.0	—
大学生以外の成人の子	128	42.2	20.3	43.0	32.8	34.4	39.8	12.5	3.1	7.0	4.7	4.7
その他の未成年の子	2	50.0	100.0	100.0	—	—	50.0	—	—	—	—	—
子はいない	106	25.5	22.6	35.8	33.0	28.3	32.1	7.5	3.8	15.1	3.8	1.9

問 14 松原市の教育の課題について あなたが子どもたちや教育について課題と感じていることは何ですか。(主なもの3つまで○印)

「子どもたちの問題行動やいじめ・不登校」の割合が31.9%と最も高く、次いで「子どもたちの学力の低下」の割合が28.7%、「子どもたちの道徳心や規範意識などの低下」、「子どもたちの基本的な生活習慣の乱れ」の割合が22.8%となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で「家庭環境などによる教育格差」の割合が高くなっています。また、60歳代で「子どもたちの基本的な生活習慣の乱れ」「子どもたちの問題行動やいじめ・不登校」の割合が、70歳代で「地域の教育力の低下」高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	子どもたちの学力の低下	子どもたちの道徳心や規範意識などの低下	子どもたちの健康状態や体力の低下	子どもたちの基本的な生活習慣の乱れ	子どもたちの問題行動やいじめ・不登校	家庭環境などによる教育格差	家庭の教育力の低下	地域の教育力の低下	学校・家庭・地域の連携	幼・保・小・中学校間の連携	学校の施設や設備	教職員の指導力の低下	特にない	わからない	その他	無回答
18歳～29歳	43	27.9	18.6	20.9	23.3	34.9	34.9	11.6	—	18.6	9.3	14.0	11.6	2.3	4.7	—	—
30歳代	34	32.4	26.5	14.7	14.7	38.2	5.9	11.8	2.9	14.7	5.9	17.6	8.8	5.9	23.5	—	—
40歳代	70	31.4	14.3	18.6	24.3	24.3	14.3	18.6	10.0	15.7	2.9	11.4	18.6	4.3	7.1	7.1	2.9
50歳代	101	29.7	25.7	20.8	23.8	31.7	24.8	12.9	4.0	6.9	4.0	6.9	20.8	1.0	14.9	1.0	1.0
60歳代	47	17.0	29.8	19.1	31.9	44.7	27.7	12.8	4.3	2.1	4.3	4.3	19.1	—	6.4	4.3	6.4
70歳代	33	36.4	24.2	21.2	15.2	18.2	27.3	18.2	18.2	6.1	3.0	6.1	9.1	—	12.1	—	12.1
80歳代以上	7	28.6	28.6	—	28.6	57.1	28.6	28.6	—	14.3	—	—	—	—	14.3	—	14.3

【校区別】

校区別でみると、他に比べ、松原中学校区（松原小、松原西小、河合小）で「子どもたちの学力の低下」の割合が、松原第二中学校区（天美南小、天美北小）で「家庭の教育力の低下」「学校の施設や設備」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	子どもたちの学力の低下	子どもたちの道徳心や規範意識などの低下	子どもたちの健康状態や体力の低下	子どもたちの基本的な生活習慣の乱れ	子どもたちの問題行動やいじめ・不登校	家庭環境などによる教育格差	家庭の教育力の低下	地域の教育力の低下
松原中学校区 (松原小、松原西小、河合小)	53	47.2	22.6	20.8	18.9	26.4	17.0	13.2	13.2
松原第二中学校区 (天美南小、天美北小)	35	20.0	25.7	17.1	34.3	34.3	31.4	22.9	2.9
松原第三中学校区 (布忍小、中央小)	46	19.6	17.4	28.3	19.6	37.0	30.4	15.2	13.0
松原第四中学校区 (松原北小、三宅小、恵我小 (別所1丁目、別所3～9丁目))	49	24.5	22.4	28.6	30.6	28.6	24.5	16.3	4.1
松原第五中学校区 (天美小、天美西小)	61	29.5	27.9	9.8	21.3	32.8	18.0	13.1	4.9
松原第六中学校区 (松原南小、松原東小)	29	27.6	27.6	13.8	13.8	24.1	17.2	13.8	3.4
松原第七中学校区 (恵我南小、恵我小 (上記4以外の地区))	38	34.2	26.3	26.3	26.3	36.8	15.8	10.5	—
校区がわからない	21	23.8	9.5	—	23.8	47.6	38.1	14.3	—

区分	学校・家庭・地域の連携	幼・保・小・中学校間の連携	学校の施設や設備	教職員の指導力の低下	特にない	わからない	その他	無回答
松原中学校区 (松原小、松原西小、河合小)	9.4	1.9	5.7	18.9	—	9.4	—	7.5
松原第二中学校区 (天美南小、天美北小)	5.7	5.7	17.1	17.1	2.9	8.6	2.9	—
松原第三中学校区 (布忍小、中央小)	21.7	4.3	10.9	10.9	2.2	4.3	—	2.2
松原第四中学校区 (松原北小、三宅小、恵我小 (別所1丁目、別所3～9丁目))	12.2	4.1	10.2	14.3	2.0	8.2	4.1	2.0
松原第五中学校区 (天美小、天美西小)	9.8	8.2	8.2	14.8	—	18.0	1.6	1.6
松原第六中学校区 (松原南小、松原東小)	17.2	6.9	10.3	13.8	6.9	13.8	3.4	—
松原第七中学校区 (恵我南小、恵我小 (上記4以外の地区))	2.6	—	5.3	23.7	5.3	7.9	7.9	2.6
校区がわからない	—	4.8	9.5	19.0	—	23.8	—	4.8

## 【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、他に比べ、就学前の子で「学校・家庭・地域の連携」の割合が、小学生の子で「地域の教育力の低下」の割合が高くなっています。また、中学生の子で「子どもたちの学力の低下」「その他」の割合が、大学生以外の成人の子で「家庭環境などによる教育格差」の割合が高くなっています。

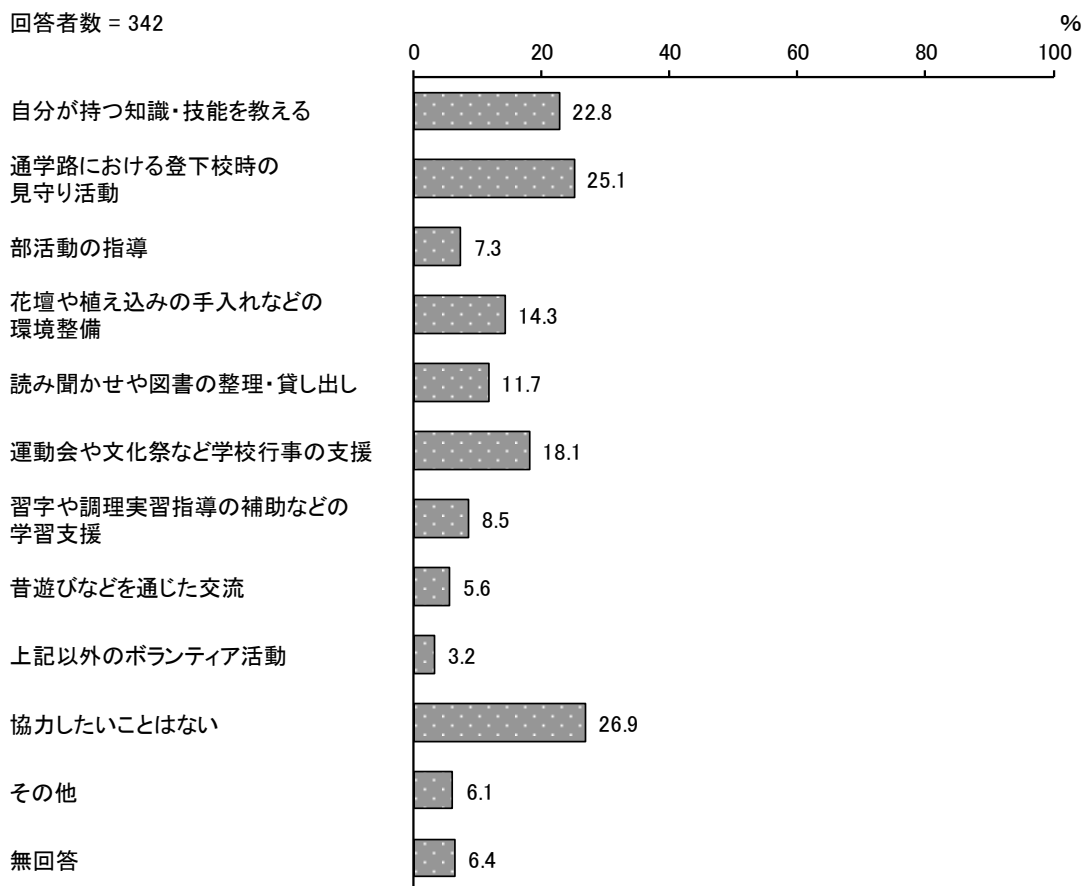
単位：％

区分	回答者数(件)	子どもたちの学力の低下	子どもたちの道徳心や規範意識などの低下	子どもたちの健康状態や体力の低下	子どもたちの基本的な生活習慣の乱れ	子どもたちの問題行動やいじめ・不登校	家庭環境などによる教育格差	家庭の教育力の低下	地域の教育力の低下
就学前の子	31	41.9	12.9	25.8	12.9	32.3	9.7	19.4	6.5
小学生の子	36	33.3	25.0	19.4	19.4	13.9	19.4	11.1	16.7
中学生の子	31	48.4	25.8	16.1	22.6	22.6	19.4	9.7	6.5
高校生の子	23	39.1	17.4	8.7	21.7	30.4	17.4	4.3	—
大学生の子	30	40.0	26.7	16.7	40.0	40.0	10.0	23.3	3.3
その他の教育機関に通う子	5	60.0	20.0	—	—	—	40.0	20.0	—
大学生以外の成人の子	128	29.7	24.2	23.4	25.8	32.8	32.0	13.3	8.6
その他の未成年の子	2	50.0	50.0	—	—	—	50.0	50.0	—
子はいない	106	19.8	24.5	14.2	21.7	34.9	19.8	14.2	2.8

区分	学校・家庭・地域の連携	幼・保・小・中学校間の連携	学校の施設や設備	教職員の指導力の低下	特にな	わからない	その他	無回答
就学前の子	25.8	12.9	19.4	19.4	3.2	6.5	—	—
小学生の子	11.1	8.3	19.4	11.1	5.6	5.6	5.6	2.8
中学生の子	9.7	9.7	16.1	22.6	—	3.2	12.9	—
高校生の子	17.4	8.7	21.7	21.7	8.7	—	—	4.3
大学生の子	16.7	3.3	6.7	26.7	—	—	—	—
その他の教育機関に通う子	—	—	20.0	40.0	—	20.0	—	—
大学生以外の成人の子	6.3	2.3	5.5	17.2	—	8.6	1.6	4.7
その他の未成年の子	—	—	—	50.0	—	—	—	—
子はいない	9.4	2.8	8.5	10.4	2.8	20.8	1.9	1.9

問 15 学校に対しての協力 あなたは、今後、地域の学校に対して協力してみたいと思うことは何ですか。（あてはまるすべてに○印）

「協力したいことはない」の割合が 26.9%と最も高く、次いで「通学路における登下校時の見守り活動」の割合が 25.1%、「自分が持つ知識・技能を教える」の割合が 22.8%となっています。



## 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で「自分が持つ知識・技能を教える」「部活動の指導」「運動会や文化祭など学校行事の支援」の割合が、60歳代で「昔遊びなどを通じた交流」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	自分が持つ知識・技能を教える	通学路における登下校時の見守り活動	部活動の指導	花壇や植え込みの手入れなどの環境整備	読み聞かせや図書の整理・貸し出し	運動会や文化祭など学校行事の支援	習字や調理実習指導の補助などの学習支援	昔遊びなどを通じた交流	上記以外のボランティア活動	協力したいことはない	その他	無回答
18歳～29歳	43	34.9	25.6	18.6	11.6	14.0	41.9	11.6	4.7	2.3	20.9	4.7	2.3
30歳代	34	17.6	26.5	5.9	2.9	17.6	29.4	5.9	5.9	—	29.4	2.9	—
40歳代	70	20.0	22.9	5.7	12.9	14.3	15.7	10.0	5.7	2.9	34.3	7.1	4.3
50歳代	101	22.8	23.8	5.9	18.8	10.9	9.9	5.9	3.0	3.0	23.8	9.9	5.0
60歳代	47	27.7	27.7	4.3	17.0	6.4	14.9	8.5	12.8	6.4	29.8	2.1	6.4
70歳代	33	18.2	30.3	9.1	21.2	9.1	15.2	12.1	6.1	6.1	27.3	3.0	12.1
80歳代以上	7	—	42.9	—	—	14.3	14.3	14.3	—	—	14.3	14.3	14.3



【校区別】

校区別でみると、他に比べ、松原第二中学校区（天美南小、天美北小）で「運動会や文化祭など学校行事の支援」の割合が、松原第三中学校区（布忍小、中央小）で「習字や調理実習指導の補助などの学習支援」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	自分が持つ知識・技能を教える	通学路における登下校時の見守り活動	部活動の指導	花壇や植え込みの手入れなどの環境整備	読み聞かせや図書の整理・貸し出し	運動会や文化祭など学校行事の支援	学習支援 習字や調理実習指導の補助などの学習支援	昔遊びなどを通じた交流	上記以外のボランティア活動	協力したいことはない	その他	無回答
松原中学校区 （松原小、松原西小、河合小）	53	20.8	32.1	3.8	11.3	3.8	13.2	7.5	9.4	3.8	22.6	5.7	13.2
松原第二中学校区 （天美南小、天美北小）	35	34.3	28.6	17.1	8.6	8.6	31.4	2.9	5.7	5.7	14.3	14.3	—
松原第三中学校区 （布忍小、中央小）	46	19.6	23.9	4.3	13.0	19.6	23.9	21.7	6.5	4.3	28.3	2.2	4.3
松原第四中学校区 （松原北小、三宅小、 恵我小（別所1丁目、 別所3～9丁目）	49	30.6	28.6	6.1	22.4	18.4	16.3	4.1	4.1	2.0	18.4	2.0	4.1
松原第五中学校区 （天美小、天美西小）	61	19.7	24.6	6.6	21.3	11.5	13.1	4.9	3.3	3.3	31.1	6.6	3.3
松原第六中学校区 （松原南小、松原東小）	29	31.0	20.7	6.9	17.2	3.4	20.7	13.8	10.3	3.4	37.9	6.9	3.4
松原第七中学校区 （恵我南小、恵我小 （上記4以外の地区）	38	21.1	23.7	15.8	7.9	15.8	18.4	7.9	5.3	2.6	31.6	7.9	—
校区がわからない	21	4.8	19.0	—	9.5	9.5	19.0	9.5	—	—	47.6	9.5	4.8

## (4) 生涯学習・文化などについて

問 16 あなたの生涯学習・文化活動の現状と今後について あなたは、この1年くらい  
の間に、自分から進んでどのような生涯学習・文化活動をしましたか。また、今  
後、どのような活動をしてみたいですか。各項目について、それぞれ当てはまる番  
号1つに○印をつけてください。

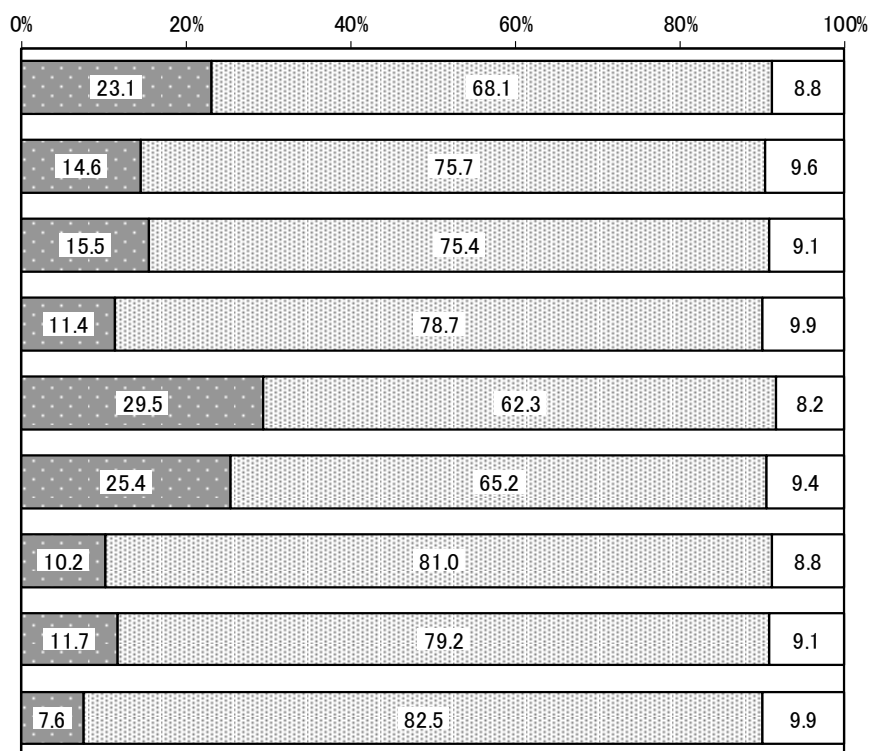
### この1年の活動や参加

「活動(参加)した」の割合が高いのは『(1) 趣味的なもの(音楽、美術、華道、舞踊、書道、陶芸など)』『(5) 職業上必要な知識・技能(仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など)』『(6) パソコン・インターネットに関すること』で、「活動(参加)していない」の割合が高いのは『(7) ボランティア活動やそのために必要な知識・技能』『(9) 学校(識字学校・夜間中学校・高等・専修・各種学校、大学、大学院など)の正規課程での学習』となっています。

■ 活動(参加)した    ▨ 活動(参加)していない    □ 無回答

回答者数 = 342

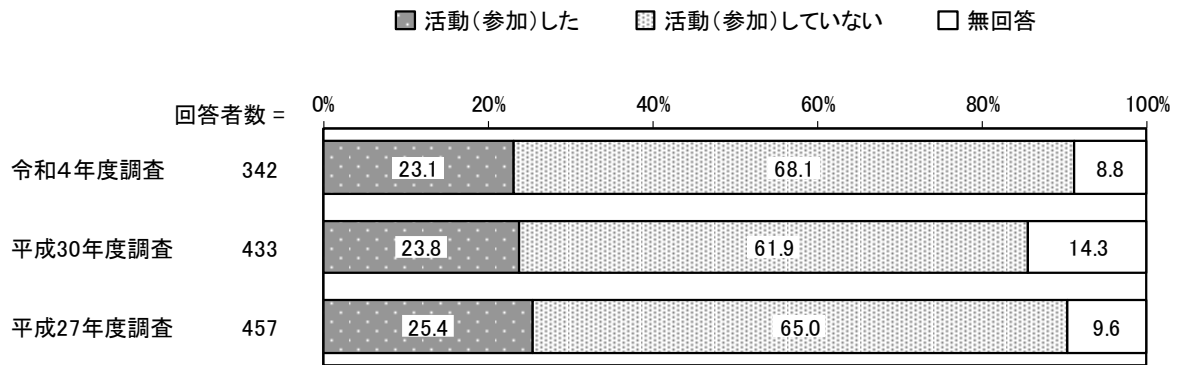
- (1) 趣味的なもの  
(音楽、美術、華道、舞踊、書道、陶芸など)
- (2) 教養的なもの(文学、歴史、科学、語学、社会問題など)
- (3) 家庭生活に役立つ技能  
(料理、洋裁、和裁、編み物など)
- (4) 育児・教育  
(幼児教育、教育問題など)
- (5) 職業上必要な知識・技能  
(仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など)
- (6) パソコン・インターネットに関すること
- (7) ボランティア活動やそのために必要な知識・技能
- (8) 自然体験や生活体験などの体験活動
- (9) 学校(識字学校・夜間中学校・高等・専修・各種学校、大学、大学院など)の正規課程での学習



(1) 趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道、陶芸など）

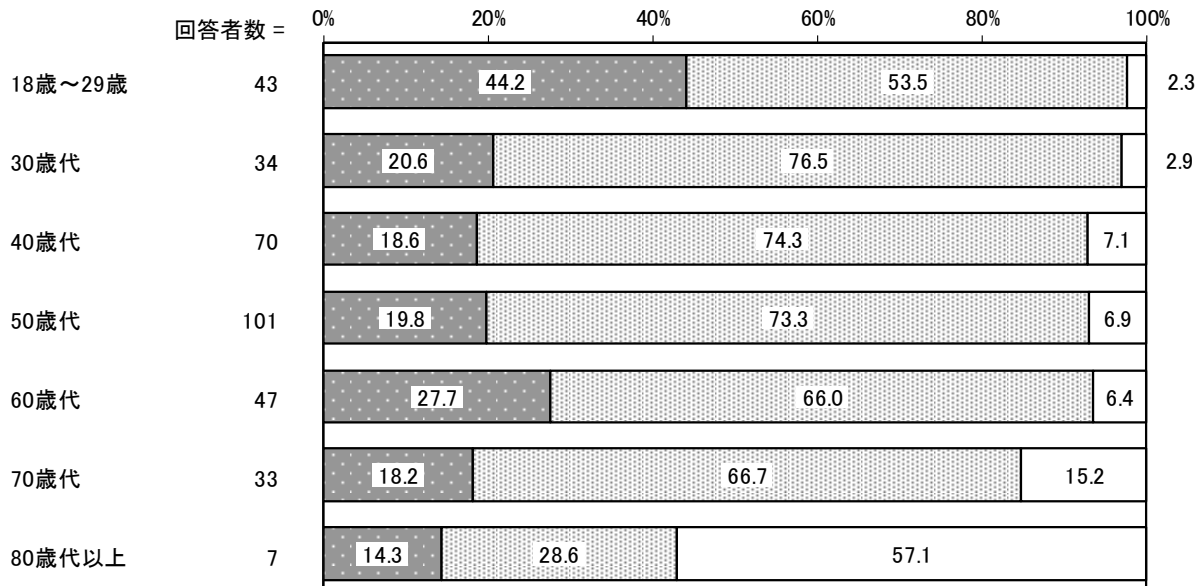
【経年比較】

前回調査と比較すると、「活動（参加）していない」の割合が増加しています。



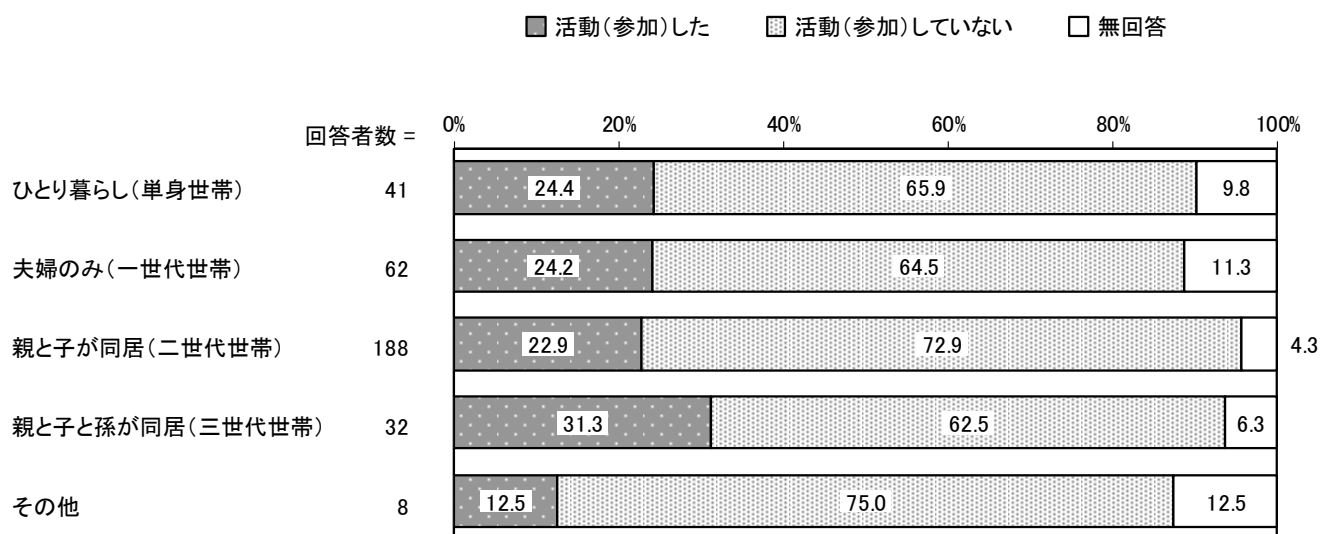
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で「活動（参加）した」の割合が、30歳代、40歳代、50歳代で「活動（参加）していない」の割合が高くなっています。



### 【家族構成別】

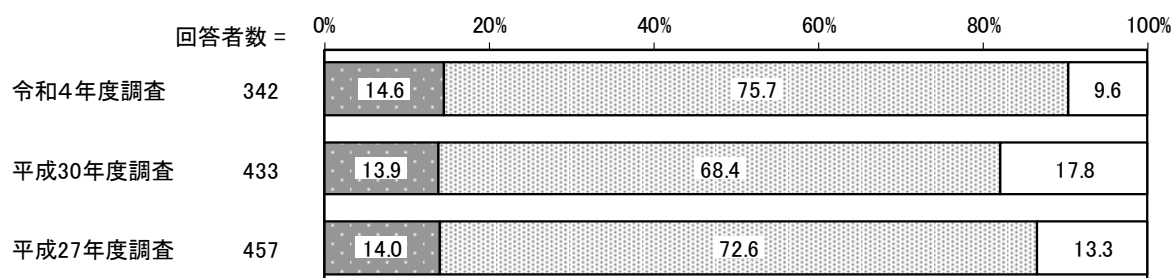
家族構成別で見ると、他に比べ、親と子と孫が同居（三世代世帯）で「活動（参加）した」の割合が、親と子が同居（二世帯世帯）で「活動（参加）していない」の割合が高くなっています。



### (2) 教養的なもの（文学、歴史、科学、語学、社会問題など）

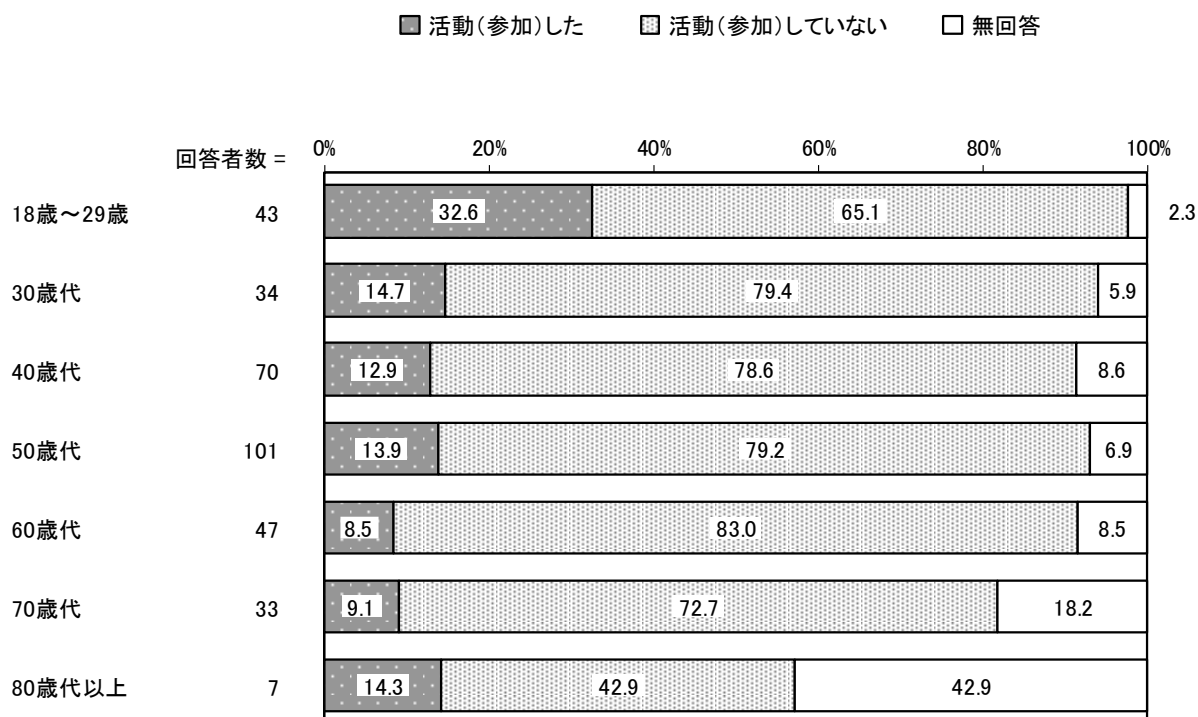
#### 【経年比較】

前回調査と比較すると、「活動（参加）していない」の割合が増加しています。



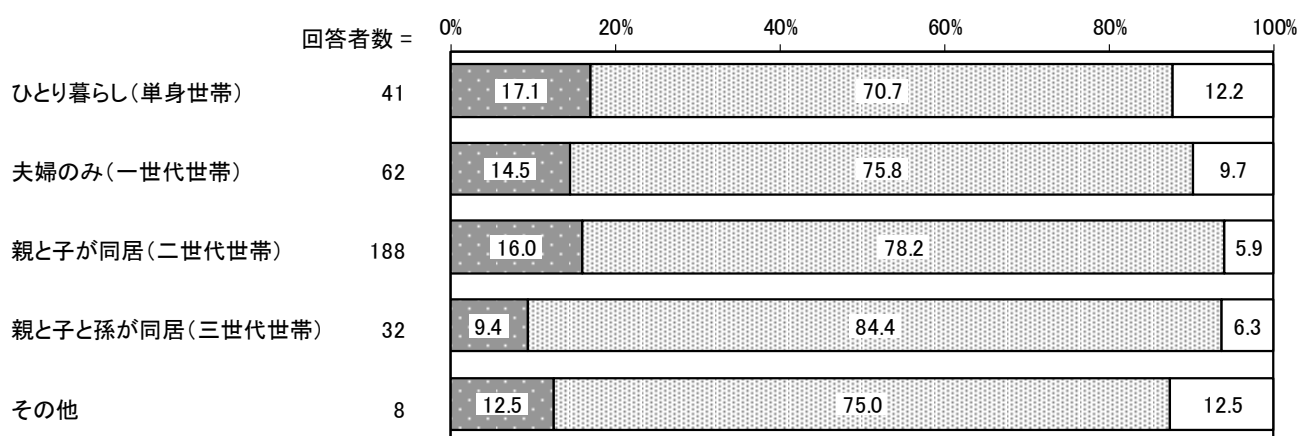
### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で「活動（参加）した」の割合が高くなっています。



### 【家族構成別】

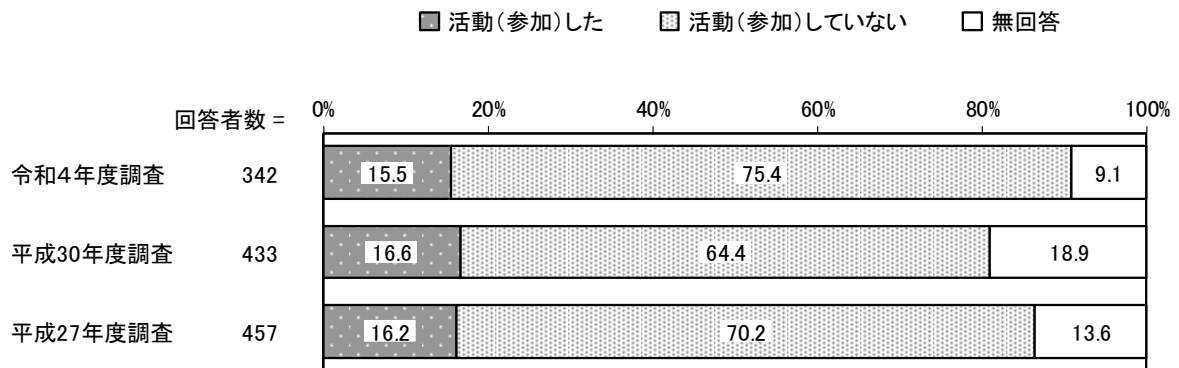
家族構成別でみると、他に比べ、親と子と孫が同居（三世代世帯）で「活動（参加）していない」の割合が高くなっています。



(3) 家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など）

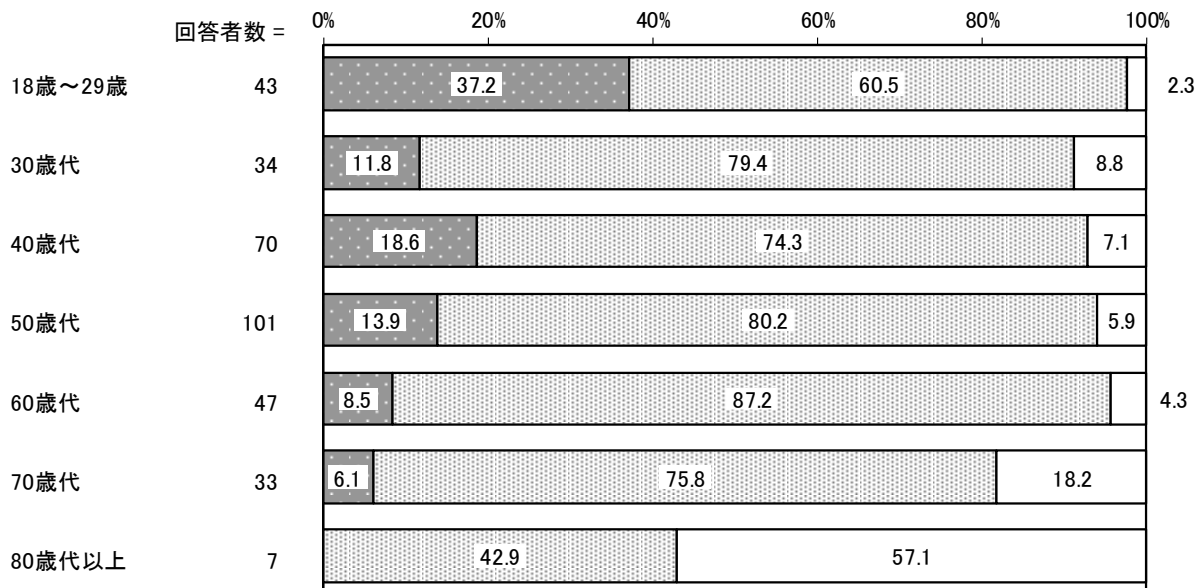
【経年比較】

前回調査と比較すると、「活動（参加）していない」の割合が増加しています。



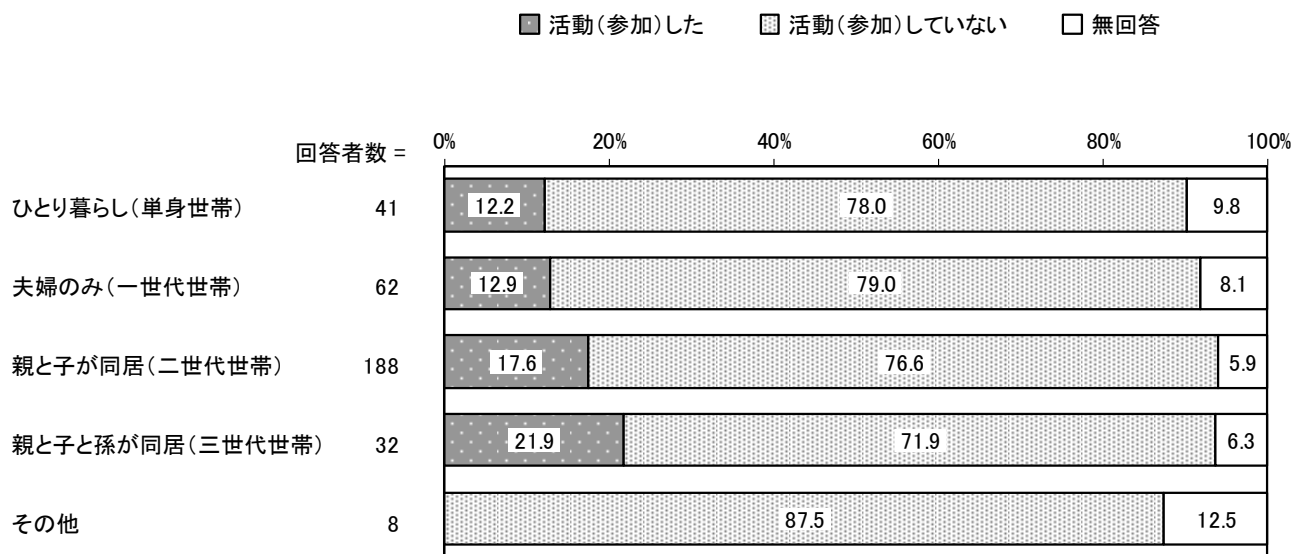
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で「活動（参加）した」の割合が、60歳代で「活動（参加）していない」の割合が高くなっています。



### 【家族構成別】

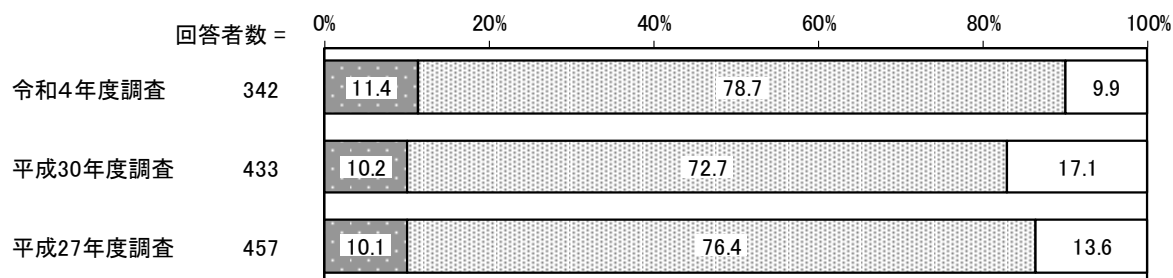
家族構成別で見ると、大きな差異はみられません。



### (4) 育児・教育 (幼児教育、教育問題など)

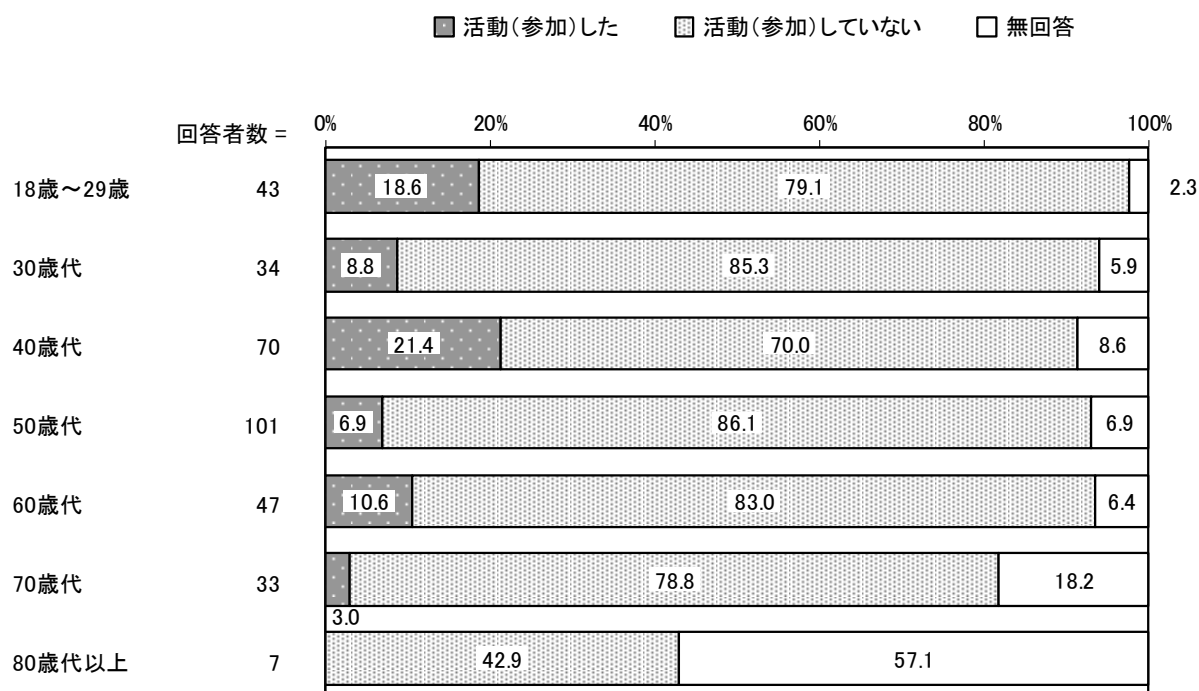
#### 【経年比較】

前回調査と比較すると、「活動(参加)していない」の割合が増加しています。



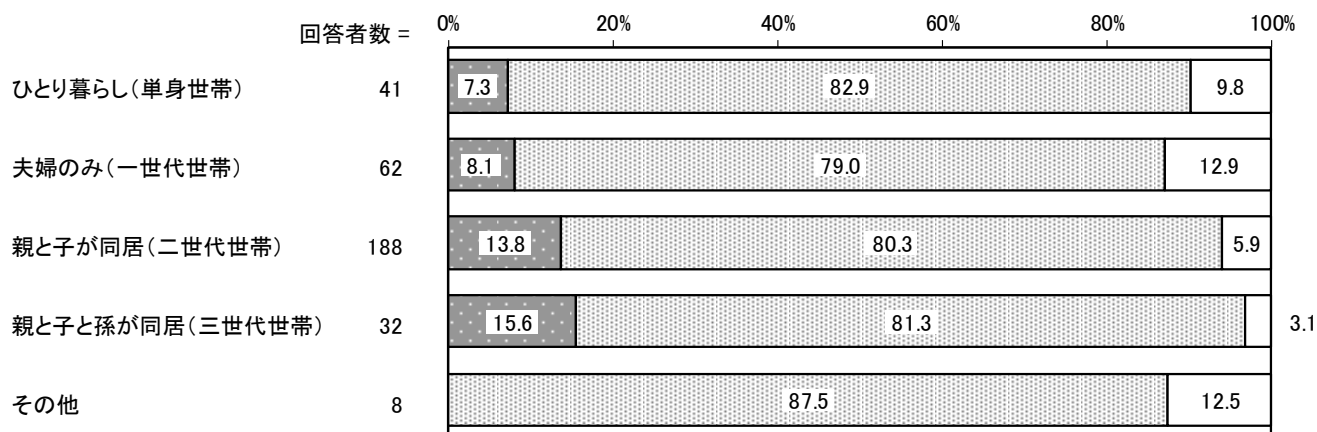
### 【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、18歳～29歳、40歳代で「活動（参加）した」の割合が高くなっています。



### 【家族構成別】

家族構成別で見ると、他に比べ、親と子が同居（二世帯世帯）、親と子と孫が同居（三世帯世帯）で「活動（参加）した」の割合が高くなっています。

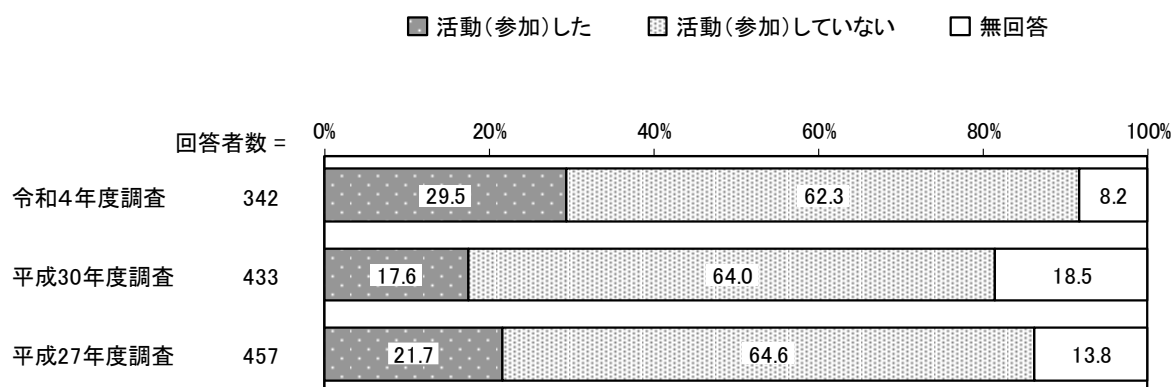




(5) 職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）

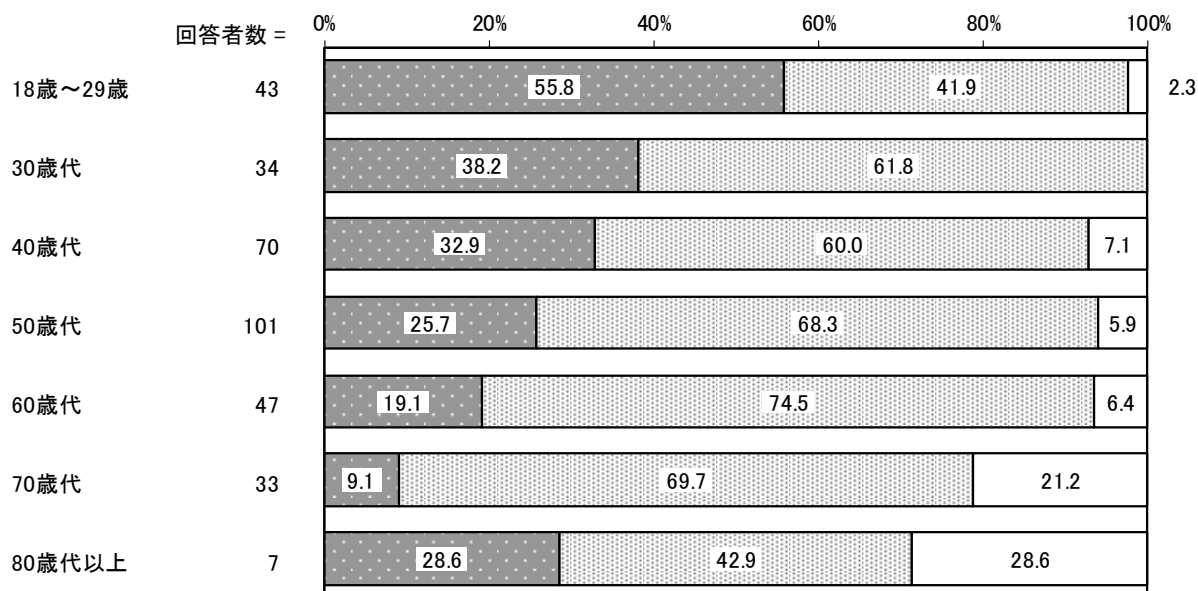
【経年比較】

前回調査と比較すると、「活動（参加）した」の割合が増加しています。



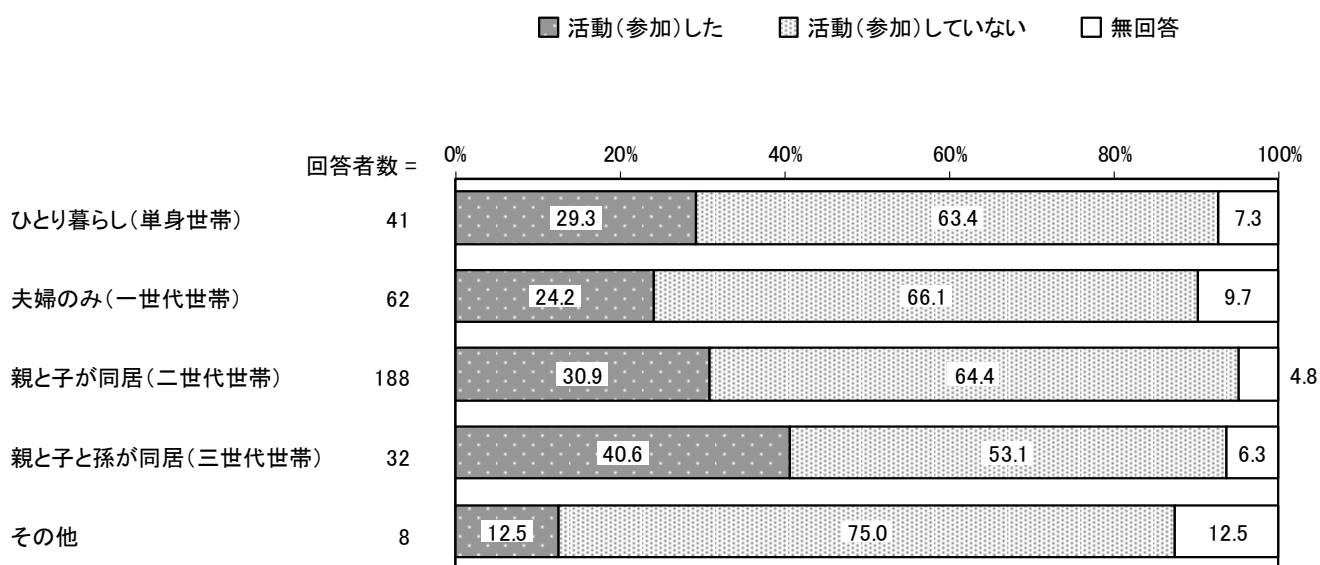
【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、18歳～29歳で「活動（参加）した」の割合が高くなっています。



### 【家族構成別】

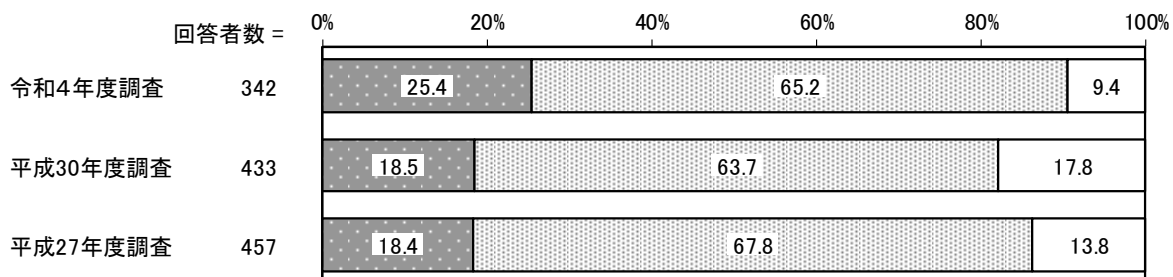
家族構成別で見ると、他に比べ、親と子と孫が同居（三世代世帯）で「活動（参加）した」の割合が高くなっています。



### (6) パソコン・インターネットに関すること

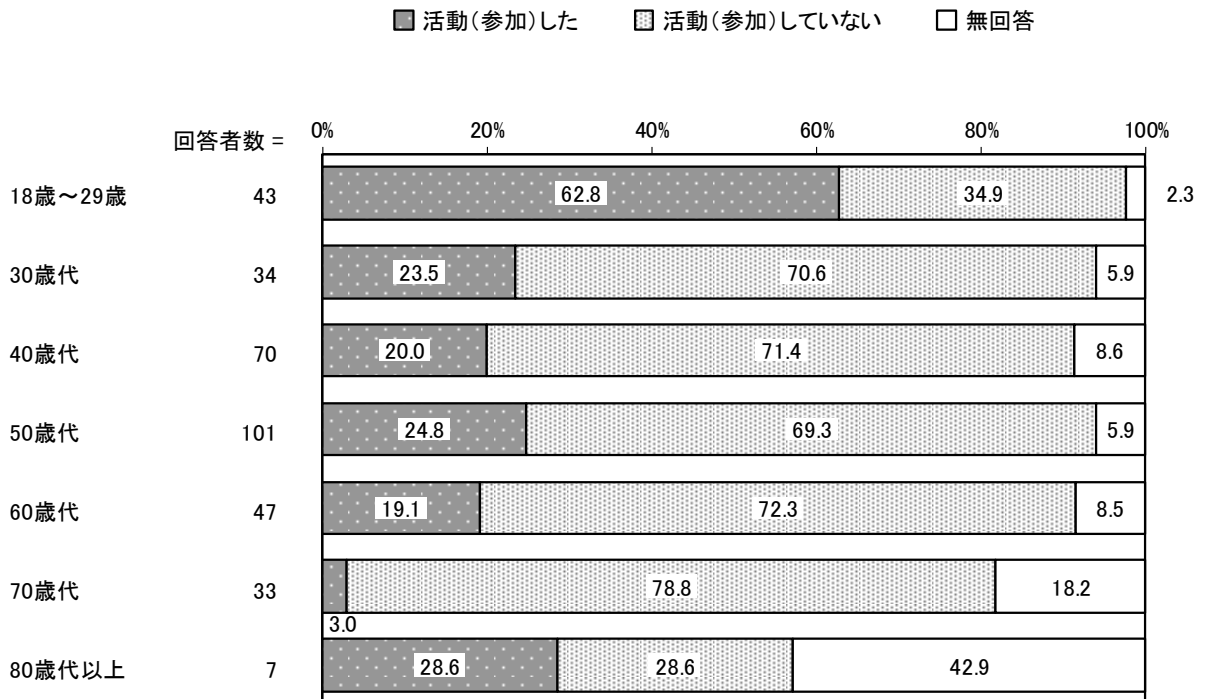
#### 【経年比較】

前回調査と比較すると、「活動（参加）した」の割合が増加しています。



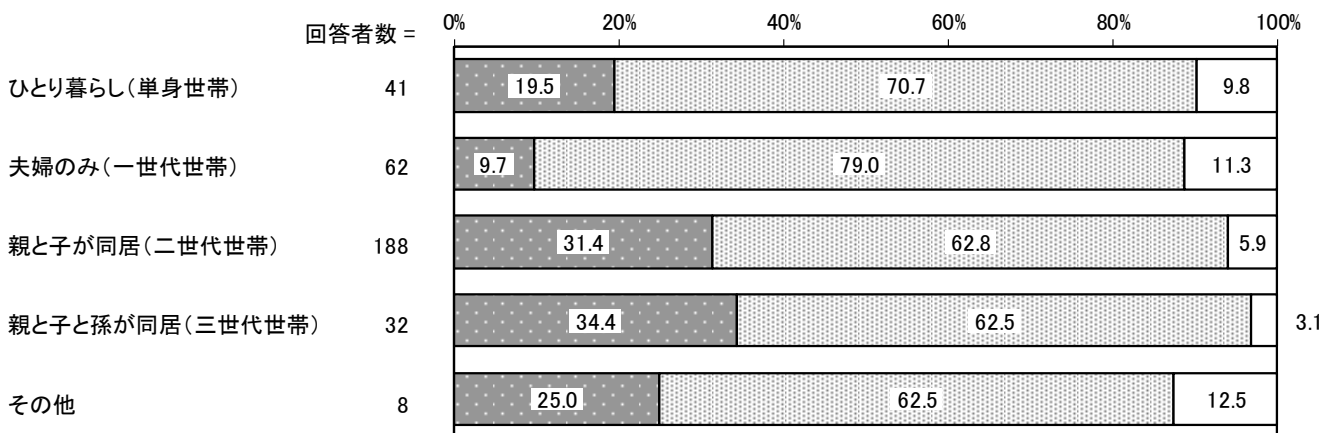
### 【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、18歳～29歳で「活動（参加）した」の割合が、70歳代で「活動（参加）していない」の割合が高くなっています。



### 【家族構成別】

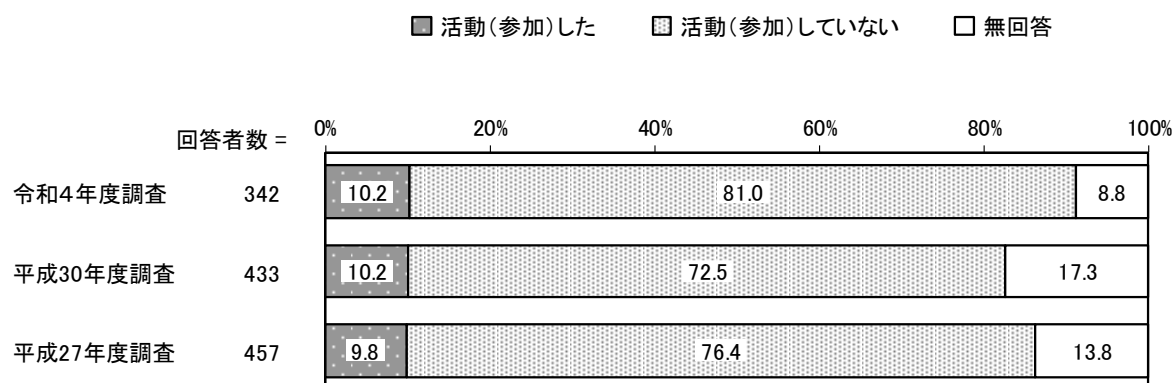
家族構成別で見ると、他に比べ、親と子が同居（二世帯世帯）、親と子と孫が同居（三世帯世帯）で「活動（参加）した」の割合が、夫婦のみ（一世帯世帯）で「活動（参加）していない」の割合が高くなっています。



## (7) ボランティア活動やそのために必要な知識・技能

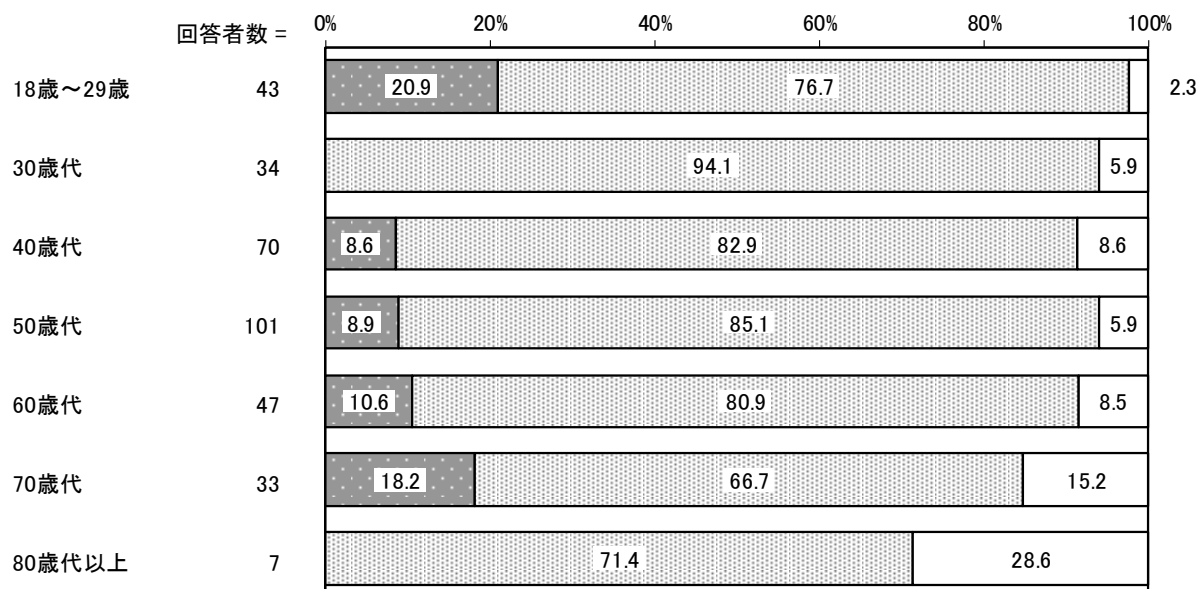
### 【経年比較】

前回調査と比較すると、「活動（参加）していない」の割合が増加しています。



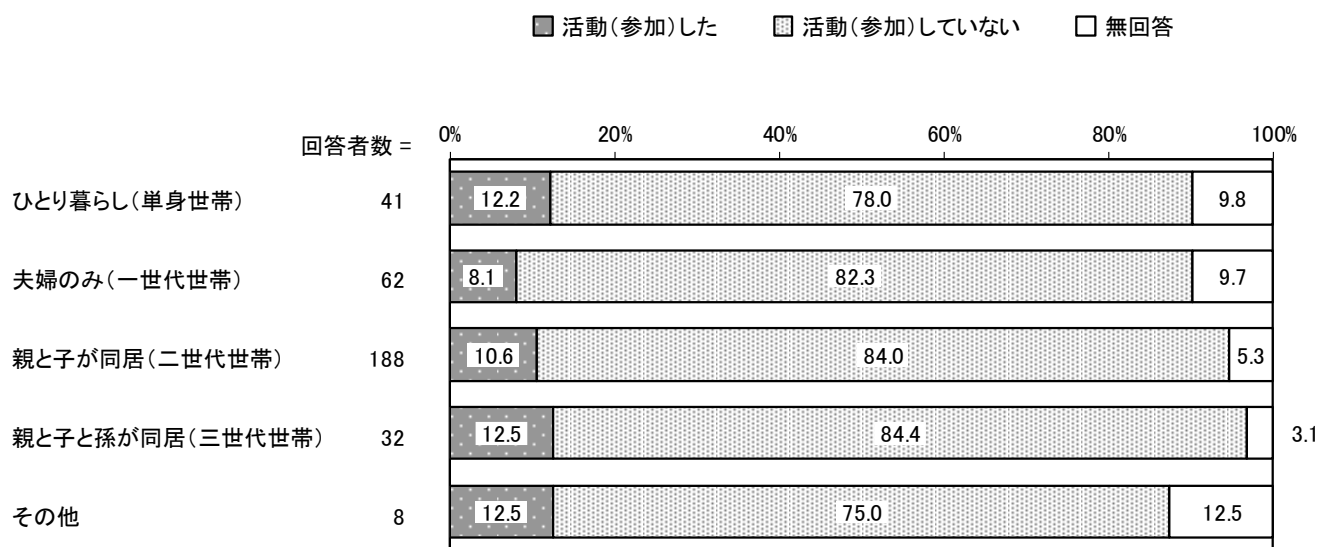
### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳、70歳代で「活動（参加）した」の割合が、30歳代で「活動（参加）していない」の割合が高くなっています。



### 【家族構成別】

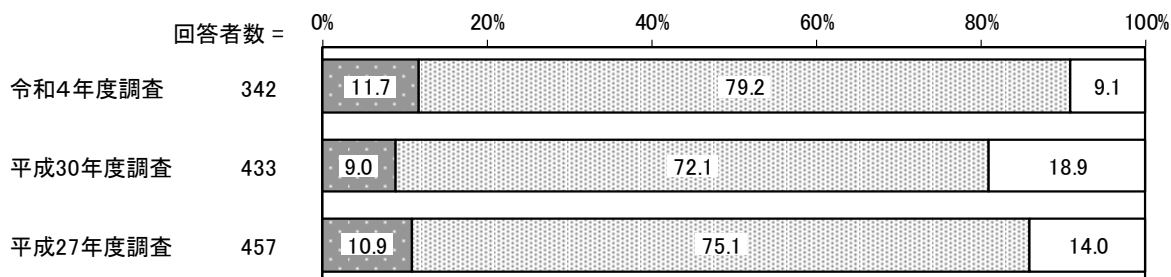
家族構成別で見ると、大きな差異はみられません。



### (8) 自然体験や生活体験などの体験活動

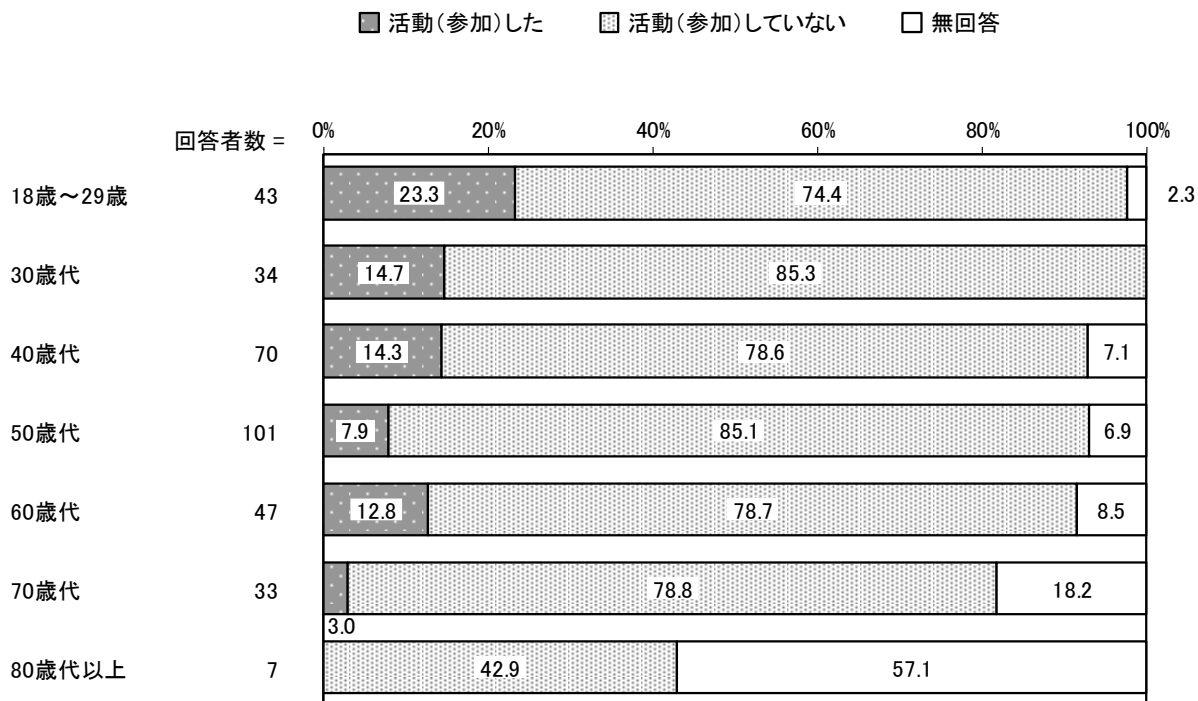
#### 【経年比較】

前回調査と比較すると、「活動(参加)していない」の割合が増加しています。



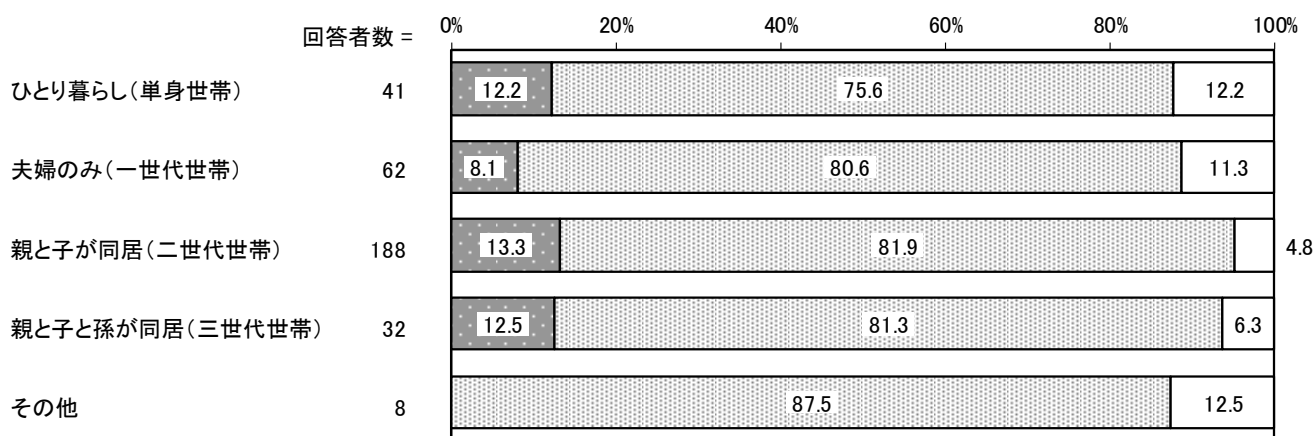
### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で「活動（参加）した」の割合が、30歳代、50歳代で「活動（参加）していない」の割合が高くなっています。



### 【家族構成別】

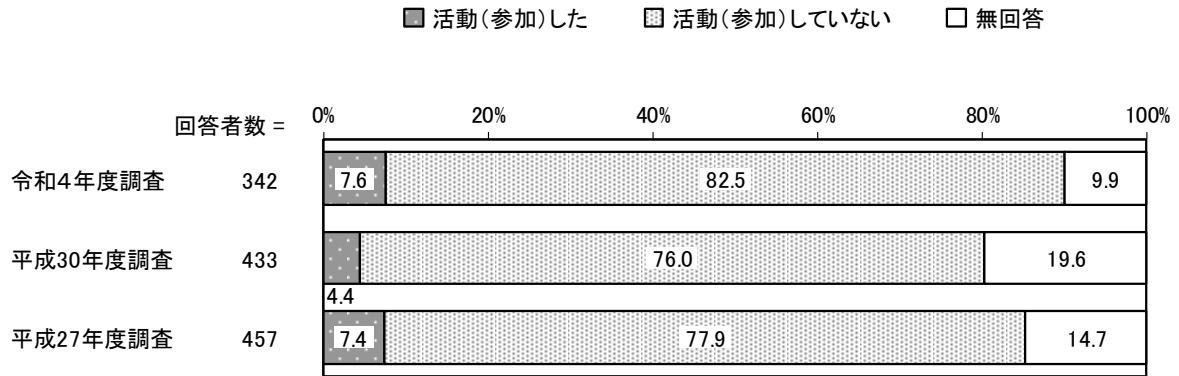
家族構成別でみると、大きな差異はみられません。



(9) 学校（識字学校・夜間中学校・高等・専修・各種学校、大学、大学院など）の正規課程での学習

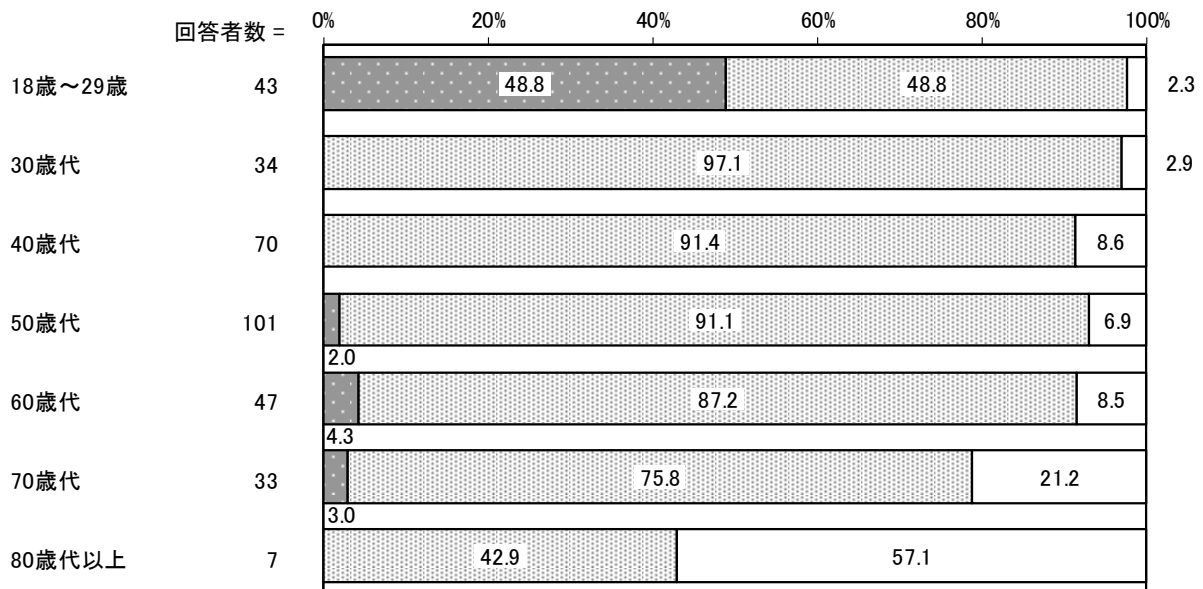
【経年比較】

前回調査と比較すると、「活動（参加）していない」の割合が増加しています。



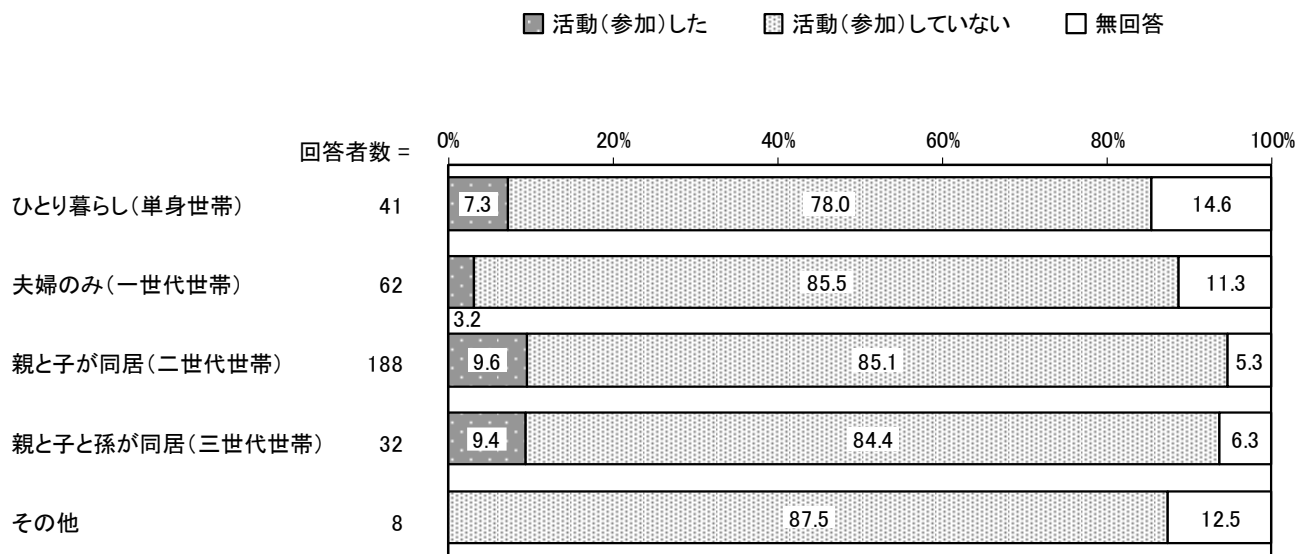
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で「活動（参加）した」の割合が、30歳代で「活動（参加）していない」の割合が高くなっています。



## 【家族構成別】

家族構成別で見ると、大きな差異はみられません。





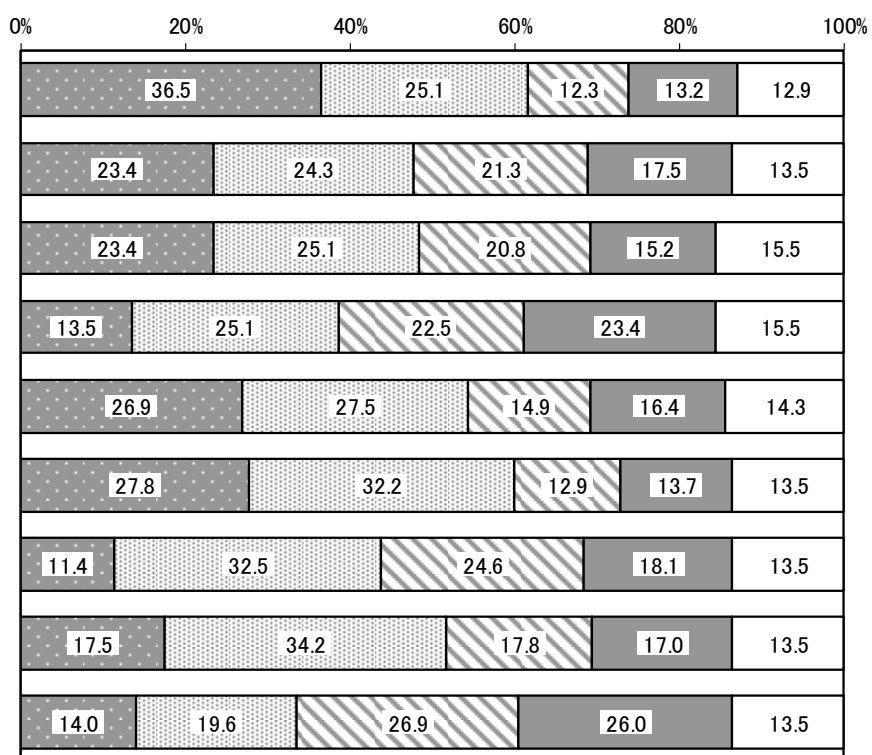
## 今後してみたいか

「してみたい」と「どちらかといえば、してみたい」をあわせた“**してみたい**”（以下、“**してみたい**”という。）の割合が高いのは『(1) 趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道、陶芸など）』『(6) パソコン・インターネットに関すること』で、「どちらかといえば、したくない」と「したくない」をあわせた“**したくない**”（以下、“**したくない**”という。）の割合が高いのは『(9) 学校（識字学校・夜間中学校・高等・専修・各種学校、大学、大学院など）の正規課程での学習』となっています。

- してみたい
- どちらかといえば、してみたい
- どちらかといえば、したくない
- したくない
- 無回答

回答者数 = 342

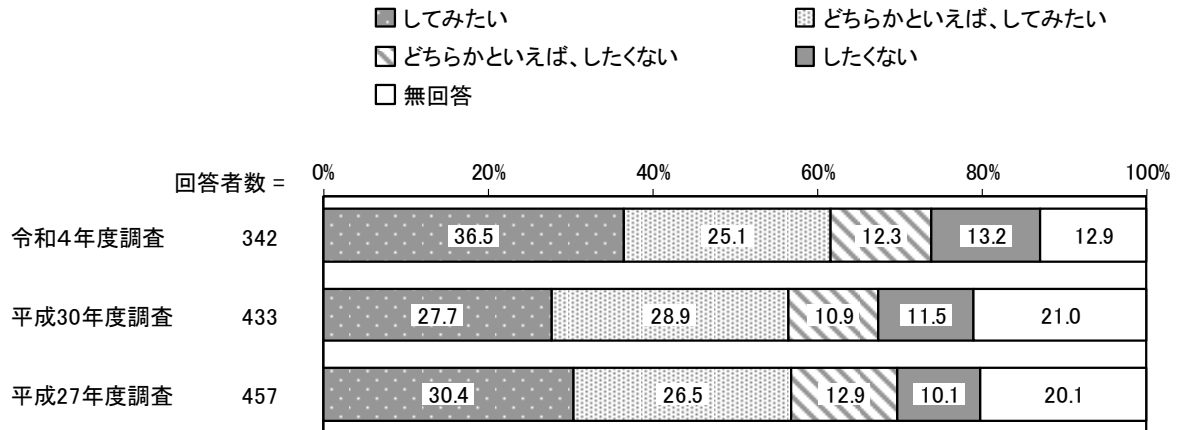
- (1) 趣味的なもの  
（音楽、美術、華道、舞踊、書道、陶芸など）
- (2) 教養的なもの（文学、歴史、科学、語学、社会問題など）
- (3) 家庭生活に役立つ技能  
（料理、洋裁、和裁、編み物など）
- (4) 育児・教育  
（幼児教育、教育問題など）
- (5) 職業上必要な知識・技能  
（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）
- (6) パソコン・インターネットに関すること
- (7) ボランティア活動やそのために必要な知識・技能
- (8) 自然体験や生活体験などの体験活動
- (9) 学校（識字学校・夜間中学校・高等・専修・各種学校、大学、大学院など）の正規課程での学習



(1) 趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道、陶芸など）

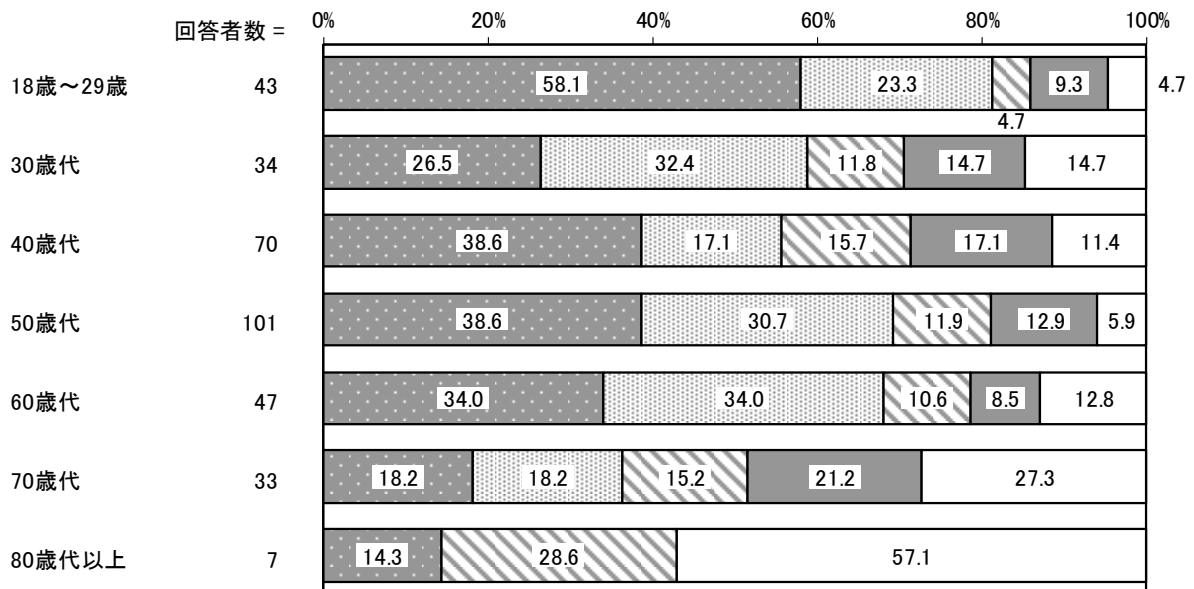
【経年比較】

前回調査と比較すると、“してみたい”の割合が増加しています。



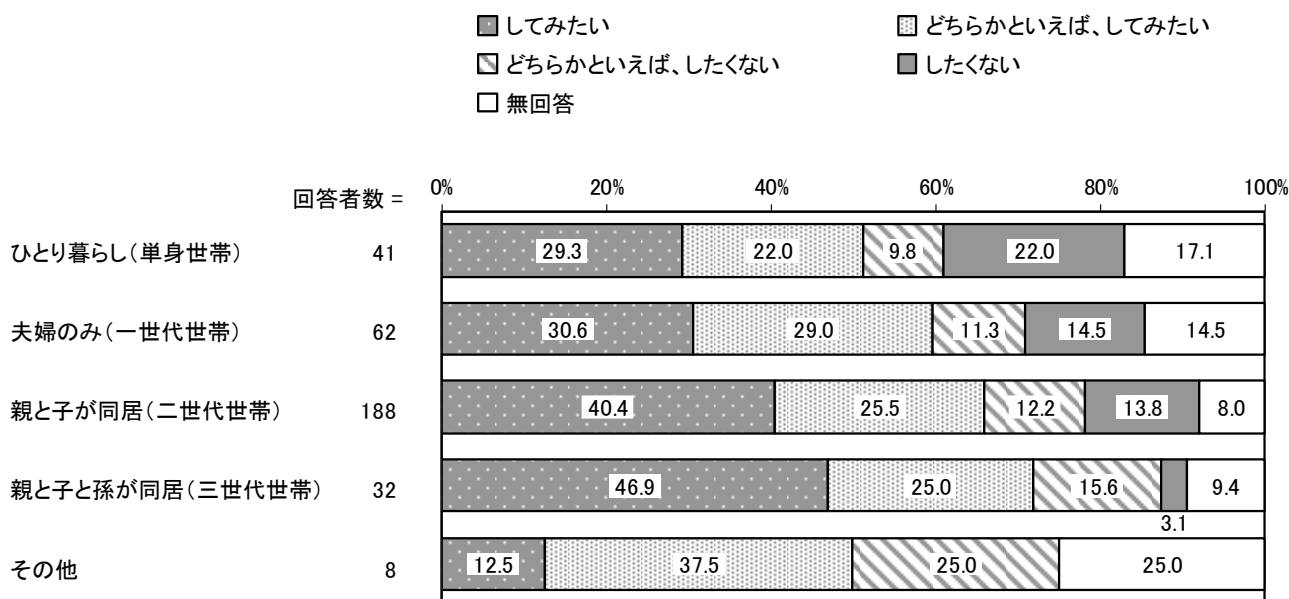
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で“してみたい”の割合が、40歳代、70歳代で“したくない”の割合が高くなっています。



### 【家族構成別】

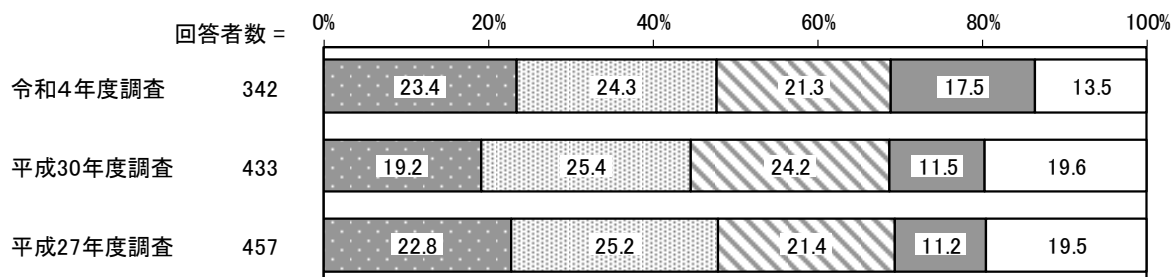
家族構成別で見ると、他に比べ、親と子と孫が同居（三世代世帯）で“してみたい”の割合が、ひとり暮らし（単身世帯）で“したくない”の割合が高くなっています。



### (2) 教養的なもの（文学、歴史、科学、語学、社会問題など）

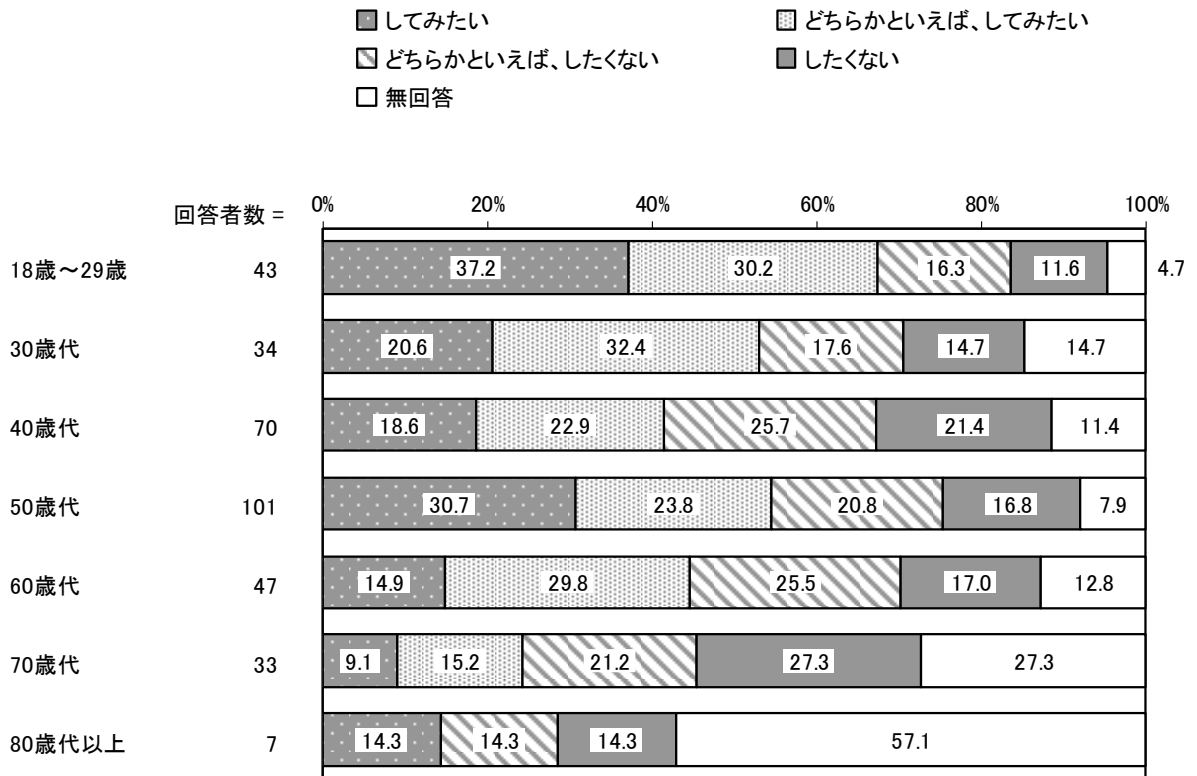
#### 【経年比較】

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



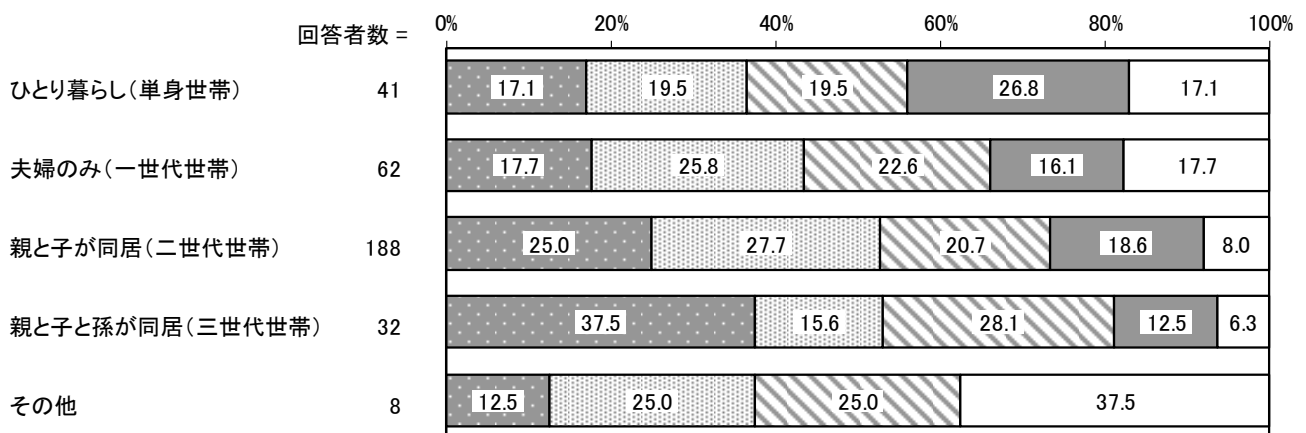
### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で“してみたい”の割合が高くなっています。



### 【家族構成別】

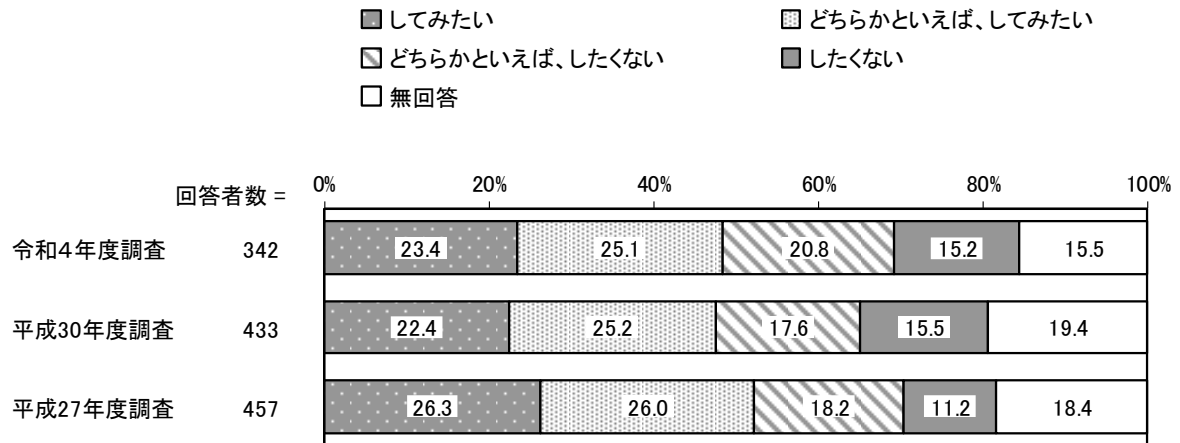
家族構成別でみると、他に比べ、親と子が同居（二世帯世帯）、親と子と孫が同居（三世帯世帯）で“してみたい”の割合が、ひとり暮らし（単身世帯）で“したくない”の割合が高くなっています。



(3) 家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など）

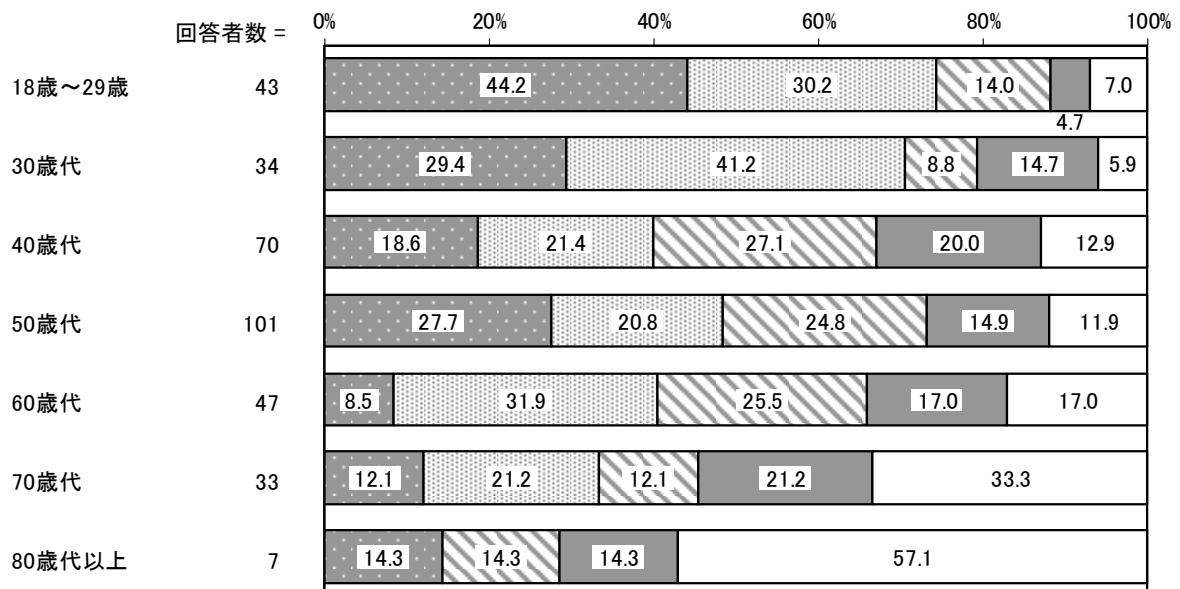
【経年比較】

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



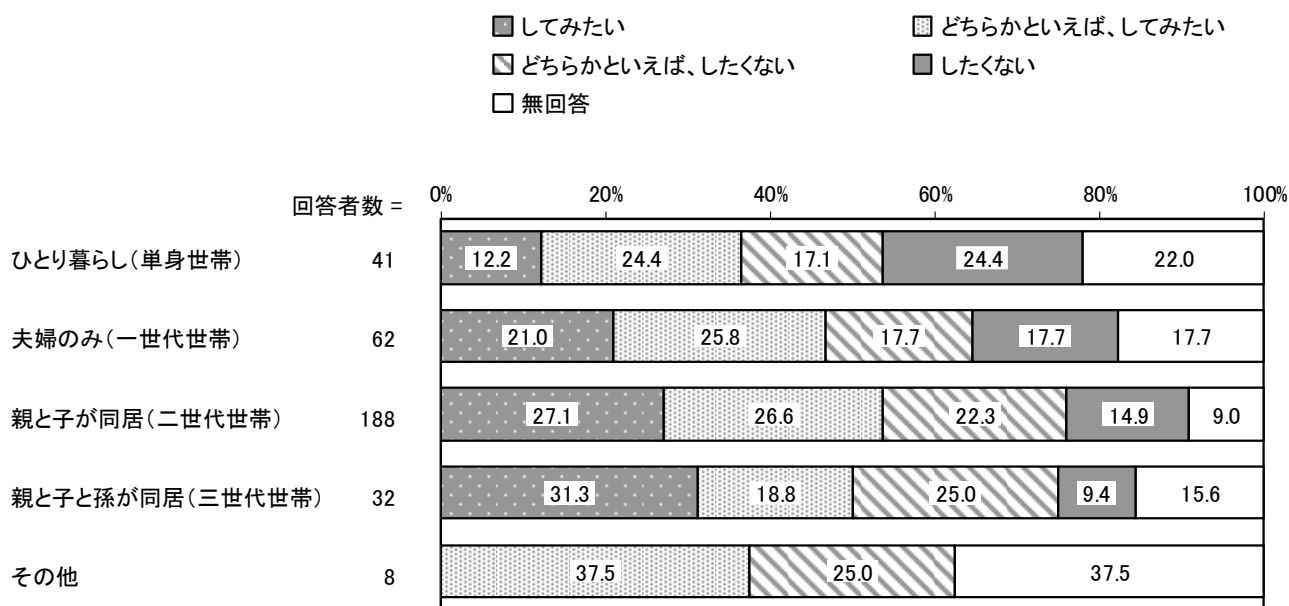
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳、30歳代で“してみたい”の割合が高くなっています。



### 【家族構成別】

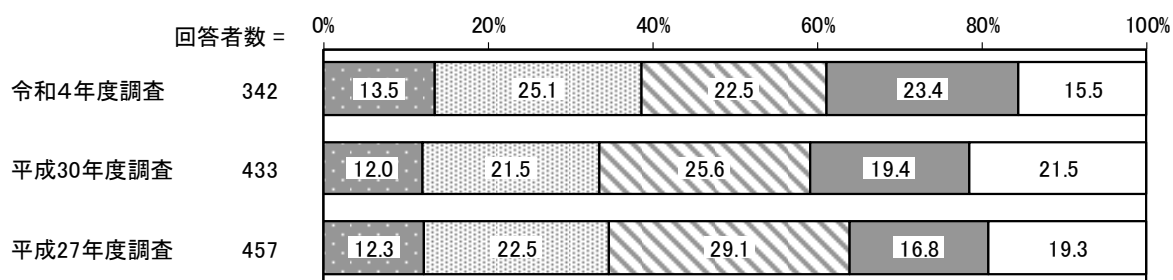
家族構成別で見ると、他に比べ、親と子が同居（二世世代世帯）で“してみたい”の割合が高くなっています。



### (4) 育児・教育（幼児教育、教育問題など）

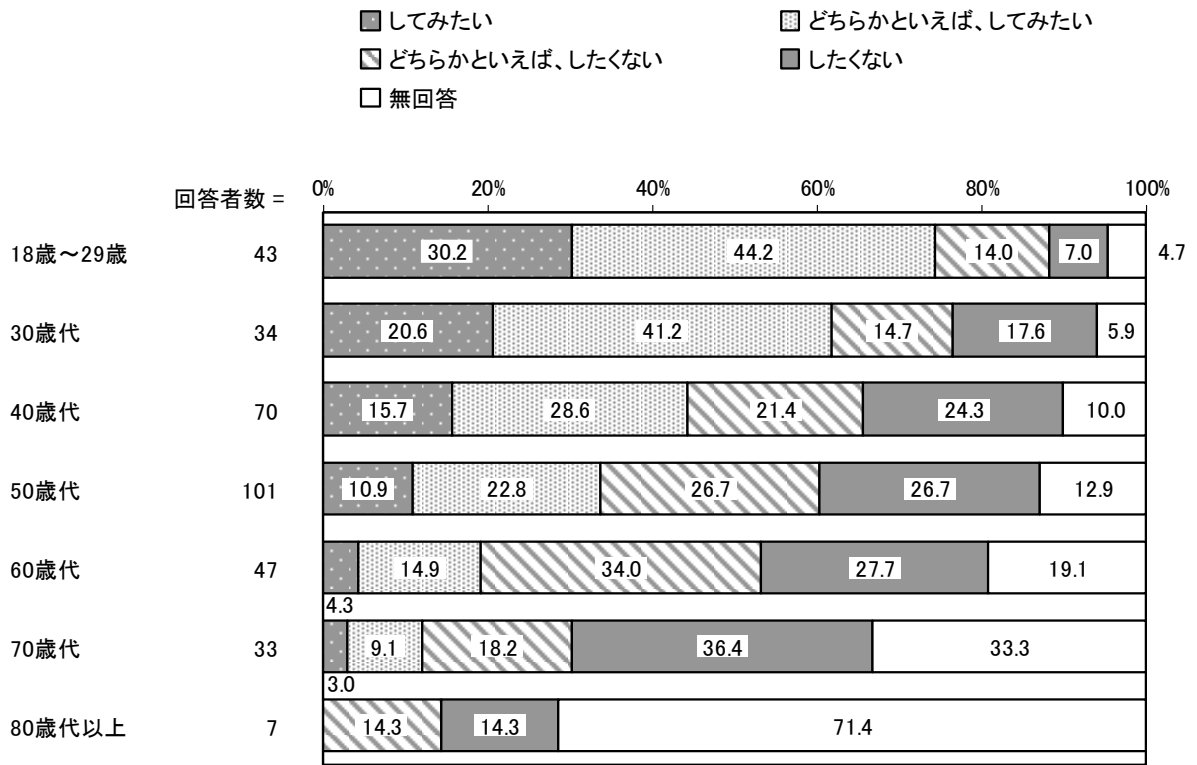
#### 【経年比較】

前回調査と比較すると、“してみたい”の割合が増加しています。



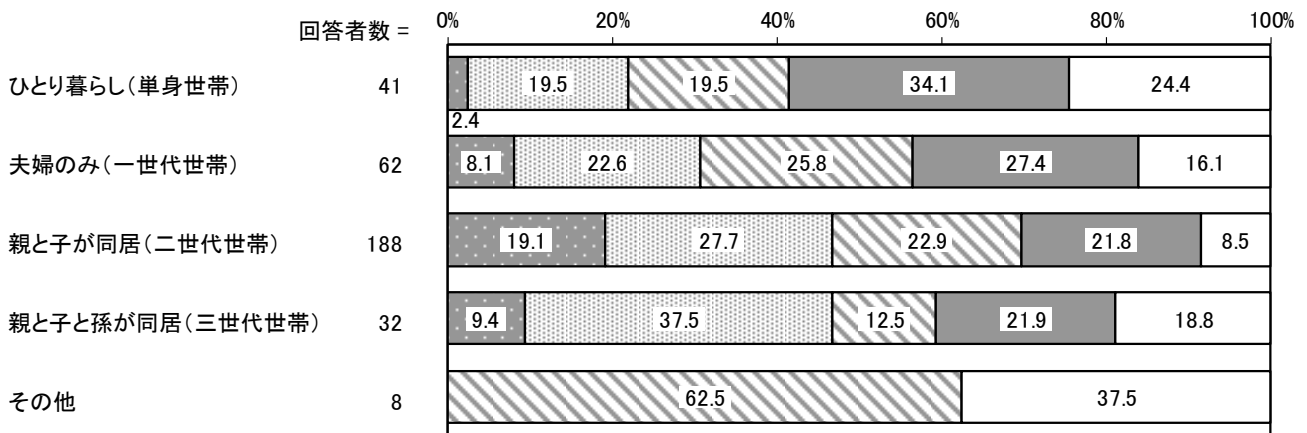
### 【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、18歳～29歳で“してみたい”の割合が、60歳代で“したくない”の割合が高くなっています。



### 【家族構成別】

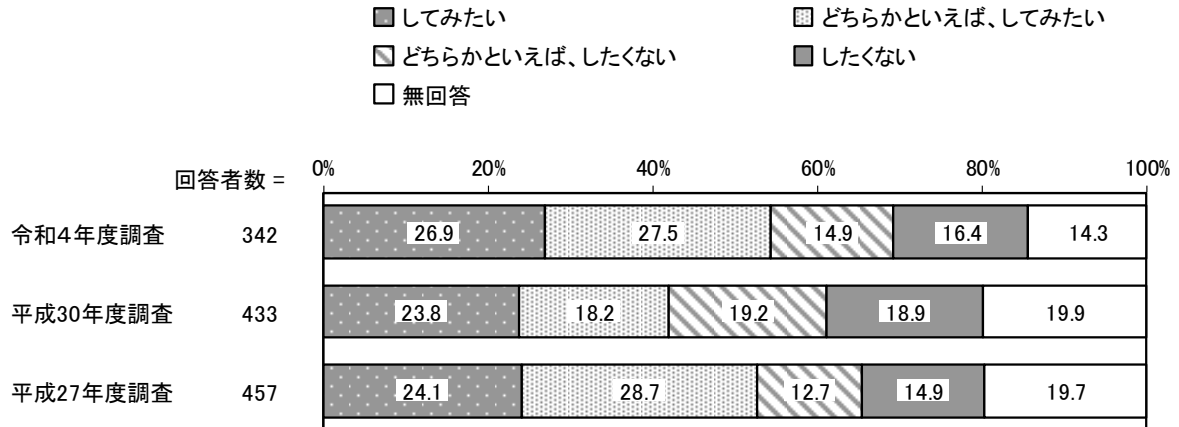
家族構成別で見ると、他に比べ、親と子が同居（二世帯世帯）、親と子と孫が同居（三世帯世帯）で“してみたい”の割合が、ひとり暮らし（単身世帯）、夫婦のみ（一世帯世帯）で“したくない”の割合が高くなっています。



(5) 職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）

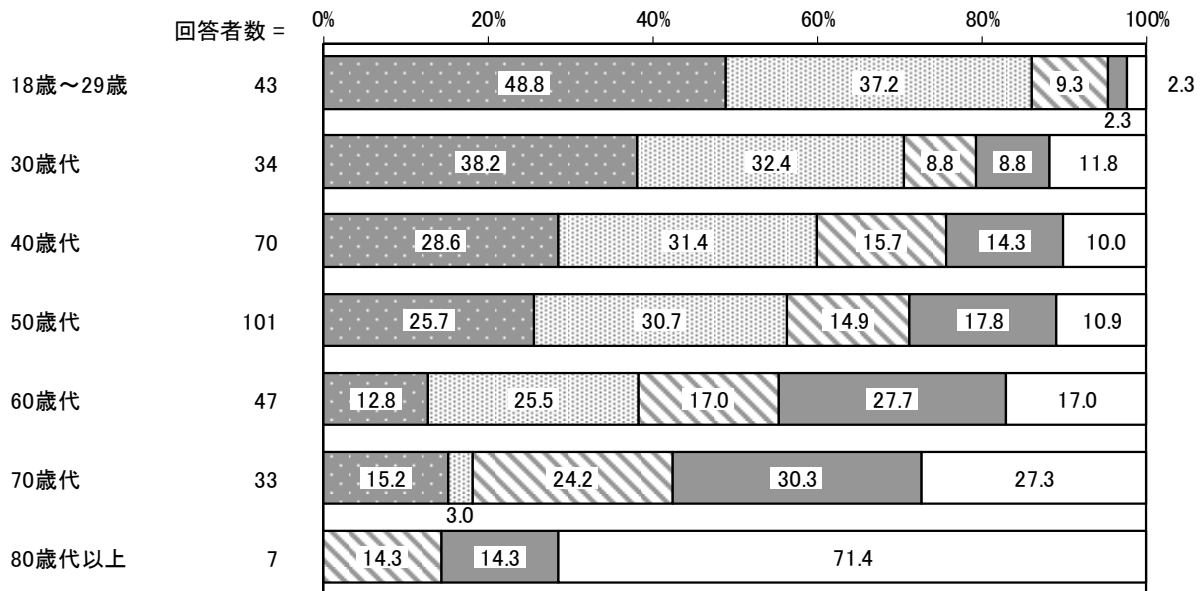
【経年比較】

前回調査と比較すると、“してみたい”の割合が増加しています。



【年齢別】

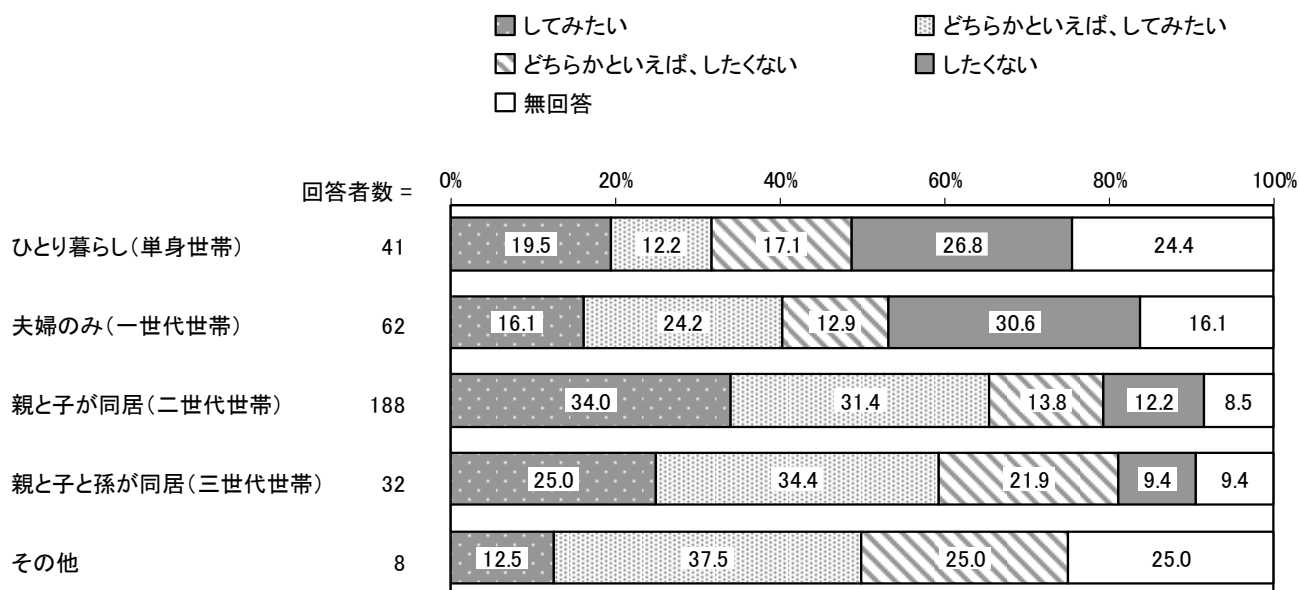
年齢別で見ると、他に比べ、18歳～29歳で“してみたい”の割合が、70歳代で“したくない”の割合が高くなっています。





### 【家族構成別】

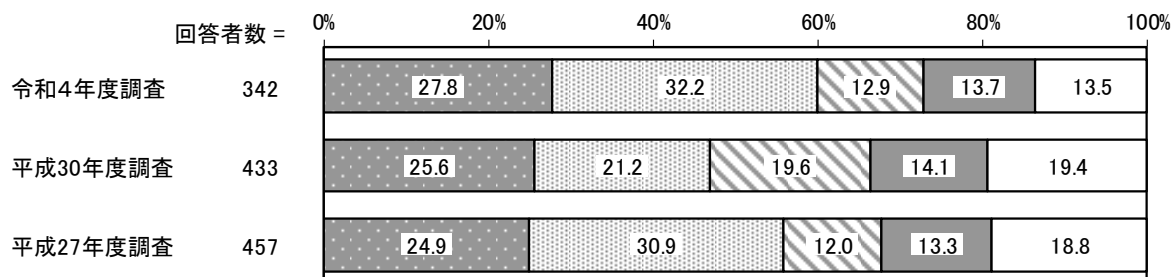
家族構成別で見ると、他に比べ、親と子が同居（二世世代世帯）で“してみたい”の割合が、ひとり暮らし（単身世帯）、夫婦のみ（一世世代世帯）で“したくない”の割合が高くなっています。



### (6) パソコン・インターネットに関すること

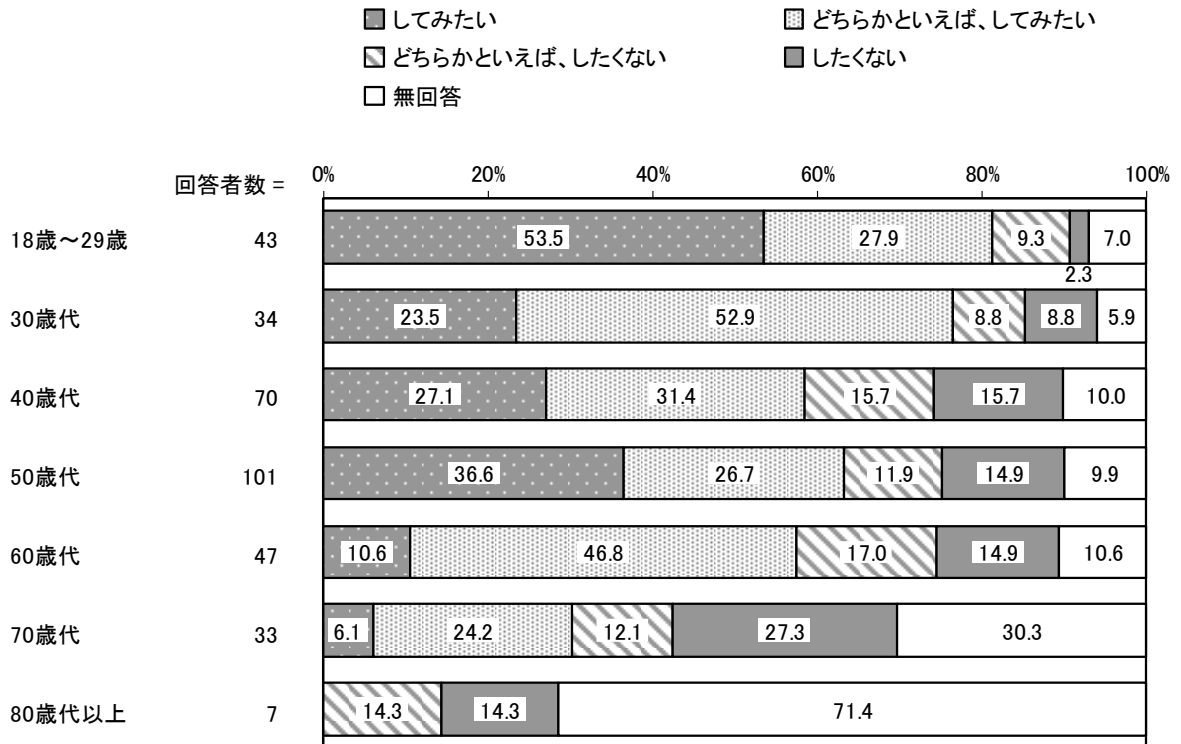
#### 【経年比較】

前回調査と比較すると、“してみたい”の割合が増加しています。



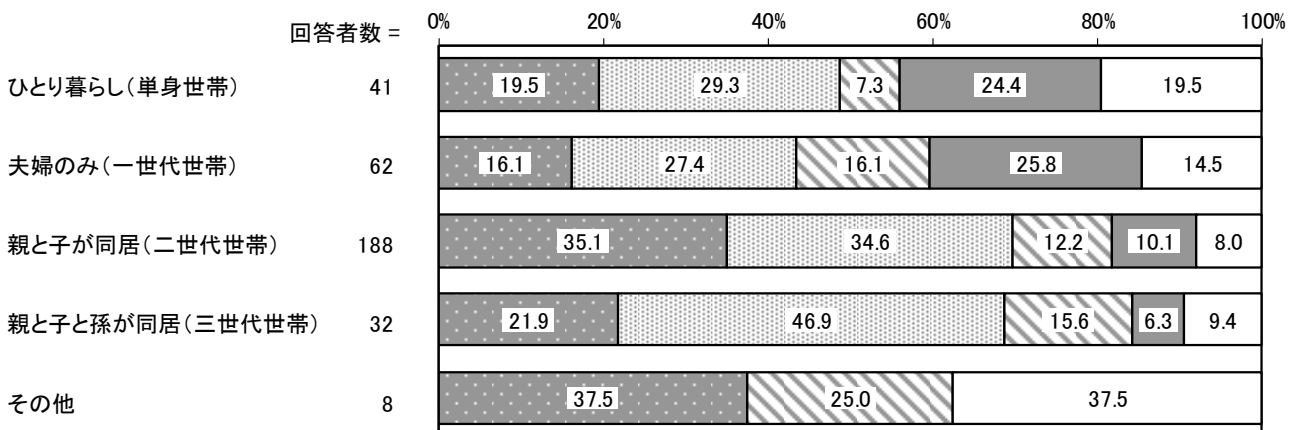
### 【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、18歳～29歳で“してみたい”の割合が、70歳代で“したくない”の割合が高くなっています。



### 【家族構成別】

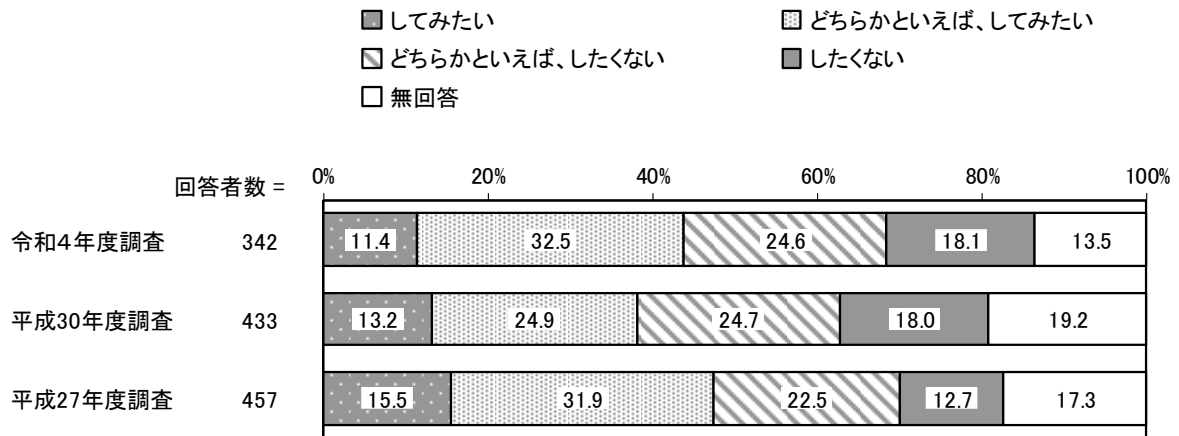
家族構成別で見ると、他に比べ、親と子が同居（二世帯世帯）、親と子と孫が同居（三世帯世帯）で“してみたい”の割合が、夫婦のみ（一世帯世帯）で“したくない”の割合が高くなっています。



(7) ボランティア活動やそのために必要な知識・技能

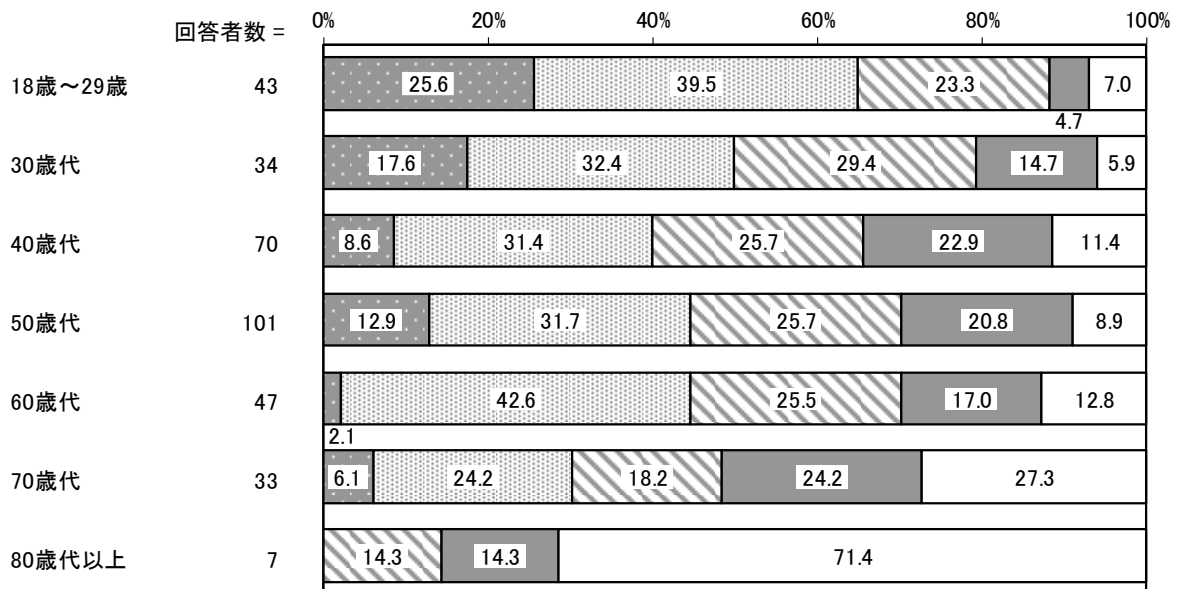
【経年比較】

前回調査と比較すると、“してみたい”の割合が増加しています。



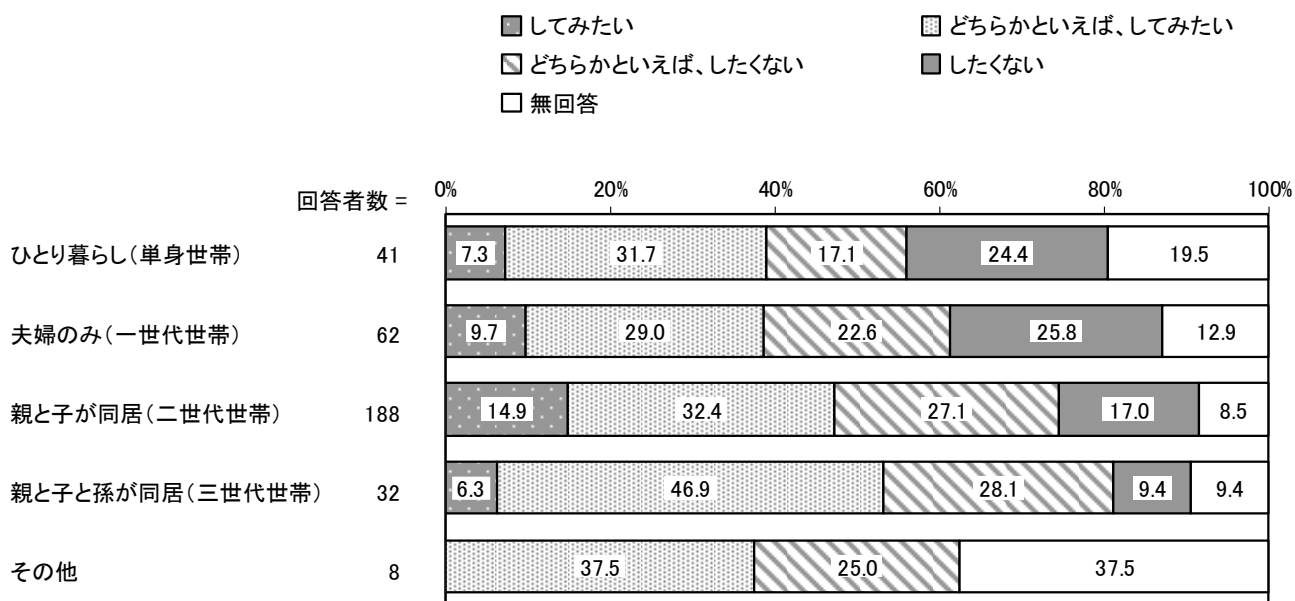
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で“してみたい”の割合が高くなっています。



### 【家族構成別】

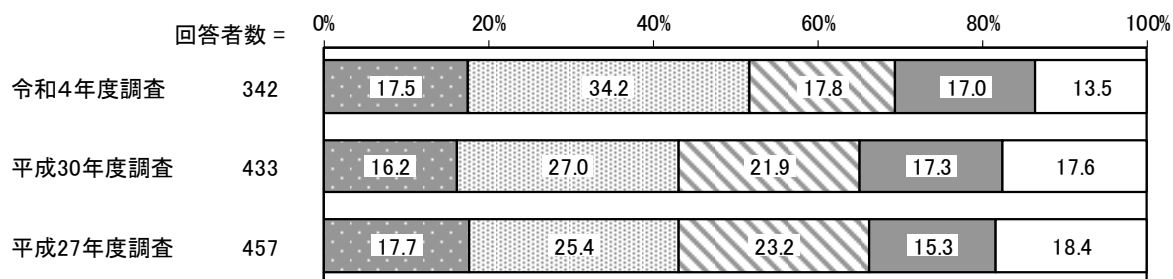
家族構成別で見ると、他に比べ、親と子と孫が同居（三世代世帯）で“してみたい”の割合が高くなっています。



### (8) 自然体験や生活体験などの体験活動

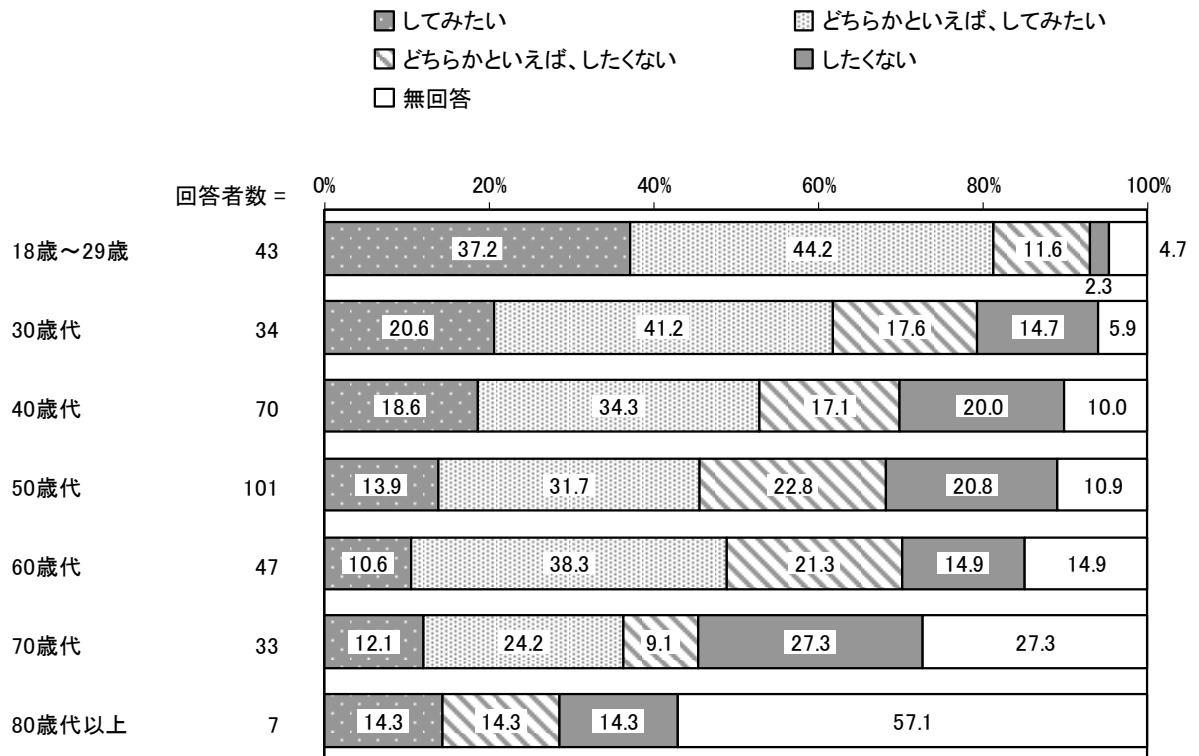
#### 【経年比較】

前回調査と比較すると、“してみたい”の割合が増加しています。



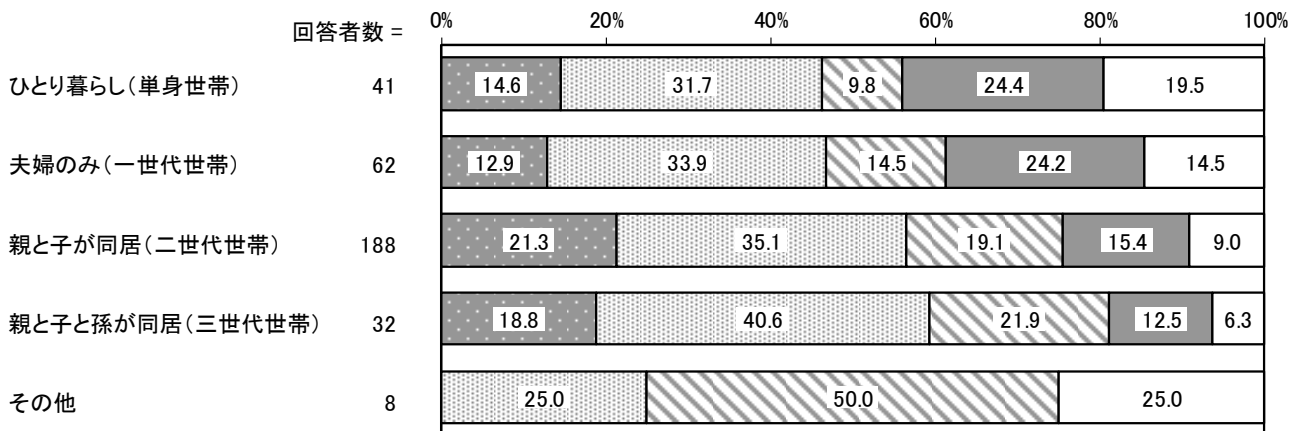
### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で“してみたい”の割合が、50歳代で“したくない”の割合が高くなっています。



### 【家族構成別】

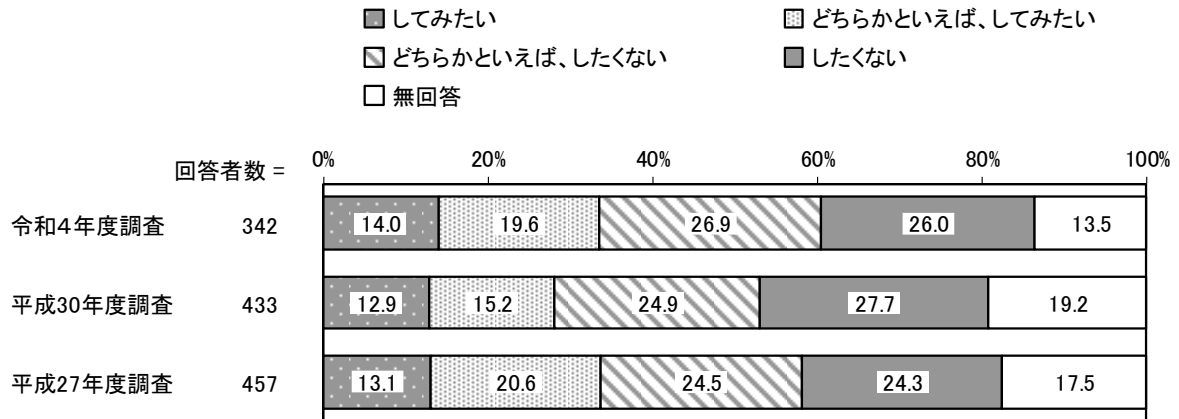
家族構成別でみると、他に比べ、親と子が同居（二世帯世帯）、親と子と孫が同居（三世帯世帯）で“してみたい”の割合が高くなっています。



(9) 学校（識字学校・夜間中学校・高等・専修・各種学校、大学、大学院など）の正規課程での学習

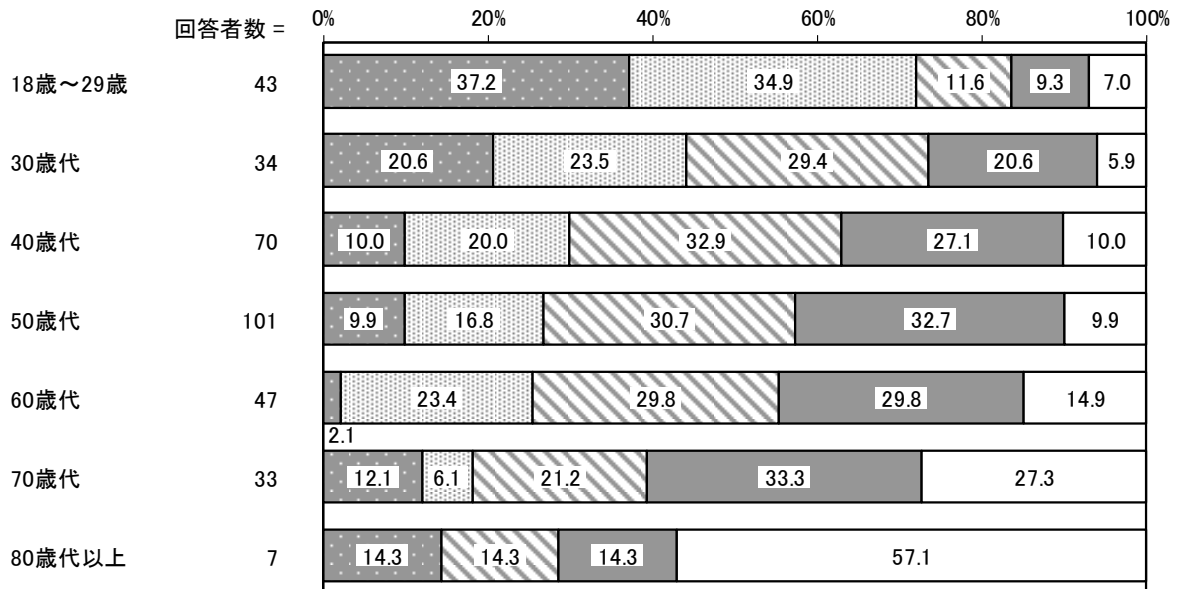
【経年比較】

前回調査と比較すると、“してみたい”の割合が増加しています。



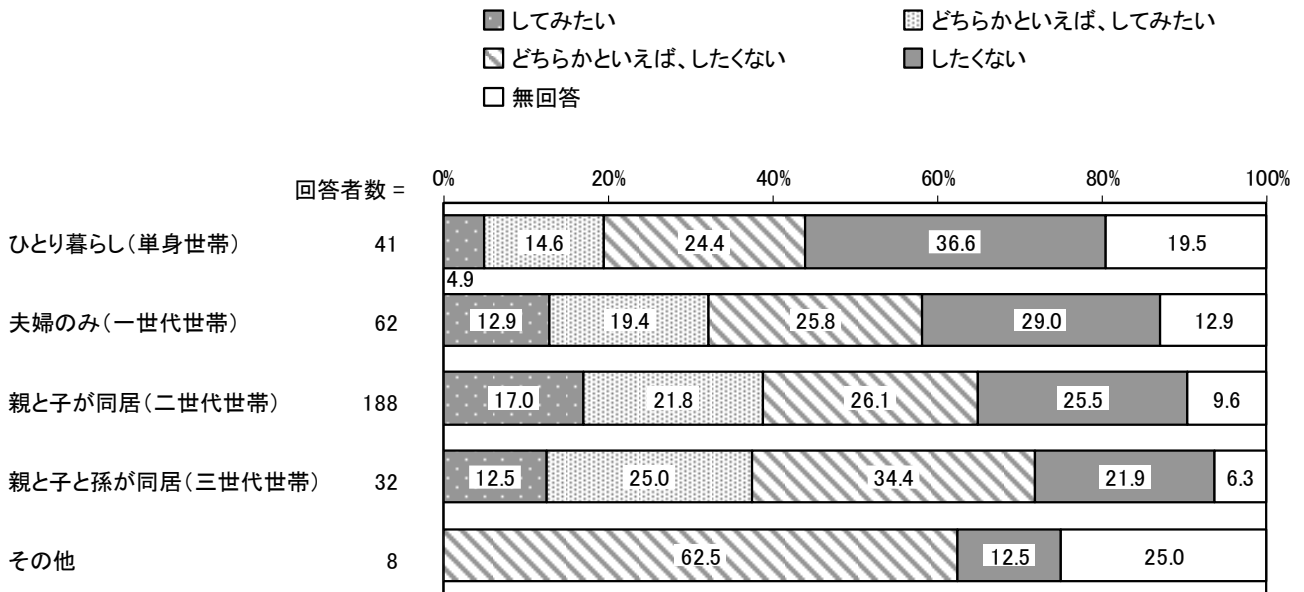
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で“してみたい”の割合が高くなっています。



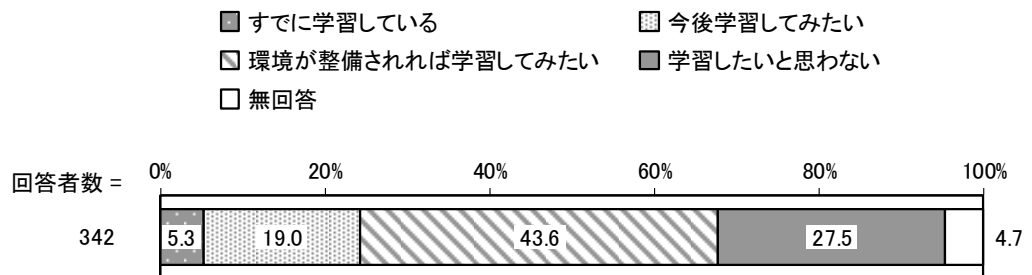
【家族構成別】

家族構成別で見ると、他に比べ、親と子が同居（二世帯世帯）、親と子と孫が同居（三世帯世帯）で“してみたい”の割合が高くなっています。



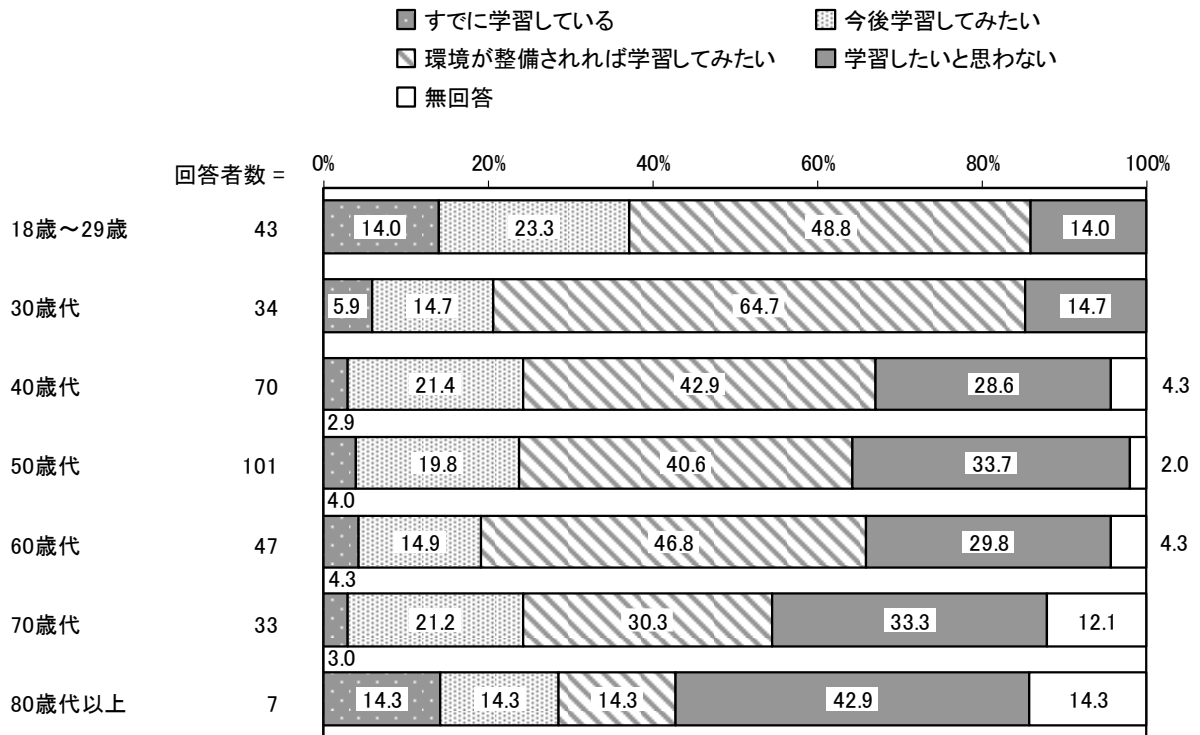
問 17 学びなおしについて リカレント教育や社会人の学び直しが注目されていますが、あなたは今後、教育機関等で学習したいと思いますか。当てはまる番号1つに○印をつけてください。

「環境が整備されれば学習してみたい」の割合が43.6%と最も高く、次いで「学習したいと思わない」の割合が27.5%、「今後学習してみたい」の割合が19.0%となっています。



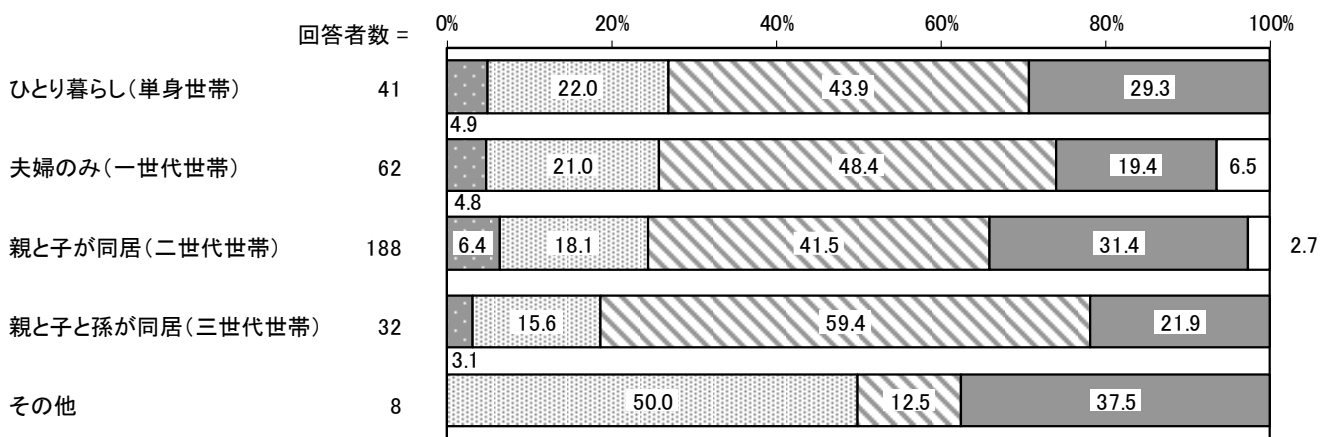
### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で「すでに学習している」の割合が、30歳代で「環境が整備されれば学習してみたい」の割合が高くなっています。



### 【家族構成別】

家族構成別でみると、他に比べ、親と子と孫が同居（三世代世帯）で「環境が整備されれば学習してみたい」の割合が、ひとり暮らし（単身世帯）、親と子が同居（二世帯世帯）で「学習したいと思わない」の割合が高くなっています。





問 18 松原市の生涯学習・文化の現状について 松原市の生涯学習・文化などにおける現在の取組みについて、あなたはどのように感じますか。各項目について、当てはまる番号1つに○印をつけてください。

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”（以下、“そう思う”という。）の割合が高いのは『(7) 図書館のサービスが充実している』で、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」をあわせた“そう思わない”（以下、“そう思わない”という。）の割合が高いのは『(1) 公民館活動が充実している』『(3) 青少年が健全に育つための取組みが十分に行われている』となっています。

- そう思う
- ▨ どちらかといえばそう思う
- ▩ どちらかといえばそう思わない
- そう思わない
- わからない・知らない
- 無回答

回答者数 = 342

(全般) 松原市の生涯学習・文化環境は充実している

(1) 公民館活動が充実している

(2) 市民の人権を尊重する取組みが十分に行われている

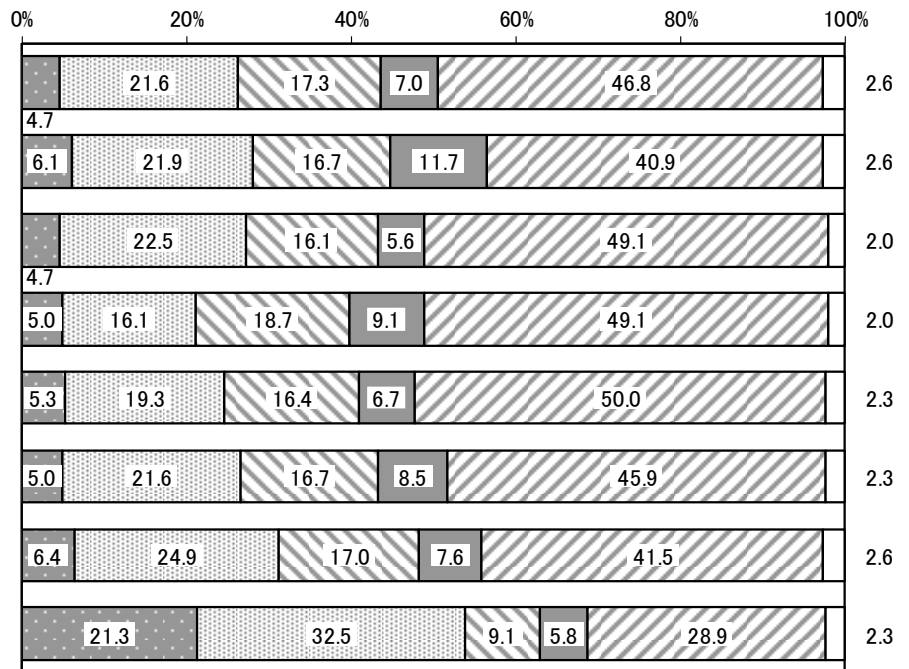
(3) 青少年が健全に育つための取組みが十分に行われている

(4) 郷土の歴史や伝統文化などの文化財の保護・活用が十分に行われている

(5) 市民による文化・芸術活動が盛んである

(6) 健康づくりを楽しむ機会が充実している

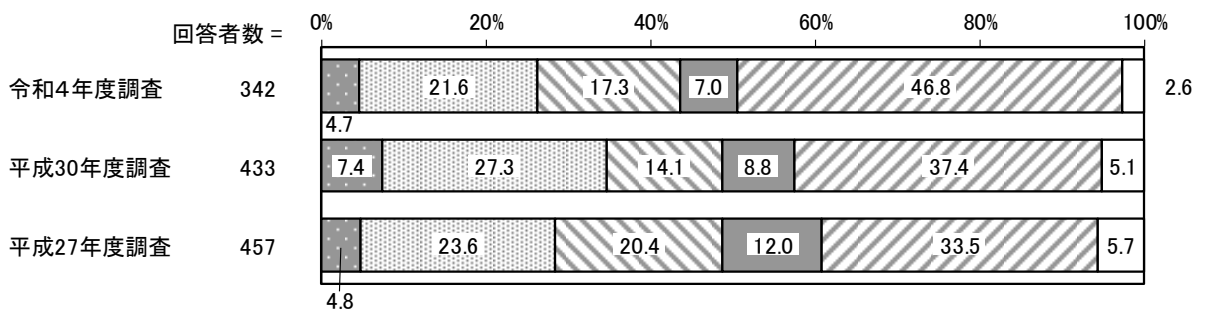
(7) 図書館のサービスが充実している



(全般) 松原市の生涯学習・文化環境は充実している

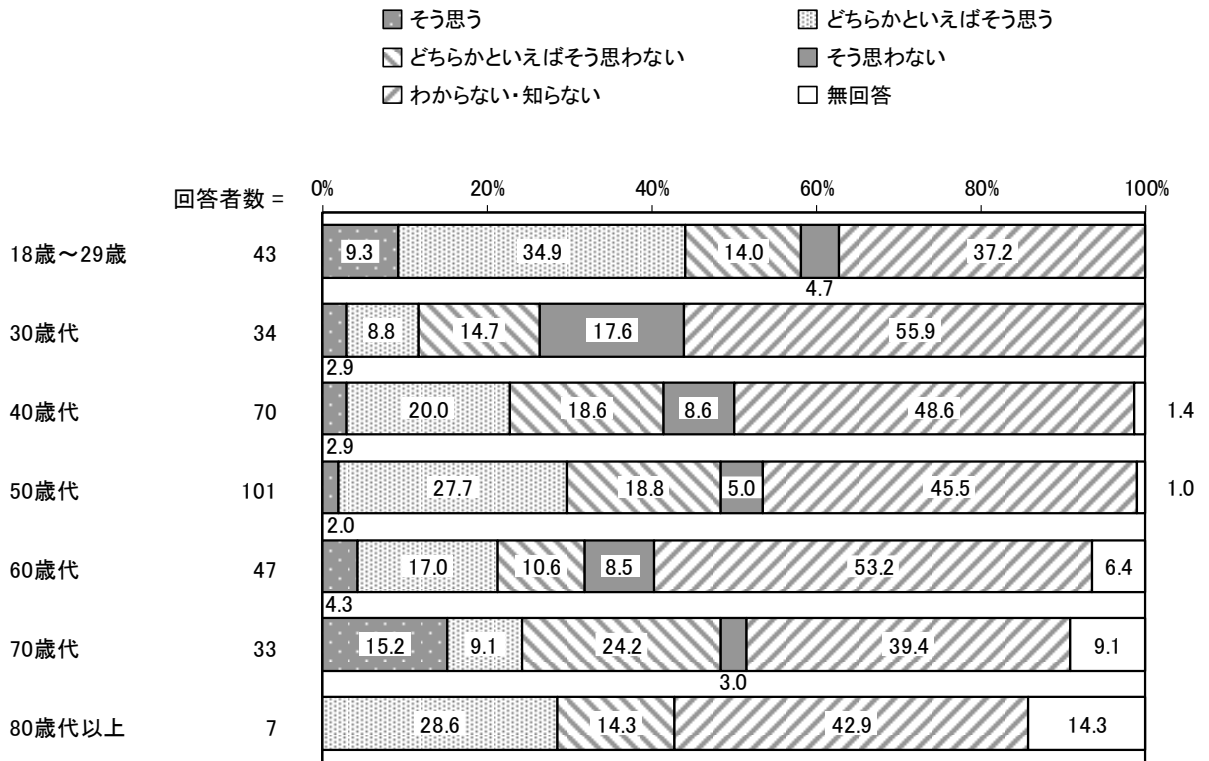
【経年比較】

前回調査と比較すると、“そう思う”の割合が減少しています。



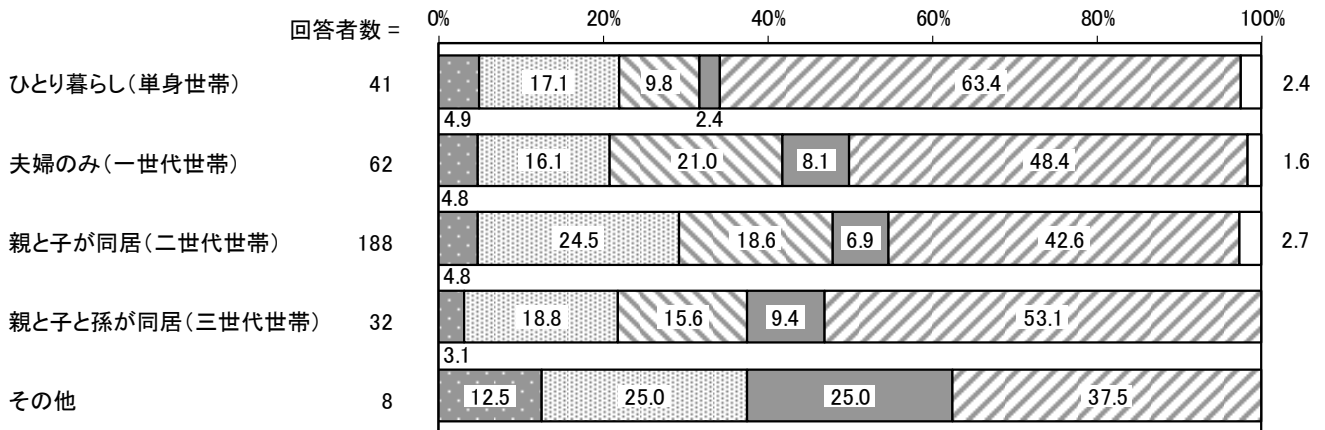
### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で“そう思う”の割合が、30歳代で“そう思わない”の割合が高くなっています。



### 【家族構成別】

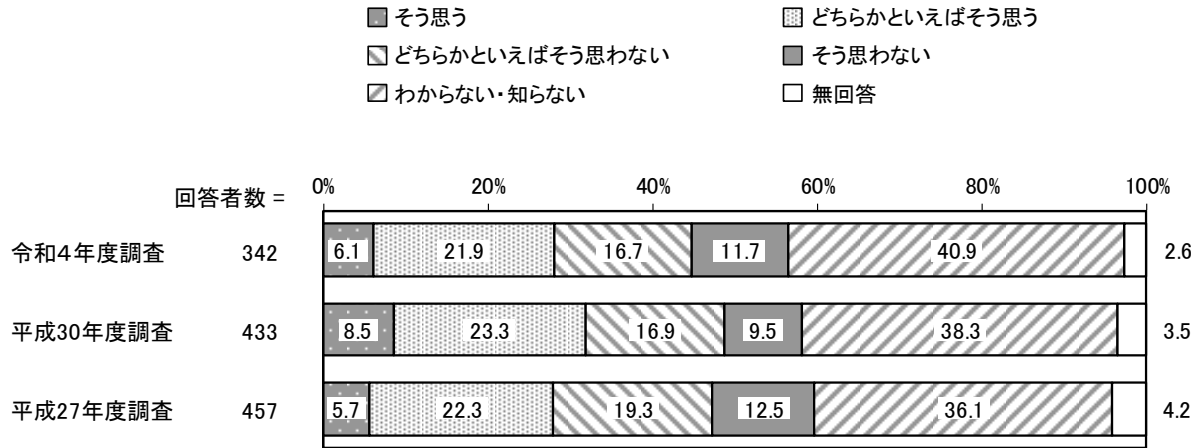
家族構成別でみると、他に比べ、親と子が同居（二世帯世帯）で“そう思う”の割合が高くなっています。



(1) 公民館活動が充実している

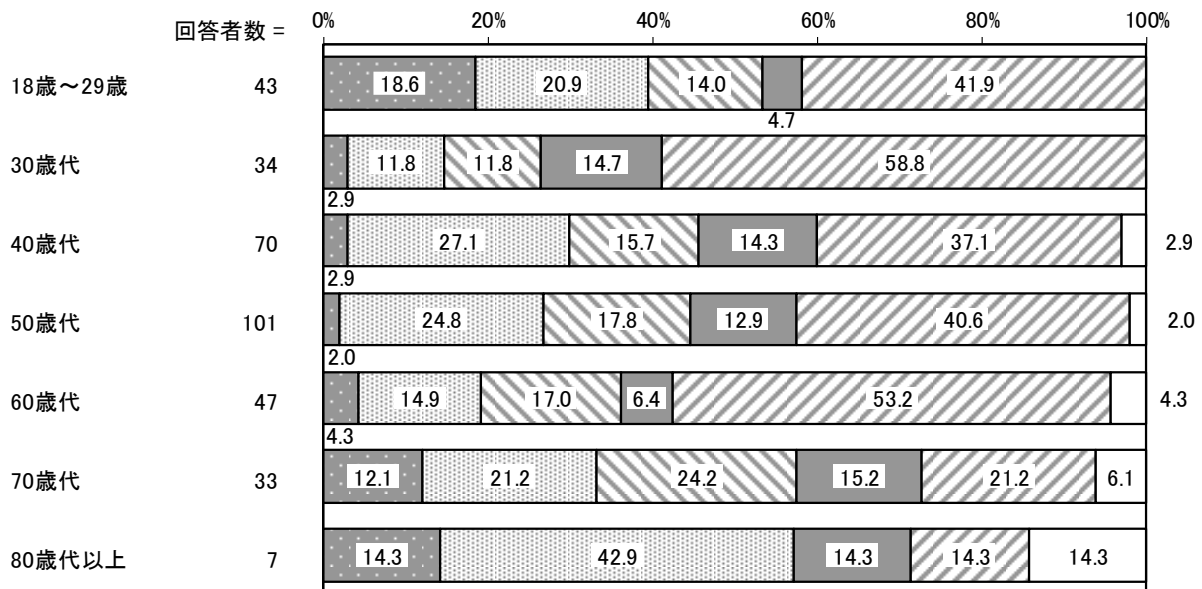
【経年比較】

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



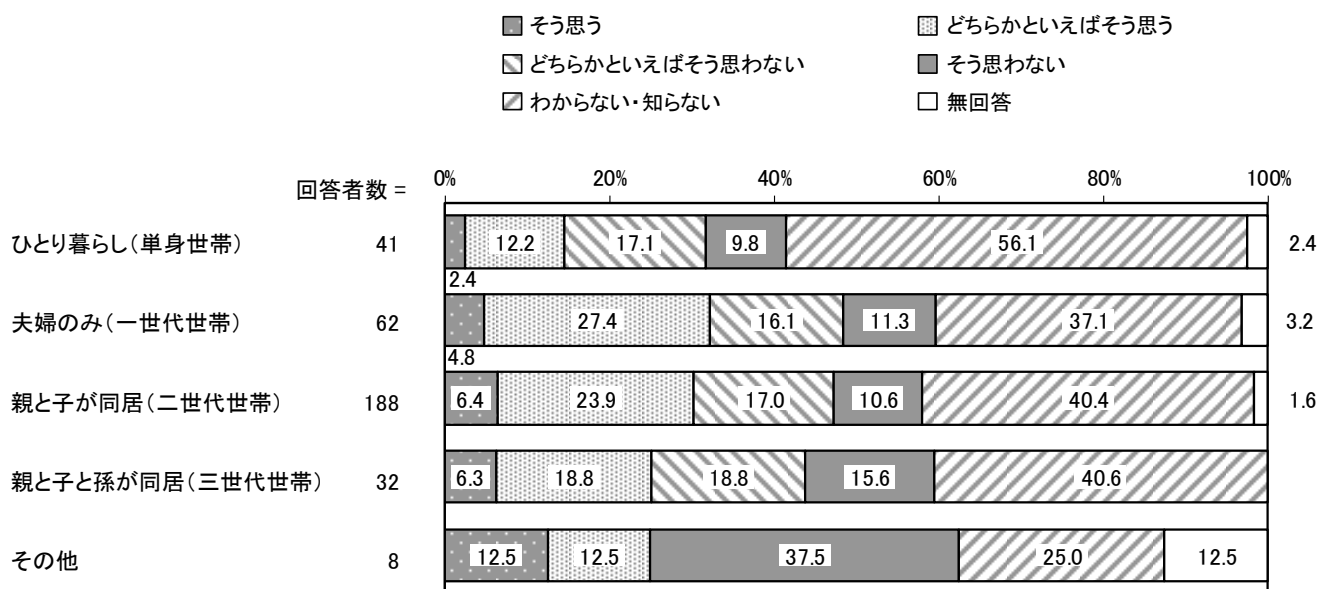
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で“そう思う”の割合が、70歳代で“そう思わない”の割合が高くなっています。



### 【家族構成別】

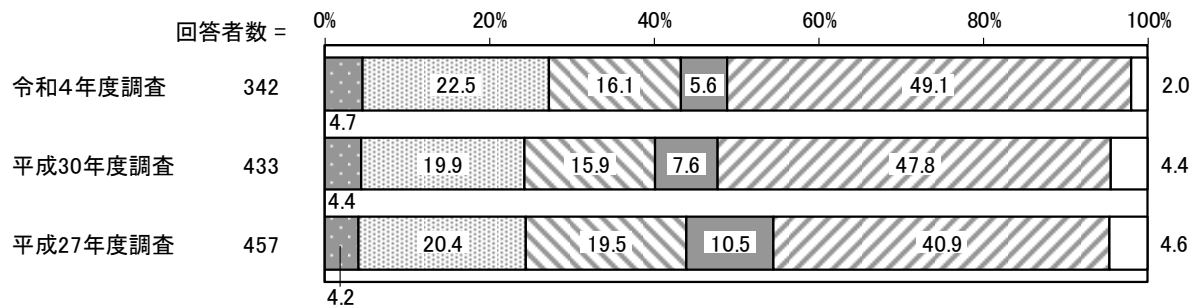
家族構成別で見ると、他に比べ、夫婦のみ（一世代世帯）、親と子が同居（二世代世帯）で“**そう思う**”の割合が、親と子と孫が同居（三世代世帯）で“**そう思わない**”の割合が高くなっています。



### (2) 市民の人権を尊重する取組みが十分に行われている

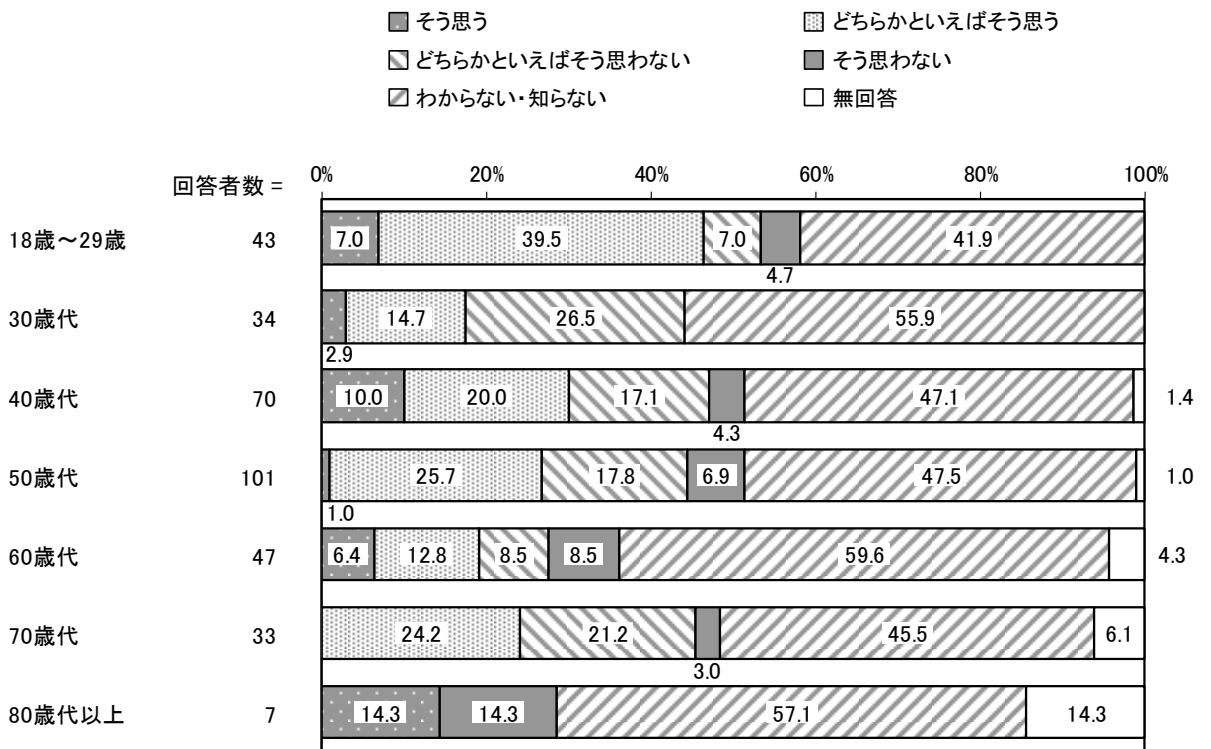
#### 【経年比較】

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



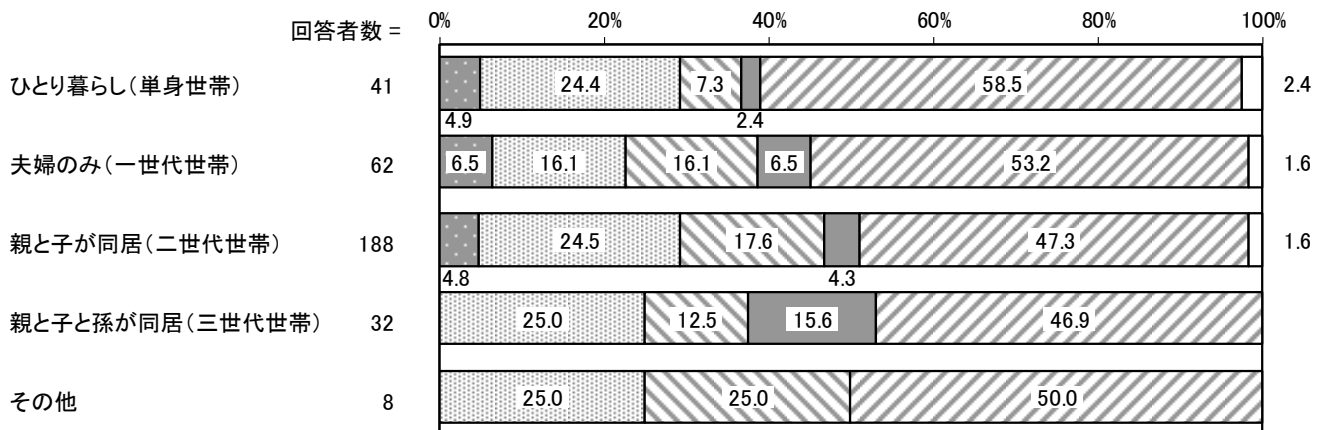
### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で“そう思う”の割合が高くなっています。



### 【家族構成別】

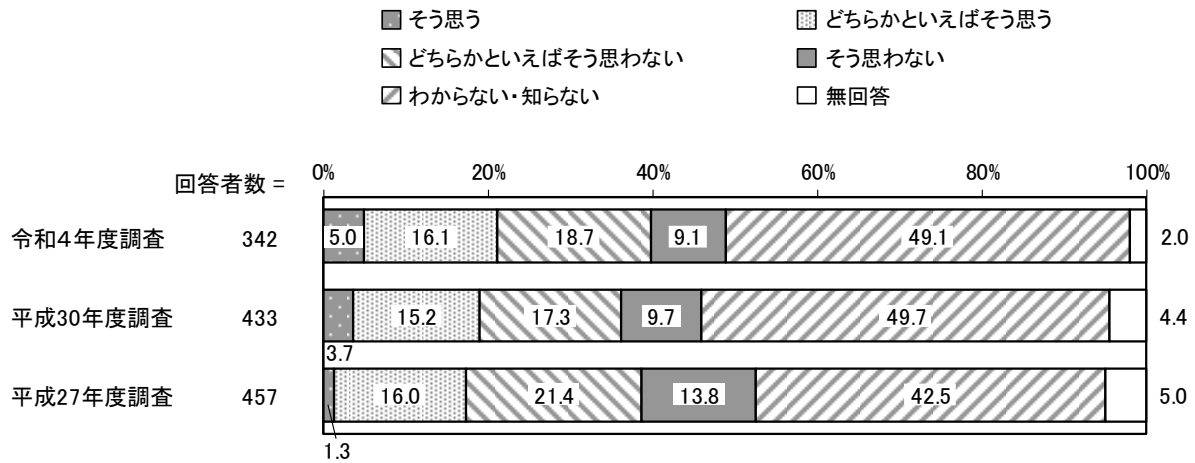
家族構成別でみると、他に比べ、親と子と孫が同居（三世代世帯）で“そう思わない”の割合が高くなっています。



(3) 青少年が健全に育つための取組みが十分に行われている

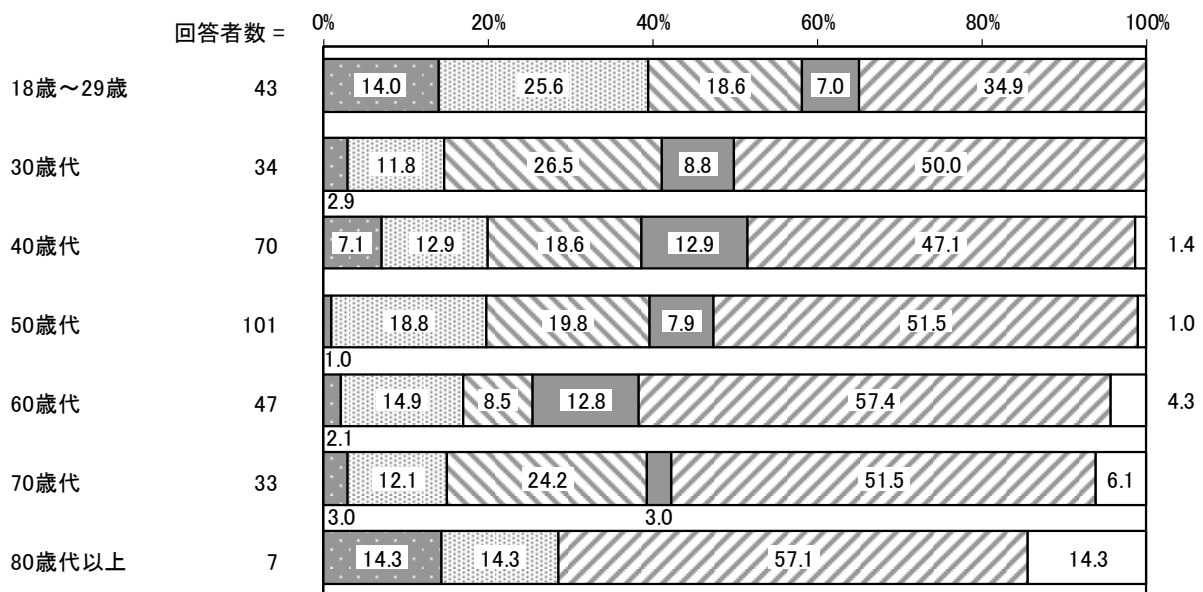
【経年比較】

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



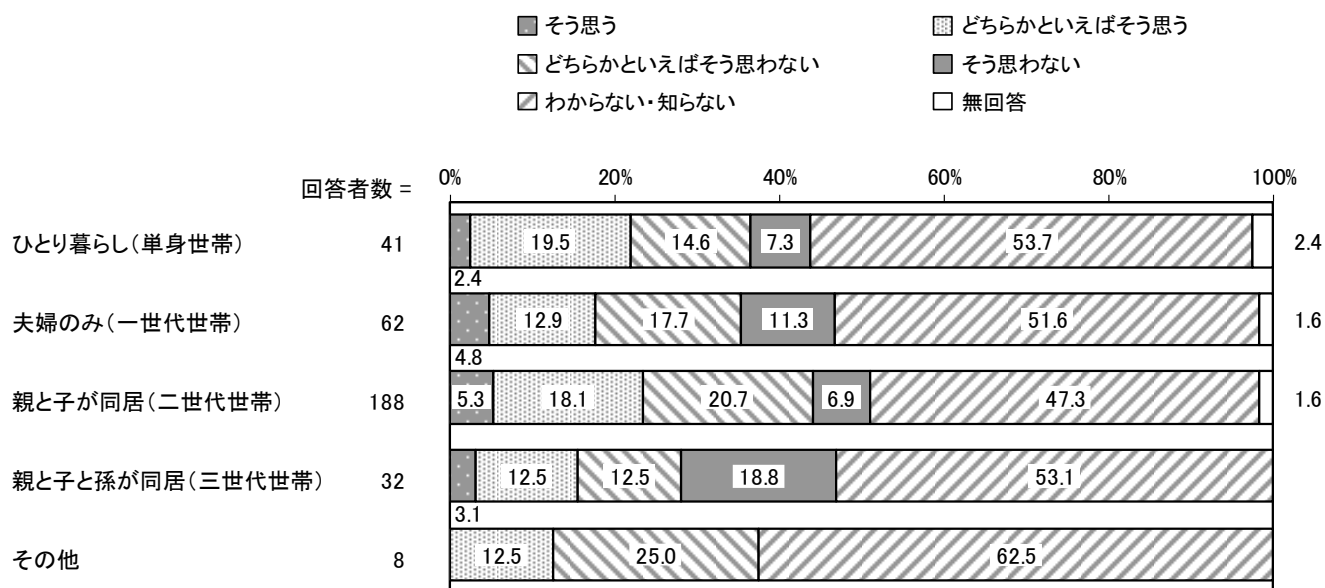
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で“そう思う”の割合が高くなっています。



### 【家族構成別】

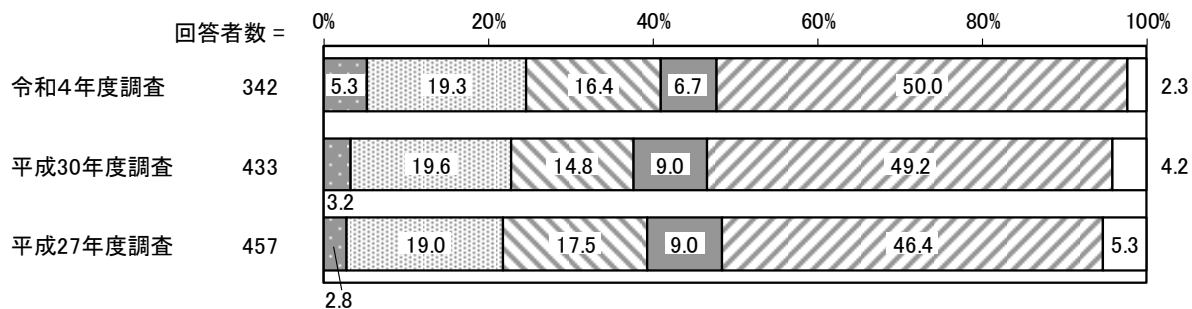
家族構成別でみると、大きな差異はみられません。



### (4) 郷土の歴史や伝統文化などの文化財の保護・活用が十分に行われている

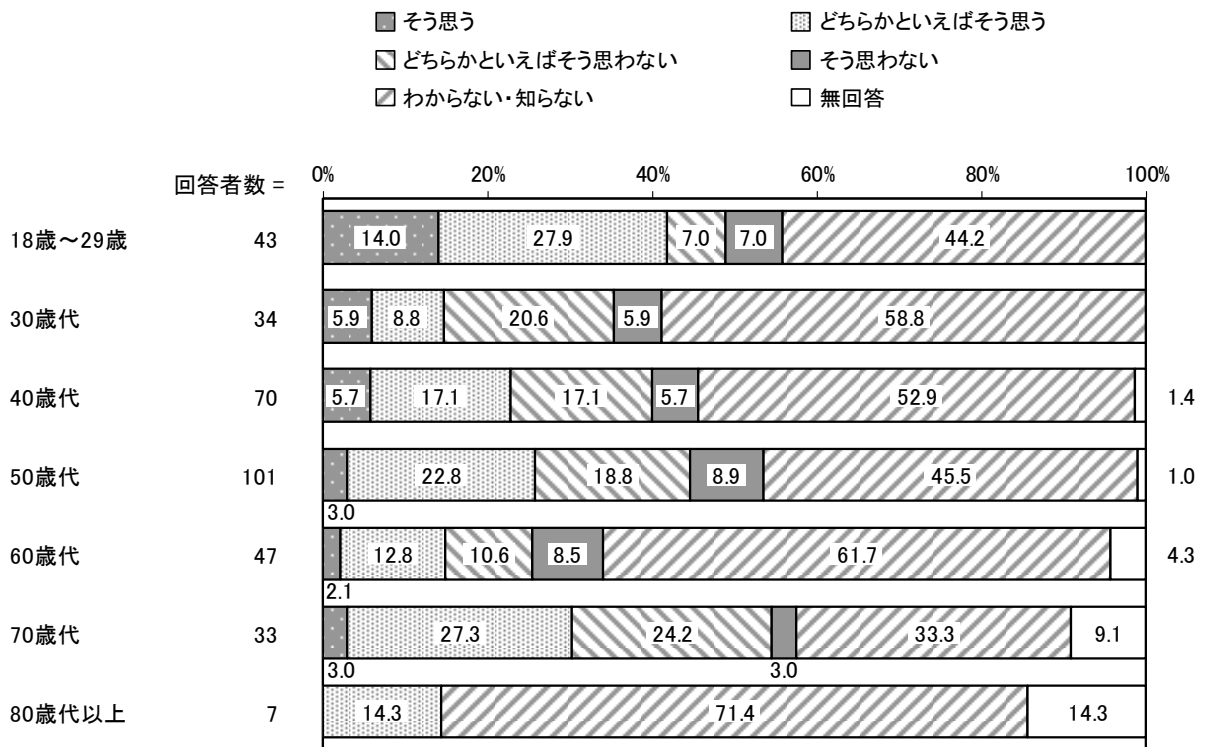
#### 【経年比較】

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



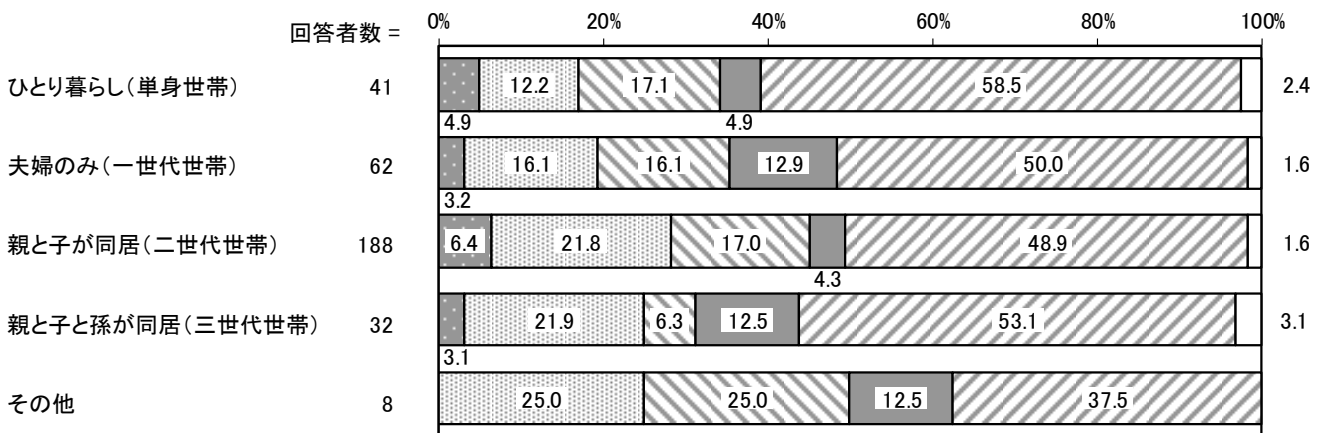
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で“そう思う”の割合が高くなっています。



【家族構成別】

家族構成別でみると、他に比べ、親と子が同居（二世帯世帯）、親と子と孫が同居（三世帯世帯）で“そう思う”の割合が、夫婦のみ（一世帯世帯）で“そう思わない”の割合が高くなっています。

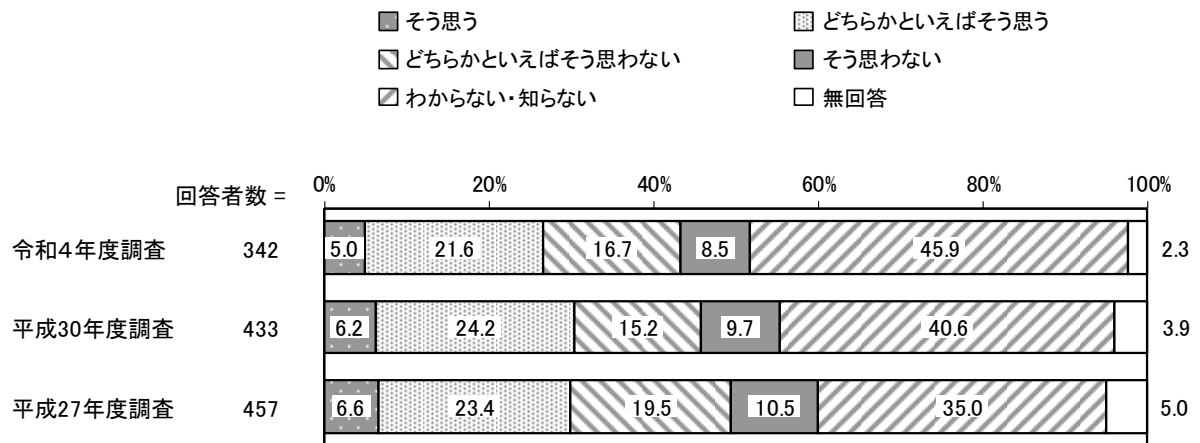




(5) 市民による文化・芸術活動が盛んである

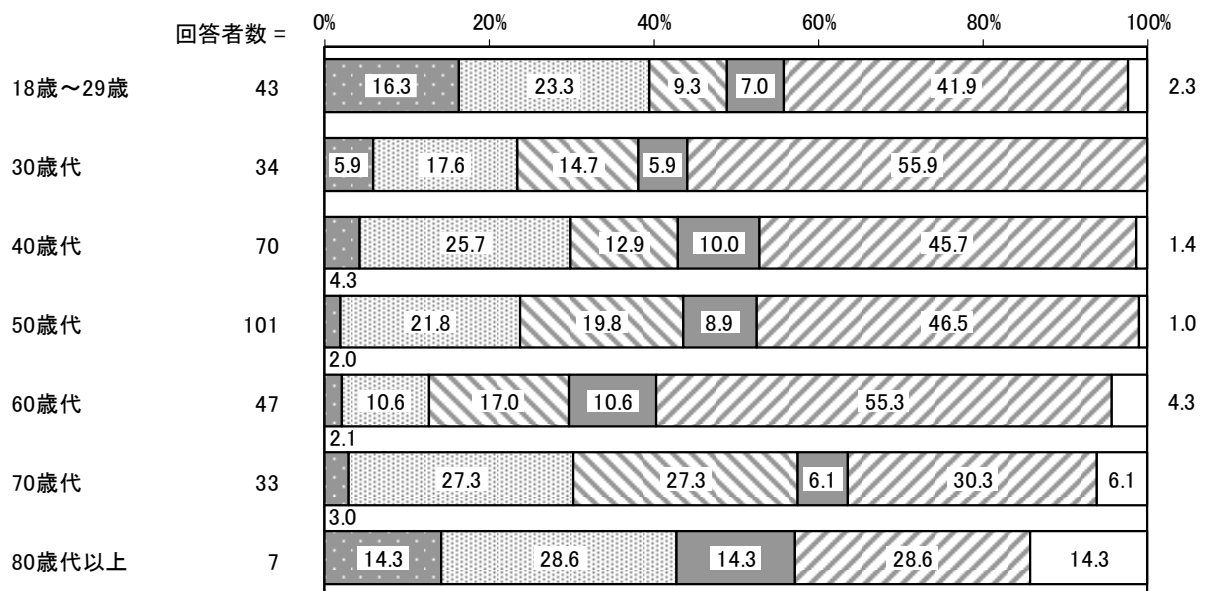
【経年比較】

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



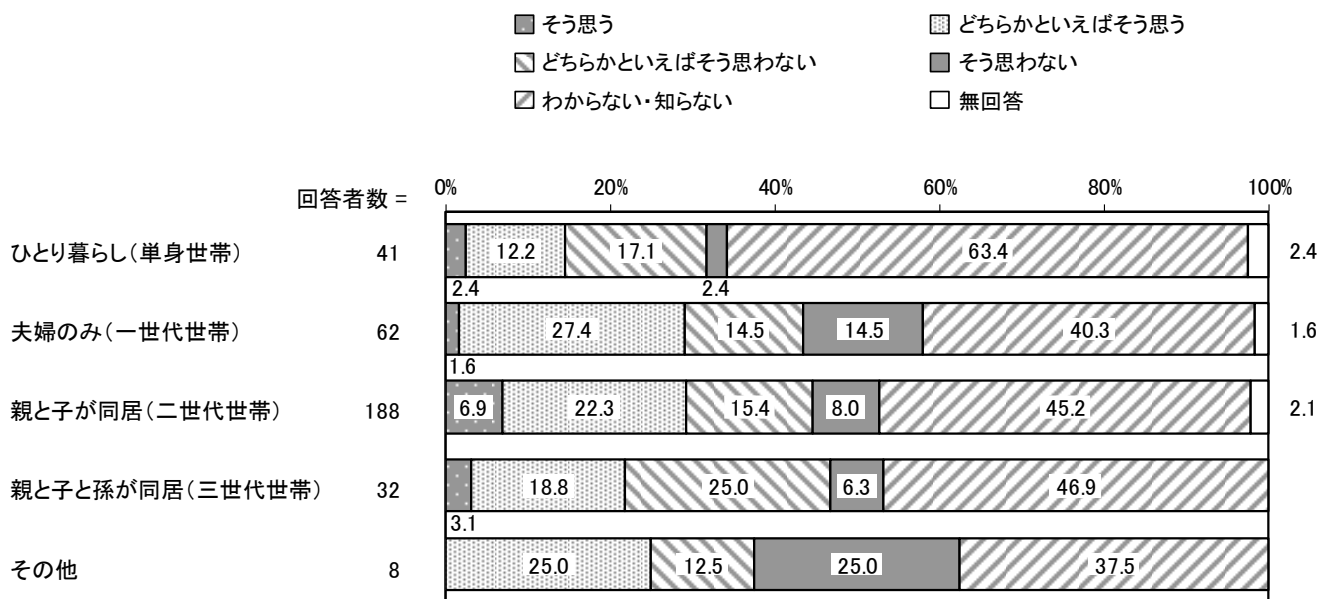
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で“そう思う”の割合が高くなっています。



### 【家族構成別】

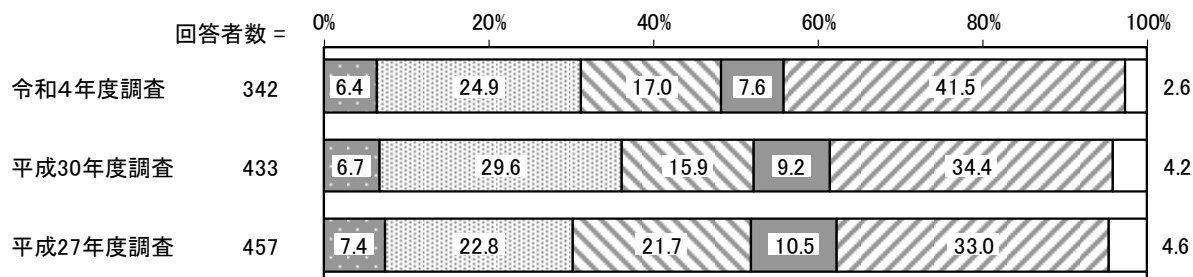
家族構成別で見ると、他に比べ、夫婦のみ（一世代世帯）、親と子が同居（二世帯世帯）で“**そう思う**”の割合が高くなっています。



### (6) 健康づくりを楽しむ機会が充実している

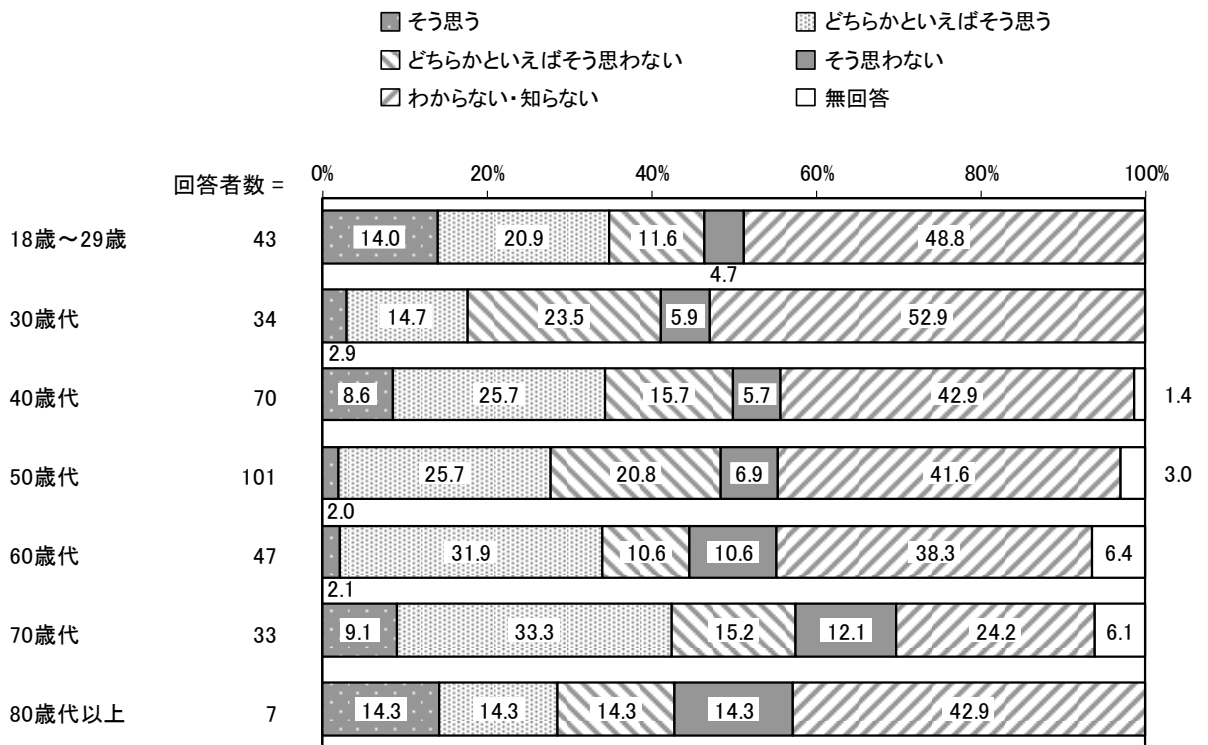
#### 【経年比較】

前回調査と比較すると、“**そう思う**”の割合が減少しています。



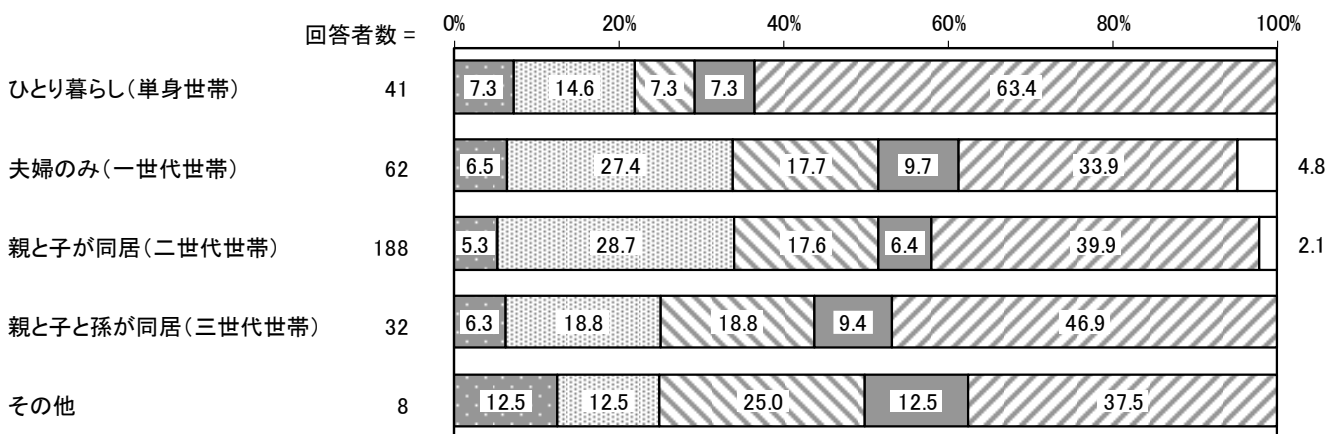
### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、70歳代で“そう思う”の割合が高くなっています。



### 【家族構成別】

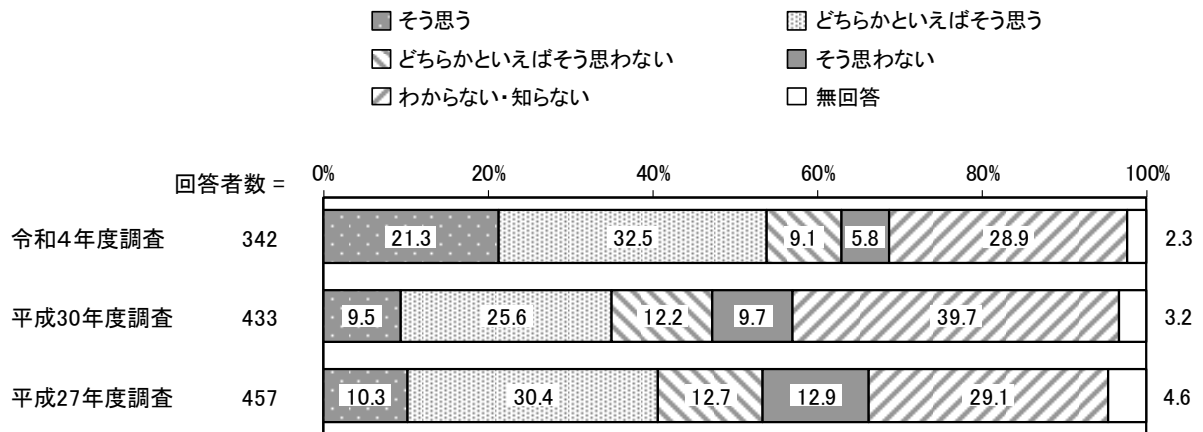
家族構成別でみると、他に比べ、夫婦のみ（一世代世帯）、親と子が同居（二世帯世帯）で“そう思う”の割合が高くなっています。



(7) 図書館のサービスが充実している

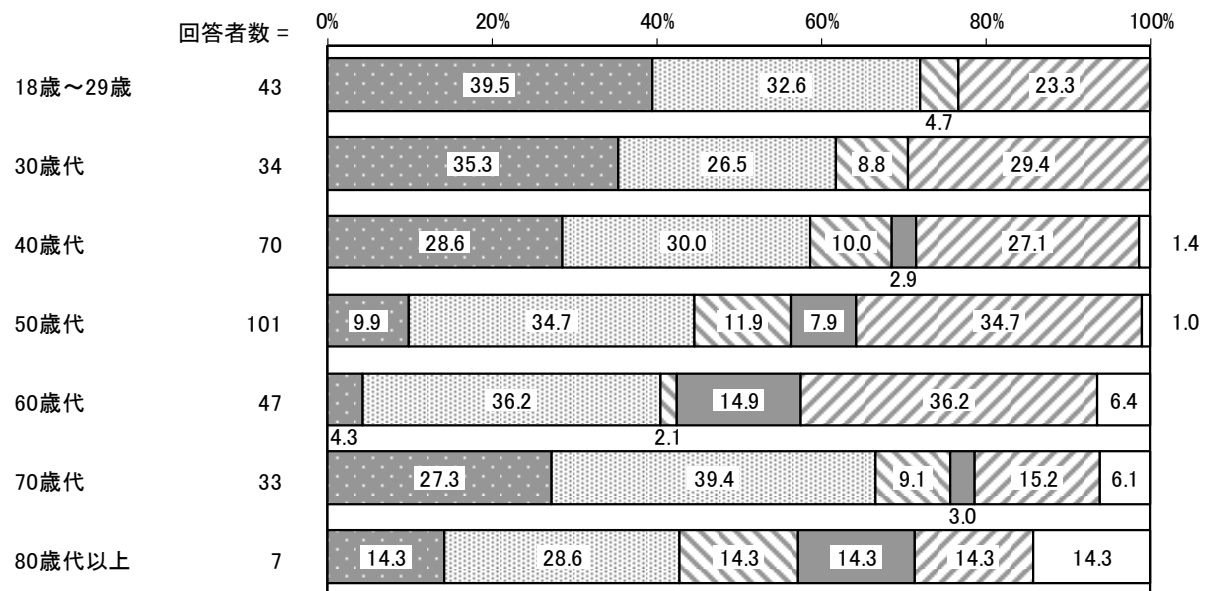
【経年比較】

前回調査と比較すると、“そう思う”の割合が増加しています。



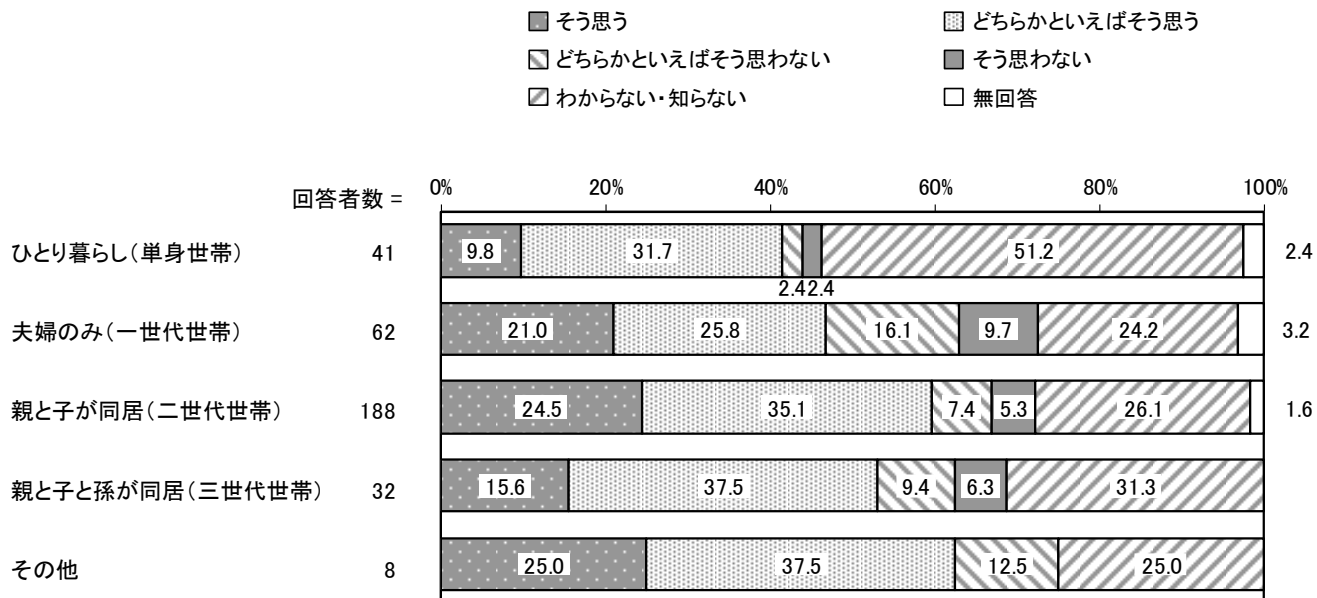
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で“そう思う”の割合が高くなっています。



### 【家族構成別】

家族構成別で見ると、他に比べ、親と子が同居（二世世代世帯）で“**そう思う**”の割合が、夫婦のみ（一世代世帯）で“**そう思わない**”の割合が高くなっています。

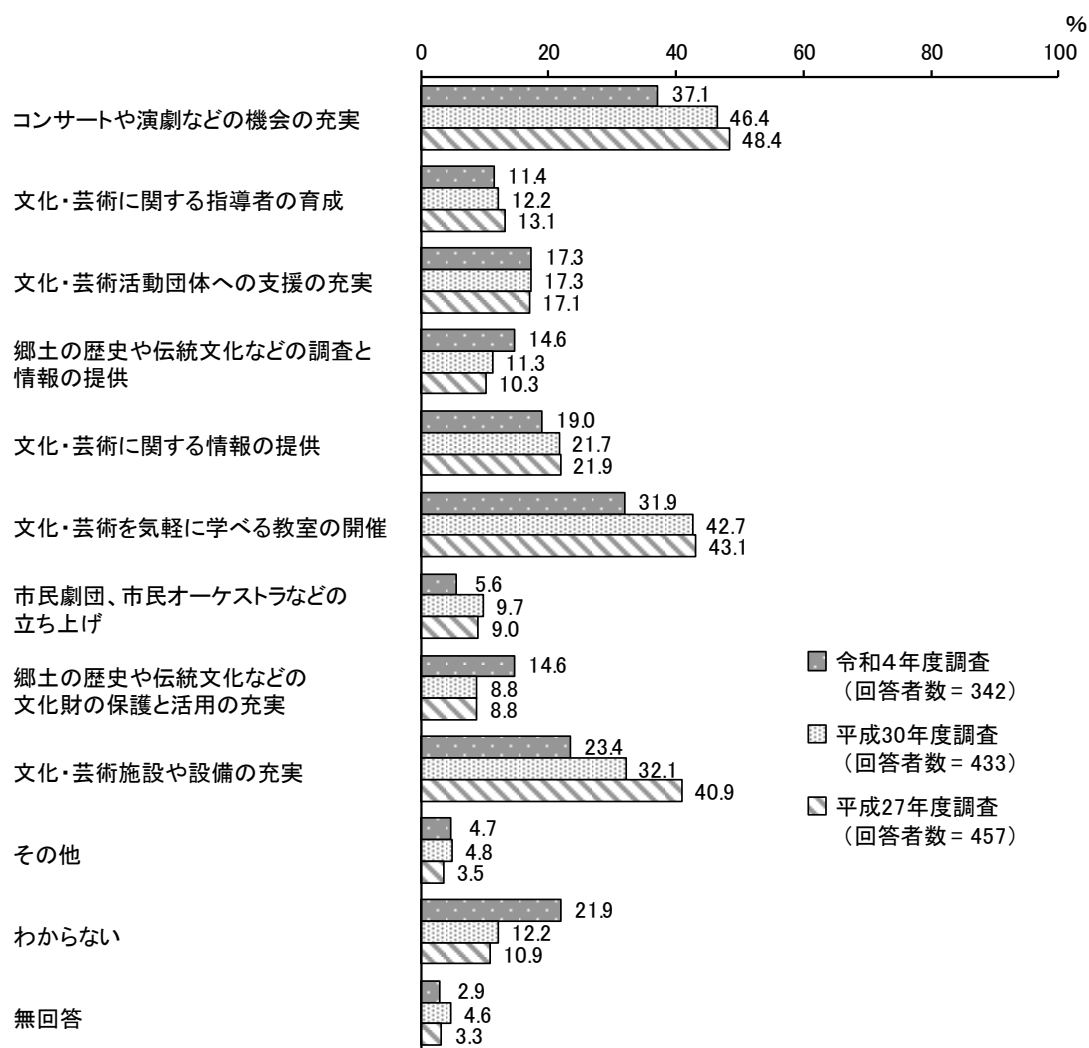


問 19 松原市の生涯学習・文化活動の今後について 今後、松原市の生涯学習・文化活動をより充実させていくためには、どのような取組みが必要だと思いますか。  
(主なもの3つまで○印)

「コンサートや演劇などの機会の充実」の割合が37.1%と最も高く、次いで「文化・芸術を気軽に学べる教室の開催」の割合が31.9%、「文化・芸術施設や設備の充実」の割合が23.4%となっています。

【経年比較】

前回調査と比較すると、「郷土の歴史や伝統文化などの文化財の保護と活用の充実」の割合が増加しています。一方、「コンサートや演劇などの機会の充実」「文化・芸術を気軽に学べる教室の開催」「文化・芸術施設や設備の充実」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で「コンサートや演劇などの機会の充実」の割合が、30歳代で「文化・芸術施設や設備の充実」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	コンサートや演劇などの機会の充実	文化・芸術に関する指導者の育成	文化・芸術活動団体への支援の充実	郷土の歴史や伝統文化などの調査と情報の提供	文化・芸術に関する情報の提供	文化・芸術を気軽に学べる教室の開催	市民劇団、市民オーケストラなどの立ち上げ	郷土の歴史や伝統文化などの文化財の保護と活用の充実	文化・芸術施設や設備の充実	その他	わからない	無回答
18歳～29歳	43	44.2	14.0	20.9	7.0	11.6	20.9	14.0	7.0	27.9	7.0	25.6	—
30歳代	34	38.2	14.7	8.8	11.8	17.6	38.2	—	8.8	38.2	8.8	23.5	—
40歳代	70	38.6	12.9	14.3	14.3	17.1	28.6	5.7	15.7	15.7	4.3	22.9	4.3
50歳代	101	37.6	14.9	12.9	17.8	22.8	33.7	2.0	15.8	23.8	2.0	20.8	2.0
60歳代	47	27.7	4.3	23.4	19.1	25.5	40.4	2.1	19.1	17.0	4.3	23.4	4.3
70歳代	33	33.3	3.0	24.2	12.1	21.2	27.3	15.2	21.2	27.3	6.1	21.2	6.1
80歳代以上	7	28.6	—	28.6	28.6	—	42.9	—	14.3	14.3	14.3	—	14.3

## 【家族構成別】

家族構成別で見ると、他に比べ、ひとり暮らし（単身世帯）で「郷土の歴史や伝統文化などの調査と情報の提供」の割合が高くなっています。また、親と子と孫が同居（三世代世帯）で「文化・芸術に関する情報の提供」「郷土の歴史や伝統文化などの文化財の保護と活用の充実」「文化・芸術施設や設備の充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	コンサートや演劇などの機会の充実	文化・芸術に関する指導者の育成	文化・芸術活動団体への支援の充実	郷土の歴史や伝統文化などの調査と情報の提供	文化・芸術に関する情報の提供	文化・芸術を気軽に学べる教室の開催	市民劇団、市民オーケストラなどの立ち上げ	郷土の歴史や伝統文化などの文化財の保護と活用の充実	文化・芸術施設や設備の充実	その他	わからない	無回答
ひとり暮らし（単身世帯）	41	36.6	14.6	19.5	24.4	12.2	26.8	4.9	17.1	14.6	7.3	19.5	—
夫婦のみ（一世代世帯）	62	33.9	6.5	19.4	19.4	25.8	35.5	8.1	17.7	24.2	6.5	16.1	3.2
親と子が同居（二世代世帯）	188	37.8	12.8	14.4	10.6	17.6	33.0	5.3	10.6	22.9	3.7	26.6	3.2
親と子と孫が同居（三世代世帯）	32	40.6	12.5	18.8	15.6	31.3	34.4	—	25.0	34.4	3.1	15.6	—
その他	8	25.0	—	25.0	25.0	12.5	12.5	12.5	37.5	25.0	12.5	12.5	—